

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2510

*No. 1* **7**  
*2005.*



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

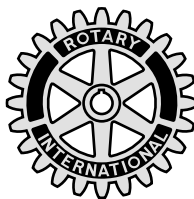
TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

2005-06年度塚原房樹ガバナーご挨拶	01
2005-06年度カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 国際ロータリー会長メッセージ	04
遠藤秀雄直前ガバナーご挨拶	07
丸山淳士ガバナー・エレクトご挨拶	08
伊藤長英地区研修リーダーご挨拶	09
7月は識字率向上月間です	10
ガバナー補佐ご挨拶	11
ガバナー補佐連絡先一覧	14
ガバナー公式訪問日程	15
ガバナー公式訪問に関するお願い・文庫通信	16
2005-06年度地区予算	17
2005-06年度地区組織図	18
クラブ会長・幹事一覧	19
ロータリー定期報告関係一覧	20
ロータリー定期報告先所在地ほか一覧	21
ロータリー財団寄付の振込口座・地区大会のご案内	22
2005-06年度地区カレンダー（予定表）	23
2005-06年度ガバナー事務所スタッフと担当	24
ガバナー事務所からお願い	25

---





2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

## 略 歴

1935年10月7日生。早稲田大学法学部卒業。  
株ホクビー顧問、(有)青樹社代表取締役 現在に  
至る。

### ■ロータリー歴

1977年1月札幌東ロータリークラブ入会。  
札幌東ロータリークラブ会長、第2510地区職業  
奉仕・社会奉仕・文献資料室・情報各委員長。  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー。  
米山功労者。

## 奉仕の新2世紀を迎えて

2005年7月1日、すがすがしい青葉の季節、われわれロータリアンにとってロータリー101年目の第一歩を刻む特別の日が参りました。いよいよ「奉仕の新2世紀」の幕開けです。ロータリー100年の歴史とは平和な社会を目指す無数の先輩ロータリアンの祈りと願望の累積でありました。100年という歳月は組織にとっては序の口ですが、100歳の寿命を全うする人はまれです。私はそれを学びつつ、やがて、自分も東の間にしてその歴史の中に埋没してしまうことを知ります。しかし自分は確かに生きていて感じさせるものがあります。人生を人生として私たちに確認させるものは、一言で言うなら邂逅…出会いであると言っていいでしょう。ロータリーの綱領の第一に「奉仕の機会として知り合いを深める」とあります。私はロータリーによって結ばれた友情に人生の人生たる証を見ようと思います。若しロータリーの会員に選ばれていなかったら、若しロータリーで巡り合えた友人たちがいなければ私の人生はどうなっていたであろう、「ロータリー奉仕の新世紀」のこの時、そこに生ずるのは身の引きしまるような感謝の念と歓喜であります。どうか会長・幹事の皆様と共に、温故知新、100年間ロータリーを支えてきた邂逅と友情を大事にして、未来のロータリーに向けて先人の知恵を活かしてまいりたいと思います。

RIの今年のテーマはロータリーが過去に作り出した最高の標語、サービスアバブセルフ「超我の奉仕」です。これはロータリーの原点回帰であり、ルネッサンスであります。ロータリーは時代の変化と共に組織、機構、奉仕プロジェクトは変わります。しかし時代を超えて変わらないもの、いや変えてはならないものがあります。それがサービスアバブセルフ「超我の奉仕」の標語です。これこそロータリーの普遍の真理であります。カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長の101年目にかける熱き思いをおくみとりください。「超我の奉仕」はロータリアンの心の光明であります。ロータリアンの心の光明は人により、程度に応じて社会を潤します。このようにロータリーの奉仕は与えた金額の多寡によるものではないのです。ロータリアンがおかれた千差万別な状況に応じて、自己の能力を省みて、超我の奉仕の自然的発露として、地域社会のため実践するものなのです。クラブを充実させる方法は、基本に立ち返り、ロータリーの礎石となった基本原則を守ることであると、私は堅く信じております。その原則とは、何十年にわたってわれわれをここまで導いてくれた「超我の奉仕」に他なりません。

ただ“SERVICE Above Self”は日本語に「超我の奉仕」と訳されています。これではあまりにも堅すぎます。米山梅吉さんが訳した「奉仕第一、自己第二」位のニュアンスでよいと思います。ロータリーの機構は、いろいろな歯車から成り立っています。時代とともに奉仕プログラムは多岐に亘り初心者にはロータリーの姿が見えにくくなってしまいました。玉ねぎの皮を一枚ずつ剥いていくと最後に芯があります。その芯に当たるものが“SERVICE Above Self”な

のです。ロータリーとは何かという問いにはいくらでも難しい言葉で議論できます。しかし真理はいつも単純にして平凡なものです。ロータリーとは超我の奉仕のことなのです。したがって今年度のステンハマーRI会長のテーマは行動ではなくロータリアンが必ず心の中に育んでゆかねばならないロータリーの中核思想であり主概念なのです。

RI理事会よりクラブリーダーシッププラン（CLP）が推奨され、四大奉仕部門は実質的に遠ざけられた感があります。しかしその反面アナハイムの国際協議会では、今年の重点課題として四大奉仕部門の重要性が特に強調されました。

会長・幹事さんの第一の役割は、効果的なクラブの構築です。会長要覧には①会員の維持と増強、②奉仕プロジェクトの実施、③財団支援、④指導者の育成の4点が示されています。この4点は互いに関連しあっています。またこれらの土台となるものは四大奉仕部門です。つまり効果的なクラブ達成の要は四大奉仕の推進の上に成り立ちます。したがって会長・幹事さんはクラブが四大奉仕プログラムをバランスよく実践できるように配慮してください。

四大奉仕プログラムは綱領の中に記されています。また手続要覧に詳細が記述されております。このように言うと、難しく考えて身構えてしまいます。しかし会長さんの任務は会員にロータリーの本質をやさしく、単純化して要点を伝えなければなりません。私はハロルド・トーマス元RI会長の「友愛の橋を架けよう」という言葉が好きです。ロータリーの目的は友情溢れた世界にするために友情の架け橋を築くことでした。このことは、ロータリー運動の最も大事な原点であり、また「クラブ、職業、社会、国際奉仕」という四つの奉仕部門は「友愛の架け橋」から誕生しました。ロータリーの基本である四大奉仕について、ニュージーランドのハロルド・トーマス元RI会長の単純明快な解説を



ご紹介します。アンダーラインの部分が四大奉仕プログラムの核心です。

「我々はまず手始めとしてどのクラブもどのクラブも皆友情溢れたクラブにすべきである。ビジターとしてクラブを訪れた人たちが、当時のスピーカーの話や当時の弁当のことなど忘れてしまった後までも、当日差し伸べられた歓迎の暖かさと、会員の友情の暖かさを忘れることが出来ない…そのようなクラブ。あなたのクラブを友情溢れたクラブにするために自分の任務を果たすこと…これがクラブ奉仕なのだ」

「会員の一人ひとりが、従事する仕事の改善のために各々その役割を果たすクラブ。あなたの企業を友情溢れるような企業にするために自分の任務を果たすこと…これが職業奉仕なのだ」

「会員の一人ひとりが、各々その地域社会における自分の責任を自覚して、良き隣人であり良き市民である…というようなクラブ。あなたの地域を友情溢れた社会にするために自分の任務を果たすこと…これが社会奉仕なのだ」

「会員の一人ひとりが、ロータリーは国際ロータリーなのだと言うことを自覚するクラブ。自国に対するゆるぎなき忠誠はロータリーの会員となるための前提条件であるが、ロータリアンたるものは、それと同時により広い人類同胞の一員であることを認識しなければならない。この世界を友情溢れた世界にするために尽くすこと。これが国際奉仕なのだ」以上がトーマス氏の言葉です。

ロータリー運動は、ロータリークラブで結ばれた友情がすべての活動の基礎となります。もっと友情溢れる、もっと親しみやすいクラブにするために親睦を大事にしてください。

親睦が深まれば、出席率が向上します。出席が良くなればロータリー情報が浸透します。情報が伝わるとロータリーへの理解が深まり奉仕活動が活発となります。奉仕活動が盛んになると親睦が増します。そして出席率が向上します。ロータリー循環論です。ロータリーの歯車は良い方向へ循環します。これが効果的なクラブの構築です。反面クラブ活動に魅力がないと、出席が悪くなり親睦も振るわず悪い方へと循環します。会長・幹事さんは、全会員が参加できる魅力あるクラブ活動を常に心がけてください。

クラブ会長・幹事さんと共に、熱意を持ってこの輝かしいロータリー新世紀の第一歩を歩んでまいりたいと思います。間もなく公式訪問でお会いできることを楽しみにしております。

国際ロータリー第2510地区  
2005~2006年度 地区の目標

**1. 「毎年あなたも100ドルを」**

ロータリー財団にご協力ください。100ドルの寄付で次のことが可能となります。

- ・ジンバブエの農村に四つの新しい井戸を掘り、数百人の村人を救えます。
- ・インドで3人の白内障手術を行う。

世界に誇る日本の米山記念奨学会もお忘れなくご協力ください。

**2. 「充実したクラブを作ろう」**

- ・出席率の向上。ロータリーは参加することから始まります。
- ・会員増強。1名がそれ以上の純増を計画してください。ただし会員の選考はクラブ細則に従い厳しく。悪貨は良貨を駆逐します。

**3. 「RIテーマ“超我の奉仕”の実践」**

ロータリーの会員は皆選ばれた人たちです。その代わり当然『高貴の義務』が付いています。ロータリアンは選抜されたエリートです。したがって地域社会に“超我の奉仕”を実践しましょう。

**4. 「職業奉仕の再構築」**

ロータリーの金看板は職業奉仕です。職業を通じての奉仕はロータリアンにも地域社会にも利益を与えます。職業奉仕の理解を深めましょう。

**5. 「奉仕の新2世紀を迎えて」**

栄光あるロータリー100年の歴史を支えてきたものは選逸と友情です。初心を忘れずに奉仕の源となる親睦を大切にしましょう。



2005 - 2006年度 国際ロータリー会長  
**カール・ヴィルヘルム・  
ステンハマー**  
スウェーデン、イエーテボリRC

## 略 歴

2004 - 05年度 RI会長エレクト  
1996 - 98年度 国際ロータリー理事  
1997 - 98年度 RI財務委員会委員長  
1997 - 98年度 RI監査委員会副委員長  
1998 - 00年度 RI監査運営審査委員会委員  
1987 - 88年度 地区ガバナー

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏は、国際的な製品の食品ブローカーであり、ガストF・プラット社の元オーナーです。ビジネスで活躍していた頃、ステンハマー氏は世界中を回りました。さらに、同氏は数社の理事および地元の私立学校の理事長を務めてきました。

ステンハマー氏は、1974年以降のロータリアンです。氏は入会後すぐにロータリーのあらゆるレベルの活動に参加し、クラブ、地区、そして国際レベルで数多くの役職をこなしてきました。地区では、青少年交換委員会、会員選考委員会、スウェーデン・ロータリー青少年交換財団などの委員長を歴任しました。また、氏が所属する地区の国際ロータリー奨学金財団の会計を担当し、1987 - 88年度には地区ガバナーを務めました。

青少年奉仕委員会に任命された1991年、同氏はロータリーへの国際奉仕を開始し、1993年には同委員会の委員長、そして青少年奉仕実行グループの地域コーディネーターを歴任し、数々の国際ロータリー研究会のモデレーターも務めました。同氏は、フィンランドからアフリカまでの地域、米国、そしてインドまで、数多くの地区大会にRI会長代理として派遣されました。1996 - 98年度にはRI理事を務め、それ以来、執行委員会のメンバーや財務委員会委員長、監査委員会の副委員長などを歴任しました。

1998 - 2000年度にはRIの監査運営審査委員会の委員に、2001年にはサンアントニオ国際大会委員会の委員となりました。同氏はまた、1999 - 2000年度地域雑誌編集者セミナーのモデレーター、2000 - 04年度ヨーロッパおよびRIBI恒久基金委員会の委員長、ストックホルムで開かれた2003年度会長主催祝賀会議の議長、2003 - 04年度識字および教育推進グループの総コーディネーター、国別ポリオ・プラス担当顧問、およびポリオ撲滅提唱グループのメンバーを務めました。

ステンハマー氏は、1935年1月16日、スウェーデンのイエーテボリに生まれました。1962年にモニカ夫人と結婚し、2人の息子、そして2人の孫息子と孫娘が1人います。ステンハマー氏はロータリー財団の大口寄付者およびベネファクターです。

# 朋友ロータリアンの皆さん

2005 - 06年度、私たちは、確固たる基盤および羅針盤となる過去の成功の数々、そして意欲を引き出す豊かな歴史とともに、ロータリーの奉仕の第2世紀へと踏み出しました。私たちは過去の栄光に閉じこもるべきではありませんが、そこから学ぶことは、将来への確かな前進のエネルギーとなるはずです。

このことを念頭に置きながら、私は、自分の重要な使命を的確に表すテーマを選ぶべく、これまでの世紀にロータリアンが書き記してきた数々の叢智に満ちた言葉に目を向けました。私たちの思考を導き、行動を促すあらゆる感動的なメッセージの中でも、ロータリーの標語「超我の奉仕」の5文字ほど、的確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉はありませんでした。

私たちがロータリーの第2の百年の第1章を書き始める今年度に、国際ロータリーの会長となることができ、大変光栄に思います。この重要な年度のテーマとして「超我の奉仕」を選ぶことは、ロータリアンを鼓舞する最も意義深い言葉を使いたいという私の願望を反映しています。しかし、私はまた、ロータリーでの日々を簡素に保つ努力、すなわち、過去からの継続を維持しつつ、未来に向けてまっすぐな道のりを据えることが必要であるとの思いからも、このテーマを提案いたします。従って、私は、これまでに絶大な成果を上げてきた、人類の基本的ニーズを表す諸分野に焦点を当てたいと望んでいます。

このような分野の一つに、識字率向上と教育があります。一対一の取り組みから大規模な識字率向上プログラムに至るまで、ロータリー・クラブは、読み書きを学ぶ人々を助けるための数多くの素晴らしいプロジェクトを実施してきました。学校に教材を提供し、教師を教育し、子供たちに通学に必要な衣服や本を提供してきました。そして世界中の地域社会においては、ロータリアンが学校を訪問し、子供たちに本を読んで聞かせ、その逆に子供たちが本を読むのを聞いてあげてきました。

これら数多くの成功にもかかわらず、未だ無数の成人が、簡単な文の読み書きができず、実用的な識字能力を備えていません。つまり、通常の業務や毎日の生活に必要な読み書きや計算を行うことができないのです。この問題によって、自分をはじめ家族を養う上で非常に多くの人々に制約が課せられており、この問題への取り組みに、ロータリーの豊かな経験と継続的活動が必要とされているのは明白です。

2005-06年度を通じて、私は、世界各地でロータリアンが効果的に取り組んでいる問題、すなわち水保全に関連する活動も継続するようロータリアンに奨励していきます。ロータリー・クラブによる無数の水プロジェクトのおかげで、何十万もの人々が今や水を手に入れることができ、飲用水や適切な衛生環境による多くの保健上の恩恵を受けています。

しかし、未だ多くの課題が残されているのも事実です。あまりに多くの人々が、安全な水の供給を受けられず、適切な衛生環境に恵まれていません。その結果、予防できるはずの水を介在とした感染症によって死ぬ必要のない多くの人々が死亡しています。水保全問題はまた、食糧供給にも影響を与えています。1人の人間が必要とする毎日の食事を生産するためには、2,000から5,000リットルもの水が必要とされているからです。国連は、この世界的な水の危機を「経済発展、貧困緩和、環境、そして平和と安全への脅威」と表現しています。飢餓を軽減し、この重要な資源が奪われている人々の保健と福祉を改善するために、ロータリアンの継続した活動が是非にも必要とされているのです。

識字率向上と水保全が注目すべき二つの緊要な問題であると私は確信していますが、その一方で、ロータリー・クラブもまたこれに優るさまざまな重要問題に取り組んでいることを承知しています。ロータリーの素晴らしさは、奉仕の機会を数多く提供してくれることにあります。クラブは地元地域社会のニーズを見極め、それを叶えるためにいかにしてその人材源や資源を生かすことができるかを判断します。この草の根の参加がロータリーの成功の特徴であり、私は、地元や海外の地域社会にとって最も有益となる奉仕を引き続き行っただけでなく、すべてのクラブに奨励したいと思います。

しかしながら、これは一人で実行できることではありません。多くの場合、私たちは同じ理想や目標を共有する他団体と協力して活動することによって、地域社会のために多くを成し遂げることができます。年度の奉仕計画を立てられるにあたり、他団体と協力関係を結ぶことによって、クラブの活動をいかに広げることができるかを検討してみてください。

1911年、ロータリアンは「超我の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。

---

---

## クラブ会長各位

拝啓

ロータリーが奉仕の2世紀目を開始する今、私はロータリアンの皆さんが新たな決意をもってロータリーの伝統的理念に臨まれることに大きな期待を抱いています。「超我の奉仕」という概念に基づき、意義ある活動や奉仕プロジェクトを実施されるよう、私から各ロータリー・クラブにお願いしたいと存じます。このような活動を通じて個々の会員が職業倫理と個人の道徳観を深めるだけでなく、すべてのロータリアン、クラブ、地域社会、ひいては世界全体をさらに充実させることができます。

ロータリー・クラブの仕事は一人ひとりの会員が担うものであり、それぞれのロータリアンが直接奉仕活動に積極的に参加されることで、はじめてロータリーの仕事が意味をもち成果をもたらすのだと言えます。参加と計画、そして質の高い奉仕に焦点を当てた今年度の会長賞は、このメッセージを裏づけるものです。

貴クラブが会長賞の資格を得るためには、2005年7月1日から2006年4月1日までの間に、**会員増強目標を設定し、さらに本要項に挙げられている5つの分野のうち4つから各1つずつ活動を実行していただくよ**

うお願いいたします。クラブのすべてのロータリアンによって超我の奉仕の理想が余すところなく反映されるよう、実施する活動の質は、クラブ会員の数と能力、そして会員の関心や技能に応じたものであるべきです。貴クラブがこれらをすべて満たしたなら、申込書に漏れなくご記入のうえ、地区ガバナーへご提出ください。ガバナーはこれに署名し、**2006年4月15日までにRIに**送付します。

本会長賞プログラムに参加されることで、貴クラブはロータリーの奉仕の第2世紀を成功へ導くために踏み出し、過去の功績の上に積み重ねていくことの大切さを実感されることと存じます。「超我の奉仕」の理想を

実現するために尽くされたすべてのロータリアンの努力と熱意を称える2005-06年度会長賞を、貴クラブに授与できることを楽しみにしております。

敬具



カール・ヴィルヘルム・ステンハマー  
国際ロータリー会長

## 会員目標 (必須)

- 会員1名かそれ以上の純増を達成するために、2006年4月1日までに会員勧誘計画を立て実施する。

## 公共的イメージ

- RIウェブサイトにあるように、2005-06年度公共的イメージ推進グループの推奨する活動の1つに参加する。
- クラブ協議会および会合を実施し、地域社会内でロータリーを推進する計画を導入する。
- 少なくとも2回、ロータリー・クラブの行事をマスコミに大々的に報道してもらう。
- 公共奉仕アナウンスメントを新聞に掲載したり、公共奉仕放送をラジオやテレビで放送してもらう。
- RI広報賞の推薦書を地区ガバナーに提出する。

## クラブ奉仕

- 今年、クラブのすべてのロータリアンがクラブの活動に積極的に参加するよう、一人ひとりに呼びかける。プロジェクト委員会の委員を務めたりクラブ奉仕のある面を担当するなど、参加の形は問わない。
- クラブのロータリアンで広範囲にわたる様々なクラブ・プロジェクトやプログラムに積極的に参加した人を、四大奉仕部門功労者賞として表彰する。

- 今後3年から5年の長期計画目標について話し合うため、次期役員も含めたクラブの指導者を集めて会合を開く。
- クラブ奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

## 職業奉仕

- クラブの各会員に、国際ロータリーおよびクラブの活動に関する情報を職場や専門職業団体と共有するよう要請する。
- 職業奉仕は生活の質を向上させ、ロータリアンの高い倫理観と誠実さを支える大きな可能性を秘めている。クラブ例会の少なくとも2回をこのような職業奉仕に充て、話し合う。
- 国際レベルで、または地元の地域社会において、識字率向上やその他の教育プロジェクトを実施する。
- 職業奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

## 社会奉仕

- 地元の他団体と協力して、クラブ会員が立案と活動へ直接に参加できる共同プロジェクトを行う。
- 地元地域で水プロジェクトを実施する。
- 世界ポリオ撲滅推進計画におけるロータリーの役割を広報してもらうために、地元報道機関に連絡を取る。
- 少なくともクラブ会員の半数が参加できる社会奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

## 国際奉仕

- 1人当たり米貨100ドルかそれ以上を目標に掲げ、ロータリー財団年次プログラム基金への寄付を増やす。
- 研究グループ交換、ロータリー友情交換、青少年交換といった国際交換プログラムに参加することによって、クラブの会員にロータリーの国際性を理解してもらうよう努める。
- 水保全や衛生に取り組む国際奉仕プロジェクトを実施する。
- 少なくともクラブ会員の半数が参加できる国際奉仕を支援する新しいプロジェクトを開発し、着手する。

## 2005-06年度 ローターアクト会長賞

ローターアクト・クラブも、「超我の奉仕」を示す価値ある奉仕活動を実施することにより表彰されます。受賞資格を得るには、ローターアクト・クラブは、本要項に挙げられている活動の中から少なくとも3つの活動を実行しなければなりません。ただし、そのうち1つは社会奉仕、またもう1つは国際奉仕に属するものでなければなりません。提唱ロータリー・クラブの会長とRI地区ガバナーは、ローターアクト会長賞申込書に署名し、RI世界本部に2006年4月15日までに提出してください。





## 輝く第2世紀に向かって 塚原房樹ガバナーへエールを

直前ガバナー  
**遠藤秀雄** (登別RC)

2004-2005年度はロータリー100周年に当たり、第1世紀の締めくくりの年でありました。2005-2006年度はロータリー第2世紀の始まりの年であります。これからの100年をどのように歩むべきか、その第1歩をどのように踏み出すかを定める重要な年でもあります。塚原房樹ガバナーは誠実なお人柄とロータリーに対する豊富な見識をお持ちでございます。クラブ会長、幹事はもとより、地区においても、幹事、社会奉仕、情報、職業奉仕、文献資料室等の委員長を歴任され、更に1年間地区内の諸活動を冷静に分析され、ゾーン研究会にも積極的に参加されて一層の磨きがかかり、地区の牽引者としてぴったりな方だと思えます。存分なご活躍を期待いたします。

近年国際ロータリーは、国際社会の中で確固たる基盤を築き、その分世界中からの期待も大きく、ロータリー財団重視へ軸足が片寄ったように思います。そのため無理な会員増強が逆に日本、アメリカ等々の会員数の減少という結果に繋がったのではないのでしょうか。

グレン・E・エステス前RI会長はロータリーを祝う目的の一つとしてこれまで取り上げてこなかった「職業奉仕」特に職業倫理の重要性を強調されました。この理念はカール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長へと引き継がれて参ります。ここにロータリーの変革を認めるものであります。「超我の奉仕」はロータリアンなら誰でも知っている言葉ですが、余り深く掘り下げて考えてこなかったテーマではないかと思えます。1年間じっくり勉強するよい機会を与えられたわけですが、その点でも塚原房樹ガバナーの指導力に期待し、エールを贈りたいと思えます。

1年間のガバナー生活は自分の職業との2足の草鞋だったので私にとっては大変なものでした。健康に充分留意され、出来るだけロータリーライフを楽しんで頂きたいと願っています。



## ご挨拶

ガバナー・エレクト  
**丸山淳士** (札幌真駒内RC)

予知しない災害が各地で降って湧いたごとくに発生し、大きな被害を生んでいる中、平成17年正月は私にとって、災害と比較するのははなはだ不謹慎ではありますが、心中そんな感じでございました。

自然災害はともかく、道徳観念の希薄さが生むとしか考えられない事故や事件が後を絶ちません。

こんな時に、ロータリー精神の「職業奉仕」を理解し、実践していたらこんな事にならないのにとふっと思っております。

職業人で上に立つ人は、ロータリークラブに入会し、切磋琢磨し、その職業を通して社会に奉仕をしなければならない、という法律ができないかなとも思っております。

そんな法律ができたなら「会員増強」「退会防止」などと叫ばなくてもよいし、すべての職業人が奉仕の精神を持って仕事を遂行するならば、社会全体がもっとも安心できる生活が保障される訳ですから。

そんな夢を見ている暇がありません。

1世紀を経て新たな第1歩を歩み出した訳ですから、現会員のさらなる親睦とロータリー精神の社会へのアピールを強め、強固な足固めをすることが私の責務と痛感しております。塚原ガバナーの方針を受け継ぎながら、活力のみなぎる地区運営に力を注ぎたいと思っております。

ロータリー活動は楽しくなければならぬと思っております。与えられるより与えることの楽しさを世間や特に若者に身をもって示してあげることが大切だと感じております。

会員内部はもとより、外に向かってもさらなる友情の輪を広げたいものです。無知と浅い経験を武器として、しかしながら自分の全能力を使って誠心誠意与えられた役目を遂行いたします。

皆様には本当にお世話をおかけいたします。どうかよろしくお願い申し上げます。

### ■略歴

1938年3月26日生。札幌医科大学医学部卒業。  
五輪橋産科婦人科小児科病院院長、医療法人五輪橋産科婦人科小児科理事 現在に至る。

### ■ロータリー歴

1995年7月札幌真駒内ロータリークラブ入会。  
札幌真駒内ロータリークラブ会長、第2510地区第5グループガバナー補佐。  
ポール・ハリス・フェロー。米山功労者。



## 新年度を迎えて

地区研修リーダー

**伊藤 長 英** (苫小牧北RC・PDG)

各クラブの会長・幹事さんをはじめ全会員の皆様！ 愈々塚原房樹年度を迎えました。この日のためにいろいろと準備を重ねてこられた皆様のこれからのご活躍を期待し、心からお喜び申し上げます。

今年度のRI会長のテーマは、「超我の奉仕」というロータリーの公式標語をそのまま採用されました。そして強調事項として識字率向上・水保全・地域社会への奉仕・超我の奉仕の理解という4項目を示されています。又、塚原房樹ガバナーも地区の目標として具体的に5項目を示されていますのでその実現に向けて努力されますようお願い致します。

尚、日本のロータリーの指導的立場にある方々によって構成されているクラブ強化推進委員会によって、昨年に続いて今年4月に2005年ロータリー必携が刊行されましたので、手続要覧と共に有益な参考書として利用して下さい。

更に今年5月20日には、クラブ強化推進委員会より理想的ロータリー・クラブの条件案が示されました。幾つかの項目を列举してみますと、①ロータリーにおける全ての活動に会員が意欲的である。②全会員がロータリーの基本である親睦と奉仕を常に心得ている。③例会でのクラブ会長の挨拶は、ロータリーに関することに重点をおく。④「ロータリーの月間」にはそれぞれの具体的なプログラムを行っている。⑤会員はロータリーの素晴らしさを認識し、退会防止に努め会員増強に熱心である。⑥新会員勧誘は全会員がグループに分かれて行い、退会防止に全会員がエネルギーを注いでいる。⑦近い将来に女性会員が全会員の10%以上（世界の現状では12.5%です）になるよう常に努力している。⑧新会員にロータリーの基本や歴史について話し合う会合を持つ。⑨ロータリーのイメージアップと地域へのPRに全会員が力を注いでいる。⑩国際大会・地区大会・IMその他の行事への積極的参加を目指している。⑪クラブや地区の将来を見据えた広い視野からクラブ会長を選んでいる。⑫クラブ活動資金と運営資金を明確に分けている。⑬政治的問題は例会中には一切触れない。⑭思いやりの心を持ち他人や社会のために尽くすこと（奉仕の理想）を理解している。⑮会員はロータリー財団のプログラムと寄付の重要性を認識している。⑯財団の年次寄付は全会員が少なくとも年間100ドル以上行っている。⑰各種奨学生、GSEなどのお世話をし、国際親善に参加する積極性、受容性がある。⑱米山記念奨学会への寄付はその趣旨をよく理解し、積極的に取り組んでいる。⑲例会の卓話に青少年交換学生、財団学友や米山奨学生を招いている。⑳ロータリー情報が少なくとも4分以上毎例会に提供されている。㉑例会中の私語が極めて少ない。この他未だ沢山ありますが省略いたします。各クラブのご発展を祈念申し上げます。

## 7月は識字率向上月間です

RIは非識字こそ、貧困をはじめとする諸悪の根元であると考え、1997年のRI理事会で7月を「識字率向上月間」にしました。

カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長は2005年2月に開催された国際協議会において識字率向上に関して下記の通り述べております。

ロータリー・クラブは現在までに、読み書き、計算を習う人々を助けるための非常に多くのプロジェクトを実施してきました。ロータリアンは、学校の設備を整え、教師を育て、通学するための衣服を子供たちに提供してきました。世界中の地域社会において、ロータリアンは時間を割いて学校を訪問し、子供たちに本を読んで聞かせ、その逆に子供たちの読む声に耳を傾けてきました。自分自身や家族を養う上で多くの人々に限界をもたらしているこの問題への取り組みに、ロータリアンの豊富な経験と熱意が未だ必要とされています。だからこそ、世界中すべての人々に識字能力が備わるよう、継続して努力を傾けていこうではありませんか。

継続性はロータリーの将来にとって紛れもなく重要なキーワードですが、それと同じくらい重要なことがもう一つあります。それは「協力」、あるいは「連帯」とも呼べるものです。識字、きれいな水、飢餓、保健はすべて非常に大きな問題であるため、ロータリアンは、自分たちだけでは決して目標に到達することができません。可能であるならば、これらの問題はとうの昔に解決されていたはずですが。従って、より良い世界に向けて活動するという私たちの抱負を実現するために、同じ問題に取り組んでいる他の団体と協力することを検討しようではありませんか。このような団体は非常に多く存在しています。

識字問題の分野における小さな例として、世界30カ国以上のネットワークを持つセーブ・ザ・チルドレン（児童救済）財団があります。この組織は、発展途上国に300の学校を築き、設備を整える計画を立てています。ここでいう学校とは、4本の柱と藁の屋根程度のものもあります。建物の建設にロータリー財団補助金を使うことができなくても、学校の設備を整えることはできます。従って、理事会によってセーブ・ザ・チルドレン財団と国際ロータリーへの同意がなされた場合には、地区やクラブはそれぞれにふさわしい方法でプロジェクトに参加できるようになるでしょう。このような同意があれば、300の学校のみにとどまらず、600、あるいは750の新しい学校が生み出される結果となるでしょう。各学校に100人の生徒がいるとすると、75,000人以上の子供たちが読み書きや計算を習うことができます。

読み、書き、計算、これらは私たちが今日ここへ来ることを可能にした3つの大切な能力なのです。このような協力の機会は無数にあります。ですから、大勢の人々のために世界をより良くする私たちの活動において、これらの機会を共に見つけましょう。

(2005年国際協議会講演集 2005-06年度テーマ演説より抜粋)

## ガバナー補佐ご挨拶



### 超我の奉仕— 先ず奉仕を

第1グループガバナー補佐  
**吉本 勲**  
(深川RC)

SERVICE Above Self 日本語では『超我の奉仕』。よい翻訳だがやや力みすぎという感もある。

そこで、たとえばフランスなどのロータリアンは超我の奉仕をどう表現しているか、調べてみると Servir d'abord とあった(セルヴィール ダボールと発音すればフランス人に十分に通用する)。翻訳すれば『先ず奉仕を』くらいのもので、超我の奉仕に比べると何だかさっけないようであるが、これで宜しいのではないかと私は思う。

そういう訳で2回目?! のガバナー補佐を私は、先ず奉仕を、という気持でお受けした次第です。

難しく考えないで(もちろん難しく考えることも、更には、超、難しく考えて、ロータリーとは何ぞや、カンカンガクガクの神学論争を交わすことも、大いに結構なのですが)、先ず奉仕を、第1グループのすべてのロータリアンの皆様に心からお願い申し上げて、就任のごあいさつといたします。



### 親睦の輪を 広げたい

第2グループガバナー補佐  
**千葉 清**  
(砂川RC)

第2グループ担当のガバナー補佐を委嘱され、この重責に身の引き締まる思いです。

2005-2006年度、ステンハマーRI会長テーマ「超我の奉仕」、当地区、塚原房樹ガバナーの提唱する「5項目の地区目標」と各種要望等を的確に受け止めて、第2グループ内4クラブを訪問し、ご理解とご協力を賜り、各クラブとの交流を通じて、親睦の活性化を図るとともに、さらなる奉仕の輪を広げるべく微力ではありますが、精一杯努力して参りたいと思っております。

本年度の第2グループの行事の目玉を、塚原ガバナーの提唱を受けて、数年振りにIMの開催を検討しております。

ただ、今日々経済環境を鑑みますと、余り仰々しくなく、質素ながらも「明日への活力の源」になるように“親睦を重視したテーマ”を目下検討中でございます。

これからの一年、各クラブの会員皆様の好意と友情を頂戴しながら、職責を務めたく存じます。皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。



### 楽しい運営を

第3グループガバナー補佐  
**円子 保**  
(美唄RC)

第3グループのガバナー補佐を担当することになりました。

これから1年間、各クラブの皆様の好意と友情に支えられながら、塚原ガバナーの地区目標を達成できますよう全力を尽くしてまいりたいと思っております。特に、本年度はIMの復活を提唱されておりますので、グループの皆様のご協力を頂きながら実施することを予定いたしております。

第3グループの各クラブの“楽しい運営”が行われますようご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



### 楽しいクラブを

第4グループガバナー補佐  
**坂本 勝彦**  
(札幌モーニングRC)

「ロータリー100年」の記念行事を見事に成し遂げた前年度。遠藤ガバナー、役員の皆様、各行事担当の委員の皆様、本当にご苦労さまでした。その後の年度のガバナー補佐で助かったなあと内心密かに思っています。前年度の大車輪の活動の後なので少々骨休めの一年になるのでは……と勝手に思い込んで居ります。

しかし、塚原新ガバナーのご指示を確かりと受け止めて、楽しいクラブ運営に少しでもお役に立てるよう、この一年頑張るつもりでございます。是非とも会員皆様方のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 好意と友情と 親睦を

第5グループガバナー補佐  
**五十嵐 勤**  
(新札幌RC)

ロータリークラブ入会以来まもなく満18年目を迎える時期に、第5グループのガバナー補佐をお引き受けする事となり、身の引き締まる思いと共に、どの様に対処すべきか思い悩んでいる次第であります。

創立100年を経過し101年目を迎えたロータリークラブは経済規模の拡大と共に目覚ましい発展を遂げましたが、ここ数年経済環境の変化と共に会員の減少が地区クラブの大きな障害となりつつあります。

100年の歴史の重みと、時代の変化に対応できるロータリークラブの在り方が今年度のテーマ「超我の奉仕」を通じて求められている様な気がします。

基本的にクラブ内での好意と友情と親睦を深める事がより豊かな気持で地域社会や世界平和に結びつく様に思われます。

この1年グループ内各クラブの皆さんの温かな友情と、ご指導・ご協力をお願いし、魅力あるロータリーを創り上げましょう。

どうか宜しく願い申し上げます。



## 魅力的な活動を

第6グループガバナー補佐  
**北川 暁一**  
(小樽RC)

ロータリー創立101年、歴史を踏まえて更に一歩進むにあたり、そのクラブの実績を尊重し、さらにそれを生かすようにし、地域と相互に助け合い乍ら、活動し奉仕していきたい。

役は単年度であっても、事業は複数年続けられるような奉仕活動が出来たら素晴らしいことと思う。

この頃とみに金で解決する風がみられるが知恵を出し、リードし活動していきたい。

又ロータリーは例会出席が第一と小生の若い時先輩に教えを受けた。全くその通りと思う、例会に参加し顔と顔を合わせ友愛を深めるのがロータリーの根源と考えている。

ポール・ハリスの語録に「個人は世界を変えられると云う信条に基き活動せよ」とあります。これからの100年に向け会員みなさんのさらなる活動を祈念し、会員皆様のご協力をお願いし、ご挨拶とします。



## ロータリーを 楽しもう

第7グループガバナー補佐  
**望月 良典**  
(長沼RC)

今年度第7グループのガバナー補佐をお引き受けすることになりました。もとより浅学浅才の身でその器ではございませんが、RI会長のテーマ「超我の奉仕」を肝に銘じ、楽しくなければロータリーではないをモットーに、グループ内各クラブとの親睦を深めながら、楽しいIMの実行と今年度地区の目標であります「毎年あなたも100ドルを」、「充実したクラブを作ろう」、「RIテーマ“超我の奉仕”の実践」、「職業奉仕の再構築」、「奉仕の新2世紀を迎えて」、の5つのテーマの実現に向けて、微力ではありますが細心努力する所存でございます。会員皆様の温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。



## ロータリー 2世紀を迎えて

第8グループガバナー補佐  
**出口 弘史**  
(三石RC)

ロータリーの1世紀を終えて2世紀目のスタートの記念すべき年度にガバナー補佐の大役を務めることになり、責任の重さと重要性を感じております。

未熟なガバナー補佐ですが、付焼刃でも何とかロータリーを勉強し直してこの1年間を各ロータリークラブの皆様方に叱咤激励していただき乍ら務めて行きたいと思っております。

今年度のガバナーの主旨を良く理解し、地区の重点目標の5項目を各クラブの皆様方に御理解いただきまして、遂行していきたいと思っております。2世紀目のロータリーはどの様に進めたら良いのか？クラブが活性化していくにはどの様に進めなければならないのか？会員増強は？今後の目標はハードルが物凄く高く感じています。何とか少しでも近づく様に努力する所存です。

各ロータリークラブの皆様方、非力な今年度のガバナー補佐ですが、いっしょにロータリー活動を実行しようではありませんか？皆様方の御協力と御指導の程を宜しくお願い申し上げます。



## ガバナー補佐ご挨拶



### 地区を 利用して下さい

第9グループガバナー補佐  
**川岸 洋一**  
(伊達RC)

本年度、第9グループのガバナー補佐を務めることになりました川岸です。よろしくお願い申し上げます。

ロータリー第2世紀最初の年度を迎えるに当り、塚原ガバナーは5つの目標を掲げましたが、この目標を各クラブに理解して頂くことと、各クラブと地区の関係を身近に感じられるものとし、そのパイプ役となるのが責務と認識しております。

経済的に難しい時代であり、クラブ運営にも苦勞が多いこととは思いますが、地区は情報の宝庫ですので、おおいに利用してほしいと思います。

又、地域的に共通点の多い、グループ内クラブによる情報交換を活発にし、事業や例会運営に役立てて頂くことをお願いします。本年度は、塚原ガバナーより親睦を深めるためのIMを開催するよう要望がありましたので、「楽しい集い」を企画していきたいと思っています。

1年間よろしくお願い申し上げます。



### 職業奉仕を めざして

第10グループガバナー補佐  
**田村 貞雄**  
(森RC)

第10グループの、2005-2006年度のガバナー補佐を務めることになりました森クラブの田村でございます。厳しい研修を受けましたので、これを参考にしてグループのため、ロータリーのために微力ですが、頑張りたいと思います。ロータリー財団・米山記念奨学会のため、心を新たに頑張ります。ロータリーの顔は職業奉仕です。皆さんの協力を得ながら、友情と親睦をモットーとし、会長、幹事、会員の皆様の協力を得て、この1年間頑張りますので、何分のご支援ご協力をお願い申し上げます。



### 基本を大切に

第11グループガバナー補佐  
**藪下 義晴**  
(函館北RC)

ロータリー2世紀、このスタートの年にガバナー補佐を務めることになりました、藪下でございます。

グループ内の各クラブと協調し、塚原ガバナーが掲げられた5つの目標に沿い、少しでもお役に立てればと考えております。

今、ロータリーはいろいろな意味で、岐路に立たされていると思いますが、ここでロータリーの基本に立ち返ることにより、更なる発展が約束されるのではないのでしょうか。

ロータリーの循環、つまり、出席が良くなれば→親睦が活発になる(情報の浸透)→奉仕が活発になる(自分の喜びでもある)→地域に認知される(共感を得る)→入会者の増加→出席率の向上…の図式になるように、会長・幹事はじめ会員皆様のご協力を頂きながら責任を果たして行きたいと考えております。

“千里の行も一歩より始まる”何事も、基本を実行することから始まるものと思います。皆様のご指導、宜しくお願い致します。



### グループの力を 結集して

第12グループガバナー補佐  
**蝦名 久志**  
(苫小牧東RC)

ロータリー「新世紀」のスタートとなる年度にガバナー補佐を委嘱され、地区リーダーの一員としての責務の重大さに身の引き締る思いです。

ここ数年、会員の減少傾向が続いており当グループも例外ではありません。がしかし会員減少を理由にロータリー活動の停滞は許されません。クラブ単位では会員数は減少していますがグループで見るとその力は悠に150名を超える会員数を有する一大奉仕チームであり、そのメンバーはロータリー100年の歴史を支えてきた「邂逅と友情」の初心を持ち続ける精鋭です。

4クラブの英知と力を結集して「超我の奉仕」の理念に基づく地区「5つの目標」実践を目指し、会員の皆様と共に努力してまいります。

この一年間皆様のご協力をよろしくお願い致します。

2005-2006年度 **ガバナー補佐連絡先一覧**

氏名	所属RC	職業分類	勤務先 住所・電話番号・FAX・メールアドレス	自宅 住所・電話番号・FAX・メールアドレス
第1グループ担当 吉本 勲 よしもと いさお	深川	私立病院	医療法人社団厚北会吉本病院 理事長・院長 〒074-0003 深川市3条25番19号 電話(0164)22-7130 FAX(0164)22-7132	〒074-0002 深川市2条25番19号 電話(0164)22-1566
第2グループ担当 千葉 清 ちば きよし	砂川	液化ガス販売	㈱砂川ガス 代表取締役社長 〒073-0131 砂川市東1条南18丁目1-39 電話(0125)54-1961 FAX(0125)52-3201 E-mail: sunagawagas@theia.ocn.ne.jp	〒073-0123 砂川市吉野3条南5丁目3-7 電話(0125)52-5526 E-mail: lovely.c@abeam.ocn.ne.jp
第3グループ担当 円子 保 まるこ たもつ	美唄	電気工事	伊藤電気商会㈱ 代表取締役 〒072-0022 美唄市西1条北7丁目 電話(0126)64-4733 FAX(0126)64-4728	〒072-0042 美唄市進徳町1区 電話(0126)62-0244 FAX(0126)62-0244
第4グループ担当 坂本 勝彦 さかもと かつひこ	札幌 モーニング	建設 コンサルタント	㈱帝国設計事務所 代表取締役会長 〒065-0025 札幌市東区北25条東12丁目帝国ビル 電話(011)753-4768 FAX(011)702-2428	〒005-0005 札幌市南区澄川5条10丁目6-21 電話(011)582-4439 FAX(011)582-4439 E-mail: sapporo-morning-rc@purple.plala.or.jp
第5グループ担当 五十嵐 勤 いがらし つとむ	新札幌	土木資材販売	昭和マテリアル㈱ 取締役会長 〒003-0027 札幌市白石区本通20丁目北2-45 電話(011)862-1917 FAX(011)863-6801	〒004-0867 札幌市清田区北野7条3丁目19-19 電話(011)882-5355 E-mail: i-thutom@khaki.plala.or.jp
第6グループ担当 北川 暁一 きたがわ りょういち	小樽	佃煮製造	丸一北川食品㈱ 代表取締役会長 〒047-0016 小樽市信香町3番21号 電話(0134)32-3271 FAX(0134)32-3274	〒047-0023 小樽市最上1丁目4-13 電話(0134)23-6151 FAX(0134)23-6151
第7グループ担当 望月 良典 もちづき よしのり	長沼	クリーニング	望月商会 店主 〒069-1333 夕張郡長沼町本町北1丁目1-3 電話(0123)88-2557 FAX(0123)88-2098	〒069-1333 夕張郡長沼町本町北1丁目1-3 電話(0123)88-2557 FAX(0123)88-2098
第8グループ担当 出口 弘史 でぐち ひろふみ	三石	薬剤師	ファマシーでぐち 代表取締役 〒059-3108 三石郡三石町字本町168番地 電話(01463)2-3109 FAX(01463)2-3110	〒059-3108 三石郡三石町字本町168番地 電話(01463)2-3109 FAX(01463)2-3110
第9グループ担当 川岸 洋一 かわぎし よういち	伊達	土地家屋調査士	㈱川岸測量事務所 代表取締役 〒052-0021 伊達市末永町58番地 電話(0142)23-2116 FAX(0142)23-2141 E-mail: kawasoku@seagreen.ocn.ne.jp	〒052-0023 伊達市元町42番地36 電話(0142)21-2233 E-mail: hiyaku57@abelia.ocn.ne.jp
第10グループ担当 田村 貞雄 たむら せいお	森	司法書士	田村司法書士事務所 所長 〒049-2327 茅部郡森町字清澄町22番地16 電話(01374)2-2527 FAX(01374)2-6928	〒049-2305 茅部郡森町字常盤町158番地32 電話(01374)2-4928
第11グループ担当 数下 義晴 あぶ した よしはる	函館北	メンテナンス・ サービス	㈱道南メンテナンス 代表取締役 〒041-0808 函館市桔梗1丁目6-16 電話(0138)46-5636 FAX(0138)46-5118 E-mail: info@mente.jp	〒041-1111 亀田郡七飯町本町593 電話(0138)65-2420
第12グループ担当 蝦名 久志 えびな ひさし	苫小牧東	自動車ガラス	道南硝子㈱ 代表取締役 〒053-0052 苫小牧市新開町2-12-10 電話(0144)55-1311 FAX(0144)55-1211 E-mail: doing@ains.tomakomai.or.jp	〒053-0855 苫小牧市見山町2-7-11 電話(0144)74-4604

(敬称略)

2005-2006年度 **ガバナー公式訪問日程**

No.	月日	曜日	グループ	クラブ名	会長・幹事 懇談会	クラブ 協議会	例会
1	7月1日	金	6	小樽南	10:00	11:00	12:30
2	7月5日	火	3	栗山	10:00	11:00	12:30
3	7月7日	木	3	江別	10:00	11:00	12:30
4	7月12日	火	2	赤平	10:00	11:00	12:30
5			3	岩見沢東	16:00	17:00	18:00
6	7月13日	水	2	砂川	10:00	11:00	12:30
7	7月14日	木	2	滝川	10:00	11:00	12:30
8	7月15日	金	2	芦別	10:00	11:00	12:15
9	7月19日	火	3	江別西	10:00	11:00	12:30
10	7月20日	水	3	栗沢	10:00	11:00	12:10
11	7月21日	木	3	美唄	10:00	11:00	12:15
12	7月22日	金	3	岩見沢	10:00	11:00	12:30
13	7月26日	火	1	深川	15:00	17:00	18:00
14			1	妹背牛	16:00		
15	7月29日	金	1	小平	14:00	17:00	18:00
16			1	留萌	15:00		
17			1	羽幌	16:00		
18	8月2日	火	6	小樽	10:00	11:00	12:30
19			6	蘭越	16:00	17:00	18:00
20	8月3日	水	6	倶知安	10:00	11:00	12:15
21			6	余市	16:00	17:00	18:00
22	8月4日	木	6	岩内	10:00	11:00	12:30
23			6	小樽銭函	16:00	17:00	18:00
24	8月5日	金	5	札幌大通公園	16:30	17:30	18:30
25	8月9日	火	9	伊達	10:00	11:00	12:30
26			9	室蘭北	16:00	17:00	18:00
27	8月10日	水	9	室蘭東	10:00	11:00	12:30
28			9	登別	16:00	17:00	18:00
29	8月11日	木	9	室蘭	10:00	11:00	12:30
30	8月12日	金	9	洞爺湖	10:00	11:00	12:30
31	8月23日	火	8	三石	9:00	11:30	12:30
32			8	様似	9:30		
33			8	浦河	10:00		
34			8	静内	10:30		
35			8	えりも	11:00		
36	8月25日	木	7	由仁	10:00	11:00	12:15

No.	月日	曜日	グループ	クラブ名	会長・幹事 懇談会	クラブ 協議会	例会
37	8月26日	金	4	札幌あけぼの	10:00	11:00	12:30
38	8月31日	水	5	新札幌	10:00	11:00	12:30
39	9月1日	木	12	苫小牧東	10:00	11:00	12:30
40	9月2日	金	12	苫小牧	10:00	11:00	12:30
41	9月5日	月	10	長万部	10:00	11:00	12:10
42			10	函館亀田	16:00	17:00	18:00
43	9月6日	火	11	函館東	10:00	11:00	12:30
44			10	七飯	16:00	17:00	18:30
45	9月7日	水	10	森	10:00	11:00	12:00
46			11	函館北	16:00	17:00	18:00
47	9月12日	月	7	北広島	10:00	11:00	12:15
48	9月13日	火	12	白老	10:00	11:00	12:30
49	9月15日	木	11	上磯	10:00	11:00	12:30
50			10	函館	16:00	17:00	18:00
51	9月16日	金	11	函館五稜郭	10:00	11:00	12:30
52			11	江差	16:00	17:00	18:00
53			11	松前			
54	9月20日	火	7	千歳セントラル	10:00	11:00	12:30
55	9月21日	水	7	恵庭	10:00	11:00	12:30
56	9月26日	月	7	長沼	17:00	18:00	19:00
57	9月27日	火	3	当別	10:00	11:00	12:30
58	9月28日	水	4	札幌モーニング	27日16:00	27日17:00	7:30
59	9月29日	木	7	千歳	10:00	11:00	12:30
60	9月30日	金	5	札幌幌南	16:00	17:00	18:00
61	10月1日	土	4	札幌手稲	10:00	11:00	12:30
62	10月3日	月	5	札幌南	10:00	11:00	12:30
63	10月4日	火	5	札幌清田	10:00	11:00	12:30
64			5	札幌セントラル	16:00	17:00	18:30
65	10月18日	火	4	札幌西	10:00	11:00	12:30
66	10月19日	水	5	札幌真駒内	10:00	11:00	12:30
67	10月20日	木	4	札幌西北	10:00	11:00	12:30
68	10月24日	月	4	札幌北	10:00	11:00	12:30
69	10月25日	火	4	札幌はまなす	10:00	11:00	12:30
70			12	苫小牧北	16:00	17:00	18:00
71	10月26日	水	4	札幌幌	10:00	11:00	12:30
72	10月27日	木	5	札幌東	10:00	11:00	12:30

# ガバナー公式訪問に関するお願い

貴クラブへの訪問を有意義なものとするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 1. 公式訪問に必要な書類

①効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標

クラブ会長要覧 (P.76~P.81) に綴じ込まれているものをコピーし、ご記入の上、ガバナー補佐の署名を得てガバナー事務所までご提出下さい。

下記の書類は貴クラブ訪問日の2週間前までにガバナー事務所へお送り下さい。

①クラブ定款と細則

②今年度 (2005-2006) クラブ活動計画書と前年度 (2004-2005) 活動報告書

※公式訪問が7月のクラブで未決定の場合は、前年度分で代用可能です。

③充填・未充填職業分類表 ④会員名簿 ⑤クラブ会報 (最近の4~5回分)

⑥過去5年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数 ⑦貴クラブの特徴 (クラブの自慢、良い事業等) をご紹介下さい。

## 2. 会長・幹事懇談会

①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席下さい。

## 3. クラブ例会

①和やかで楽しく例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励して下さい。

②ご連絡戴いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させて戴きます。

③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ戴き固くご辞退致します。

## 文庫通信 213号

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、35年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお願いいたします。

### ☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。お問合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

#### (文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費 (1枚20円+送料) でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは有料でダビングを致します。

#### (貸出し)

- ・視聴覚資料 (スライド・フィルム) は予約制 (申し込み用紙有) で貸出し致します。

#### (登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

#### (ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせていただきます。

### 【ロータリー文庫】

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3

abc会館7F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時

休館=土・日・祝祭日

# 国際ロータリー第2510地区 2005-2006年度 地区予算

## 【一般地区資金】

### 収入の部

科 目	2004-2005年度 予 算	2005-2006年度 予 算	2005-06年度摘要
1. 前期繰越金	14,000,000	13,420,200	
2. 一般地区資金 上期@4,730 同 上 下期@4,730	15,609,000 15,609,000	15,136,000 15,136,000	半期人数: 2005-06年度3,200人(@4,730)
3. RI助成金	2,800,000	2,700,000	
4. ガバナー月信購読料	2,520,000	2,520,000	@3,500×72RC×10部
5. 雑収入	100,000	100,000	
6. 地区大会繰入金	0	0	
収入合計	50,638,000	49,012,200	

### 支出の部

科 目	2004-2005年度 予 算	2005-2006年度 予 算	2005-06年度摘要
<b>A. 地区大会</b>			
1. 地区表彰費	500,000	500,000	
2. ガバナー記念費	100,000	100,000	
Aの部 小 計	600,000	600,000	
<b>B. 助成金</b>			
1. 地区協議会	800,000	800,000	
2. 都市連合会(IM)	0	720,000	@10,000×72RC
3. 会長エレクト研修セミナー(PETS)	400,000	400,000	
4. 地区指導者育成セミナー	0	100,000	
5. 地区チーム研修セミナー	350,000	350,000	
Bの部 小 計	1,550,000	2,370,000	
<b>C. 負担金</b>			
1. ガバナー会	660,000	640,000	@200×3,200人
2. 日本ロータリー文庫	990,000	960,000	@300×3,200人
3. ロータリー情報センター	0	640,000	@200×3,200人, 2005-06年度より発足予定
Cの部 小 計	1,650,000	2,240,000	
<b>D. 会議費</b>			
1. 地区ガバナー指名委員会	200,000	200,000	
2. 地区ガバナー諮問委員会	500,000	500,000	
3. 地区ガバナー補佐会議	800,000	800,000	
4. 地区委員長会議	400,000	400,000	
5. 地区研修リーダー会議	30,000	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	50,000		
7. 地区広報委員会	150,000	100,000	2005-06年度よりクラブ奉仕委員会に統合
8. 地区情報委員会			
9. 地区IC委員会	150,000	150,000	
10. 地区ロータリーの友委員会	30,000	0	2005-06年度より廃止
11. 地区拡大委員会	30,000	30,000	
12. 地区会員増強委員会	50,000	50,000	
13. 地区職業奉仕委員会	50,000	50,000	
14. 地区社会奉仕委員会		300,000	
15. 地区家庭奉仕委員会	540,000	0	2005-06年度より社会奉仕委員会に統合
16. 地区子ども奉仕委員会		0	2005-06年度より社会奉仕委員会に統合
17. 地区新世代委員会		100,000	
18. 地区ライラ委員会	130,000	0	2005-06年度より新世代委員会に統合
19. 地区インターネット委員会	150,000	150,000	
20. 地区ロータリークラブ委員会	150,000	150,000	
21. 地区青少年交換委員会	400,000	400,000	
22. 地区国際奉仕委員会			
23. 地区世界社会奉仕委員会	270,000	300,000	
24. 地区国際友好委員会			地区親睦活動委員会から名称変更
25. 地区友情交換委員会	0	0	2004-05年度より廃止
26. 地区ロータリー財団委員会			
27. 地区財団増進委員会	60,000	60,000	2004-05年度より統合
28. 地区国際親善奨学金委員会	50,000	50,000	
29. 地区GSE委員会	50,000	50,000	
30. 地区財団学友委員会	50,000	50,000	
31. 地区補助金委員会	20,000	20,000	
32. 地区米山記念奨学委員会	30,000	30,000	
33. 地区米山学友委員会	30,000	30,000	
34. 地区財務委員会	20,000	20,000	
35. 地区オムニバーコベンハーゲン委員会	50,000	50,000	
36. 地区100周年記念委員会	50,000	0	2005-06年度より廃止
37. 地区意義ある業績員選考委員会	20,000	20,000	
38. その他委員会	100,000	100,000	
39. 予備費	150,000	160,000	
Dの部 小 計	4,760,000	4,360,000	
<b>E. 旅費</b>			
1. ガバナー会	150,000	150,000	2回
2. バストガバナー会	500,000	500,000	7月、東京開催
3. ロータリー研究会	1,400,000	1,250,000	11月、東京開催
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	
5. 全国ガバナーエレクト会議	150,000	150,000	2回
6. 全国地区連絡会議	400,000	400,000	IC1回、青少年2回 他
7. その他会議	168,800	250,000	
Eの部 小 計	3,468,800	3,400,000	
<b>F. ガバナー事務所費</b>			
1. ガバナー事務所費	13,000,000	14,736,000	
2. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	
3. ガバナー月信発行費	3,800,000	3,800,000	13回発行
4. ガバナー公式訪問費	1,136,000	1,200,000	
5. 地区文獻資料室費	1,050,000	1,050,000	
6. 地区IC活動費	530,000	530,000	
7. 総予備費	873,000	437,200	
8. 臨時支出金	0	0	
Fの部 小 計	37,217,800	39,512,200	
支出合計	37,217,800	39,512,200	
次期繰越金	13,420,200	9,500,000	
総 計	50,638,000	49,012,200	

## 【特別地区資金】

### 収入の部

科 目	2004-2005年度 予 算	2005-2006年度 予 算	2005-06年度摘要
1. 前期繰越金	6,500,000	4,000,000	
2. 特別地区資金 上期@3,820 同 上 下期@3,820	12,606,000 12,606,000	12,224,000 12,224,000	半期人数: 2005-06年度3,200人(@3,820)
3. 雑収入	0	0	
収入合計	31,712,000	28,448,000	

### 支出の部

科 目	2004-2005年度 予 算	2005-2006年度 予 算	2005-06年度摘要
<b>A. 負担金</b>			
1. 地区大会	5,940,000	6,240,000	@1,950
2. 地区協議会	3,300,000	3,360,000	@1,050
Aの部 小 計	9,240,000	9,600,000	
<b>B. 事業費</b>			
1. 地区インターネット事業費	1,650,000	1,651,200	@616
2. 地区ロータリークラブ事業費	2,244,000	2,246,400	@702
3. 地区新世代活動事業費	1,155,000	384,000	@120
4. 地区青少年交換事業費	5,260,000	5,260,000	@1,650
5. 地区社会奉仕事業費	528,000	128,000	@40 2005-06年度より名称を変更
6. 地区世界社会奉仕事業費	2,079,000	2,080,000	@650
7. 地区財団奨学生事業費	792,000	793,600	@248
8. 地区GSE事業費	3,589,000	864,000	@270
9. 地区財団学友事業費	165,000	166,400	@52
10. その他の事業費	660,000	672,000	@210
11. 世界平和奨学金事業費	33,000	44,600	@14
12. 予備費	297,000	537,600	@168
Bの部 小 計	18,472,000	14,848,000	
C. 規定審議会代議員費	0	0	
D. 臨時支出金	0	0	
支出合計	27,712,000	24,448,000	
繰越金内訳			
GSE事業費	4,000,000	4,000,000	
規定審議会代議員費			
その他の事業費			
総 計	31,712,000	28,448,000	

### ガバナー事務所費の内訳詳細

科 目	2004-2005年度 予 算	2005-2006年度 予 算	2005-06年度摘要
1. 給与手当	3,710,000	4,282,500	
2. 家賃・光熱費	700,000	2,775,000	
3. リース料	280,000	750,000	
4. 事務用品費	550,000	240,000	
5. 印刷費	1,000,000	1,000,000	
6. 登録料など負担金	170,000	150,000	
7. 会議費	600,000	360,000	
8. 通信費	770,000	450,000	
9. 旅費交通費	450,000	450,000	
10. 渉外費	900,000	547,500	
11. 資料費	700,000	480,000	
12. 備品費	300,000	100,000	
13. 地区要覧費	496,000	700,000	
14. ガバナー補佐事務費	1,200,000	1,200,000	@100,000円×12名
15. 雑費	924,000	1,000,000	
16. 予備費	250,000	250,000	
合 計	13,000,000	14,736,000	

### 2005-2006年度予算の説明

#### (収入)

1. 前期繰越金は2004-05年度地区予算で予定されている繰越金額を計上した。
2. 地区資金の人頭分負担金は前年度と同額とし一般地区資金、1人年額9,460円、特別地区資金、1人7,640円とした。
3. 地区内会員数は会員減少を踏まえて、上期・下期とも3,200人で予定した。
4. 人頭分負担金により年度資金を賅うことが難しいので繰越金により補填をする。

#### (支出)

##### 一般地区資金関係

1. 2005-06年度は都市連合会(IM)を開催するため、予算を計上した。
2. 2005-06年度は地区指導者育成セミナーを開催するため、予算を計上した。
3. 2005-06年度よりロータリー情報センターが設立されるため、予算を計上した。
4. 地区広報委員会は地区クラブ奉仕委員会に広報担当者を置き、統合・廃止した。
5. 地区国際奉仕委員会は廃止した。
6. 地区家庭奉仕委員会、地区子ども奉仕委員会は地区社会奉仕委員会に各々担当者を置き、統合・廃止した。
7. 2005-06年度はライラ・セミナーを休止するため、地区ライラ委員会は地区新世代委員会に担当者を置き、統合・廃止した。
8. 地区100周年記念委員会はその任務を終えたため、廃止した。
9. その他、基本的に前年度予算を踏襲した。

##### 特別地区資金関係

1. 地区新世代活動事業費はライラ・セミナーを開催しないため、予算額を減額した。
2. 前年度地区子ども奉仕委員会事業費として計上されていた項目は、地区社会奉仕事業費と名称を変更し、地区子ども奉仕委員会の統合・廃止により事業費を減額した。
3. 2005-06年度はGSE派遣・受入準備年度となるため、地区GSE事業費を前年度より減額した。





2005-2006年度 国際ロータリー第2510地区 **クラブ会長・幹事一覧**

グループ	クラブ名	会長 幹事	クラブ事務所 所在地	事務所 TEL/FAX	
1	深川	北村幸雄 山藤一範	074-0003 深川市3条6番7号 プラザホテル板倉内	T(0164)23-2121 F(0164)23-2125	
	羽幌	東出 覚 加藤隆一	078-4108 苫前郡羽幌町南大通2丁目	T(01646)2-1005 F(01646)2-5970	
	妹背牛	梅沢 晃 大崎公介	079-0501 雨竜郡妹背牛町364番地21 妹背牛商工会館内	T(0164)32-2025 F(0164)32-2003	
	小平	東海林孝一郎 空橋 勲	078-3301 留萌郡小平町字小平町356-2 小平町文化交流センター内	T(0164)56-9500 F(0164)56-9555	
	留萌	河部 純 二ノ宮清信	077-0044 留萌市錦町1丁目 留萌産業会館内	T(0164)42-2058 F(0164)42-9000	
2	赤平	伊藤和敬 仙田哲夫	079-1136 赤平市本町2丁目1-15 西沢税理士事務所内	T(0125)32-2200 F(0125)32-3988	
	芦別	田中一廣 宗方裕之	075-0031 芦別市南1条東1丁目11番地 芦別商工会議所内	T(0124)22-3444 F(0124)22-3444	
	砂川	藤田 諄 堀江和美	073-0152 砂川市東2条北3丁目1-1 砂川パークホテル内	T(0125)62-3989 F(0125)62-4572	
	滝川	中島 健 伊藤和男	073-0032 滝川市明神町2丁目2-16 ホテルスエヒロ7階	T(0125)22-3344 F(0125)24-2755	
3	美幌	奥山裕章 高橋 誠	072-0025 美幌市西2条南2丁目2-3 美幌ホテルスエヒロ内	T(0126)62-2501 F(0126)63-4942	
	江別	津田政勝 最上裕之	067-0074 江別市高砂町10番地15	T(011)382-0939 F(011)382-0936	
	江別西	高橋周三 長谷川直紀	069-0812 江別市幸町10番地7	T(011)382-0081 F(011)382-0081	
	岩見沢	嵯峨義輝 武蔵輝彦	068-0004 岩見沢市4条東1丁目6-1 三井グリーンランドホテルサンプラザ4階	T(0126)24-0700 F(0126)24-0020	
	岩見沢東	金田省三 石橋宣利	068-0006 岩見沢市6条東1丁目1 平安ビル2階	T(0126)23-0945 F(0126)23-0945	
	栗沢	伊藤アキ 若浦俊夫	068-0127 空知郡栗沢町本町11番地 栗沢町商工会館内	T(0126)45-2002 F(0126)45-4655	
	栗山	椛澤忠彦 丸山絢司	069-1511 夕張郡栗山町中央2丁目1番地 カルチャープラザEki内	T(0123)72-1278 F(0123)72-4001	
	当別	高谷 茂 大澤 勉	061-0223 石狩郡当別町弥生1091 幌田西会館内	T(0133)22-0575 F(0133)22-0575	
	札幌	山中善夫 工藤俊也	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	
	札幌あけぼの	高坂輝雄 鈴木徹雄	063-0032 札幌市西区西野2条2丁目8-13	T(011)671-6569 F(011)671-6569	
4	札幌はまなす	岡西 功 光川眞量	001-0908 札幌市北区新琴似8条1丁目1-45 坂田ビル3階	T(011)736-6616 F(011)736-8322	
	札幌北	佐藤 公 鎌田慎司	060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6 ストークマンション札幌906	T(011)700-4511 F(011)700-4512	
	札幌モーニング	梅津征夫 宮部光幸	060-0005 札幌市中央区北2条西6丁目 第1道通ビル1階	T(011)242-3360 F(011)219-1308	
	札幌西	石黒直文 北川 誠	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	
	札幌西北	大島利一 久保 隆	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	
	札幌手稲	平田勝美 丹羽祐而	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)231-6724	
	札幌東	菊地弘嗣 川橋宏一	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	
	札幌清田	柏倉 慎 三澤龍子	060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1-14 コアレックスビル5階	T(011)632-5303 F(011)632-5308	
	札幌幌南	海野英爾 加藤康夫	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	
	札幌駒内	佐藤泰彦 川越 仁	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	
5	札幌南	武部 賢 佐藤源五郎	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011)231-1297 F(011)222-2744	
	札幌大通公園	田中利男 鏑原隆男	062-0931 札幌市豊平区平岸1条18丁目1-6 ルフズイール天神山1階	T(011)811-5160 F(011)811-5160	
	札幌セントラル	荒又重雄 高橋 都	060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目5-1 ジムテル210ビル4階49号	T(011)272-2390 F(011)533-1306	
	新札幌	嘉屋輝夫 望月好明	004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4-35 新札幌駅前ハイイツ202号	T(011)801-1311 F(011)801-1312	
	6	岩内	斉藤 徹 本間 裕	045-0003 岩内郡岩内町字万代1-4 幌ホテルうきよ内	T(0135)62-1201 F(0135)62-2822
		倶知安	滝口直久 斎藤知之	044-0033 虻田郡倶知安町南3条西2丁目 ホテル第一会館内	T(0136)22-1158 F(0136)23-2258
		小樽	吉村克之 松倉 弘	047-0032 小樽市福穂1丁目4-1 小樽グランドホテル内	T(0134)25-1515 F(0134)23-4196

グループ	クラブ名	会長 幹事	クラブ事務所 所在地	事務所 TEL/FAX
6	小樽南	新倉吉晴 小笠原俊介	047-0032 小樽市福穂1丁目4-1 小樽グランドホテル内	T(0134)25-1515 F(0134)23-4196
	小樽銭函	石岡信之 藤中博文	047-0261 小樽市銭函3丁目298番地 (医)ひまわり会礼拝院内	T(0134)62-4676 F(0134)62-4676
	蘭越	新見 健 志比川 武	048-1301 磯谷郡蘭越町蘭越町8-2 ふれあいプラザ21内	T(0136)57-5437 F(0136)57-5676
	余市	高橋哲雄 板倉俊久	046-0003 余市郡余市町黒川町3丁目141	T(0135)21-4171 F(0135)21-4172
	千歳	中山和朗 宮輝久	066-0036 千歳市北栄2丁目2-1 千歳全日空ホテル3階	T(0123)23-4470 F(0123)23-4600
7	千歳セントラル	須藤 丈 白木松敏	066-8520 千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳1階	T(0123)26-5788 F(0123)26-5788
	恵庭	中里邦治 内田信一	061-1441 恵庭市住吉町3丁目3-21 弘中税理士事務所2階	T(0123)32-2388 F(0123)32-6066
	北広島	鈴木政夫 馬場信吾	061-1134 北広島市広葉5丁目6-8	T(011)373-8892 F(011)373-8892
	長沼	森下 伸 清水慧子	069-1343 夕張郡長沼町旭町南1丁目1-2 KSインターナショナル内	T(0123)88-0801 F(0123)88-0801
	由仁	後藤篤人 蜂谷光雄	069-1203 夕張郡由仁町東栄78 俣後藤組内	T(0123)83-2634 F(0123)83-2664
	えりも	山内重保 西川一也	068-0204 幌泉郡えりも町字本町170-1 日高信用金庫えりも支店内	T(01466)2-2311 F(01466)2-2314
	三石	榎本恵子 志田 力	069-3107 三石郡三石町字旭町18 志田 力様方	T(01463)3-2423 F(01463)3-2423
	様似	田中正之 中村 茂	068-0014 様似郡様似町大通2丁目35-2 日高信用金庫大通支店内	T(01463)6-2341 F(01463)6-4584
	静内	不動信之 増本裕治	066-0018 静内郡静内町野町3丁目1-1 静内ウエリントンホテル内	T(01464)3-2481 F(01464)3-2485
	浦河	武田 豊 奥田宗夫	067-0013 浦河郡浦河町大通3丁目40-1 浦河ウエリントンホテル内	T(01462)2-8888 F(01462)2-8525
8	伊達	小野寺隆之 浅水勝男	062-0021 伊達市永末町33-3 ローヤル内	T(0142)23-0512 F(0142)23-0516
	室蘭	佐藤寿夫 小幡康宏	061-0022 室蘭市海岸町2-3-2 室蘭産業会館4階	T(0143)22-7545 F(0143)22-7545
	室蘭東	荒井孝亘 佐々木健治	060-0073 室蘭市宮の森町1丁目1-64 中島神社運送殿内	T(0143)44-3338 F(0143)43-7400
	室蘭北	神島 章 松田博文	060-0074 室蘭市中島町2丁目28-6 ホテル・サルート室蘭内	T(0143)45-6569 F(0143)45-6569
	登別	斎藤正史 上田博子	069-8691 登別市中央町5丁目6-1 登別市商工会議所会館内	T(0143)85-2428 F(0143)85-2428
	洞爺湖	前谷休市 秋田昌昭	049-5721 虻田郡虻田町宇洞爺湖温泉町53 秋田ビル2階	T(0142)75-3345 F(0142)75-2430
	函館	竹田公一 南部聖一	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	函館亀田	山口勝彦 玉井清治	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	森	松浦勝 木村英樹	049-2325 茅部郡森町字本町6-22 森商工会議所内	T(01374)2-2432 F(01374)2-2684
	七飯	渡会元紹 上野一義	041-1111 亀田郡七飯町本町648-19 上野一義様方	T(0138)65-7519 F(0138)65-7519
9	長万部	角 健 井上正範	049-3521 山越郡長万部町字長万部453-1 長万部商工会館内	T(01377)2-2270 F(01377)2-5257
	江差	田畑裕士 横内隆文	043-0017 檜山郡江差町字水堀町415-1 幌北海道開発内	T(01395)2-3576 F(01395)2-5052
	函五稜館郭	菅谷 剛 野野康宏	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	函館東	時田 茂 古田清一	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	函館北	増田定雄 増山 正	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138)23-3870 F(0138)22-2251
	上磯	月館久治 宮澤生雄	049-0111 上磯郡上磯町七重浜8-4-1 スパビーチ内	T(0138)49-4411 F(0138)49-2288
	松前	長岡武久 伊藤幸司	049-1506 松前郡松前町字唐津54 本間請夫様方	T(01394)2-2042 F(01394)2-3831
	白老	石田信雄 我喜屋 優	069-0902 白老郡白老町若草町2丁目3-1 白老観光センター内	T(0144)85-2736 F(0144)85-2988
	苫小牧	山本正幸 山口昭悦	063-0022 苫小牧市表町1丁目1-13 苫小牧経済センタービル6階	T(0144)36-2688 F(0144)36-3344
	12	苫小牧東	松下昌平 斉藤英明	063-0006 苫小牧市新中野町3丁目1-12 川端ビル内
苫小牧北		谷岡裕司 櫻井謙二	063-0006 苫小牧市新中野町3丁目1-12 川端ビル内	T(0144)33-0112 F(0144)33-7744

(敬称略)

2005-2006年度 **ロータリー定期報告関係一覧**

報告事項	報告書式・方法およびその時期	報告先
* 半期報告	書類はR I 日本事務局から直接幹事へ送付されます。 a. 半期報告 b. 会員リスト 2005年7月1日、2006年1月1日付で送付して下さい。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
国際ロータリー取扱分・送金明細書（人頭分担保金・比例人頭分担保金・資料代）	人頭分担保金・資料代： 2005年7月1日付で作成（半期報告書） 2006年1月1日付で作成 比例人頭分担保金・資料代：2005年10月1日付で作成（四半期報告書） 2006年4月1日付で作成	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
* 新会員の報告	書式見本は「幹事要覧（P.37）」に掲載 新会員入会の都度報告します。用紙は、R I 日本事務局から無料で入手できます。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
* 会員退会届け	書式見本は「幹事要覧（P.37）」に掲載 会員が退会した時に報告します。用紙はR I 日本事務局から無料で入手できます。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
* 会員の情報変更	書式見本は「幹事要覧（P.37）」に掲載 会員の記載事項が変更になった時報告します。用紙はR I 日本事務局から無料で入手できます。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
月次出席報告	毎月、最終例会終了後15日以内に報告して下さい。 書式は「会員数および出席報告」をコピーしてご使用下さい。	ガバナー事務所
* 役員または例会情報の変更	クラブ会長、幹事の氏名及び住所並びに例会場・例会時刻等の変更があった場合、直ちに報告が必要です。 グループ担当ガバナー補佐へのご連絡もお願い致します。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所 写：グループ内クラブ 写：担当ガバナー補佐
* 公式名簿記載資料	R I から次年度クラブ役員の公式名簿記載資料が、10～11月頃送付されます。 次年度クラブ役員をもなく記載し12月末迄に各々ご送付下さい。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所 写：ガバナー・エレクト事務所
全日本会員名簿	ロータリーの友委員会から名簿調査票が送付されます。変更、追加、修正を行って返送して下さい。	ロータリー全国名簿編集室
地区大会 選挙人指名、信任状証明書	信任状委員会が発行する信任状に記載します。 信任状は選挙人が地区大会に持参することになります。	地区大会信任状委員会
R I 国際大会 代議員の選任、委任状による代理者の指定、信任状	R I から信任状が送付されてきます。 会員数、代議員数、代議員の選定日を記入し会長、幹事の署名をします。 代議員に関してはクラブで代議員を定めるか、慣例的に代理者をガバナー・エレクトに指定することが多くなっています。	国際大会信任状委員会
ロータリー財団	寄付を実践した場合、「ロータリー財団への寄付・送金明細書」に記入し提出して下さい。 寄付金の振込口座は次項をご覧ください。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
米山記念奨学会	寄付を実践した場合、各クラブへ送付されている振込用紙に記入し提出して下さい。 寄付金の振込口座は次頁をご覧ください。	財団ロータリー米山記念奨学会 写：ガバナー事務所

\* 印の報告書はR I ウェブサイト（www.rotary.org）の「ロータリー・ビジネス・ポータル」を通じて行えます。

2005-2006年度 **ロータリー定期報告先所在地・連絡先と送金の振込口座一覧**

名称	所在地	TEL	FAX	送金の目的・種別	銀行振込口座
国際ロータリー	Rotary International One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201 U.S.A.	1-847-866-3000	1-847-328-8554 または 1-847-328-8281	特記事項 1. ロータリーレートはR1より連絡があります。 円に換算時の端数は送金合計金額で切り上げて処理して下さい。 2. 振込手数料は各クラブでご負担をお願い致します。 3. 送金期限を厳守願います。	
ロータリー財団	The Rotary Foundation One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201-3698 U.S.A.	寄付増進関係 1-847-866-3222 人道的プログラム 1-847-866-3304	1-847-328-5260 1-847-866-1894		
国際ロータリー 日本事務局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階	奉仕室 03-3903-3161  財団室 03-3903-3192  経理室 03-3903-3183  資料室 03-3903-3194	03-3903-3781 (各室共通)	国際ロータリーへの振込 (人頭分担当・比例人頭分 担当・資料代・WCS等)	三井住友銀行 新宿通支店 普通預金6733244 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島四郎
				ロータリー財団寄付 税制上の優遇措置 扱い分(20万円以上 の教育的分野への 寄付、恒久基金 と年次プログラム 基金の区別を問わ ない)	三井住友銀行 本店営業部 普通預金8719834 国際ロータリー 日本事務局 日本ロータリー 奨学金委員会 所長 大島四郎
				個人又は法人が一 括10万円以上20万 円未満の寄付をす る場合	東京三菱銀行赤羽支店 普通預金1568210 特定非営利活動法人 ロータリー日本財団 理事 岩井 敏
				10万円未満と クラブ寄付	三井住友銀行 本店営業部 普通預金0968049 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島四郎  東京三菱銀行本店 普通預金1528228 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島四郎
				米ドル建の振込	三井住友銀行 新宿通支店 普通預金0100707 国際ロータリー 日本事務局 事務局長 大島四郎
第2510地区 ガバナー事務所	〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3階	011-207-2510	011-207-2510	一般地区資金 特別地区資金 ガバナー月信購読料	北洋銀行すすきの支店 普通預金0925116 国際ロータリー第2510地区 ガバナー事務所 財務委員長 藤井英勝
ロータリーの友 事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階	03-3436-6651	03-3436-5956	ロータリーの友購読料	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金6326314 ロータリーの友事務所
財ロータリー 米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階	03-3434-8681	03-3578-8281	普通寄付 特別寄付	三井住友銀行 京橋支店 普通預金0920373 財ロータリー米山記念奨学会

※ロータリー財団寄付の振込口座詳細については次頁をご覧ください。

# ロータリー財団寄付の振込口座

	ロータリアン	法人	クラブ	地区
一括20万円以上の年次寄付と恒久基金寄付				
10万円以上20万円未満の年次寄付のみ				
上記以外の寄付				

免税 (20万円以上の教育的分野への寄付、恒久基金と年次プログラム基金の区別は問わない) の振込先

- 三井住友銀行 本店営業部 普通預金 8719834  
国際ロータリー日本事務局  
日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島四郎

## 10万円から20万円未満

- 東京三菱銀行 赤羽支店 普通預金 1568210  
特定非営利活動法人ロータリー日本財団理事 岩井敏

## その他の寄付

- 東京三菱銀行 本店 普通預金 1528228  
国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
- 三井住友銀行 本店営業部 普通預金 0968049  
国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎

国際ロータリー為替レート  
2005年7月  
米貨1ドル=108円



～出会い・友情・奉仕～

2005年10月15・16日  
国際ロータリー第2510地区

## 地区大会

ホストクラス 札幌東ロータリークラブ

- 札幌コンベンションセンター●

### 第1日目

10月15日(土)

登録開始  
会長・幹事会  
本会議 第1日目  
フォーラム・  
パネルディスカッション  
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
(札幌ロイヤルホテル)

### 第2日目

10月16日(日)

登録開始  
本会議 第2日目  
《記念講演 養老孟司》  
懇親会  
(札幌パークホテル)

### 10月14日(金)

記念ゴルフ大会／札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース

### 10月10日(祝)

記念囲碁大会／日本棋院北海道本部囲碁会館  
(アステイ45)

### 記念講演

《バカの壁》



養老孟司 氏

#### プロフィール

昭和12年 神奈川県鎌倉市に生まれる  
昭和37年 東京大学医学部卒業  
一年のインターンを経て、解剖学  
教室に入る  
以後解剖学を専攻  
昭和42年 医学博士号取得  
昭和53年 東京大学医学部教授に就任  
東京大学総合資料館長、東京大学  
出版会理事長を兼任  
平成7年 東京大学を退任  
平成8年 北里大学教授に就任  
(大学院医事人間科学)  
平成10年 東京大学名誉教授  
平成15年 北里大学を退任  
平成元年 『からだの見方』(筑摩書房)で  
サントリー学芸賞を受賞  
『バカの壁』(新潮社)で  
毎日出版文化賞を受賞

2005～2006年度  
国際ロータリー第2510地区

## 地区大会 事務局

〒060-0042  
北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F  
TEL・FAX(011)207-2512  
e-mail: d2510go@wave.plala.or.jp

2005-2006年度 **地区カレンダー(予定表)**

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 IM、クラブ周年行事	
2005 年 平 成 17 年 （ ）	識字率向上月間	7	2(土)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 地区国際親善奨学金委員会 06-07青少年交換長期派遣候補学生選考試験  04-05青少年交換長期派遣生帰国  05-06青少年交換長期派遣生出発	9(土) 10(日) 24(日)	第1回ガバナー会 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 ロータリーの友委員会 第1回JYEC会議 第1回全国青少年交換委員長会議  ロータリー財団地域セミナー		
	2 0 0	会員増強および拡大月間	8	1(月)~5(金) インターアクト海外研修(韓国・木浦市) 05-06アメリカ・カナダ・フィンランド受入学生来日  地区会員増強会議	28(日) 30(火)	米山記念奨学会、理事会・評議員会	第12グループIM	
	5 （ ）	新世代のための月間	9	2(金)~3(土) 地区親睦野球大会	11(日) 18(日) 27(火)	ロータリーの友委員会(予定) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー  ローターアクト・アジア第1ゾーン会議	小樽銭函 RC 30周年記念式典 札幌西 RC 45周年記念式典	
	平 成	職業奉仕月間 米山月間	10	ローターアクト地区協議会(室蘭市) 地区大会記念開暮大会(日本棋院北海道本部囲碁会館・札幌市) 地区大会記念ゴルフ大会(札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース) 地区年次大会(札幌コンベンションセンター他) 財団学友会総会	2(日) 8(土)	米山奨学生募集開始	千歳セントラル RC 15周年記念式典 当別 RC 30周年記念式典	
	17 年 （ ）	ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 (11/5を含む1週間)	11	6(日) 米山奨学生・学友・ロータリアンそして家族との交流会 ローターアクト北海道交流会(千歳市)  青少年交換短期派遣生募集開始	13(日) 24(木)~25(金) 26(土)~27(日)	ROTARY-NO-TOMO発行 ロータリーの友委員会(予定)  ロータリー財団地域セミナー 第2回ガバナー・エレクト研修セミナー 第2回ガバナー会 ロータリー研究会(東京)	第7グループIM	
		ロータリー家族月間	12					
	2006 年 平 成 18 年 （ ）	ロータリー理解推進月間	1	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 ガバナー補佐会議 青少年交換短期派遣生選考試験 07-08国際親善奨学生応募開始 2006年度米山奨学生選考試験	29(日)		ロータリーの友委員会(予定)	
		2 0 0	世界理解月間	2	札幌スキー・マラソン(新世代) 06-07国際親善奨学生オリエンテーション	16(木)~23(木) 18(土)~19(日)	国際協議会(米国・サンディエゴ) 全国ローターアクト研修会	
		6 （ ）	ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23)	2	26(日) 2006年3月終了米山奨学生歓送会			
		平 成	世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間)	3	5(日) 地区チーム研修セミナー GSEチーム第3350地区(タイ)派遣予定 地区R財団セミナー、地区米山セミナー(予定) 会長エレクト研修セミナー 07-08国際親善奨学生応募締切り	25(土)~26(日)	ロータリーの友委員会(予定)	
		18 年 （ ）	ロータリー雑誌月間	4	23(日) 青少年交換長期派遣生募集開始 財団学友帰国報告会 地区協議会 新規米山奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会	15(土)~16(日)	ROTARY-NO-TOMO発行 第3700地区(韓国)地区大会	
			R I 国際大会 ロータリー親睦活動月間	6	11(日)~14(水) ローターアクト地区大会(札幌市) インターアクト地区年次大会(札幌市) 新旧ガバナー補佐会議 新旧地区委員長・ガバナー補佐合同会議 07-08国際親善奨学生選考試験	11(日)~14(水)	国際大会(コペンハーゲン・マルメ)  米山記念奨学会、理事会・評議員会	札幌北 RC 創立35周年(予定) 第3グループIM(美唄) 余市 RC 創立45周年(予定) 札幌大通公園 RC 創立5周年(予定)
			9	塚原年度地区要覧発行				

\* 特記事項および注記 地区内クラブの周年記念行事の日程は担当ガバナー補佐を通じて、早めにガバナー事務所までご連絡下さい。  
IMは決定次第掲載致します。

2005-2006年度 **ガバナー事務所スタッフと担当**



地区代表幹事 **関 堂 勝 幸**

- ・ 総 括
- ・ ガバナー諮問委員会
- ・ ガバナー補佐関係
- ・ 地区大会 ・ 公式訪問
- ・ オン・ツー・コペンハーゲン委員会
- ・ 地区文献資料室

所属クラブ 札幌東RC



地区幹事 **矢 橋 潤一郎**

- ・ 新世代委員会
- ・ 青少年交換委員会
- ・ ローターアクト委員会
- ・ インターアクト委員会

所属クラブ 札幌東RC



地区幹事 **星 野 恭 亮**

- ・ 地区大会
- ・ GSE委員会

所属クラブ 札幌東RC



地区幹事 **中 山 裕 視**

- ・ 次年度業務全般

所属クラブ 札幌真駒内RC



地区幹事 **土 倉 裕 之**

- ・ ローターリー財団委員会
- ・ 国際親善奨学金委員会
- ・ 補助金委員会
- ・ 財団学友委員会
- ・ 米山記念奨学委員会
- ・ 米山学友委員会

所属クラブ 札幌東RC



財務委員長 **藤 井 英 勝**

- ・ 地区資金管理

所属クラブ 札幌東RC



地区幹事 **平 公 夫**

- ・ 拡大委員会
- ・ 会員増強委員会
- ・ クラブ奉仕委員会
- ・ 職業奉仕委員会
- ・ 社会奉仕委員会

所属クラブ 札幌東RC



財務委員(会計) **酒 井 純**

- ・ 地区資金会計

所属クラブ 札幌東RC



地区幹事 **長 澤 昇 司**

- ・ 国際奉仕委員会
- ・ 世界社会奉仕委員会
- ・ 国際友好委員会

所属クラブ 札幌東RC



財務委員 **若 木 日出男**

- ・ 地区資金

所属クラブ 登別RC



地区幹事 **小 林 隆 聖**

- ・ ガバナー月信
- ・ 情報・IC委員会
- ・ 公式訪問

所属クラブ 札幌東RC



財務委員 **上 田 正 佳**

- ・ 次年度地区資金管理

所属クラブ 札幌真駒内RC



地区幹事 **伊 藤 公 一**

- ・ 地区チーム研修セミナー
- ・ PETS
- ・ 地区大会
- ・ IM

所属クラブ 札幌東RC



ロータリーの友地区委員 **黒 澤 昌 彦**

- ・ ローターリーの友
- ・ ガバナー月信

所属クラブ 札幌東RC



## ガバナー事務所からお願い

1. クラブの出席報告について  
毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ提出するようにお願い致します。  
(FAX、メールもしくは電話可)
2. 変更等のご報告について  
新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。  
新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。  
また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告をお願い致します。
3. クラブの移動例会等について  
地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。
4. 各月ごとのクラブ会報について  
当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。
5. ガバナー月信への原稿寄稿について  
特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。  
原稿締切り日は毎月10日です。(メールでも可)

## 例会曜日・例会時間変更について

芦別RC：2005年7月より下記の通り例会曜日を変更致します。  
(旧) 毎週金曜日 → (新) 毎週木曜日

札幌大通公園RC：2005年8月第1例会より下記の通り変更致します。  
(旧) 毎週月曜日 18：00 → (新) 毎週金曜日 18：30

## 例会変更について

江別RC：2005年7月14日(木) 18：30～  
場所：レストラン マキシドルパ

ガバナー事務所：〒060-0042

札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3階

電話・FAX：(011)207-2510

E-mail：d2510go@wave.plala.or.jp

執務時間：10:00~17:00 (土・日・祝祭日休み)

**SERVICE Above Self**



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2510

*No. 2* **8**  
*2005.*



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

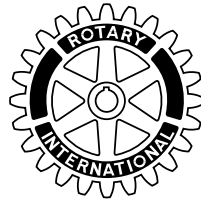
TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
会員増強と退会防止	04
ロータリー国際大会に参加して	05
地区委員会活動計画	06
新ロータリークラブ結成のお知らせ	13
ロータリーの友委員会報告	14
地区ローターアクト委員会報告	14
地区大会のご案内	14
新入会員のご紹介	15
文庫通信	15
ガバナー事務所からお願い	16
地区カレンダー (8月・9月)	17

---



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

## ロータリー! より拡く、より強く

雲の峰に夏の訪れを知ります。会長・幹事さん、いかがお過ごしでしょうか。私もシカゴの国際大会より帰国後、間もなく公式訪問が始まり忙しい日々を送っておりますが、息災に過ごしておりますのでご安心ください。ご承知のように8月は会員増強および拡大月間です。RIの任務の第一はロータリーの拡大です。なぜなら全世界にわたってロータリーの理想を推進するためには、会員数が増えクラブの数が増えればそれだけ奉仕の輪が広がるからです。したがってロータリーの拡大・増強は国際ロータリーの永遠のテーマです。以前は増強を議論する時必ず量か質かの問題が提起されましたが、最近では職業人としての質はお構いなし、人の顔さえ見れば入れ入れとロータリアンは保険の外交員宜しく、会員増強がノルマとなりました。ロータリークラブは数を頼む集団となりロータリーの心は失われてしまいました。その結果、「悪貨は良貨を駆逐する」の例えの通りロータリーは魅力を失い大事なクラブの宝であるベテラン会員の退会が相次ぎました。何故RIはなりふりかまわず会員増強に憂き身をやつたのでしょうか。歴史的背景を探ってみましょう。ロータリーの看板と言われ、ロータリーを今日の隆盛に導いた職業奉仕はポール没後、ロータリー運動の主流から外れました。すなわち1947年、ポール・ハリスが亡くなった年にRIの職業奉仕委員会は廃止されました。そして第二次世界大戦を契機に世界平和の考え方が導入されます。また1960年頃からWCSが中心になり、国際ボランティアの道をRIは選択しました。3H、ポリオプラスと進展し名実共にロータリーは職業奉仕を捨てて、国際ボランティア団体となりました。

さらにロータリー財団の創立が国際ボランティア運動推進に拍車をかけました。1917年アーチ・クラフが財団を設立しました。最初は寄付が集まらず開店休業の状態でしたが、ポールの死を悼んで財団奨学生のためのポール・ハリス・フェローが盛んになりました。莫大な寄付金が集まりました。もともと教育を通して国際理解を深め、その結果として世界平和を図ろうという目的で出来ましたが、財団本部が国際ボランティア事業を拡大して自ら事業主となりました。財団はもともとRIの一機構に過ぎなかったのですが、財団がRIの主役となりました。今や財団無くしてロータリー無し。そしてRIは財団の集金係りとなりました。財団がボランティア活動に専念する為には、大量の資金が要ります。会員増強が至上命令となり、なりふり構わぬ会員増強と財団寄付が叫ばれます。私はRIが国際ボランティア活動に参加する事を否定するものではありません。ロータリーは世界的な組織であります。だからロータリー財団は世界的なマクロな視点に立つのは当然です。会員増強と財団寄付を最重点目標として、飢餓追放、貧困対策、災害救助、疾病予防、識字率の向上など国連や赤十字、ユニセフのお手伝いをする人道的国際奉仕の道を進むのは当然の成り行きであります。世界は一つ、世界平和の為に弱者を救済する事はロータリアンの義務であり、我々も協力は惜しむものではありません。

しかし奉仕の心を学ぶ場であるロータリーが、このようにしてボランティアという刹那的な金銭奉仕にのみ心が奪われると、ロータリー運動の原点である親睦の理解が上辺だけのものにならざるを得ず、ロータリー運動の虚飾性は一段と強いものになってきます。そして、その上、ボランティア活動そのものは奉仕の適切なテーマであるにしても、その寄付活動に参加する前後の「心の空洞化」は回避する事は出来ず、ロータリー運動の実情は単なる偽善的かつ断片的なお付き合いの奉仕活動となってしまっているのです。日本ロータリーの始祖、米山さんが例会出席を通じて、各ロータリア

ンとの親睦の内にロータリーの心を会得し、その心をもって千差万別な実践活動を行ったのは大変異なるのであります。最近のロータリーは奉仕の心の裏付けの無い断片的行動ないし、団体的事業計画の奉仕ばかりで、二重人格的世界の中の仮住まいという情けない状態になってしまいました。

長々とポール・ハリス没後のロータリーの流れについてのべました。しかしロータリー100周年を機にその潮流が少し変化しました。その一環として国際協議会で職業奉仕の再構築が取り上げられました。職業奉仕はロータリアンにも地域の人たちへもベネフィットを与えてきました。その職業奉仕をないがしろにしてロータリーは魅力を失い、求心力を失いました。会員の退会増加がそのことを明確に示しています。長い間国際ロータリーでは職業奉仕という言葉は「死語」となっていました。しかし昨年2月の国際協議会で今まで誰もRIの公式講演の場で発言できなかった職業奉仕の再構築について元RI会長ビチャイ・ラタクル氏は爆弾的・革命的発言をされました。ラタクル氏の講演を引用します。「ロータリーは貧困、飢餓、疾病に苦しむ何十億人もの人を救い、豊かにしてきました。ロータリーが人道的経済的プログラムで嵐を切り抜けどれほど貢献してきたか、それは誇るに足ることです。しかしそれは立派なことであっても所詮外面的な行いを見ているに過ぎません。ポリオとの戦いには勝つでしょう。あらゆる病気、教育、貧困になお手を差し伸べなければなりません。この世に善を成すためには、自らの力の限界を知らなければなりません。しかし力の源となる奉仕の哲学が事々に裏切られたのが今の世代なのです。私が申し上げたいのはロータリーの内面の問題です。ロータリーに課せられたもっとも重大な挑戦課題でありながらこのところずっと無視されてきた問題です。いく年もいく年も話題にもされず討議もされなかった挑戦課題 それはロータリーの看板職業奉仕です。今もこれからも職業倫理の提唱と自愛の心をロータリアン以外の人々に分かち与えていかねばならないのです。残念ながら私たちの多くがこの最も重要なロータリー哲学の真髄を忘れてしまいました。なんと恥ずかしいことではありませんか」

ロータリー101年目、我々に課せられた最大の使命はかつてロータリーを隆盛に導いた職業奉仕の再構築です。増強・拡大はロータリーの永遠の課題です。しかしその前に魅力あるクラブを作ることが大前提です。ラタクル元RI会長の言葉どおり職業奉仕はロータリーの魅力の源泉でした。(これについては10月の職業奉仕月間で触れます)

各クラブ会員純増1名はステンハマー会長の要望です。新たなロータリーの世紀を踏み出す仲間を1名増やしてください。また増強は単にRI会長の要望だからするのではなく、クラブの存続にも新しい血の導入が欠かせません。ただし会員の選考はクラブ細則の通り厳格に行ってください。2、3の不良会員を入れるとクラブ全体が駄目になってしまう。「りんご箱の中のりんごが1個でも腐ると皆腐ってしまう」という言葉があります。今年のアナハイムでもヨーロッパは会員選考を厳しくしたので会員数が増えてきたという報告がありました。会員選考は世界的に量から質への回帰が再び問われる時代となりました。難しいことですが、ロータリーに相応しい新会員を探してください

いささか駄弁を弄してしまいました。向暑のみぎり会長・幹事の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

参考文献 佐藤千寿氏(不易流行) 小堀憲助氏(ロータリー運動)

ガバナー公式訪問ではありがとうございました



小樽南RC公式訪問（7月1日）



栗山RC公式訪問（7月5日）



江別RC公式訪問（7月7日）



赤平RC公式訪問（7月12日）



岩見沢東RC公式訪問（7月12日）



## 会員増強と退会防止

地区会員増強委員会

委員長 遠藤 秀雄 (登別RC)

ロータリーにとって永遠のテーマである。歴代のRI会長の強調事項の一番目に、この問題があげられている。国際ロータリーの会員数150万人が悲願となっているのである。各クラブにおいても新入会員を迎え入れないと新陳代謝がはかれず、特に会員数の少ないクラブでは運営そのものに支障をきたし、活性化を失ってしまう。

国際ロータリーの中で日本はここ十年來最も会員減の著しい国であるが、2510地区とて例外ではない。大多数のクラブが新入会員獲得に四苦八苦しているのが現実である。

6月14日2005-06年度第1・2ゾーン地区会員増強合同セミナーが東京で開かれた。2004年7月～2005年4月報告調査一覧が示されたが、第1～3ゾーンで481名の増となっているが、その内女性増が269名をしめている。この10ヶ月で会員減は28地区中9地区であり、女性会員減は2510地区だけであった。2750地区のように女性会員を79名も増やしている地区もあるのには驚いた。どの地区も会員増強には真剣に取り組んでいる様子がうかがわれる。

意見交換の場では、定年退職者に入会してもらい積極的に奉仕活動に参加してもらっている例や、女性会員によるキャラバン隊を編成して女性会員のいないクラブを訪問し、女性会員の良さを卓話したり、企業の集まりで知り合った適格者を各クラブに紹介者リストを作って紹介する等のアイデアも出された。総論としては職業倫理による会員の質の向上、広報の重要性、クラブの魅力の構築であろう。

新入会員の獲得が難しくなっていくなかで、もう一つの問題は退会防止であろう。2510地区でも退会者リストがすべて地区事務所に届いていないが、提出された分では、この一年間で入会3年未満の退会者が43名あった。もしこの人達に我々会員が親睦と奉仕の実践を通してロータリーの魅力を伝えることが出来ていたら、何割かは防止できたのかも知れない。卓話もクラブ例会の魅力の一つであろう。卓話者リストの交換や、地区委員会の活用も是非願いたい。

わが地区でも暗いニュースばかりではない。函館市が中核都市となったのを機に新クラブ結成の気運が芽生え、前年度内には間に合わなかったが近々承認を待つばかりである。ロータリーの活性化につながることを願っている。





## ロータリー国際大会に参加して

国際ロータリー2510地区

2004-05年度100周年記念委員会

委員長 **岩城秀晴** (札幌南RC)

「ロータリーを祝おう」をテーマにアメリカのシカゴにおいて開催された国際大会は、従来とは違った大きな大きな大会でありました。

私は、この大会に臨むにあたり、昨年のお阪大会の終了と同時にこの大会に参加することに胸の高鳴りを覚え、かつ、希望と未来に向って目を輝かし、心が弾んだことでありました。

何故か。この大会は、RIが設立されて100周年目であることと同時に、創始者でありますポール・ハリスの成育された地において開催されるからでありました。

本年6月18日(土)に札幌を発ち、新千歳から羽田へ、羽田からシカゴへと飛行時間12時間有るの旅立ちを致しました。到着致したのは、同日の15時で、税関の検閲を通過して、ホテルに着いたのが18時30分であり、19時からの北海道ナイトに漸く手を伸ばして出席したという状況でありました。お蔭様で、北海道ナイトには、2500地区の方々と2510地区の方と併せて、107名が参集して戴きました。そして、内容は酒井正人100周年記念委員の司会により、遠藤ガバナート、オン・ツウ・シカゴ委員長の挨拶により、海外での同胞同志が胸襟を開いて懇親会を致して、お互いにこれからのロータリーの夢を語り合いました。最後に2510地区100周年記念委員長のお礼の詞を述べて散会致しました。参加者の皆様、お疲れ様でした。

翌日19日(日)は、日本人朝食会が日本人理事主催により開催されたので、参加致しました。主催する方としては、500名を予定したのですが、実際には700名有るとなりまして、大変な盛会でありまして、大会第1日目の事でもあり、気持の上か、大いに盛り上がった会でありました。

さて、開会式であります、1日を3回に分けて開催されまして、日本の我々は、16時30分からの開会でした。その会場の規模は札幌ドーム2つ位の広さであり、会場での待合は大変厳しいものでした。



大会の内容は、地区大会と同様に各セレモニーが終始致しました。本来は、大会の内容を記すべきところですが、会場外における友愛の広場で海外の人達とコミュニケーションをとった事も大きな財産となりました。

さて、大会3日目ですが、6月20日(月)は、バスでエバンストンにあるRI本部を訪問してハリスの実物像と握手をしたり、本部の空気と事務室とを見学して、これからのRIの本部に期待をこめて参りました。それを後にして、次はポール・ハリスの墓地に御参り致しました。100周年のロータリーを設立し、かつ育てたハリスのお墓に手を合わせ、合掌又はお祈り致して、敬虔な気持ちになって、ロータリーの喜びを分かち合った次第です。

次に「カムリーバンク」を訪れまして、ハリスが生活した家庭の中を拝見致しましたが、先輩である竹山元RI理事が熱心に私達にこの建物の存続運動をされていることでもあるので、少しでも長くとの願いで、想いに耽っておりました。それにしても時間が経過しましたので、バスまで歩いておりましたところ、オット氏が立止まっておられましたので、この存続について竹山さんの話しをいたしましたところ、ロータリークラブがその資金を募って存続させることにしていると聞かされて、この大会に出席出来なかった竹山さんのお土産話になると喜んで帰国致しました。

お蔭様で、100周年記念委員会と致しましては、事業の計画を全部終了することができましたので、皆様方にご報告とさせて戴きます。大変有難う御座いました。

## 地区委員会委員長および活動計画

### 会員増強委員会

委員長

遠藤 秀雄  
(登別RC)



#### 1. 活動方針

会員増強は国際ロータリーの大きな目標であり、各クラブ純増1名を目指したい。  
退会防止も呼びかけたい。

#### 2. 活動計画

- ①RI会員組織コーディネーターを招いて地区会員増強委員会を8月に開催予定
- ②要請があれば会員増強について卓話に出向きたい。

### 拡大委員会

委員長

岩城 秀晴  
(札幌南RC)



会員増強委員会と同様に大事な委員会であります。申し上げるまでもなく地区にとりましては新クラブを結成することは会員の増強にもつながって参りますので是非新クラブの結成を見たいのもであります。当地区には一番新しいクラブは札幌セントラルクラブです。このクラブは私のガバナーの時に誕生を見なかつたのですが、小林年度にRIへの加盟の認証を受けております。以後新クラブの誕生を見ておりませんが、本年こそ新クラブが誕生して欲しいと願っております。

その為には調査を行なって立派なクラブが結成できることを希望いたしております。

#### 1. 活動方針

地区内における新クラブの結成をする特別な任務を託されている。

#### 2. 活動計画

- ①将来クラブを結成するのに有望な地域について。  
まだクラブが結成されていない地域。
- ②調査
  - ①において未結成地域の整理。
    - ・2005年7月～9月：未結成地域の整理
    - ・2005年10月～12月：未結成地域における新クラブ結成の可能性
    - ・2006年1月～4月：新クラブ結成可能性へのアプローチ
    - ・2006年5月～6月：新クラブ結成とその手続き

### オン・ツー・コペンハーゲン委員会

委員長

佐藤 秀雄  
(千歳RC)



#### 1. 活動方針

国際ロータリー第96回コペンハーゲン国際大会の開催の意義、目的を多くの会員に理解して頂き大会参加を促す。

#### 2. 活動計画

- ①今回の国際大会はコペンハーゲンとマルメの2会場で実施されるため、委員会として、その詳細が解かり次第どのような形で参加するか検討し計画を立てたい。
- ②北海道ナイトを開催する方向で検討するが、参加人員によってはどうなるか検討したい。近年、国際ロータリー第2500地区と合同で開催しているが、今回も同地区に働きかけたい。
- ③大会の詳細が判明次第月信、IM等を利用し広報をしていく。

2005～2006年度 行事予定表

2005年9月：第1回委員会開催

2005年10月：月信で広報・参加者募集

2005年11月：第2回委員会開催

2005年12月：月信で広報・参加者募集

2006年1月：IM等を利用して大会の意義・目的の広報  
参加者呼びかけ

2006年2月：同上

2006年3月：同上

### 文献資料室

委員長

板橋 俊  
(札幌南RC)



当委員会は、ロータリーの情報源であります貴重な文献資料の整理、保管、収集が任務です。

今年度の主な活動としましては、文献資料の収集とそれに伴い貸し出しリストの製作を計画しております。

地区内各クラブには、強調月間のビデオのご利用が多いので、貸し出しビデオを増やし、より沢山のご利用をいただけるように務めて参りたいと思っております。

#### 1. 活動方針

文献資料等の整理・保管・収集が任務ですので、例年に倣い、しっかりと務めて参りたい。

#### 2. 活動計画

- ①新しい資料の収集を行い、貸出文献を増やして、地区内各クラブの多くの会員に利用して戴く。
- ②書籍等はなかなか繙く時間がないので、ビジュアルなビデオ等の利用をして戴くべく努力する。
  - ・2005年7月：今年度の活動計画打合せ委員会
  - ・2005年9月：新しい資料の検討会（書籍、ビデオ等）
  - ・2005年10月：文献資料の整理

- ・2005年12月：中間打合せ委員会
- ・2006年4月：文献資料の整理
- ・2006年6月：今年度結果・検討会

## クラブ奉仕委員会

委員長

羽部 大仁  
(札幌南RC)



塚原ガバナー年度の地区クラブ奉仕委員会を仰せつかりました。札幌南ロータリークラブの羽部で御座います。佐藤秀雄PG年度から地区クラブ奉仕委員会のお手伝いをさせて頂いております。3年目になります。

初年度から初めて取り組んだ事業は、地区のホームページにクラブ奉仕委員会を紹介させて頂きました。早い時期に委員会を開催して各委員のご意見を聞きながら、ホームページの更新をしたいと考えています。(各クラブで興味深いプログラムや特筆すべき会員増強、楽しい親睦例会などを委員会へお知らせ下さい)

委員会最大の任務は、地区協議会でクラブ奉仕部門を担当することです。今年度の協議会は去る4月10日に札幌市で開催され、第3分科会を担当し、クラブ奉仕委員長が参加され、熱心にクラブ奉仕の重要性について話し合いが出来たと存じます。又今年から地区広報委員会をクラブ奉仕委員会に併合して活動することになりました。幸い富原カウンセラー(PG)は広報の専門家ですので御指導を戴き委員会として何が出来るかを検討して参りたいと存じます。

ロータリーを取り巻く環境はこの数年とても厳しいものがあります。会員増強どころか、クラブ会員の減少(退会による)に各クラブは深刻に悩んでいる状況にあります。この状況からの脱却は、クラブ奉仕の実践しか道がないように感じています。楽しいクラブ例会、興味のあるプログラム、暖かな人間関係(会員相互の理解)が必ずロータリーの真の輝きを取り戻すに違いないと思います。どうぞ地区ロータリアンの皆さんには、各クラブにおいて親睦を通じて思いやりのある奉仕活動をお続け戴きたいと思っております。本年度の国際ロータリーのテーマは「超我の奉仕」です。初心に帰って奉仕の心を探っていきたく考えています。クラブ例会における卓話の要請が御座いましたら、地区ガバナー事務所或いは下記にご連絡下さい。(ガバナー事務所 TEL (011) 207-2510:羽部 TEL (011) 811-7465) 一年間宜敷くお願い致します。

## 情報・IC委員会

委員長

坂井 治  
(千歳セントラルRC)



情報・IC委員会からのお願い

「かつてロータリーの情報はガバナーやクラブ会長など特定の人にしか配布されませんでした。しかし、現在ではその気

になればインターネット上からほとんどの情報を取得することが出来るようになりました」これはある会合での塚原ガバナーのお言葉です。

しかし、インターネット上の情報はパソコンの前で待っていても入ってきません。

情報・IC委員会では氾濫する情報の中から必要な情報を会員の皆さんがいち早く取得できるようお手伝い致します。

その手段の一つとして

1. メールマガジンを配信し、RI、RJW(ロータリージャパンウェブ)、ロータリーの友などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を速やかにガバナーはじめ地区内の会員に電子メールを通じて配信します。
2. 地区ホームページを作成し、地区から発信する情報および地区内各グループ、各クラブからの情報を掲載し情報の共有化とクラブ間の親睦の補助的役割を果たします。

そこで各クラブ会長さんにはお願いです。

1. インターネット接続のできる会員さんに出来る限りメールマガジン(ニュース2510)の購読(無料)をお勧めしてください。  
購読方法は2510地区ホームページ<http://www.ri2510.gr.jp/>を開き右側に並んでいるボタンのメールマガジンというところをクリックしていただければ手続画面が現れますので画面の指示通りに必要事項を入力していただければ完了です。
2. クラブやグループでの活動をホームページに投稿または情報提供してください。  
どうぞ有効にご利用ください。

## 米山記念奨学委員会

委員長

竹原 巖  
(札幌北RC)



### 1. 活動方針

ロータリーの目的と奉仕の一つである、国際理解と親善に寄与する米山記念奨学事業を支援するため、奨学事業の目的と意義について理解を深めていただき、また多くの留学生に支援の手を差し伸べることが出来るようにします。そして、ロータリアンと奨学生の交流を通じて相互理解と親善を深めて行きたいと思っております。

### 2. 活動計画

活動方針を具体化するため、次の活動を行うことを計画しております。

- ①(卓話の実施)10月の米山月間やその他の機会を利用して、奨学生並びに地区委員がクラブを訪問し奨学事業に理解を深めていただけるよう卓話を実施いたします。
- ②(奨学生の各種行事への参加)奨学生に地区行事・クラブ行事あるいは地域行事等に積極的に参加していただき、ロータリアンあるいは地域の方々との交流を通じて相互理解を高めるための支援をしていきます。

- ③ (世話クラブ・カウンセラー・指導教官との交流) 奨学生が安心して留学生活を送れるように、世話クラブやカウンセラーあるいは指導教官と連携を図り奨学生の生活や研究をサポートしていきます。
- ④ (カウンセラー研修会の開催) 奨学生のお世話をさせていただきますカウンセラーに役割等の研修会を実施し、よりきめ細やかなサポートが出来るようにします。
- ⑤ (オリエンテーションの開催) 奨学生に米山記念奨学生としての心構えについて説明会を開催します。
- ⑥ (交流会の開催) 奨学生・学友・ロータリアンそして家族との交流会を開催します。
- ⑦ (地区他委員会との連携) 地区の他委員会と連携を図り、交流活動を推進して行きます。
- ⑧ (寄付の増進) 寄付金の中には普通寄付金と特別寄付金の2種類ありますが、それらについて全国平均並の増額を目指すようクラブの協力をお願いします。

## 米山学友委員会

委員長

米谷 龍三  
(札幌東RC)



### 1. 活動方針

開設して4年度目を迎える米山学友委員会は、見延前委員長の米山学友会に対する理念を基本的に継承し、更なる発展を目指します。

学友会の主人公は、あくまで学友自身であるという原則に従い、支援の活動の具体案を作成し、実行に移します。活動目的の1つである、ロータリアンと学友との交流、友好、親善の輪をよりいっそう広めるため、関係委員会との密接な連携を深めていきたいと考えております。

### 2. 活動計画

- ①米山学友会の名簿について
  - (イ)米山学友会の名簿の補填
  - (ロ)米山学友会会員の連絡網の構築
- ②米山学友委員会役員と学友委員の合同会議の開催
- ③地区大会への積極的参加
- ④米山奨学委員会と学友委員会が一体となった事業を計画、実行
- ⑤定時総会や家族懇親会、そして奨学生歓送迎会の開催  
(可能な限り奨学会常務理事、財団委員長、米山奨学委員長を招聘する)
- ⑥機関紙学友会だよりの発行

### 所感

今年度から奇しくも私は、札幌東クラブの米山記念奨学委員長を委嘱され、同時に、新しい奨学生のカウンセラーも任せられることとなりました。文化や風習の異なった国で、仕事をされている奨学生OBの方々にとっては、我々の想像以上に御苦労があると思いますが、ロータリアンとして多少なりとも、経済的支援のみならず精神的な面でも、支援をしたいと考えております。そして、その2つの支援によって、数年後あるいは数十年後、我々ロータリアンと、国際親善や交流によって得られた貴重な体験を、次の世代に語りつがれ、

感謝の気持ちを感じる奨学生が生まれる事が出来れば、それは同時にロータリアンとしての喜びでもあり、まさにロータリーの基本理念に合致するのではないのでしょうか。基本的には、多年に亘って再構築された、見延前委員長の功績を礎にして、活動を発展、継承していくつもりです。

## 職業奉仕委員会

委員長

礪波 寿  
(札幌南RC)



### 地域社会に奉仕の実践を

2005-06年度、ロータリーの奉仕の第2世紀へのスタートが切られました。

RI会長のテーマ「超我の奉仕」、ロータリーの原点でありまじ職業奉仕を見直し、地域社会に「奉仕の実践」との指針があります。

私たち、職業奉仕委員会はその任務をしっかりと受け止め精神的に活動し地区内の各クラブに職業奉仕理念と、その実践のお呼びかけをいたします。

そして、地区内クラブから職業奉仕委員の卓話派遣の要請があった場合、出切る限りその要請に応えたいと考えています。更に、本年度は「特別プログラム」として、地区内各クラブの会員の中から職業を通じ地域社会に素晴らしい貢献をされた事例であるとか、経営危機を救う為に、この様な実践(四つのテスト)によって成功したとの体験(事例)を募集し、各クラブに紹介、又は記録する企画を予定しています。

## 社会奉仕委員会

委員長

小山 秀昭  
(札幌手稲RC)



### 1. 活動方針

ロータリー100周年を機に初心とロータリーの基本原則に帰り、ガバナー方針『充実したクラブを作ろう』に沿ってそれぞれの地域の足元を見直し「クラブと会員自らが奉仕活動の行動をする」のに必要な情報を提供する。

### 2. 活動計画

- ①地区内をいくつかのグループに分けクラブ委員長を中心にクラブの社会奉仕活動の発表と意見交換を行う場をつくる。
- ②各クラブの活動計画書の内容を分析しジャンル別に仕分けする。
- ③昨年度まで行われていた家庭奉仕委員会、子ども奉仕委員会は担当されました各委員さんのご努力により今後の活動の基盤が出来ましたので、今年度は縮小し担当委員を置きます。小林パストガバナーをはじめ携われました委員各位に深く敬意を表します。

## 国際奉仕委員会

委員長  
**橋本 信夫**  
(札幌西RC)



国際奉仕委員会は地区における国際関連事業の窓口であって外国地区との親善交流プログラムや発展途上国を対象にした人道的支援プログラムを効果的に企画・調整できるよう努めている。特に国際奉仕関連事業のPRと各クラブによる外国関連事業計画支援のためにメーリングリストによる情報ネットワークを構築し、クラブや会員との緊密な情報交換を図る。

今年度は以下の2つの事業を継続実施する。

- 第1 現在社会奉仕委員会が精力的に行っているアジア諸国に向けた人道的支援プログラムを効果的にバックアップする。これまでに各クラブから寄せられたさまざまな案件について、WCS委員会と連携しながら相手地区の状況、要請内容や援助費用などを調査するとともに相手団体や仲介団体との連絡などにも努め、安全且つ確実にプログラムを遂行できるよう調整する。特に今年度は水資源問題に関連した援助プログラムを企画し、具体化を図る。
- 第2 昨年秋にRI3700地区と当地区との間で調印された姉妹提携プログラムが円滑に進展するよう調整する。このため今年度は従来の国際親睦活動委員会の事業内容を広げ、新たに国際友好委員会と改組して韓国など外国地区との親善交流を含む新しい国際友好親善活動を開始する。

このように国際奉仕委員会は、WCS委員会と新しく模様替えした国際友好委員会がそれぞれの目的に合わせて効果的に活動できるようコーディネートする。

外交的プログラムは元来大変複雑なため、相手地区やクラブについて十分事前調査をした上で慎重に対応する必要がある。また実施に当たっては莫大なエネルギーを要すると同時に思いがけないリスクを伴う場合もある。このため豊富な経験と情報が不可欠で、少なくとも数年を見越した明確な活動方針と計画が必要となる。

## 世界社会奉仕(WCS)委員会

委員長  
**斎藤 修 弥**  
(室蘭RC)



### 1. 活動方針

ロータリアンが世界社会奉仕活動に参加することは、楽しくやりがいがあり報われるものです。当委員会は昨年6つの事業を実施しましたが、まだまだ各クラブの世界社会奉仕活動への意欲と認識が高まっていないと思います。

したがって当委員会としては、今年度地区内の全クラブが世界社会奉仕の意義を認識し、積極的に事業に取り組む意欲を喚起するため、具体的な啓蒙活動を展開していきます。

### 2. 活動計画

- ①世界社会奉仕活動(WCS)についての理解と意欲を高め

るため、地区協議会、地区大会等の機会をとらえて各種セミナーや説明会を開催します。

- ②国際奉仕委員会、国際友好委員会との連携を一層強化して情報の収集を図ると共に、共同事業の取り組みを拡大します。
- ③世界社会奉仕活動は事業を行うことも重要ですが、その検証はより重要です。先の長い友好関係を保つためにも、本年度は昨年事業を実施した関係各国を訪問して、その実態を調査し報告します。

## 国際友好委員会

委員長  
**矢橋 温 郎**  
(札幌西RC)



### 1. 活動方針

昨年度、遠藤秀雄ガバナーの基で地区大会の時に締結されました韓国第3700地区との姉妹地区友好を深める事を目的とする。

### 2. 活動計画

- ①インターアクト、ローターアクト、青少年交換、GSE等の委員会と連絡し交流を進めるよう努力する。
- ②本年10月15、16日に行われる当地区の地区大会に招待する。
- ③来年4月に行われる第3700地区の地区大会を訪問する。
- ④ガバナー月信の交換をする。
- ⑤その他適宜交流する際の便宜をはかる。

## 新世代委員会

委員長  
**細川 好 弘**  
(静内RC)



### 過ぎし日、私たちは新世代でありました。

心温かく接すれば敵味方をつくらず違いを認め合う、日本人の美しい心が伝わる古来の文化を新世代に伝えて下さい。命のこと、感謝のこと、思いやりのこと等々あたりまえの事を、あたりまえに身につけることを忘れていたのでしょうか。昨今の考えられない青少年に関わる事件の多発で、親や社会の責任を問う声があがっていますが、このことは範を示さなければならぬ人が、その役目を果たしていないところにも原因があるとも分析されています。

「ロータリーは青少年の模範」というロータリー標語に加えて、青少年と接する際の行動規範に関する国際ロータリーの声明として、ロータリー活動に参加するすべての人々のためにも最も安全な環境作りに配慮されるよう、ロータリアンその家族やその他のボランティアの人々に周知徹底を図るよう奨励されておりますが、将来指導者を志向する新世代にロータリーの熱意として伝えて行きたいものです。

過ぎし日、ロータリアンは新世代でありました。

地域社会での指導者であるロータリアンは未来を担う若い人

達の模範であります。青少年の指導力を伸ばし、人としての責任感を培う為のプログラムに参画して下さい。  
青少年交換、インターアクト、ローターアクト、関連委員会のプロジェクト推進に、ロータリアンの知恵と汗を賜りたいと願っております。

## インターアクト委員会

委員長

堀田 昌資  
(札幌東RC)



ロータリアンの超我的奉仕がインターアクターの心に響くよう。

ロータリーが新世代プログラムに取り組む機会を得て、世界平和と人類に希望をもたらす活動を通して多くの若い人達との交流を深める事業を実施致します。各事業の実施にあたっては、スポンサーロータリークラブとの連携を計りながら顧問教師の積極的な指導と学校側の理解と協力をいただく事で尊い成果が期待されます。新世代プログラムへのロータリアンの超我的奉仕がインターアクターの心に響くよう、新世代関連委員会と共に更なるご理解とご協力のほどお願い致します。

## ローターアクト委員会

委員長

柳 孝一  
(札幌南RC)



### 1. 活動方針

提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、クラブ会員の方と連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。そのためには、地区内ロータリアンを含む地域社会に広くローターアクトクラブを知って頂く、広報活動に努めます。

### 2. 活動計画

#### 【地区行事への参加と協力】

- ①ローターアクト地区大会実施の協力と参加
- ②ローターアクト地区協議会実施の協力と参加
- ③新世代委員会行事への参加
- ④海外研修実施の協力と参加
- ⑤2510地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進

#### 【クラブ運営に関する要望と協力】

- ①クラブの会員増強と体制強化、例会運営
- ②提唱クラブ ローターアクト委員会の指導力強化
- ③ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
- ④ローターアクト週間（3月13日を含む週）のPR

(最初に誕生したローターアクトクラブがRIに正式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです)

#### 【その他】

- ①第4回北海道ローターアクト交流会のホストクラブへの全面協力とロータリアンの登録推進（2510地区で開催、ホスト千歳RAC）
- ②全国研修会への登録、参加
- ③休止中のクラブへの再開の働きかけ
- ④未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
- ⑤提唱クラブ委員長会議を年2回程度開催（例年1回）
- ⑥地区主催のアクトキャンプへの協力と参加
- ⑦地区ローターアクト代表への指導と協力
- ⑧各クラブの活動計画書と活動報告書の作成要請

## 青少年交換委員会

委員長

野澤 幸平  
(岩内RC)



### 本年度の活動に向けて

本年度も長期派遣、受入は8名前後を予定しております。内訳はオーストラリア4名、アメリカ2名、カナダ1名、フィンランド1名を予定。

派遣候補生については出発前1年間の姿勢、何よりも受身ではない態度がより充実した留学体験出来ることを確認しながらスピーチ、パフォーマンスそしてコミュニケーションを取れることそして日本文化等について派遣国、地区、家族に話題提供出来る様オリエンテーション内容の充実を図りたいと思っております。

受入学生が日本語に習熟することは日本で生活をする上で重要なことです。当地区のボランティア日本語講師により「日本語教育プログラム」の大切さ、充実さは第3の「カウンセラー」。

受入学生達全員が帰国報告会にて日本語講師の方々へ「色々な事が相談出来た」と感謝の言葉が述べられております。講師の皆様方に感謝しながら今後も大切な継続事業として。

次年度に向け事務処理の効率化、手引書一式を関係RC用、派遣生用そして関係高校へお渡ししこの交換プログラムの内容について理解を頂ける様にしたいと思っております。

派遣生、受入生が元気により内容のある留學生活が出来る様委員共々応援団として頑張る所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

## ロータリー財団委員会

委員長

遠藤正之  
(札幌南RC)



### 『ロータリー財団およびそのプログラムに対する理解とその活動に協力すること』-毎年あなたも100ドルを-

2005-06年度はロータリー2世紀始まりの年ですが、ここ数年来諸々の悪条件のもとに会員数の減少がみられ、又それに基因してか財団に対する理解も若干希薄になって来ているようです。

我々ロータリアンとして一番身近かなロータリーに対する奉仕活動は、財団に対しての協力です。塚原ガバナーの第1目標に「毎年あなたも100ドルを」と財団に対する協力を呼びかけておられます。

財団委員会は今年も各小委員会と連絡をとり乍ら、会員に財団の仕組みとその寄付金の流れを理解して戴き、財団に対する諸寄付に一層の協力をお願いするつもりです。

3年間継続したポリオに対する募金も昨年度で終了しました。これに対する実績はまだ確定しておりませんが、当地区は散々たるものであったようですので、この募金の趣旨からしても皆様の理解が得られなかったことを反省しております。

本年度は、年度当初から各クラブの会長・幹事、財団関係の方の強い協力をお願いしたいと考えており、100%「財団の友」会員のクラブの認証を得るようにして戴きたいと思っております。

### 財団委員会としてお願い

1. 財団諸活動への協力
2. 財団プログラムを支えている諸寄付の協力
  - ・年次寄付「毎年あなたも100ドルを」
  - ・恒久基金、使途指定、大口寄付等への協力
  - ・ロータリーカードへの協力
3. 2005-06年度の年次寄付の地区目標は30万ドルです

## 国際親善奨学金委員会

委員長

瀧川哲夫  
(札幌手稲RC)



今年度の委員会活動予定は以下の通りとなっています。3回のオリエンテーションを通じて、奨学生候補者が積極的にロータリー活動に参加するよう指導しますが、スポンサークラブのご協力は欠かせません。ご支援をお願いいたします。また、07-08年度奨学生応募者推薦時には、必ずクラブ役員による面接をおこなっていただくようお願いいたします。なお、国際平和奨学金の募集については未定です。

日程 2005年7月 06-07年度奨学生 第1回オリエンテーション・第1回委員会  
9月 06-07年度奨学生 英文申請書完成、財団へ送付

- 10月 06-07年度奨学生 第2回オリエンテーション  
第2回委員会(07-08年度奨学生募集要項決定)
- 12月 07-08年度奨学生募集要項・ポスター印刷完成・送付  
第3回委員会
- 2006年1月 07-08年度奨学生 募集開始
- 2月 06-07年度奨学生 第3回オリエンテーション(1泊の宿泊予定)  
第3回委員会
- 4月 07-08年度応募者 各クラブへの申請書提出締め切り  
07-08年度応募者 各クラブから奨学金委員会への提出締め切り
- 5月 07-08年度応募者 書類審査
- 6月 07-08年度応募者 面接選考、合格発表  
06-07年度奨学生 壮行会  
第4回委員会

## GSE(研究グループ交換)委員会

委員長

岡崎芳明  
(小樽南RC)



本年度GSE委員会の最も大きな事業と言えば昨年度受け入れましたタイ・バンコク3350地区への5名のGSEチームの派遣です。その節は地区内の受け入れ世話クラブの皆様はじめ関係グループの皆様には、大変お世話になり誠にありがとうございました。地区内ロータリアン皆様の温かい御協力に心より御礼を申し上げます。

では今年度の事業計画を項目分けにして説明いたします。

1. 2006年2月後半から3月後半(28日間)にかけて、タイ・バンコク3350地区へ2510地区より5名のGSEチームを派遣期間は2006年2月25日から3月25日の28日間を予定。(本州内空港乗り継ぎの都合、冬期間に付き千歳24日発便で前泊を検討中)
2. 2510地区GSE派遣メンバーが3350地区へ派遣までの間、毎月派遣チームリーダーを中心とし、地区GSE委員全員が協力して、派遣研修計画を実施  
今年の1月にチームリーダー以外4名のGSE派遣メンバーが、厳格なる審査の結果正式に決定致しまして、今年度2月より月1度の研修を既に行っております。チームリーダーは基よりGSE委員も全員協力体制を取り、適宜各分野の講師の皆様のお力をお借りしながら12時から6時まで行う。
3. 次回GSEプログラム(2006年度以降)の相手地区に対しての国際渉外活動の実施  
引き続きアジア地区とのGSE交換プログラムを念頭に置き国際渉外活動中です。  
決定次第ガバナー月信、GSEホームページ等でお知らせ致します。
4. 次回のGSEプログラム(2006年度以降)に対して、派遣

受け入れの全体計画を進める  
次回からGSEプログラムは単年度内に受け入れと派遣を行わなければならない為  
06～07年度はGSE交換プログラムを休み準備年度とし、  
07～08年度に受け入れと派遣を行う為の計画を立てていく。

#### 5. GSEホームページの充実

既に昨年度のタイ3350地区からの受け入れをアップ致しましたが、今後長く引き継いでいける形のホームページの構築を目指し、不備な点の充実を図っていく  
3350地区への派遣の際は、現地での情報を出来る限り早くアップしていく予定  
GSEホームページアドレス

<http://www.ri2510.gr.jp/GSE/framepage.html>

- #### 6. GSE事業活動報告書制作（3350地区派遣報告）及び、その他上記に関わる付帯活動
- 派遣が終わり次第、3350地区派遣の様子を掲載した活動報告書を作成する。

## 財団学友委員会

委員長  
**松下文芳**  
(江別西RC)



当委員会の役割は、学友会とロータリークラブ間の連携の輪を強力なものとし広げていくことにあります。地区より選考された奨学生と親善大使としての語学研修生達が帰国後、学友会に入会、深くロータリーを理解して活動する事が他の多くの人達に理解してもらえると信じます。昨年より学友会への賛助金の協力を各クラブにお願いしています。若い青年達がロータリーのマークを掲げ活躍している姿は、頼もしくロータリーの将来に輝かしくも感じ取れます。私達ロータリアンは「友愛と奉仕」のもと超我の奉仕を実践しましょう。

以上により、下記4項目を活動方針とします。

1. 財団学友会の財団学校への理解促進。
2. 財団学友会のロータリー活動への参加促進とクラブの財団学友会への理解促進。
3. 財団学友会の広報。啓発活動の推進。
4. 他地区の財団学友会との連携。

よろしくご協力の程、お願いします。

## 補助金委員会

委員長  
**朝倉正人**  
(札幌東RC)



### 1. 活動方針

補助金委員会はロータリークラブが人道的補助金を申請した場合、活動内容等の審査をし委員会を開催する。  
そしてガバナー及び財団委員長出席のもとで決定し、最終報告を提出するに至るまで指導及び援助するのが主な役割です。  
各クラブにおいて人道的プログラムを積極的に遂行し、地域に密着した社会奉仕に利用して戴き、社会奉仕委員会、世界社会奉仕委員会と連動することもよろしいと思います。  
審査には諸条件を満たすことが大事になりますので宜しくお願い致します。

### 2. 活動計画

補助金を各クラブで有効に利用して戴きたい。  
地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントの活動に援助することが役割でございます。  
各クラブでは職業奉仕、社会奉仕活動をしています、その中でクラブ独自の奉仕活動、地域活動に対して、又会員自ら汗を流す活動に補助金を支出するものであります。  
補助金の審査は、3年前のロータリー財団の寄付の状況、クラブの自主申告の実績表を参考にし、又活動内容を厳正に審査し判断して参ります。  
予算の関係で十分な補助金は支出できないこともあり、そして内容、予算についてご遠慮して戴く場合、又減額のお願が多々あると思われまますので、ご理解の程宜しくお願い致します。  
・2005年8月、11月、2006年2月、6月：委員会開催予定

## 補助金監督委員会

委員長  
**菅原耕治**  
(札幌北RC)



当委員会は、2年前に新設された新しい委員会です。  
活動内容は、地区のロータリー財団・地区補助金委員会へ申請された各クラブからのプログラムを運用されているかの監査を行うことです。  
3年目となります今年度は、委員も2名から4名と増員して、他の地区委員会との合同会議を通じて、地区補助金（DSG）が各クラブのプログラムの活性化と実施・運営に有用に利用されるよう努力をしたいと思っております。



## 新ロータリークラブ結成のお知らせ

前期遠藤秀雄ガバナー並びに遠藤正之拡大委員長のご尽力で、函館地域に新クラブ結成のための拡大調査書、新クラブ提唱書をRIに送付し容認され、これらを引き継ぎ、今年度7月2日RI加盟申請書に塚原ガバナーの署名のもと、正式にRIに加盟申請をしました。

新ロータリークラブは認証まで「函館セントラル(仮)ロータリークラブ」として、例会は毎週火曜日12時30分より「函館国際ホテル」で開催されております。ご存知の通り、RC定款第8条第1節(2)に示されており、仮クラブ出席はメイクアップとなりますので、出席され新クラブとの親睦交流を図ってくださるようご案内とお願いを申し上げます。

国際ロータリー第2510地区

ガバナー	塚原房樹
直前ガバナー	遠藤秀雄
拡大委員長(PG)	岩城秀晴
直前拡大委員長(PG)	遠藤正之

### 新クラブ 函館セントラル(仮)ロータリークラブについて

ロータリーの拡大はガバナーに課せられた重大な任務であることはご存知の通りです。当地区2004-2005年度遠藤秀雄ガバナーは新クラブを結成する有望な地域として、一市三町一村、函館市、南茅部町、戸井町、恵山町、榎法華村が合併し中核都市を申請中の新函館地域を、地区拡大委員長遠藤正之PGに新クラブ結成調査するにあたり、特別代表として亀井敏清(函館RC)を任命し新クラブ結成の第一歩としました。

函館セントラル(仮)  
ロータリークラブ  
特別代表

亀井敏清  
(函館RC)



5月9日(月)には、遠藤秀雄ガバナー、拡大委員長共々来函され、特別代表他数名の新クラブ結成のための核なる会員候補者と面談し、「新クラブ結成調査書」を作成しご署名をいただきました。次に「新クラブ提唱書式」これは新クラブのスポンサークラブ受諾の要請書であります。5月12日(木)にこの要請を受けた函館RCがスポンサーとなることを受諾し「結成調査書」「提唱書」の二部をRI事務局に提出し、5月16日(月)にこれらの書式は正式に容認された旨通知があり、正式にクラブ結成のための活動に入りました。

以下次のようなスケジュールで進めて参りました。

1. 第1回目 6月1日(水) 14時~15時
2. 第2回目 6月14日(火) 12時30分~13時30分  
この時点で仮クラブ宣言されました。
3. 第3回目 6月21日(火) 12時30分~13時30分
4. 第4回目 6月28日(火) 12時30分~13時30分

(会場は全て函館国際ホテル)

そして、第5回目として7月2日(土)12時30分~13時30分函館国際ホテルにて当地区2005-2006年度塚原房樹ガバナーを迎えての新クラブ創立例会となりました。当日は年度が変わり公式訪問でご多忙の塚原房樹ガバナーが、わざわざご来函され、「加盟申請書一式」を確認され、函館セントラル(仮)ロータリークラブの会長、幹事、特別代表と共に自ら署名をいただきました。チャーターメンバー28名は全員感激で一杯でありました。今後、認証されるのを一日千秋の思いで待っている次第です。その後、認証状伝達式(チャーターナイト)を開催し、世界のロータリーの仲間入りとなります。メンバーはロータリアンとして切磋琢磨しながら社会貢献と、親睦を図ることに邁進いたします。今後ロータリーの仲間として末永いご厚誼を宜しく願います。

尚、新クラブの名称他は下記の通りです。

名称：函館セントラルロータリークラブ  
例会日：毎週火曜日 12時30分  
例会場：函館国際ホテル ビジターフィ：2,000円  
仮事務所：野崎幹事勤務先 プライダルハウスパライム  
〒040-0065 函館市豊川町22-13  
TEL 0138-23-5667  
FAX 0138-23-5668



## ロータリーの友 委員会報告

ロータリーの友地区委員  
黒澤昌彦(札幌東RC)

7月9日(土)東京プリンスホテルにおいて13:30より、地区委員・常任委員合同会議、15:30よりはガバナー及びロータリーの「友」委員会合同会議が開催されました。

渡邊隆委員長(習志野RC)は冒頭の挨拶で「ロータリーの友」の在り方、使命等についての話をされ、ロータリーに関するテキストとしての意義を強調されておりました。

また、各常任委員・顧問等役員からも「友」誌についての説明がありました。「友」誌7月号についての感想では、当地区の札幌北・当別・札幌モーニング・札幌はまなす四クラブ合同による「ロータリー100周年記念講演」の記事が地区委員の間から高い評価を受けていたことをご報告致します。

各クラブの会長・幹事・雑誌委員長・情報委員長はじめ会員の皆様には、ロータリー学習のテキストとして「ロータリーの友」誌の有効利用と読書率向上をお願い申し上げます。

## 地区ローターアクト 委員会報告

地区ローターアクト委員  
八木政明(札幌北RC)

2005-2006年度当地区ローターアクト委員会及び提唱ロータリークラブ委員長会議が平成17年7月9日(土)、午後1時、札幌市内の「かでる2・7」にて開催されたので、その概要を報告致します。

初めに柳孝一地区委員長から開会挨拶があり、5名の地区委員、矢橋潤一郎地区幹事(新世代担当)そして8名の提唱クラブ委員長の自己紹介のあとに委員会報告と地区行事の案内がおこなわれた。

その後、各ローターアクトクラブの現状や活動について報告と質疑応答があり、特に会員増強と会員の主体的活動に関わる事項について活発な意見が交わされ、たいへん有意義であった。

次いで開かれたローターアクト会長・幹事会には全委員が参加し、地区ローターアクト代表、幹事、役員の自主的、明快な会進行運営と年度行事の協議状況を観覧した。午後6時から懇親会場へ移動し、各委員並びにローターアクト会員との交流と意見交換が行なわれ、相互の親睦を深めることができた。



～出会い・友情・奉仕～

2005年10月15・16日  
国際ロータリー第2510地区

# 地区大会

ホストクラス 札幌東ロータリークラス

●札幌コンベンションセンター●

### 第1日目

10月15日(土)

登録開始  
会長・幹事会  
本会議 第1日目  
フォーラム・  
パネルディスカッション  
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
(札幌ロイヤルホテル)

### 第2日目

10月16日(日)

登録開始  
本会議 第2日目  
《記念講演 養老孟司》  
懇親会  
(札幌パークホテル)

### 10月14日(金)

記念ゴルフ大会/札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース

### 10月10日(祝)

記念囲碁大会/日本棋院北海道本部囲碁会館  
(アステイ45)

### 記念講演

《バカの壁》

養老孟司氏



#### プロフィール

昭和12年 神奈川県鎌倉市に生まれる  
昭和27年 東京大学理学部卒業  
一歩のインテリを経て、解剖学  
教室に入る  
以後解剖学を専攻  
昭和42年 医学博士号取得  
昭和56年 東京大学医学部教授に就任  
出版企画部長を兼任、東京大学  
出版企画部長を兼任  
平成7年 東京大学を退官  
平成8年 北里大学教授に就任  
《大卒医学生と人間科学》  
平成10年 東京大学名誉教授  
北里大学を退官  
平成元年 『からだの見方』(筑摩書房)で  
サントリ・学芸賞を受賞  
平成15年 『バカの壁』(新潮社)で  
毎日出版文化賞を受賞

2005～2006年度  
国際ロータリー第2510地区

## 地区大会 事務局

〒060-0042  
北海道札幌市中央区大通西1丁目4 大通藤井ビル3F  
TEL・FAX(011)207-2512  
e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

## 新入会員のご紹介



**尾形 卓也**

小樽南RC  
平成17年7月1日入会



**吉岡 竜也**

札幌東RC  
平成17年7月7日入会



**高橋 広文**

江別RC  
平成17年7月7日入会



**高橋 博**

千歳RC  
平成17年7月7日入会



**藤 芳 一 郎**

千歳RC  
平成17年7月7日入会



**大 沼 千 枝 子**

千歳RC  
平成17年7月14日入会



**三 井 周 一**

千歳RC  
平成17年7月14日入会



**西 谷 恭 治**

留萌RC  
平成17年7月6日入会



**角 隆 巨**

留萌RC  
平成17年7月13日入会

## 文 庫 通 信 214号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「ロータリー創立100周年に寄せて」

- ◎「巡礼－ロータリー百年」 佐藤千壽 D.2670・D.2620  
2005 63p  
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーの新しい流れ－基本に戻ろう」 板橋敏雄  
2005 9p (D.2710地区大会基調講演)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー100周年に寄せて」 天野 肇  
2005 11p (D.2690地区大会基調講演)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリー100年の歴史に学ぶ」 佐藤千壽 (コーディネーター)  
2005 17p (D.2580地区大会シンポジウム)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「100年後の青少年に向けて－新世代について考える」 古木圭介 (コーディネーター)  
2005 7p (D.2730地区大会シンポジウム)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「『温故創新』ロータリーの心を尋ねて」 松岡通夫  
2005 5p (D.2680月信)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「RI 100年の意義」 黒田正宏  
2005 4p (D.2830 IM記念講演)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「101年目からのロータリーを考える」 中島治一郎 (コーディネーター)  
2004 19p (D.2640地区大会パネルディスカッション)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「ロータリーの森を歩く」 佐古亮尊 大村北RC.  
2005 345p  
[申込先：長崎新聞社出版部 TEL (095)844-5469]

### ◀ ロータリー文庫 ▶

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3  
abc会館7F  
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時  
休館＝土・日・祝祭日

1. クラブの出席報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へ提出するようにお願い致します。  
(FAX、メールもしくは電話可)

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告をお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に  
写真1~2枚をご同封願えればと考えています。

原稿締切り日は毎月10日です。(メールでも可)

国際ロータリー為替レート  
2005年8月  
米貨1ドル=112円

地区委員会委員変更について

- ・地区GSE委員会委員に選任されました土橋信男会員(札幌南RC)は、6月30日付でクラブを退会されました。
- ・地区米山学友委員会委員に針谷龍宜会員(札幌手稲RC)が選任されました。

クラブ幹事の変更について

江 差RC: 横内隆文幹事(2005-06幹事)が6月28日に退会したため、幹事が変更になりました。

幹 事: 前川敏雄

〒043-0033 松山郡江差町字豊川町168番地の1 (株)前川組

TEL01395-2-0167 FAX01395-4-2081 (江差RCのクラブ事務所も兼ねます)

例会曜日・例会時間変更について

江 別 西 RC: 8月6日(土)友愛夏祭り(8月2日(火)例会の振替例会)

場所…静苑ホーム前 10:00~

8月9日(火)江別ロータリークラブと合同例会

場所…マキシドルパ 18:30~

8月16日(火)定款第5条第1節により休会

岩見沢東RC: 8月16日(火)定款第5条第1節により休会

8月23日(火)岩見沢RCとの合同納涼夜間例会

場所…岩見沢平安閣 18:00~

白 老 RC: 8月2日(火)を8月5日(金)18:00~に変更 夜間移動例会「仙山西ロータリークラブ訪問」

場所…仙台東急ホテル(宮城県仙台市)

8月16日(火)定款第5条第1節により休会

苫 小 牧 RC: 8月12日(金)定款第5条第1節により休会

8月19日(金)夜間移動例会「会員・家族の納涼の夕べ」

場所…和牛レストランログハウス ひび 18:00~

小 樽 RC: 8月16日(火)定款第5条第1節により休会

8月23日(火)納涼例会

場所…ニュー三幸 17:45~

## 地区カレンダー（8月・9月）

8月 会員増強および拡大月間	
1(月)	～5(金) インターアクト海外研修(韓国)
2(火)	公式訪問(小樽RC、蘭越RC)
3(水)	公式訪問(倶知安RC、余市RC)
4(木)	公式訪問(岩内RC、小樽銭函RC)
5(金)	公式訪問(札幌大通公園RC)
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	公式訪問(伊達RC、室蘭北RC)
10(水)	公式訪問(室蘭東RC、登別RC)
11(木)	公式訪問(室蘭RC)
12(金)	公式訪問(洞爺湖RC)
13(土)	
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	公式訪問(三石RC、様似RC、浦河RC、 静内RC、えりもRC)
24(水)	
25(木)	公式訪問(由仁RC)
26(金)	公式訪問(札幌あけぼのRC)
27(土)	
28(日)	地区会員増強研修セミナー(札幌市) 第12グループIM
29(月)	
30(火)	米山記念奨学会、理事会・評議員会
31(水)	公式訪問(新札幌RC)

9月 新世代のための月間	
1(木)	公式訪問(苫小牧東RC)
2(金)	地区親睦野球大会 公式訪問(苫小牧RC)
3(土)	地区親睦野球大会
4(日)	
5(月)	公式訪問(長万部RC、函館亀田RC)
6(火)	公式訪問(函館東RC、七飯RC)
7(水)	公式訪問(森RC、函館北RC)
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	ガバナー・エレクト研修セミナー(東京)
12(月)	公式訪問(北広島RC)
13(火)	公式訪問(白老RC)
14(水)	
15(木)	公式訪問(上磯RC、函館RC)
16(金)	公式訪問(函館五稜郭RC、江差RC、 松前RC)
17(土)	
18(日)	小樽銭函RC創立30周年記念式典
19(月)	敬老の日 札幌西RC創立45周年記念式典
20(火)	公式訪問(千歳セントラルRC)
21(水)	公式訪問(恵庭RC)
22(木)	
23(金)	秋分の日
24(土)	ローターアクト・アジア第1ゾーン会議(札幌市)
25(日)	
26(月)	公式訪問(長沼RC)
27(火)	公式訪問(当別RC)
28(水)	公式訪問(札幌モーニングRC)
29(木)	公式訪問(千歳RC)
30(金)	公式訪問(札幌幌南RC)

**SERVICE Above Self**



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2510

*No. 3*  
*2005.* **9**



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

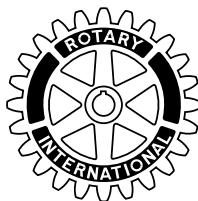
TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	03
新世代月間に想う	05
地区委員会報告	
新世代委員会	06
ローターアクト委員会	07
インターアクト委員会	08
青少年交換委員会	09
ロータリー財団委員会	10
ロータリー財団年次寄付報告	11
GSEメンバー紹介	11
世界社会奉仕委員会	12
ロータリーの友事務所出版物のご案内	13
投稿記事・オレゴンよりの愛	14
地区大会のご案内	15
訃報・新入会員のご紹介	16
例会変更・文庫通信	17
7月の出席率・会員数	18
地区カレンダー（9月・10月）	19

---





2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房樹

## 『ロータリアンは青少年の模範』 青少年はロータリアンの鏡

会長・幹事の皆様にはお元気でこの夏を過ごされていることと存じます。私も無事に公式訪問を続けておりますのでご安心ください。ところで9月は「新世代のための月間」であります。この月間中には、ロータリーの提唱するすべての青少年活動に焦点が当てられるべきです。各クラブはロータリーの伝統ある標語「ロータリアンは青少年の模範」という標語をクラブ会報、特に新世代月間中の会報に、また青少年活動についてクラブに報告する時に使うように奨励されています。地域社会の指導者であるロータリアンは、将来を担う若い人々の模範とならなければなりません。青少年の指導力を伸ばし、市民としての責任感を培うことは、ロータリーの青少年活動の変わらぬ目標なのです。

青少年交換はロータリーの青少年活動の中で最も好評なプログラムです。事実地域の人たちがロータリーと最初に出会うのは青少年交換なのです。RI理事会は青少年交換活動の実施に当たり新たに推奨指針を次のように設定しました。

『青少年交換プログラムは、プログラム参加者をめぐる肉体的、性的、精神的な虐待の疑惑問題を防止したり、あるいは適切に対応するために、危機管理活動を強化することが奨励されている』国際協議会のグループセッションにおいてもこの件が取り上げられました。これを受けて各地区で「緊急対策マニュアル」と「セクハラガイドライン」の作成が義務付けられ、野澤地区青少年交換委員長にお願いをしました。全国委員長会議で検討し12月には「虐待とセクハラガイドライン」がまとまる見通しです。このようなことはロータリアンの常識では考えられないことです。交換事業のイメージがダウンすることを恐れます。

しかし最悪の事態を勘案して受け入れ、派遣国双方が万一に備えてこのような防止策を協議し、取り決めておくことはむしろ今後の青少年交換事業に信頼性をもたらすことになるでしょう。またこの問題は単に青少年交換委員会の問題だけではなく新世代委員会全般にかかわる問題でもあります。ガイドラインが決まりましたら直ちにクラブ会長・幹事さん宛てにお送りする予定です。

ロータリアンは地域社会の指導者として青少年の模範でなければなりません。しかしまたロータリアン自身、少年の心を失ってはならないのです。

ポール・ハリスに『わがロータリーへの道』という晩年に書かれた著書があります。この自叙伝は主としてロータリーの故郷、ウォーリングフォードにおける少年時代の思い出が生き生きと綴られています。序文は次のように書かれています。「私の70余年の人生で大切なものが2つあります。1つは古里ニューイングランドの谷間、もう1つはロータリー運動です。私がロータリーに身をささげるようになった源を探っていくと、谷あいの故郷、村人の人情や宗教や政治に関するおらかな心にまで遡ることが出来ます」。そして彼の幼少時代を過ごしたバーモントの小さな村の自然、山や河や池、ピューリタンの末裔である祖父母との慎ましやかな暮らし振りを懐かしく書き連ねております。その彼がシカゴの町で弁護士を開業しました。「弁護士の看板を出すことはやさしいが、まさか完全に無視されるとは思いませんでした。もちろんお客はぜんぜん来ませんでした。石の上にも3年、どうにか仕事は軌道に乗りました。私には大切なものが1つ欠けていました。友達でした。シカゴの町には溢れるほどの人がいる。しかし自分には1人の友もない。非常に淋しい、恐ろしいほどの孤独感に襲われました」。シカゴは人の心の砂漠でした。そこで同じ孤独感に悩まされている3人の仲間と作ったのがロータリークラブでした。ロータリーの原点はここにあります。「ロータリーが会員を導いていく方法の一つは彼らの気持ちの中に少年時代の心を残すことです。善良な人の心の中には、少年時代のことが焼きついています。少年時代には、人生を見る目は素晴らしいもので、清らかな眼で偏見は無く、寛容で熱意と友情に溢れています。少年の心を失ったといわれることは悲しいことです。少年時代の心を失わなければ、老化現象は起きません。ロータリーは少年時代の心を忘れずに発展向上

を目指す団体です」。

しかし年齢とともにそういった少年の心が失せていくことは悲しいけれども事実です。今ロータリーの文献、資料の中には奉仕という文字はいたるところにあります、フェロシップ(親睦)は見当たらなくなりました。しかしロータリーの発生時にあったものは温かい仲間意識でした。決して奉仕の理想ではありませんでした。ロータリークラブが奉仕団体だというのは1911年頃から意識されたことです。現在のロータリーはボランティア団体として組織の管理・運営が主体で少年の心などと言う言葉自体失われてしまいました。『ロータリアンは青少年の模範』でなければなりません。同時に純粋でみずみずしかった我が少年時代の心を老いさせてはなりません。その意味で『青少年はロータリアンの鏡』であります。悩める青少年に暖かい手を差し伸べる、その手を差し伸べることにより救われるのはむしろロータリアンのほうなのです。

私はかねてよりロータリーの古里をたずねてみたいと思っておりました。1996年、ポール・ハリス没後50周年の記念追悼集会在、シカゴのマウントホープ墓地で開かれました。そこへの出席を機会にロータリーの故郷、ニューイングランド・バーモント州・ウォーリングフォードを訪ねることが出来ました。

創始者が幼少時代を過ごしたニューイングランドの谷間には、当時の由緒ある建造物や、村の人々の人情がそのまま残されていました。ポールがはじめてA.B.Cを習った「赤い小さな小学校」、初めて泳ぎを覚えたフォックス池、父と一緒に鱒釣りにいったチャイルド川、毎週日曜日に礼拝に連れて行かれたCongregational教会などポールの子供のときのままタイムスリップしたように村のたたずまいは変わっていません。「赤い小さな小学校」はすでにポール・ハリス記念財団によって維持され今はウォーリングフォードロータリークラブの例会場となっています。昔、国際協議会がニューヨーク州のレークプラシッドで開かれていたとき、研修に参加する世界中のガバナーエレクト達が往路、復路の際この村を表敬訪問しました。村人は彼らを温かくもてなし、彼らはロータリーの古里の人情を肌で体験しました。しかしただ一つ彼らが見ることが出来なかった場所があります。

それは赤い小学校の隣に1853年に建てられた祖父母の家でした。この家こそがポールが3歳のときから大学に入学するまで過ごした、彼の人格形成上かけがえの無い神聖な記念すべき家でした。風格のある家でポールの自伝には「我が家は大邸宅ではありませんが、それでも14部屋もあり…」と紹介されています。現在の住人が訪問者を嫌うという噂があり、今まで、ロータリアンも外観を見るだけで中を見た人はありませんでした。たまたま祖父母の家の真向かいにある宿のマダムの口利きで祖父の家に現在住まいしているご夫婦が家の中を案内してくれるという予期せぬ申し出がありました。その家のご主人マーカスさんは個人資産の鑑定人で家の中には時計、銀器など骨董品が溢れていました。そこで見ず知らずのものがなぜ招待されたのか謎が解けました。昼間宿で旅装を解いたとき話し好きのマダムと古いマイセンの話などしたので骨董好きの日本人と思われたらしく、そこで骨董鑑定人のマーカスさんに紹介してくれました。

ポールが「懐かしい家の面影は終生消えることはありません」と述べた静かに年を重ねた旧家……ポールの寝室、食堂などを案内されました。時を超えて、今にも少年ポールが隣の部屋から元気に走り出てくるような気がしました。家の壁紙は何度か張り替えられたでしょう。しかし昔からあるドアや窓はロータリーの創始者の少年時代を優しく見守ってきたことでしょう。ロータリーの歴史的な遺産を快く見せてくれたマーカス夫妻に心よりお礼を申し上げます。

因みに近年ガバナーエレクトの国際協議会はロータリーの古里から遠く離れた西海岸に移りました。そのためポールが少年時代を過ごしたウォーリングフォードの村を訪れるロータリアンが少なくなったことは残念です。

最後になりましたが、会長・幹事さんのご健康を祈念いたします。

## お詫び

8月号ガバナー月信「ガバナーメッセージ」の9-10行目中、不適切な表現をしてしまい、保険業務に携わる方々に不快な思いをおかけしたことに對し衷心より申し訳なく思っております。以後このようなことの無いよう注意するとともに関係各位にお詫びを申し上げます。ご指摘いただいた会員の方に感謝申し上げます。

ガバナー公式訪問ではありがとごいざいました



砂川RC公式訪問（7月13日）



滝川RC公式訪問（7月14日）



芦別RC公式訪問（7月15日）



江別西RC公式訪問（7月19日）



栗沢RC公式訪問（7月20日）



ガバナー公式訪問ではありがとうございました



美唄RC公式訪問（7月21日）



岩見沢RC公式訪問（7月22日）



深川RC・妹背牛RC公式訪問（7月26日）



小平RC・留萌RC・羽幌RC公式訪問（7月29日）





---

---

# 新世代月間に想う

---

---

新世代委員会カウンセラー

伊藤 長 英 (PDG・苫小牧北RC)

ロータリーにおいて新世代という言葉が使用されるようになったのは、1996年からであり、新世代とは0歳から30歳までを言います。

2004年版手続要覧には次のように記されています。「すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するように奨励されている。基本的ニーズとは、健康、人間の価値、教育、自己開発である。新世代のためのRI構成プログラムとは、インターアクト、ローターアクト、青少年指導者養成プログラム（RYLA）及び青少年交換である。奉仕の機会に関する項目の内容（例えば、危機下の児童擁護、保健、識字・計算能力向上）もまた新世代のニーズに取り組む」。

私がガバナーを務めた1998-99年度のジェイムス L.レイシーRI会長は、「ロータリーの夢を追い続けよう」とのテーマを掲げ、強調事項は「地域社会の関心事と子供たち」ということでした。その意向を尊重して私は地区の重点目標の第1に、新世代のプログラムの積極的推進ということを取り上げ、地区大会には“新世代の未来を築くフォーラム”を行いました。ロータリーの組織は各委員会毎になっていますが、私はインターアクト、ローターアクト、青少年交換、ロータリー国際親善奨学生、米山奨学生及び一般新世代等全ての新世代の方々に参加して頂き、全く新しい発想でフォーラムを行いました。最後の講評において、中島治一郎RI会長代理から高く評価して頂き、大変嬉しく且つ光栄に感じたことを思い出します。先日塚原ガバナーより今年度の地区大会にRI会長代理として中島治一郎PDGが決定したとのご連絡を頂き感慨深いものがあります。

新世代委員会に属する各委員会がお互いに連携するのは勿論のこと、他の委員会に所属する新世代の方々とも時には連携して一緒にプロジェクトに参加されるように望んでいます。例えば、今年度の地区大会において行われる新世代分科会セミナーとか、毎年2月に札幌で行われる国際スキーマラソンのようなプログラムに。



## 「ロータリアンは青少年の模範」 超我の奉仕～新世代の心に響くように！

新世代委員会

委員長 細川好弘 (静内RC)

ハイテクと英知を結集して世界が注目する中、宇宙開発が推進されております。一方、人が住む世界、地球上では自然破壊、戦争、テロ、親子間の殺人事件等、命と命の残酷な行動が報道され、次代を担う新世代の心にどのように映っているのか心配です。

好ましい行動、好ましくない事件が混在する、厳しい経済競争の社会環境ではありますが、やるかたない現況を踏まえて、新世代の若者をロータリーファミリーとして支えて行く信頼ある指導力が望まれているように思われます。

私は看板屋であります。定年はありません。職場まで徒歩ですが天候の良い時は歩道に小さな蟻の群れが一生懸命活動しております。踏みつけないように歩くのが大変なほどですが、空が曇って雨模様になってくると蟻の姿はありません。雨を予知して蟻の巣の入口を塞ぐのに汗を流しているのだそうですが、昆虫や鳥たちも同じような行動をとるのだそうです。このように自然の変化を伝える言葉を「自然語」と言うようになりました。

ロータリー標語「各ロータリアンは青少年の模範」(ロータリー章典40.050.2)が奨励されております。

年齢30歳代までの若い人の育成を支援する全てのロータリー活動に焦点を当てるために、青少年交換委員会、インターアクト委員会、ロータリーアクト委員会等関連委員会と連携を継続しながら、世界平和・国際理解・超我の奉仕に汗し語り合う機会に恵まれるよう新世代プログラムが実施されております。

新世代プログラムの成果を共有するためにも、地区内72クラブ挙げて新世代の心に響くロータリーの思い(自然語)を伝えて下さい。

9月は「新世代のための月間」ですが、ロータリー標語「各ロータリアンは青少年の模範」を年間を通じてご活用いただきますようお願い致します。



(国際ロータリーHPより抜粋)



## 新世代月間に因み、 ローターアクト活動について

ローターアクト委員会

委員長 柳

孝一 (札幌南RC)

18才から30才までの男女が会員資格のローターアクトは、現在地区内で10クラブ約110名の会員が活動しています。アクトクラブは、月2回の例会をベースに親睦を深め、奉仕活動等別プログラムを実践しています。

例会の内容は、ロータリーの例会と同様で、点鐘に始まり点鐘で終わります。ローターアクトソングを斉唱し、会長報告、委員会報告、活動報告等行い、卓話等のメインプログラムがあります。

例会以外のプログラムにロータリークラブの例会に出席したり、ロータリークラブのプログラムのお手伝い、独自の奉仕活動を行っています。施設の窓ふきや慰問、ゴミ拾いや募金活動、様々なプログラムを行っています。

地区単位の活動としては、地区大会、地区協議会は公式行事として担当ホストクラブが実行委員会を組織し、企画立案から運営まで実施しています。他に地区セミナー(勉強会 ※今年度は中止)海外研修が行われています。また、2500地区とのローターアクト北海道交流会は、今年度で4回目を迎え当地区のホストで開催を計画しています。

それぞれの行事に、各クラブ3～5名の参加者があり、総勢で30～50名のアクトが一同に介し、そのプログラムを体験します。

上記以外にも、会長・幹事会、全国研修会、またキャンプや温泉宿泊等の懇親会を催し、親睦を深めています。

例会だけではなく、行事参加したり、あるいはその行事の企画から運営をすることによって、アクトでなければ出来ない体験ができます。その体験は有意義で、アクトの醍醐味でもあると思います。

ロータリークラブにとっては、ローターアクトと一緒に活動できる事とロータリークラブの存在を理解している若者が増えることは、ロータリーにとっても有意義なプログラムであると考え、委員会活動を邁進しています。

地区内のロータリアンの皆さまには、ロータリーの理解者を増やし、将来の会員増強にもつながるよう、ローターアクトの会員増強にご協力をお願いいたします。



札幌南RC 施設慰問活動



室蘭北RC 募金活動





## 9月 新世代月間にちなんで インターアクト海外研修の報告

インターアクト委員会

委員長 堀田 昌資 (札幌東RC)



儒遠山(木浦市)ノ・ジョンボン(英雄)の像の前で集合写真



世界文化遺産 華城



『木浦共生園』訪問ケーキパーティ

国際ロータリー第2510地区インターアクト委員会は、国際理解と親善を推進する奉仕プログラムの一つに、昨年に引き続き韓国の『木浦共生園』訪問交流と支援活動、首都ソウル市内の歴史遺産の見学を8/2～8/6の期間で実施致しました。

地区内8高校のインターアクター19名と顧問教師8名、そしてロータリアン2名が参加致しました。

仁川空港で入国手続、夕食後バスで西海岸高速道路を370km南下すること5時間30分、訪問の施設がある木浦市(港町で人口25万人)には深夜1時頃、ホテル到着となりました。『木浦共生園』は保護者のいない児童、その他環境上養護を必要とする児童を入所させ、キリスト教精神に基づき自立できるよう保護、育成することを目的とした施設で(1928年設立)あり、設立者尹致浩と結婚した日本人・田内千鶴子は“韓国孤児の母”と慕われ、現在まで3,700名が『木浦共生園』を育立っており、韓国民間社会事業の中では最も古い歴史を誇っている。(鄭愛羅園長のあいさつ)

児童からは私共のために練習した日本語の歌を2曲披露……感激!

インターアクターからは、学校祭バザーなどで集めた古着・おみやげなどを手渡し、とても喜んでくれました。

各施設を案内いただいた後、3時間に渡り楽しい交流会が続き、心温まる歓迎に参加者全員が感銘を受けた訪問となりました。

韓国は、近くて遠い国でしたが日本とは時差はなく、肌の色や顔立ちはよく似ていますが、習慣も文化も日本とはかなり違っております。日韓友情40年の今年は、経済・文化等さまざまな交流が行われています。両国民の相互理解が深められますことを願うものです。







## Fellow Ship!!

### 「オリエンテーションからみえる交換プログラム委員会活動」

青少年交換委員会  
委員長 野澤 幸平 (岩内RC)

7月31日(日)06-07年度長期派遣プログラムの選考試験が行われました。保護者、RC関係者、地区委員が参加しての『選考面接試験』。合格通知そして1年後の出発を目指してオリエンテーションのスタート。

ロータリークラブの概要、仕組み、青少年交換プログラムの内容、目的。注意事項4D。4Dって? Drive (運転)、Drink (アルコール)、Drug (タバコ)、Date (デート) の禁止等の説明が。

留学には何が一番必要ですか? 「英会話力」、直感で答えるかと思います。確かに大切な項目ではありますが。しかしより大切なこと。“心のタフさ” それを支えるコミュニケーション技能ではないかと思っております。英語はその1手段かと。英語力、無いよりあった方が良いことはもちろんである。

派遣候補生、保護者の方にこの1年間は学校祭と同じで候補生が新たな事に挑戦、学びそれらを派遣国で発表会。

我々ロータリアンも保護者も今一度、候補生と一緒に学ぶことにこの交換プログラムの良さがあるのでは。まさにロータリーの心、Fellow Ship!!

保護者が子供に日本料理の指導。派遣生は茶道に、日本舞踊に、楽器に、剣玉に挑戦... 3日坊主でもいい、足を一步前に。そんな前向きな気持ちに皆で一緒になって。そんなオリエンテーションでありたいと思っております。日本文化、何でも指導出来るロータリアンの方、昔とった“杵 柄”。ご協力下さい。お待ちしております。



冬の北海盆踊り (オーストラリアの留学生)

札幌清田RCさんが道立札幌清田高校(校内推薦申請学生が9名)のスポンサーRCに決定。初めて青少年交換プログラムへの参画です。ロータリアンの方々ご協力とご支援をお願いします。

札幌清田RCさんが道立札幌清田高校(校内推薦申請学生が9名)のスポンサーRCに決定。初めて青少年交換プログラムへの参画です。ロータリアンの方々ご協力とご支援をお願いします。



派遣生の英語によるパフォーマンス (習字)



派遣生の英語によるパフォーマンス (太巻)



受入・派遣・ローテックス全員集合

### 地区青少年交換委員会 長期派遣生追加募集

当地区の青少年交換プログラムとして06-07年度の長期派遣の追加募集を致します。ロータリーの親善使節としてふさわしい高校生をご推薦下さい。

1. 派遣期間 2006年8月から約1カ年間
2. 派遣国 \*オーストラリア \*台湾
3. 募集人員 若干名
4. 応募方法 説明書及び申請書お送りします。
5. 締切日 9月28日(水)
6. 選考日 10月初旬予定

※お問い合わせ  
Tel  
0135-61-4728  
Fax  
0135-61-4832  
携帯  
090-1649-5810  
野澤 迄



## 『ロータリー財団地域セミナーに参加して』

ロータリー財団委員会  
委員長 遠藤 正之 (札幌南RC)

本年度のロータリー財団地域セミナー(Zone1, 2, 3, 4A)は去る7月24日(日)、東京高輪プリンスホテルで南園RI理事、宮崎茂和RRFC、玉村文夫TRF管理委員をはじめ国内の地区ガバナーはじめ、財団委員、財団に関与する地区役員、約200余名が参加して行われました。

最初に南園RI理事がロータリー100周年を祝うシカゴ大会にふれ、多くの日本人の参加、特に外国人60名を含め1030名の参加があった日本人朝食会、6回の総会すべてが完璧に行われたことについて感謝を述べられました。

又ラビツァ前財団管理委員長が財団の改革の一前として、管理委員を増員し、又一方で現職の簡素化を考えている旨を強調された。又、今年は管理委員にカナダ出身の女性が任ぜられており、財団に対する期待が大きいことを意味していると所感を述べられた。又財団プログラムについても、種々コメントされ、特に非効率である小規模なマッチング・グラントについても経費がかかり過ぎる点等の問題を指摘されました。次いで玉村TRF管理委員がロータリー財団とポリオの現況について触れ、財団の位置づけを大企業に例え、RIの理事は総務であり財団は営業部であるとし、営業部(財団)は奉仕を推進するために重要であることを強調した。(昨年度における日本の年次寄付は1人117ドルでした)

今年も“Every Rotarian Every Year”で100ドルを是非お願い致します。又、ポリオの現況については現在、ナイジェリア、インドネシアの一部に発生をみているのが現状です。1985年以来、大変無理なお願いをし、創立100周年(2005年)までに撲滅を目指しましたが、未だ目的を達成していないのは心残りであります。ポリオ撲滅基金の募金は財団として一時募金活動を中止し、今後はWHO、UNICEF等の政府筋に依頼することにしました。次いでポリオ撲滅キャンペーンの経過と現況について、西村二郎日本REFC委員より報告がありました。恒久基金については、渡辺好政恒久基金日本委員会副委員長が、ロータリー財団に対する恒久基金の歴史とその意義について説明し、現在4億5050万ドルの資産を2005年に5億ドル、2025年までに10億ドルとの目標を示されました。又、恒久基金と年次寄付との説明をロバート・バース元RI会長の言葉「年次寄付は毎日庭に水をまき、花に水分を与えるもの、恒久基金はいつでも水をまけるように貯水池のようなもの」と引用して説明しておりました。又、ポール・ハリス・フェロー、諸々の寄付、表彰について詳しく説明がありました。午前中の最後のセッションは、特別非営利活動法人ロータリー財団の現況について、岩井敏理事長が本部との種々行き違いから時間がかかったが、漸く昨年7月より、特定非営利活動法人ロータリー日本財団が発足し、目下過渡的な状況ではあるが、今後寄付に対する透明性の確保、税制上の優遇措置についても改善されていくと思われる。なお今年度から教育的分野への寄付については、20万円以上(昨年度までは30万円)から優遇措置を受けられることになった等の報告がなされました。

午後からはロータリー財団の財務に関して、上野孝RRFCから管理委員会、資金委員会、監査等の構造的な説明の後、昨年度の収支についての説明があった。総収入179百万ドル(寄付金106百万ドル、投資収益73百万ドル)でプログラム増進、管理費、寄付増進費等で103百万ドルの支出となり76百万ドルの余剰金が出たとの報告がありました。詳しいことについては後程報告がなされるかと存じます。次いで片岡暎子日本事務局財団室長が2006-07年度のDDFが極端に減少することについて、シェア・システムから詳しく説明がなされました。シェア・システムのことについて極めて難解な部分が多く、理解するのに更なる勉強が必要と痛感しました。次いで片岡信彦RRFCからロータリー・プログラムを遂行するために、大口寄付、年次寄付アドバイザーが新設され、当地区の大口寄付担当アドバイザーに田巻明男PG(第2500地区)、年次寄付アドバイザーに小船井修一PG(第2500地区)が選任され一応目標が示されました。

ロータリーカードの推進状況について、ロータリーカードへの参加が進んでおらず、7月15日現在1万枚の目標に

対して1367枚であり、目標に達しないと財団に対する0.3%の寄付がなされないため、早い時期に多数の参加を呼びかける願がありました。当地区の参加は48枚に留まっております。

最後はマッチング・グラントと地区補助金の使い方について、このマッチング・グラントはロータリー財団最大のプログラムであるのに1件の処理に2630ドルの経費がかかり、又17百万ドル相当の最終報告がされていなかったりしたため変更されました。即ち、小口のマッチング・グラントは廃止となり、2005-06年度より補助金の額として5000ドルから15万ドルとし、プロジェクトの規模として1万ドル以上ということになります。又2万5000ドル以下のマッチング・グラントの申請手続きも厳しくなりました。その後質疑応答の時間があり、16時30分に講評を終え解散となりました。今年も又熱い重いセミナーでした。 —今年も1人100ドルをお願い致します—



## ロータリー財団年次寄付報告

ロータリー財団委員会

委員〈増進担当〉 **大村孝男** (千歳RC)

2004-05年度、「毎年あなたも100ドルを」のスローガンのもと、年次寄付のご協力をお願いしましたが、最終集計結果が出ましたのでご報告申し上げます。

年度当初の会員数が3,141名であったことから、地区目標を314,100ドルに定め、321,640ドルの寄付をいただくことができました。1人当たりになると102.4ドルであり、「毎年あなたも100ドルを」を達成することができました。

各クラブのご理解とご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

また、本年度も「毎年あなたも100ドルを」のスローガンのもと、地区目標を30万ドルに定めさせていただきました。昨年度同様、1人当たり100ドルの寄付をお願い申し上げます。



## GSEメンバー紹介

今号より毎号で紹介します

GSE派遣チームメンバー

**田畑美保**

2005-06年度タイGSE派遣チームメンバーの田畑です。現在、来年のタイへの派遣に向け研修をしています。チームメンバーそれぞれが仕事もち、研修を行うのは時間の制限があり大変なことが多々ありますが、研修が始まり早5ヶ月が過ぎた中で、タイについて、宗教、文化、タイ語など様々なことを勉強し、議論しながら少しずつメンバー同士打ち解けられてきていると思います。今後さらにチームとしてお互いに協力しながら最後まで無事にやり遂げられることを願っています。

私は現在看護師として働いています。どこの国にもどのような形であれ、病院やクリニックがあり、看護師がいる

と思います。日本の病院と他国の医療にどのような違いがあるかはわかりません。現在の自分の看護師としての技量に満足もなく、まだまだ未熟で勉強しなければならない立場ではありますが、今までの看護師という職業に携わる中で、やはり他国の医療に興味をもち、何かの経験が出来れば今後この職業を続ける中で参考に出来ることや、役にたつことがあるのではないかと思います。タイと日本との医療システムの違い、現在のタイの医療事情、タイの看護師の在り方など勉強できればと思っています。

これから、本格的にプレゼンテーションに向け、自分たちの職業や、日本についてどのようなことを伝え、どのようなことを学ぶかなど、作っていかねばなりません。今回このような機会を与えて頂きましたが、チャンスは1度しかありません。全てを伝え、全てを学ぶことは出来ませんがひとつでも多くのことを伝え、学ぶことができればと思っています。



### 地区委員会活動報告

## 「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ／未使用テレカ回収事業第2回集計報告

世界社会奉仕委員会

委員長 齋藤修弥 (室蘭RC)

盛夏の候、会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃世界社会奉仕委員会事業につき大変お世話になっておりますこと、厚くお礼申し上げます。さて、この度の「スマトラ沖大地震支援」書き損じハガキ未使用テレカ回収事業につき、多大なご協力をいただき誠に有難うございました。

この度第2回の集計が出来上がりましたのでご報告いたします。別表のとおり40RCから温かいご支援をいただき、換金の結果書き損じハガキ179,420円、未使用テレカ172,160円、両者合わせた合計金額は351,580円となりました。その後の現地での報道を見るにつけ、支援活動は長期にわたって行う必要性を痛感しております。

当世界社会奉仕委員会としては、これからも不慮の大災害発生に際して、随時各種の支援活動を展開する方針ですので、今後ともご協力の程宜しくお願い申し上げます。この度はご支援本当に有難うございました。

### 第2回書き損じハガキ／未使用テレカ回収状況

7/12現在

	月日	クラブ名	官製ハガキ	往復ハガキ	500円テレカ	1000円テレカ	合計	その他
1	2月22日	岩見沢	112		48	6	166	
2	3月23日	登別	121				121	
3	4月4日	小樽	33				33	
4	4月12日	札幌南	53				53	
5	4月20日	芦別	107				107	
6	4月27日	芦別(2回目)	168				168	
7	5月27日	様似	308				308	
8	〃	江差	70		4		74	
9	6月7日	滝川	334	1			335	
10	〃	七飯	279	8			287	
11	〃	苫小牧北	46				46	
12	〃	札幌北	13	1			14	
13	〃	札幌南	142		32	9	183	25
14	〃	伊達	510	50	3	1	564	2
15	6月9日	江別西	38				38	
16	〃	札幌清田	45				45	
17	6月13日	札幌南(2回目)	4			1	5	
18	6月24日	札幌はまなす			11		11	
19	〃	岩見沢東	18		1		19	
20	〃	恵庭	750	4	11		765	1
21	〃	苫小牧北(2回目)	1		8	1	10	
22	〃	岩見沢(2回目)	290	23	21		334	
23	6月28日	羽幌	44		2		46	
24	〃	苫小牧	44		5		49	
25	〃	函館	155				155	
26	〃	函館東	143				143	
27	〃	函館北	7				7	
28	〃	函館五稜郭	15				15	
29	6月30日	江別	323		33	25	381	63
30	〃	留萌	6		10		16	
31	〃	北広島	165	9			174	
32	7月5日	蘭越			9		9	
33	〃	小樽南	76		10		86	
34	〃	苫小牧北(3回目)	1		8	1	10	
35	7月6日	札幌東	155		5		160	
36	〃	札幌西	526		11		537	6
37	7月12日	室蘭	53		26		79	7
38	〃	新札幌	69			7	76	
39	〃	栗沢	74				74	
40	〃	小樽(2回目)	39	10	12		61	
		合計	5,337	106	270	51	5,764	104

# 〈ロータリーの友事務所出版物のご案内〉

## 2005-2006年度用 ロータリーの友事務所出版物一覧

	項 目	内 容	定 価
定 期 刊 行	ロータリーの友 【発行日/毎月1日】	国際ロータリー公式地域雑誌に指定され、ロータリークラブ会員は、その購読義務を有する。(月刊)	210円 (本体200円・消費税10円/送料別) (会員は送料込)
	ロータリーの友 英語版 (63号・64号) 【(63号)発行予定日/2005.11】 【(64号)発行予定日/2006.04】	「友」より海外向けにふさわしい記事を編集、転載。その他日本の文化、社会、経済および一般事情紹介の記事を掲載。(年2回)	525円 (本体500円・消費税25円/送料込)
	ロータリー手帳 【発行日/2005.05】	ロータリー関係資料(綱領・年間行事・ガバナー事務所など)を付したロータリアン必携。ロータリー年度で製作。スケジュール表とアドレス帳が付属。サイズ14.5cm×9cm	630円 (本体600円・消費税30円/送料別)
	〈CD-ROM〉 全日本ロータリークラブ会員名簿 【発行日/2005.08】	34地区別・全RC会員氏名・職業分類・勤務先・自宅住所を記載。	8,925円 (本体8,500円・消費税425円/送料別)
配 布 資 料	全国インターアクトクラブ名簿 【発行日/2005.07】	クラブ名・スポンサークラブ名・会員数・例会場・事務所・例会日・会長・幹事名入り、各ロータリークラブ・インターアクトクラブへ1部宛配布。	無 料
	全国ローターアクトクラブ名簿 【発行予定日/2005.10】	クラブ名・スポンサークラブ名・会員数・例会場・事務所・例会日・会長・幹事名入り、各ロータリークラブ・ローターアクトクラブへ1部宛配布。	無 料
	2005-2006年度 ロータリー財団国際親善奨学生名簿 【発行予定日/2005.10】	留学大学・スポンサークラブ名・住所・出身校などを記載。各ロータリークラブ・奨学生に1部宛配布。	無 料
既 刊	ロータリーソング楽譜集	君が代・奉仕の理想・我等の生業・旅は道づれ・今日も楽し・おゝロータリー・喜び分つ・ロータリー賛歌他30曲の歌詞とピアノ伴奏。	525円 (本体500円・消費税25円/送料別)
	ロータリーソングCD	楽譜集掲載曲のうち、25曲を1枚のCDに収めました。インストゥルメンタル(カラオケ)付き。頭出し自在。歌詞カード付き。	3,150円 (本体3,000円・消費税150円/送料別)
	インターアクトの歌・ローターアクトの歌 カセットテープ	片面インターアクトの歌・片面ローターアクトの歌・男性合唱。楽譜付き。	1,050円 (本体1,000円・消費税50円/送料込)

(お申し込みはクラブ事務局を通じてロータリーの友事務所まで)

ロータリーの友地区委員 **黒 澤 昌 彦** (札幌東RC)

シカゴ大会参加余話

# オレゴンよりの愛 確かめ合った家族の絆 2005年6月

奥 貫 一 之 (札幌東RC)

100周年を祝うシカゴの空は朝から雲一点なく晴れわたり、世界中から集った大勢のロータリアン達を歓迎してくれ大会運営も素晴らしく、懐しさ一杯の北海道ナイト、インナーホイールのハイティで200名以上集った世界のロータリアン夫人達。感激のひとつときでした。私達はシカゴに入る数日前ポートランドで別の感激にもひたっていましたので紹介させていただきたく思います。それは当地区がRI5100地区と永年続けている留学生の交換プログラムのおかげで私達ホストファミリーとの間に生れた家族の絆を確かめ合う事が出来て感激でした。

今回はポートランド滞在3日間の内に5人の娘達と再会出来ましたのでスナップ写真と共に紹介させていただきたいと存じます。



## ジェニファーさん

ジェニファーさんは今から20年前、札幌東高校で学びました。ハーミストンの牧場娘で誰からも可愛がられ帰国後に何度も再来日しています。

この日は早朝にポートランド空港に着いた私達夫婦を生後6ヶ月の息子イーライ君を抱いて迎えに来てくれ自宅を朝食を作って歓迎してくれました。夫君アンディ氏の本職は都市計画設計士ですが、中古で買った自宅を修理・塗装し、新築のように変えたマジシャンみたいですが、彼の優しさに惹かれましたと幸せ一杯の顔でのろけられました。



## ティールさん

ティールさんは1989年8月からの一年間札幌東高校に学びましたが、来札して3日目にアメリカに帰りたく泣き、1年後、千歳空港でアメリカへ帰りたくないと泣いた今では当地区で伝説になっている留学生です。

パイロットの夫君ジェイミー氏とアツアツの日々を過ごしていますが、この日はマウント・フッドの中腹にあるティンバーライン・ロッジへ私達を案内してくれました。彼女達の思い出深い結婚式やパーティ会場になった所なのです。当日のウエディングドレス姿を見ながらあらたな感激に浸っていました。



## シャノンさんとマーガレットさん

二人共久しくも同じ札幌白石高校に学び、帰国後も同じウィラメット大学法学部に学びましたが、1年ちがいのため、二人が共に札幌で学んでいた事については最近迄知らなかったようですが、今は姉妹の様に仲よくなり、二人の時は日本語で会話するようにしていると話で嬉しくなりました。

シャノンさんは今年大学院を卒業、裁判官を目指しておりマーガレットさんは来年卒業、同じ法曹界を目指しています。この日は私の好みを知ってかスペイン料理店を予約してくれ感謝しました。



## ジェシカさん

ジェシカさんも同じウィラメット大、法学部3年生、札幌では立命館慶祥高校に学び誰からも好かれました。

この日はお母さんと共にコロンビアリバー・ゴージを観光したあとホテルで家族に懐しの再会を果しました。2メートルは確実なお父さん、身長は高い方だったジェシカさんを3年間で追いついた弟のジョシュ君、家内が小人の様に見えます。お母さんがアルバムを丁寧に整理されていて、芦別RCの皆様にも暖かく歓迎された思いを今も大切にされていました。

## 2008-2009年度 ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 塚原 房樹  
地区ガバナー指名委員長 小林 博

2008-2009年度地区ガバナー・ノミネー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミネー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

### 参考

- 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)
- 国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)

登録変更期限は9月10日(土)です



～出会い・友情・奉仕～

2005年10月15・16日  
国際ロータリー第2510地区

# 地区大会

ホストクラブ 札幌東ロータリークラブ

●札幌コンベンションセンター●

### 第1日目

10月15日(土)

登録開始  
会長・幹事会  
本会議 第1日目  
フォーラム・  
パネルディスカッション  
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
(札幌口イヤルホテル)

### 第2日目

10月16日(日)

登録開始  
本会議 第2日目  
《記念講演 養老孟司》  
懇親会  
(札幌パークホテル)

### 10月14日(金)

記念ゴルフ大会/札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース

### 10月10日(祝)

記念囲碁大会/日本棋院北海道本部囲碁会館  
(アステイ45)

### 記念講演

《バカの壁》



養老  
孟司  
氏

#### プロフィール

昭和12年 神奈川県鎌倉市に生まれる  
昭和37年 東京大学医学部卒業  
一年のインターンを経て、解剖学  
教室に入る  
以後解剖学を専攻  
昭和42年 医学博士号取得  
昭和56年 東京大学医学部総教授に就任  
東京大学総合資料館長、東京大学  
出版会理事を兼任  
平成7年 東京大学を退任  
平成8年 北里大学を退任  
(大学院医歯学人間科学)  
平成10年 東京大学名誉教授  
平成15年 北里大学を退任  
平成元年 『からのたの死方』(筑摩書房)で  
フアンタリー学賞を受賞  
平成15年 『バカの壁』(新潮社)で  
毎日出版文化賞を受賞

2005～2006年度  
国際ロータリー第2510地区

## 地区大会 事務局

〒060-0042  
北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F  
TEL・FAX(011)207-2512  
e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

### 登録料

会 員…13,000円 家族会員… 8,000円 新 世 代… 5,000円  
ゴ ル フ… 5,000円 囲 碁… 4,000円 RI会長代理 歓迎晩餐会…10,000円

会員訃報・新入会員のご紹介

会員訃報



小野寺 道春 会員  
(静内RC)

2005年5月31日  
ご逝去(享年54歳)



岸山 皓次 会員  
(美唄RC)

2005年7月29日  
ご逝去(享年81歳)



遠藤 正義 会員  
(札幌東RC)

2005年8月5日  
ご逝去(享年79歳)

【  
ロータリー  
歴】

1999年5月 入会  
2001~2002年度 職業奉仕委員長  
2002~2003年度 会報委員長  
2004~2005年度 プログラム委員長  
ポール・ハリス・フェロー

【  
ロータリー  
歴】

1973年10月1日 入会  
1985~1986年度 副会長  
1986~1987年度 15代会長  
その他、多くの役員・理事を務めました。  
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者

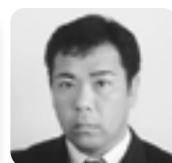
【  
ロータリー  
歴】

1969年7月3日 入会  
1979~1980年度 幹事  
1983~1984年度 会員増強委員長  
1988~1989年度 副会長(職業奉仕委員長)  
2000~2001年度 出席委員長  
2005~2006年度 雑誌委員  
ポール・ハリス・フェロー

新入会員のご紹介 (敬称略)



小西 俊充  
浦河RC  
平成17年7月1日入会



永井 崇啓  
浦河RC  
平成17年7月1日入会



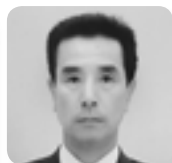
渡辺 典子  
苫小牧RC  
平成17年7月1日入会



齋藤 聡  
岩見沢RC  
平成17年7月1日入会



近江 利啓  
岩見沢RC  
平成17年7月1日入会



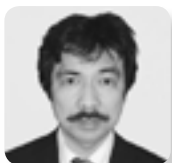
山本 秀一  
岩見沢RC  
平成17年7月22日入会



安藤 正熹  
岩見沢RC  
平成17年8月5日入会



青木 貞康  
札幌はまなすRC  
平成17年7月5日入会



工藤 建融  
札幌はまなすRC  
平成17年7月5日入会



村住 俊幸  
小樽RC  
平成17年7月5日入会



稲垣 哲也  
小樽RC  
平成17年7月5日入会



堀岡 一幸  
小樽RC  
平成17年7月12日入会



秋山 正人  
小樽RC  
平成17年7月12日入会



早瀬 芳宏  
伊達RC  
平成17年7月5日入会



山田 愁慈  
伊達RC  
平成17年7月5日入会



小熊 啓司  
伊達RC  
平成17年7月5日入会



斎藤 賢一  
江別西RC  
平成17年7月5日入会



奥山 俊二  
砂川RC  
平成17年7月6日入会



工藤 英博  
砂川RC  
平成17年7月6日入会



谷口 正樹  
滝川RC  
平成17年7月7日入会



武内 直也  
札幌セントラルRC  
平成17年7月12日入会



柴野 美智子  
岩見沢東RC  
平成17年7月12日入会



早坂 克己  
岩見沢東RC  
平成17年8月2日入会



置田 健吾  
登別RC  
平成17年7月13日入会



吉田 栄治  
岩内RC  
平成17年7月14日入会



宮谷 悟  
岩内RC  
平成17年7月14日入会



大内 全  
岩内RC  
平成17年7月29日入会



千葉 勝好  
室蘭北RC  
平成17年7月26日入会



舟谷 絹子  
深川RC  
平成17年7月26日入会



八木 一洋  
三石RC  
平成17年8月1日入会



## 例会変更について

### 第12グループIM日程変更

ガバナー月信第2号で掲載しました第12グループIM日程が、8月28日(日)から9月11日(日)に変更になりましたのでお知らせ致します。

### 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 江別 RC: 9月8日(木) 12:30~ 例会場の都合により勤労者研修センター(江別市緑町西1丁目103)に変更  
 当別 RC: 9月13日(火)を9月15日(木)に変更『レクサンド来町中学生歓迎例会』  
 場所: 田西会館 12:30~  
 9月20日(火) 休会(定款第5条第1節による)
- 千歳 RC: 9月15日(木) 夜間移動例会「丸駒温泉」  
 苫小牧東 RC: 9月8日(木) 夜間移動例会 18:00~ 『渡部会員傘寿祝い、松原会員古希祝い』  
 場所: グランドホテルニュー王子1階「桃苑」  
 9月15日(木)を9月11日(日)に変更『インターシティ・ミーティング』9:00~  
 場所: 苫小牧アルテン(苫小牧市表字樽前421-4 TEL0144-67-2888)  
 9月29日(木) 休会(定款第5条第1節による)
- 札幌あけぼの RC: 9月第1例会より 石屋製菓内「白い恋人テーマパーク」  
 場所: あんとるぼー館地下1階 レストラン「あんとるぼー」(札幌市西区宮の沢2-2-11-36 TEL011-666-1483)に変更
- 岩内 RC: 9月1日(木) 休会(4クラブ合同例会の振替休会)  
 苫小牧 RC: 9月23日(金) 休会(法定休日/秋分の日)  
 苫小牧北 RC: 9月27日(火) 夜間移動例会 18:00~  
 場所: イートアップ(苫小牧市永福町1-6-12 TEL0144-78-2929)

## 文庫通信 215号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「地区大会講演より」

- ◎「今、飲み水が恐ろしい」  
北野大 2005 6p (D.2800)
- ◎「新しい国際社会と日本の軍縮外交」  
猪口邦子 2004 10p (D.2610)
- ◎「少子社会の人間学～夫婦仲が悪いと子どもがキレル」  
富岡賢治 2004 6p (D.2840)
- ◎「21世紀の美しいまちづくり」  
石川幹子 2004 3p (D.2520)
- ◎「ユネスコ活動とロータリー活動」  
野口昇 2005 8p (D.2530)
- ◎「日本人と奉仕のこころ」  
鈴木健二 2005 8p (D.2830)
- ◎「夢を追いかけて」  
山本昌邦 2005 4p (D.2740)
- ◎「スペシャルオリンピックスについて」  
細川佳代子 2004 7p (D.2660)
- ◎「プロジェクトX～限りなき挑戦」  
今井彰 2004 12p (D.2660)  
[上記申込先: ロータリー文庫(コピー)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3  
 abc会館7F  
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時  
 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2005年9月 米貨1ドル=112円

## 7月出席率・会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数(女性)	3,034人(92人)
増加会員数	48人
当月平均出席率	85.29%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			05.7.1	05.7.31	増減	内女性	
1	深川	4	38	39	1	2	85.95
	羽幌	4	49	49	0	1	85.55
	妹背牛	4	10	10	0	0	90.00
	小平	5	13	13	0	0	87.69
	留萌	4	49	51	2	0	84.88
	小計		159	162	3	3	86.81
	2	赤平	4	34	34	0	2
芦別		4	48	48	0	0	86.86
砂川		4	50	52	2	0	95.00
滝川		4	106	107	1	1	76.00
小計			238	241	3	3	87.22
3	美幌	4	41	41	0	0	94.13
	江別	4	36	37	1	1	90.96
	江別西	4	35	36	1	3	91.66
	岩見沢	5	95	95	0	0	92.26
	岩見沢東	4	35	36	1	4	84.48
	栗沢	4	24	24	0	1	94.79
	栗山	4	26	26	0	2	96.87
	当別	4	38	38	0	1	78.29
	小計		330	333	3	12	90.43
4	札幌	4	123	126	3	0	98.21
	札幌あけぼの	5	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	72.92
	札幌北	3	43	43	0	5	95.06
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	79.90
	札幌西	4	72	73	1	3	90.77
	札幌西北	4	48	48	0	2	91.42
	札幌手稲	5	41	41	0	1	100.00
	小計		419	425	6	16	91.04
5	札幌東	4	121	121	0	0	97.94
	札幌清田	4	28	28	0	6	100.00
	札幌幌南	5	70	70	0	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	45	-1	3	86.74
	札幌南	3	89	93	4	0	97.89
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	80.07
	札幌セントラル	4	17	18	1	5	70.10
	新札幌	4	32	33	1	1	90.37
	小計		422	427	5	19	90.39

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			05.7.1	05.7.31	増減	内女性	
6	岩内	3	28	31	3	0	82.00
	倶知安	4	50	50	0	3	55.50
	小樽	4	64	68	4	0	84.55
	小樽南	5	82	82	0	0	92.52
	小樽銭函	4	25	25	0	3	92.00
	蘭越	4	11	11	0	0	86.35
	余市	4	44	44	0	4	84.00
	小計		304	311	7	10	82.42
7	千歳	4	61	65	4	3	82.60
	千歳セントラル	4	27	27	0	0	82.40
	恵庭	4	49	49	0	0	89.88
	北広島	3	17	17	0	2	88.24
	長沼	3	18	18	0	3	82.00
	由仁	4	13	13	0	0	84.62
	小計		185	189	4	8	84.96
8	えりも	4	23	23	0	0	86.96
	三石	3	16	16	0	1	95.83
	様似	4	18	18	0	1	75.27
	静内	4	66	69	3	0	82.60
	浦河	4	33	33	0	1	93.94
	小計		156	159	3	3	86.92
9	伊達	4	55	58	3	0	81.03
	室蘭	4	50	52	2	0	78.11
	室蘭東	4	43	47	4	0	86.98
	室蘭北	4	37	38	1	2	85.81
	登別	4	36	36	0	2	83.33
	洞爺湖	4	9	9	0	0	77.80
	小計		230	240	10	4	82.18
	10	函館	4	91	93	2	0
函館亀田		3	43	43	0	1	83.33
森		4	42	42	0	0	80.30
七飯		4	20	22	2	0	73.80
長万部		3	10	10	0	0	66.60
小計			206	210	4	1	77.07
11	江差	4	17	17	0	0	82.00
	函館五稜郭	5	63	63	0	0	90.37
	函館東	4	43	42	-1	4	79.27
	函館北	4	32	33	1	0	84.09
	上磯	4	26	25	-1	2	46.20
	松前	5	9	9	0	1	70.00
小計		190	189	-1	7	75.32	
12	白老	4	23	23	0	0	83.00
	苫小牧	5	56	56	0	1	70.23
	苫小牧東	4	31	31	0	3	90.32
	苫小牧北	4	37	38	1	2	88.30
	小計		147	148	1	6	82.96
合計		2,986	3,034	48	92	85.29	

## 地区カレンダー（9月・10月）

9月 新世代のための月間	
1 (木)	公式訪問（苫小牧東RC）
2 (金)	公式訪問（苫小牧RC）
3 (土)	函館セントラルRCチャーターナイト
4 (日)	
5 (月)	公式訪問（長万部RC、函館亀田RC）
6 (火)	公式訪問（函館東RC、七飯RC）
7 (水)	公式訪問（森RC、函館北RC）
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	ガバナー・エレクト研修セミナー（東京） 第12グループIM（苫小牧）
12 (月)	公式訪問（北広島RC）
13 (火)	公式訪問（白老RC）
14 (水)	
15 (木)	公式訪問（上磯RC、函館RC）
16 (金)	公式訪問（函館五稜郭RC、江差RC、 松前RC）
17 (土)	
18 (日)	小樽銭函RC創立30周年記念式典
19 (月)	敬老の日 札幌西RC創立45周年記念式典
20 (火)	公式訪問（千歳セントラルRC）
21 (水)	公式訪問（恵庭RC）
22 (木)	
23 (金)	秋分の日
24 (土)	ローターアクト・アジア第1ゾーン会議 （札幌）
25 (日)	
26 (月)	公式訪問（長沼RC）
27 (火)	公式訪問（当別RC）
28 (水)	公式訪問（札幌モーニングRC）
29 (木)	公式訪問（千歳RC）
30 (金)	公式訪問（札幌幌南RC）

10月 職業奉仕月間・米山月間	
1 (土)	公式訪問（札幌手稲RC）
2 (日)	千歳セントラルRC創立15周年記念式典
3 (月)	公式訪問（札幌南RC）
4 (火)	公式訪問（札幌清田RC、札幌セントラルRC）
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	当別RC創立30周年記念式典
9 (日)	
10 (月)	体育の日 地区大会記念囲碁大会（札幌）
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	地区大会記念ゴルフ大会 （札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース）
15 (土)	地区大会（札幌コンベンションセンター）
16 (日)	地区大会（札幌コンベンションセンター）
17 (月)	
18 (火)	公式訪問（札幌西RC）
19 (水)	公式訪問（札幌真駒内RC）
20 (木)	公式訪問（札幌西北RC）
21 (金)	
22 (土)	
23 (日)	
24 (月)	公式訪問（札幌北RC）
25 (火)	公式訪問（札幌はまなすRC、苫小牧北RC）
26 (水)	公式訪問（札幌RC）
27 (木)	公式訪問（札幌東RC）
28 (金)	
29 (土)	赤平ローターアクトクラブ 創立30周年記念式典（赤平）
30 (日)	
31 (月)	

**SERVICE Above Self**



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 4*  
**2005.10**



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

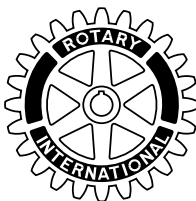
北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



## 超我の奉仕

### C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	03
国際大会のご案内	
国際ロータリー会長	05
オン・ツー・コペンハーゲン委員会	06
地区委員会報告	
職業奉仕委員会	08
米山記念奨学委員会	10
会員増強委員会	12
世界社会奉仕委員会	13
インターアクト委員会	13
GSE委員会	14
GSEメンバー紹介	14
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます	14
インターシティミーティング開催	15
ロータリーの友地区委員より	16
ハリケーン『カトリーナ』救援基金のお願い	16
訃報・新入会員のご紹介	17
地区大会のご案内	18
ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	18
事務所移転・例会変更・文庫通信	19
地区カレンダー（10月・11月）	20
8月の出席率・会員数	21

## ■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

## 今こそ職業奉仕を!

はや夏も過ぎ爽やかな仲秋の候となりました。会長・幹事の皆さんにはお変わりありませんか。いつも地区の運営にご協力をいただきありがとうございます。私も73クラブのうち約3分の2の公式訪問を無事に終えることが出来ました。温かい心のこもった歓迎を賜り、おおぜいの方々と奉仕の機会として知り合いを深めることが出来、ロータリーの功德を身にしみて感謝しております。

さて10月は職業奉仕月間であります。わたしは今年の地区重点方針の一つに職業奉仕の再構築をお願いしました。そこでロータリーの職業奉仕と云う概念はどのようにして生まれたのか、その背景を振り返って見ましょう。

日本のロータリーの始祖は、米山梅吉氏であります。三男の桂三さんが慶応大学の教授になり、『父米山梅吉を語る』という手記の中でロータリー運動について次のように語っています。『ロータリー運動とは、社会・経済史的に見ると、資本主義の発達という歴史的必然と、資本主義の欠陥を救おうとする人物の出現という歴史的偶然との交錯したところに生まれた運動である』

1880年頃から、20世紀初頭にかけてアメリカにおける資本主義は、独占体制の段階に入りました。そうすると資本主義の欠陥がいたるところに姿を現しました。そのような時代にあっては、健全な中産階級の中から社会改良思想が生まれてくるのは、けだし当然のことで、ポールハリスが、三人の友人と語らって何か世の中のためになるような集まりを作ろうじゃないかと、ロータリークラブを作った1905年が、ちょうど初期資本主義が最盛期を迎えた年だったということが、私には大変に興味深いのです。なぜならロータリーは、誕生のその時から資本主義の欠陥を救う運命にあったのだと私流に解釈をしています。

では19世紀の末葉から20世紀初頭にかけてアメリカのシカゴには、どのような欠陥があったのでしょうか。資本家が政治・経済の主導権を握り、私利私欲中心の拝金主義が横行し、貧富の差の拡大により、スラム街がいたるところに姿を現し、シカゴは伝染病や犯罪の温床となり商業倫理の欠如の上になぜなら繁栄が築かれておりました。シカゴはまさに弱肉強食の街でした。

このようなときには、中産階級の中から様々な社会改良運動が起こりました。まずセツルメント運動ですが、これはジャン・アダムの始めたハルハウスが有名です。これはスラム街の中に拠点を移し、そこで貧民の厚生運動をするものです。他にはアル・カポネが暗躍していた当時の風潮を反映して女性キリスト教禁酒同盟や、反酒場連盟が結成されたり、貧民に無関心であった教会も社会福音運動を展開し始めました。また救世軍活動や、YMCA、YWCAその他多くの慈善団体が現れました。

ロータリーはこのようにときに当たり、病める都市シカゴを救うために、どのような処方箋を書いたのでしょうか。ロータリーは特定の事業を標榜する奉仕団体ではなく、奉仕を志す人の集まりです。20世紀初頭の混沌としたシカゴで、ロータリーが目指した社会改良の処方箋とは、社会の基である個人の心を教化することだったのです。ロータリーは、人間の徳性の向上が人類社会発展の基本であることを信じて疑わないのです。ロータリーは一業一会員制によって選ばれた地域社会の中で最も特性を重んじる職業人が、毎週一回の例会で親睦のうちに各自の識見の広さと判断力を強化して、それにより社会を改良しようというものです。ロータリーは、資本主義の病を治すのに個々の人の徳性を向上させることにより、根本的、本質的に病根を治療しようとするものなのです。

では1905年の草創期に当たって一握りのロータリアン達は具体的に一体何をしようとしたので

しょうか。彼らもまた資本主義の中で生活をしなければならないのであるから、まずその激烈な商業上の生存競争に勝利者たる栄冠を得なければならなかったのです。そこでこれらの人々がロータリー運動に参加したのは、親睦の場であるクラブの例会に彼らの企業上の問題を持ち込み、衆知を集めてその改善策を練り、それによって劣悪な資本家との競争に打ち勝とうとしたのです。ただここで注目すべき点は、彼らはその競争の手段としてあくまでも正直、勤勉を前提とし、友愛を根本として企業経営を行い、商業道徳をあげるということに専念しました。そしてその商業道徳の高揚による運動が、やがて自己の企業に利益をもたらし、資本主義の世界で勝利者となっていきました。つまりロータリー運動は、その根底において自己の発展を目的とする実践活動であることが明らかになるとともに、その実践活動の指導原理として、正直、勤勉、犠牲、献身、他人に対する思いやりといったような平凡な原則を心の中に常時温存しようとするものです。アメリカ人は出世物語が大好きです。それでロータリー運動は20世紀初頭の貧乏商人の出世物語とも言われました。ここでその具体的な例を一つ挙げてみましょう。

1930年、フーバー大統領のときアメリカ経済界は大恐慌に見舞われ、その影響は世界中に及びました。資本主義の過剰生産がもとで、銀行のとりつけ騒ぎが起こり、倒産、破産は数知れず、人々は職を失い家を失いました。しかしそのような大恐慌の中にあっても、ごく少数の人たちは何とか倒産を免れ、仕事を続けておりました。それらの人々はみな胸に見慣れない歯車のバッジを付けていました。彼らに何故この栄枯盛衰常なきとき、安定した企業を続けてこられたのかと聞くと、自分たちはロータリアンであり、ロータリーの教えを守って商売をしている。その教えとは「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」、「超我の奉仕」というモットーであり、他人に対する思いやりの心ですと答えました。そのときのロータリアンが偉かったのは、不況の最中自分の企業を守ったばかりか、不況で倒れた同業者の救済に乗り出したのです。そればかりか32代大統領ルーズベルトのニューディール政策にも企業倫理基準高揚のため献身的に参加しました。そしてこのときからロータリーの職業奉仕は、不況に強い哲学だと評判になり、ロータリーへの入会者は引きも切らない有様でした。職業奉仕の哲学は資本主義社会の中で、ロータリアンにも非ロータリアンにも、共にベネフィットを与える普遍の真理となったのです。

それから75年後の今、バブル崩壊後の日本は大不況にあえいでいます。情報革命を経て地球経済は一つになり産業構造は大きく変わり、資本主義は資本の論理により巨大化しました。もはや当の主体である人間の意志を離れ市場経済、多国籍企業という暴れ馬が怒涛のように世界を瞬時に駆け巡っています。いくら投機的な商業活動を罪悪視しても国際規模に巻き込まれてしまった我々はどうのように行動することが合理的であり倫理的・良心的なのでしょうか。我々は新たな職業奉仕の基準をつくらねばならないのでしょうか。もはやロータリーの職業奉仕は色褪せてしまったのでしょうか。いや、ロータリーの職業奉仕の理念は資本主義社会が続く限り普遍の真理です。職業倫理と資本主義は車の両輪です。資本の論理だけの社会には人は住めません。

混沌とした今の時代に舵を取らねばならぬ企業経営者は孤独な決断を強いられます。正しい方向に進路をとり、足並みそろえてことに当たらなければ船は難破しかねません。トップの決断は会社の命運を担います。**企業経営者の拠り所は職業奉仕に徹する事、つまり【顧客の信頼を貫き通すこと】**そして**【超我の奉仕】というロータリーテーマの実践にあります**。大切な顧客の信頼を裏切れば手痛いダメージを受け企業の存亡は危うくなります。

“ロータリー新世紀”を迎えロータリーがかつての栄光を取り戻し、生き延びるためには、今こそ自己の企業と地域社会に大きく貢献できるロータリーの職業奉仕を再構築する事が急務です。



ガバナー公式訪問ではありがとろいございました



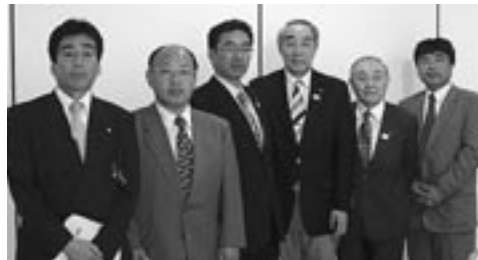
小樽RC公式訪問（8月2日）



蘭越RC公式訪問（8月2日）



倶知安RC公式訪問（8月3日）



余市RC公式訪問（8月3日）



岩内RC公式訪問（8月4日）



小樽銭函RC公式訪問（8月4日）



ガバナー公式訪問ではありがとございました



札幌大通公園RC公式訪問（8月5日）



伊達RC公式訪問（8月9日）



室蘭北RC公式訪問（8月9日）



室蘭東RC公式訪問（8月10日）



登別RC公式訪問（8月10日）



室蘭RC公式訪問（8月11日）



## 国際大会のご案内

# ロータリアンの皆さん

2006年6月11～14日にスウェーデンのマルメとデンマークのコペンハーゲンで開催される、第97回RI国際大会に、皆様とご家族、そしてゲストの方々をご招待することができますことは、私と妻モニカにとってこの上ない喜びです。本大会は、北欧で開かれる初の国際大会であると同時に、二国共同主催による初の国際大会でもあります。これに加え、以下に挙げた今年度の強調事項を取り上げる参加型討論グループを採用する初の大会ともなります。

- 識字率向上
- 水保全、保健、飢餓
- ロータリーの公共イメージ

これらの討論を通じて、共通の関心を持つロータリアンは、世界中でプロジェクトを開始したり、資金を調達するために、それぞれの専門知識や資源を分かち合うことができます。人々への奉仕を追求しながら生涯にわたる友情を培うロータリアンにとって、2006年RI国際大会は、奉仕と親睦を深める機会となります。また本大会では、盛大な開会式の国旗入場、楽しい余興、感動的な講演、RIの特別昼食会、いつも人々に親しまれている「友愛の家」、クラブ・地区プロジェクトやRI親睦活動、ロータリー被免許業者による展示など、皆さんが期待する数々の行事も行われます。国際大会に関する詳細は、RIウェブサイト ([www.rotary.org/languages/japanese/index.html](http://www.rotary.org/languages/japanese/index.html)) をご参照ください。



北欧の国々の温かいもてなしを体験していただくために、地元の人々による創意に富む大会前後のホームステイ・プログラムにぜひご参加ください。地元のロータリアンはまた、デンマークでの「チボリの一日」、マルメでの「スウェーデンの夕べ」、ホスト・ホスピタリティの夕べ、ノーベル晩餐会、ヨットレース、ゴルフトーナメント、それぞれの国の魅力を紹介するためのツアーや活動なども計画しています。ホスト国が計画している行事については、[www.riconvention2006.org](http://www.riconvention2006.org)をご覧ください。

マルメとコペンハーゲンを結ぶオスアン橋は「協力」の力強い象徴ですが、それと同じく、168のロータリー国からロータリアンが一堂に会する2006年RI国際大会はまさに「世界の懸け橋」です。非識字から識字へ、汚染された水からきれいな飲み水へ、病気から健康へ、不足から充足への懸け橋を築くために行動を起こしながら、新たな決意で「**超私の奉仕**」を実践し、国際ロータリーが成し得ることを世界へ示していこうではありませんか。

心を込めて



2005 - 2006年度 国際ロータリー会長  
**カール・ヴィルヘルム・ステンハママー**  
スウェーデン、イエーテボリRC



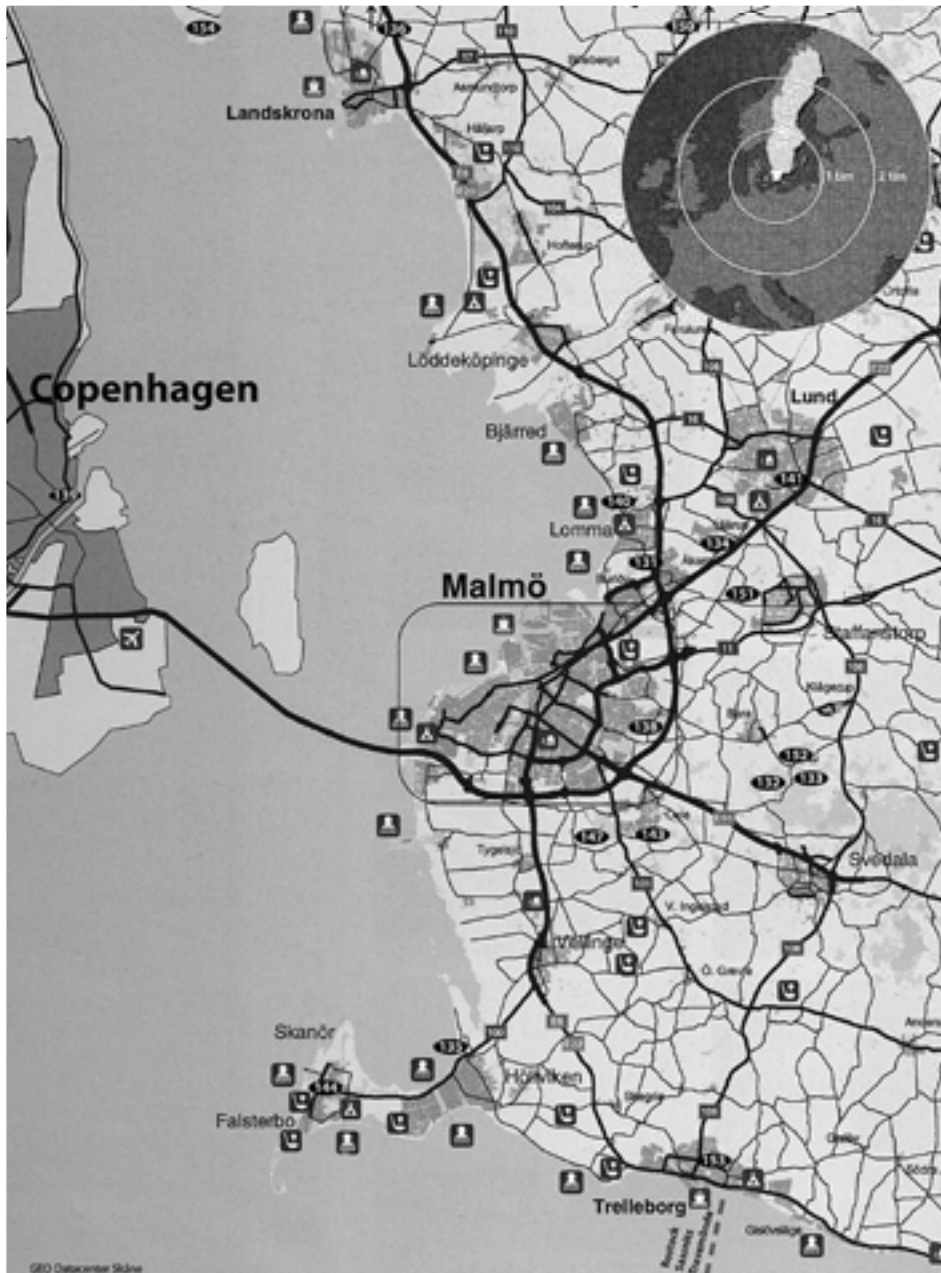


## RI国際大会に参加しよう!!

2006年6月11日(日)~14日(水)

オン・ツー・コペンハーゲン委員会

委員長 佐藤 秀雄 (千歳RC)



今回の第97回国際大会は、デンマーク国のコペンハーゲン市とスウェーデン国のマルメ市の2会場で、2006年6月11日(日)から14日(水)の4日間開催される事となりました。主会場はコペンハーゲン市ですが大会前の諸行事、その他の附属行事はマルメ市が会場となります。大会の開会式、閉会式はコペンハーゲン市のベラ・センターを会場に開催されることになりました。2会場は陸橋で結ばれ片道30分で往来が出来ます。

国際大会が北欧で開催されるのは初めてです。デンマークは北海道と似た気候で素晴らしい牧歌的な国です。スウェーデンやフィンランドには、かつての交換留学生も多く、ホストされた会員、ご夫人の皆様が来訪されたらどんなに喜ぶか、楽しい光景が目浮かびます。

スウェーデンのマルメ市は美人も多く歓楽街も充実しているようです。入会間もない会員も経験豊かな会員も、国際大会の雰囲気と北欧の国々を満喫できるよう当委員会が知恵を絞って企画しました。多くの会員の参加を希望します。

### オプションツアー

- |                |      |               |            |
|----------------|------|---------------|------------|
| (1) 大会参加7日間    | Aコース | 参加費用/280,000円 | 催行人員/6名    |
| (2) 大会参加と北欧7日間 | Bコース | 参加費用/393,000円 | 催行人員/24名以上 |

# 国際大会のご案内

## その他

- オプショナルツアー料費用は全て概算で、申込人数によって、食費を含め詳細は年明けに確定します。
- 大会登録はe-mailかFAXでRIに直接申し込んで下さい。登録費は12月31日まではお一人様325ドルで、配偶者と本人2人ですと650ドルとなります。1月以降は高くなります。登録方法の詳細は「登録およびチケット申込書式」(ネットでプリントアウトして下さい。)をご利用ください。当委員会にも10部ほど在庫がありますがパソコンの保有してないクラブは、当委員会に要請してください。業者に登録代行を依頼したときは1人6,300円が別途必要となります。
- 参加申込は、クラブごとまとめて「参加者名簿(氏名・住所の記載あるもの)」をFAXで提出していただき、その際、連絡担当者の住所、氏名、電話番号を必ず記載してください。申込受付は2005年11月1日からとします。(尚、参加人数を集めるのに時間がかかりますと先着順受付ですので、その点は充分ご配慮の上募集を御願いたします。)

参加者名簿の提出先 千歳市幸町6丁目14番地9 (〒066-0066)  
 佐藤・高慶合同司法書士事務所内 オン・ツー・コペンハーゲン委員会  
 氏名 委員長 佐藤 秀雄 (担当 古谷)  
 電話 0123-23-0374 (代表)  
 F A X 0123-24-4096

- 当地区での参加者人数はホテルの確保並びに飛行機の座席の関係から約30名程度を予定しています。申込締め切りは2005年12月15日としますが、先着順で受け付け満員になり次第締め切らせて頂きます。尚、申込金内金1人につき5万円については日本旅行社から2006年1月31日までに納金されるようご案内します。
- 北海道ナイトについては2006年6月10日20:00から1時間30分の予定で、宿泊ホテルを会場に会費1万円で開催する予定です。

## 行程表

### 第97回(2006年)国際ロータリー年次大会コペンハーゲン・マルメ

#### ●大会参加7日間 Aコース

日次	月/日(曜)	地名(発着地)	現地時刻	利用交通機関	行程訪問先等	朝食	昼食	夕食
1	6月10日(土)	千歳発	7:50	ANA2152				
		成田着	9:15				機内	機内
		成田発	11:45					
		コペンハーゲン着	16:15	SK984	着後、ホテルへ。 (コペンハーゲン市内)			
2	6月11日(日)	コペンハーゲン滞	終日		終日:大会行事参加 ●開会式 (コペンハーゲン市内)	○	×	×
3	6月12日(月)	コペンハーゲン滞	終日		終日:大会行事参加 または自由観光。 (コペンハーゲン市内)	○	×	×
4	6月13日(火)	コペンハーゲン滞	終日		終日:大会行事参加 または自由観光。 (コペンハーゲン市内)	○	×	×
5	6月14日(水)	コペンハーゲン滞	終日		終日:大会行事参加 ●閉会式 (コペンハーゲン市内)	○	×	×
6	6月15日(木)	コペンハーゲン発	15:45	SK983	出発まで自由行動。 バスで空港へ。空路、日本へ。 (機中泊)	○		機内
7	6月16日(金)	成田着	9:35		着後、入国手続き。 リムジンバスで羽田へ。			機内
		羽田発	12:30	ANA				
		千歳着	14:00					

\*この日程表は作成日現在の資料に基づいて作成されていますが、交通機関の都合により時間等に変更が生じることがございます。

- 参加費用/大人お一人様 280,000円
- 催行人員/6名
- ご旅行条件/ホテル/ラディソン・サス・スカンジナビア 1室2名。(確約)
- 添乗員は1・2日目にお世話します。(ただし、他のコースが催行の場合)
- 大会登録料/上記参加費用に含まれません。別途各自で登録案内によりお支払い下さい。

#### ●大会開会式参加と北欧7日間 Bコース

日次	月/日(曜)	地名(発着地)	現地時刻	利用交通機関	行程訪問先等	朝食	昼食	夕食
1	6月10日(土)	千歳発	7:50	ANA2152				
		成田着	9:15					機内
		成田発	11:45					
		コペンハーゲン着	16:15	SK984	着後、ホテルへ。 (ラディソン・サス・スカンジナビア)			
2	6月11日(日)	コペンハーゲン滞	終日		終日:大会行事参加 ●開会式 (ラディソン・サス・スカンジナビア)	○	×	×
3	6月12日(月)	コペンハーゲン発 ストックホルム空港着	9:20 10:30	SK1418 専用車	着後、市内観光(市庁舎、王宮、大聖堂など) 夕食:「スタッスヒュース・シェラレン」 「ノーベル賞授賞式晩餐会」の味で (ストックホルム市内)	○	○	○
4	6月13日(火)	ストックホルム港	17:00	シリヤライン (観光船) ツーリストクラス	市内観光および FC例会参加/12:15~13:30 (グランドホテルで開催) 夕刻、客船でバルト海を(船中泊)	○	×	船中
5	6月14日(水)	ヘルシンキ着	9:30		着後、市内観光。(シベリウス公園、テンペリアウキオ教会など) (ヘルシンキ市内)	船中	○	○
6	6月15日(木)	ヘルシンキ発	12:50					
		コペンハーゲン着	13:30	SK717	空路、コペンハーゲン乗り継ぎ。			機内
		コペンハーゲン発	15:45	SK983	空路、日本へ。(機中泊)			
7	6月16日(金)	成田着	9:35		着後、入国手続き。 リムジンバスで羽田へ。			機内
		羽田発	12:30	ANA				
		千歳着	14:00					

\*この日程表は作成日現在の資料に基づいて作成されていますが、交通機関の都合により時間等に変更が生じることがございます。

- 参加費用/大人お一人様 393,000円
- 催行人員/24名
- ご旅行条件/ホテルは(弊社EXクラス) 1室2名。
- コペンハーゲンは「ラディソン・サス・スカンジナビア」確定。
- 添乗員が1名同行いたします。
- 大会登録料/上記参加費用に含まれません。別途各自で登録案内によりお支払い下さい。



## 職業奉仕月間にちなんで

職業奉仕委員会

委員長 磯波

寿 (札幌幌南RC)

2005-06年度、ロータリーの奉仕の第2世紀へとスタート致しました。RI会長のテーマは「超私の奉仕」、ロータリーの原点であります職業奉仕を見直し、地域社会に「奉仕の実践」との活動方針であります。

ロータリークラブは言うまでもなく、奉仕を志す人たちの集団であります。したがって職業奉仕活動も、個々の会員が各々の職業に携わる中で、思いやりと助け合いの心を発揮して、世のため人のために役立つ事が本来の目的であります。

では、ロータリーの職業奉仕とは何かと問われて即座に答えることは大変難しい事ですが、「ロータリーの綱領」第2項がこの職業奉仕を端的に表現したものと言えると思います。どうか綱領を一度お読み頂きたいと思います。

そして、ロータリーの友(7月号)のRI会長のメッセージが記述されています。「超私の奉仕」について、更に詳しく記載されています。

### 職業奉仕の位置づけ

職業奉仕とは何か、との問いに対して「ロータリー入門書」(前原勝樹(かつのり)著)から言葉を借りますと、それは他の団体にはない奉仕分野であり、いつでも誰でも出来るもので、いわばロータリーの生活の規範をなすものだから、ロータリーの「金看板」といわれる所以であると述べられています。

また、ただ単に「職業奉仕」はロータリーの金看板であると言って呼びかけても、余りにも漠然としていて、なかなか実践に結びつき難く「職業奉仕は判りにくい」と云う言葉として返ってきます。

そもそも職業奉仕と云う奉仕ジャンルがあるのはロータリーだけで他の奉仕クラブ、例えばライオンズや青年会議所などにも無く、従って職業奉仕はロータリーを特徴付けるものであると云われています。

これは単に奉仕クラブに限らず、社会奉仕には専門の行政機関があり多数の福祉専門団体もありますが、職業奉仕を扱う行政は無いとの事であり、それだけにロータリーの職業奉仕と云えば最も意義深いものを感じます。また、それ故にも職業奉仕はロータリーの独壇場であるからロータリアンたるもの、十分に関心を持たねばならぬ分野であると云えます。

これをロータリー四大奉仕の中に観る場合、クラブ奉仕は根であり、これから立ち上がった幹が職業奉仕であり、それから社会奉仕の枝が出、そこに国際奉仕の花が咲くという関係になると思うと述べられています。

### 超私の奉仕

1908年に一人の大学生の入会者がありました。アーサー・フレデリック・セルドンという経営学者で自らもセールスマン養成の学校の理事者でもありました。

彼はロータリーに入って考えたことは、第一に、この会にははっきりとした旗印がない。なんとか世の中の役にたつ目標と標語が必要であると思いました。

当時のシカゴは全米から集まった金の亡者達で異常な活気を呈していたが、ただ金儲け専門で商業道徳は全く乱れ、被害は消費の側で防衛しなければならないと、平気で語られていました。

しかし、全米を被う不景気には抗し難く、破産・倒産は相次ぎ、詐欺横領が横行して目もあてられぬ修羅場となっていました。そんな中にも繁盛を続けている商人もありました。それらの人々は品物も良く、しかも安く、客扱いも丁寧であるのが定石でありました。

セルドンはこれだと思いました。ロータリアンは皆な職業人である。社会の信用を保つことが第一であると考え、そして正しい商売をすれば必ず繁盛して、市民にも喜ばれ、ひいては世の中の役に立つ、これをロータリーの旗印にしようと、そして、その標語を考えつつ「最も奉仕する者・最も報いられる」と提唱し、やがて、これがロータリー



の公式標語となり職業奉仕が確立されたのであります。

後に、いくつかの標語として採用されたが議論を重ね、セルドンの進言で「奉仕第一・自己第二」という意味で「超私の奉仕」とも訳されていてロータリー標語の中心となっています。

このようにしてロータリーにおける職業奉仕は次第にその輪郭が明らかとなり1922年に定められた綱領に明確に定義づけられて来たのであります。即ち、綱領第2・職業上の「道徳的基準」全ての有用なる職業の価値あることの認識、そして社会に奉仕する好機として業務を各ロータリアンにより権威あらしめることと定められている。

### 職業奉仕の「四つのテスト」

ハーバート・テラは1939-40年度にシカゴ・クラブの会長、1954-55年度に国際ロータリー会長となりました。テラはアルミニウム製品会社の経営危機を救うため、社内の誰でもすぐ覚えられるような簡単な倫理的尺度が必要だと考え頭に浮かんだ「四つのテスト」を考案し「社は」として実践させたところ、好結果を修めたので、彼は他の人々にも「四つのテスト」を分かち合いました。今では「四つのテスト」は職業奉仕に欠かせないツールとなりました。

● 真実かどうか。 ● みんなに公平か。 ● 好意と友情を深めるか。 ● みんなのためになるかどうか。

ハーバート・テラはセールスから仕上げの人で、たまたま倒産寸前のアルミニウム製品会社の再建をたのまれた時、自社製品は他社のそれに比べて少しも遜色がないのに、なぜ他社は栄え我が社は潰れるのか、品に優劣がないのにこの差が生じるのは結局セールスの問題だと気がついた。

そこで、セールスマンに次の四点を強調した、即ち、我が社の製品の長所を過大に宣伝してはならぬ、他社の製品を悪く云ってはならぬ、これらが真実・公平ということである。第三にセールスは嫌われてはならぬ、いかなる場合にも即ち買う人にしては買わぬ人にも平等に親しまれ、喜ばなければならない。そして第四は、このセールスは良い品を安く売っているのだから世の中に役に立っているという自信と誇りを持つことだと訓えている。

ロータリアンなら誰でも「四つのテスト」の最初の言葉は「真実かどうか」を知っています。即ち仕事上で「嘘をつかない」と云うことが最も重要な事でありす。

昨今、日本では新聞・テレビの報道されている各省庁で起こっている様々な問題、政治家による疑惑、そしてあらゆる企業・団体などの「嘘」から始まる不祥事の多発であります。丁度、今、以前のシカゴの街と、昨今の日本と重なって映っています。今こそ、この日本に於いても、ロータリアンたる者、率先して「四つのテスト」を実践し、企業の安定を計りたいと思います。

### 職業奉仕と社会奉仕の差異

社会奉仕と職業奉仕の違いは、職業奉仕の定義の一つに「職業奉仕を通して、社会に奉仕する」とあります。しかし、これでは、職業奉仕は、社会奉仕の一部という錯覚が生まれます。はっきりと「職業で」となければならぬ。

例をあげると、タクシの運転手が客を乗せ「メモ」を頼りにやっと客の行先をたずねあて送りどけたとする、これは職業奉仕である、お金を貰って客を目的地に運ぶのがタクシの運転手の職業であるからである。

その帰り道、重い荷物を持って思案顔をしたお婆さんに声をかけたところ「行先が判らず困っている」とのこと、そこで運転手「そこは車庫への帰り道だから乗せてあげよう」とお婆さんを無料でそこまで運んで降ろしてやったとする、これは職業奉仕でなく、社会奉仕の小さな親切である。なぜなら無料では職業ではない、料金を貰ってこそ職業である。

こんな例はたくさんあります。会員の医師が例会後一同に無料で血圧検査をしたとする、これは先の運転手の例で判る通り社会奉仕で職業奉仕ではない。更に職業奉仕だからと云っても何も自分が損をしてまで相手に儲けさせろと云うことではありません。儲けるための手段が反道徳的であってはいけないし社会全体のことを考えて公正にと云っているに過ぎないとの事でありす。

「適正利潤」「道徳心の高揚」「公正な判断」この三つの基本においた経営と云う事になります。

本年度、RI会長のテーマは地域社会に「奉仕の実践」との活動方針であり、10月はその実践の月とされています。

すでに、地区内クラブでは「職業奉仕」の「フォーラム」又は「勉強会」を計画され、私達、地区委員会にも多くのクラブから卓話要請の依頼が来ています。5名の地区委員で役割分担を定め対応し、地区内各クラブロータリアンの皆さんと一緒に「奉仕の実践」に努めて参りたいと思っています。

ご理解ご協力をお願いいたします。



## 米山月間によせて

米山記念奨学委員会  
委員長 竹原

巖 (札幌北RC)

ロータリーではロータリアンひとりひとりが活動に参加するよう強調するため、国際ロータリーが指定した8つの特別月間があります。10月は職業奉仕に関する特別月間に当たるとともに、日本ロータリー独自の奉仕活動である奨学制度に理解を深める「米山月間」でもあります。ロータリー米山記念奨学会は勉学・研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、国際理解と相互親善を深めるためにロータリアンからの浄財を財源として、奨学金を支給・援助する規模・実績ともに民間では国内最大の奨学団体です。

### 1. 沿革と変遷

日本ロータリーの創設者で、自らもアジアの留学生に援助した米山梅吉氏の功績を記念して、東京RCが1952年米山奨学制度を設立、1953年から募集を開始。1957年に国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山記念奨学委員会」が結成され全国的な組織となる。1958年全国の大学より8名の奨学生を採用し、1959年世話クラブ制度を設置。1960年会名を「ロータリー米山記念奨学会」と改称。1967年財団法人(基本金3,000万円)の設立許可を得る。1971年カウンセラー制度を設置。1983年より米山月間を10月とすることに決定する。2001年日本の留学生受け入れ制度100年記念にあたり、文部科学省より功労団体として表彰される。

### 2. 目的と事業

ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的とします。目的を達成するために、次の事業を行っています。①奨学金の支給②世話クラブとカウンセラー制度 ③国内外の学友会活動 ④ロータリアンと奨学生の交流。奨学金による経済的支援だけでなく、世話クラブ並びにカウンセラー制度による心の通った支援が特徴です。

### 3. 奨学金制度

奨学金の種類は学部課程を対象としたYU奨学金、修士課程のYM・博士課程のYDなどがあり、世話クラブが支える延長制度のクラブ米山(CY)奨学金、このほか特別米山奨学金などがあります。

### 4. 寄付金

ロータリアンから頂いた寄付金は、全額奨学のために使われております。寄付金には普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金は国内全クラブから各クラブで決められた金額×会員数です。特別寄付金は、任意の寄付で会員個人・法人またはクラブからの寄付金です。近年、会員数の減少とともに寄付金が減少し、特別積立金の取り崩しによって事業を継続して来しました。

### 5. 表彰制度

米山功労者表彰は2003年7月より新しくなり、累計30万円から累計10万円ごとの表彰となりました。第2回目以降はマルチプルとなり、10回目以降はメジャードナーとなります。

本年度は皆様の善意のご寄付により国内では800名、2510地区では17名の奨学生を支援しております。今後ともご協力ご支援をお願いいたします。



2004年11月 奨学生・学友・ロータリアン・家族によるお国料理作りを通じての交流会



イランの人達による「シシカバブ」づくり



中国の人達による「水餃子」づくり



ロータリアンのソバ打ち名人による「手打ソバ」。台湾からの留学生が真剣に学ぶ



国際ロータリー第2510地区  
2005-2006年度 ロータリー米山記念奨学生



チョウ ギョウヒン  
**張 暁彬** 君

- ①中国
- ②小樽商科大学
- ③修士2年
- ④現代商学
- ⑤YM奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦小樽南RC



ハン モン  
**韓 萌** 君

- ①中国
- ②札幌医科大学
- ③修士2年
- ④理学療法・作業療法
- ⑤YM奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦札幌南RC



キン エン  
**金 燕** さん

- ①中国
- ②北海道大学
- ③修士2年
- ④法学政治学
- ⑤YM奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦札幌はまなすRC



コウ シジュン  
**黄 詩淳** さん

- ①台湾
- ②北海道大学
- ③博士2年
- ④法学政治学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2005/4~2007/3
- ⑦札幌真駒内RC



**テイクキー・ムダキユル** 君

- ①インドネシア
- ②北海道大学
- ③博士2年
- ④医療薬学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2005/4~2007/3
- ⑦札幌モーニングRC



カン トリ  
**関 彤** 君

- ①中国
- ②北海道大学
- ③修士2年
- ④分子化学
- ⑤YM奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦札幌東RC



クワン センマン  
**権 善萬** 君

- ①韓国
- ②北海道大学
- ③博士3年
- ④環境生物資源化学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦函館五稜郭RC



キン キョウコ  
**金 京子** さん

- ①中国
- ②北海道教育大学
- ③修士2年
- ④教科教育
- ⑤YM奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦札幌南RC



ファン ドウ  
**馮 涛** 君

- ①中国
- ②北海道教育大学
- ③修士2年
- ④教科教育
- ⑤YM奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦函館北RC



リュウ インシュン  
**刘 云春** さん

- ①中国
- ②室蘭工業大学
- ③博士3年
- ④創成機能科学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2005/4~2006/3
- ⑦室蘭北RC



ソウ キンサン  
**曹 金山** 君

- ①中国
- ②酪農学園大学
- ③獣博4年
- ④獣医学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2005/4~2005/9
- ⑦江別西RC



ショウ ジンカ  
**尚 爾華** さん

- ①中国
- ②札幌医科大学
- ③医博4年
- ④地域医療人間総合医学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2004/4~2006/3
- ⑦札幌セントラルRC



**デマタピティア・スムドウ** 君

- ①スリランカ
- ②室蘭工業大学
- ③修士2年
- ④情報工学
- ⑤YM奨学生
- ⑥2004/4~2006/3
- ⑦室蘭東RC



ウ キョウグン  
**于 曉軍** 君

- ①中国
- ②北海道大学
- ③博士3年
- ④現代経済経営
- ⑤YD奨学生
- ⑥2004/4~2006/3
- ⑦札幌RC



**ナハル・ヌルン** さん

- ①バングラデシュ
- ②北海道大学
- ③医博4年
- ④病態制御学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2004/4~2006/3
- ⑦札幌北RC



シン ゼン  
**申 鉉日** 君

- ①中国
- ②北海道大学
- ③博士3年
- ④生命資源科学
- ⑤YD奨学生
- ⑥2004/4~2006/3
- ⑦函館RC



リン エイハ  
**林 永波** 君

- ①中国
- ②北海道大学
- ③博士3年
- ④物質環境科学
- ⑤CY奨学生
- ⑥2003/4~2005/9
- ⑦札幌西RC

- |        |   |    |       |
|--------|---|----|-------|
| ①国     | 籍 | ②大 | 学     |
| ③課程、学年 |   | ④専 | 攻     |
| ⑤奨学金種類 |   | ⑥奨 | 学 期 間 |
| ⑦世話クラブ |   |    |       |



## 国際ロータリー第2510地区 2005-2006年度 会員増強研修セミナー

会員増強委員会

委員長 遠藤 秀雄 (登別RC)

8月28日(日)13:00~15:30 北海道医師会館・会議室で開催された。参加者は塚原ガバナー、丸山ガバナー・エレクト、伊藤研修リーダー、遠藤地区委員長と12名の地区会員増強委員(ガバナー補佐)、そして各クラブ会員増強委員長であり、司会は関堂地区代表幹事が努められた。

昨年に引き続きお越しいただいた、RI会員組織地域コーディネーター高橋文夫氏は世界的には会員数の減少は下げ止まり又は増加に転じてきているが、日本ではまだ漸減傾向が続いている。第1ゾーンだけを見ても、2005年6月末で1年間に932名減となっているが女性会員は68名増になっている。云うまでもなく会員減少は組織を弱体化し、クラブの存続を危うくし、その対応を急ぐことが喫緊の課題である。

日本の政治、経済、社会における倫理の混乱は混迷を極めている。100年前のシカゴに似てきたように思う。今こそロータリーの奉仕の哲学実践の時期到来を言えるのではないか。私たちは組織を守り、社会の正常化に一灯を投じる努力をしよう。

各クラブが地域に何を求め、何をロータリーに要求されているのかを知らなければならない。そのためには「公共イメージの拡大」が不可欠であり、会員の入会や退会防止に顕著な影響を与える。有望な候補者は、地域社会に違いをもたらす価値ある活動的な組織に関心を持っているので積極的に勧誘しよう。退会防止も会員増強に重要であり、組織の発展のため現会員及び将来の会員のニーズに応える活発な活動が必要である。しかし同じ地区内でも地域によって大きな格差があり、その地域に合った「職業分類」を選択することが重要である。またロータリーに関連する学友・ローターアクター・GSメンバー等も含めてクラブ存在認識を把握しておく必要性から、会費の見直し、地域社会の多様化を反映させる、情報資料の活用が大切である。特に最近の傾向は女性会員の増加に注目することも重要である。いずれにしても「奉仕のこころ」の充実と実践が組織の充実と強化につながると話された。

私からは地区の現況と1996年をピークに漸減が続いており、9年間で年平均137.5人の減少、特に2000年以降の5年間は165.6人の減少となっている。2004-05年度は05年5月末までは16人減で推移していたが05年6月だけで104名の減になった。その内女性会員は4名減で比率は少なかった。

北海道経済の低迷が続く中でいつになったら下げ止まるであろうか、やはり会員の力で増強に転じる方法を考えなければならない。ロータリークラブの魅力は誰のものなのだろう。一つは会員個人のものであり、学習と奉仕の実践により魅力を高めることができる。その結果社会のものとなり地域社会の中で存在価値が高まる。魅力あるロータリークラブからの退会者は少なくなるであろうし、新会員の獲得は容易になるであろう、ことを述べた。

その後の意見交換の場では伊藤研修リーダーから新入会員獲得の成功例を述べてもらうようアドバイスがあった。静内クラブはロータリー野球の強化を通して複数の入会者があった。栗山クラブからは銭湯を利用する事で、知人を増やし候補者をしばって入会を働きかけ成功している。札幌手稲クラブは100名リストアップ作成を展開し今年に会員一人一名が候補者を推薦する予定、札幌あけぼのクラブはこれまで4回例会場の変更があり、その都度大勢の退会者を出したが、やっと例会場を固定する事が出来たので積極的に会員獲得に乗り出したい等。伊藤研修リーダーより多数の貴重なご意見を伺うことが出来て参加クラブは大変参考になったのでは、と講評を頂きました。



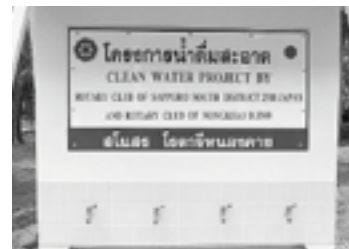
## 世界社会奉仕(WCS)委員会活動報告

世界社会奉仕委員会

委員長 齋藤修弥 (室蘭RC)

### 「札幌南RCのクリーン、ウォータープロジェクトが完成しました」

かねて札幌南RCとタイ国ノンカイRCとの間で進められていたクリーン、ウォータープロジェクトが完成し、その写真が先日ノンカイRCキテイ会長から送られてきました。嬉しそうな子供たちの表情が印象的です。今年度に入っても既に室蘭RCとノンカイRCの間で、新たなウォータープロジェクトが進行しています。今年度のカール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長は具体的な奉仕のテーマとして、全てのRCが「識字率の向上」と「水資源の確保」事業に取り組むことを強く望んでいます。どうか各地のRCにおかれても積極的に世界社会奉仕事業に参加されますようお願いしています。尚、事業に取り組むにあたってご不明の事があれば、何時でもお気軽に当委員会にお尋ねください。



## インターアクト委員会報告

インターアクト委員会

委員長 堀田昌資 (札幌東RC)

2005-06年度第1回インターアクト委員会を8月27日(土) ホテル「ライフオート札幌」において塚原房樹ガバナー、細川好弘地区新世代委員長並びに矢橋潤一郎地区幹事をお迎えして開催しました。議事・進行状況は以下のとおりです。

1. 開会挨拶 堀田昌資インターアクト委員長
2. 出席者自己紹介 地区インターアクト委員7名、関係ロータリアン1名(札幌モーニング)各校顧問教師7名
3. ガバナー挨拶 塚原房樹ガバナーから当委員会の日ごろの活動と今年度最初の行事である韓国研修旅行が無事終了したことに対するねぎらいのことばと今年度も活発に活動されるようにとの要請があった。
4. 地区新世代委員長挨拶 細川好弘新世代委員長から「地区大会」2日目の「新世代フォーラム」におけるインターアクト委員会のプログラムについて説明があった。また、8月2～6日にかけて行われた「韓国研修旅行」に参加した静内高校の生徒が静内RCの例会において旅行体験を報告している場面が新聞記事として掲載されたことを紹介された。
5. 議題
  - (1) 本年度活動計画について
  - (2) 地区大会(並行プログラム)・新世代分科セミナーについて
  - (3) 海外研修(韓国8/2～8/6)の報告書作成について
  - (4) 本年度年次大会(2006.6予定)について
6. 懇談会
7. 閉会挨拶 中田隆博インターアクト副委員長





## GSE委員会 GSE派遣チーム リーダー決定

来年2月に3350地区(タイ)へ派遣されるGSEチームリーダーについて内定しておりました土橋信男さんがロータリーを退会されましたので、かわって橋本信夫会員(札幌西RC)が決定しました。



### 橋本 信夫リーダー プロフィール

1955年：北海道大学獣医学部卒業  
1957年：北海道大学大学院獣医学研究科修士課程終了(家畜伝染病学専攻)  
札幌医科大学、ニューヨーク市公衆衛生研究所、リベリア共和国立医学生物學研究所を経て  
1977年：北海道大学獣医学部教授  
1996年：北海道大学名誉教授  
専門：獣医公衆衛生学・ウイルス学・細菌学  
所属団体：札幌彫刻美術館友の会(会長)、札幌円山動物園友の会(会長)



## GSEメンバー紹介 ②

### GSE派遣チームメンバー 後藤 敦

2005-06年度GSEタイ派遣メンバーの後藤です。現在は派遣期間中に発表するプレゼンテーションをメンバー4人がそれぞれ具体的にパートを作り始めたという状況です。

重要なのは内容ですが、一度しか海外経験のない私にとって、タイで上手く説明できるのか非常にプレッシャーを感じています。

北海道新聞社では経理部に所属しており、一昨年から決算期を3月に変更した影響で、派遣時期は非常に大変な時期です。職場にかなりの負担を強いることになり、とても申し訳ない気で一杯ですが、一方で、理解ある上司・同僚がバックアップをしてくれると約束してくれました。(帰国後、馬車馬の如く仕事する条件付ですが…)

私は記者ではない為、海外勤務の機会はなく、GSEメンバーに選ばれたことで4週間という海外経験が出来ることは非常に幸運だと思っています。

また、新聞業界に身を置く自分にとって、タイの「新聞」事情に関心があります。関心の矛先は政ではなく、新聞を読む時間、購読値段・配達方法、更にはあまり目立つことのない記者以外の仕事などです。日本との相違点を沢山見つけ、長所短所を勉強できればと思っています。

派遣先では恥じらいからくる躊躇いを取り去って、積極的に交流に努めようという堅い誓とは裏腹に、気に入ったプレゼンテーションが作れず、あくせくしているこの頃です。

## ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

成瀬 桜 男会員	2回	(小樽南RC)	7月5日
加藤 正 勝会員	3回	(江別RC)	7月19日
福田 十太郎会員	1回	(札幌北RC)	7月19日
灰野 篁会員	1回	(札幌北RC)	7月19日
長太 義雄会員	2回	(札幌北RC)	7月19日
佐藤 寿夫会員	1回	(室蘭RC)	7月29日
石黒 直 文会員	2回	(札幌西RC)	7月29日

中島 健	健会員	4回	(滝川RC)	7月29日
渡邊 恭久	久会員	2回	(滝川RC)	7月29日

### ポール・ハリス・フェロー

軍 司 孝文	文会員	(岩内RC)	7月29日
若林 成治	治会員	(札幌清田RC)	7月29日
西村 恒則	則会員	(滝川RC)	7月29日
北川 誠	誠会員	(札幌西RC)	8月26日

## 国際ロータリー第2510地区 第12グループ インターシティミーティング開催

秋晴れの絶好の行楽日和に恵まれて9月11日（日曜日）国際ロータリー第2510地区12グループのインターシティミーティングが苫小牧市内のリゾート地「苫小牧アルテン」にて、苫小牧東ロータリークラブのホストにより、苫小牧RC、苫小牧北RC、白老RC、苫小牧東RCの12グループ4クラブより会員82名、苫小牧東クラブと交流のある苫小牧工業高等専門学校、苫小牧駒沢大学の留学生10名、ホストクラブの家族を含め総勢100名の参加により開催されました。

今回のIMのテーマ「いまこそ友情と親睦を」のもと、記念行事としてロータリアンとその家族、留学生が参加し、午前10時からオートキャンプ場アルテンにおいてパークゴルフ大会が行われました。アルテンは苫小牧の西端に位置しオートキャンプ場として五つ星にランクされる素晴らしいキャンプ場です。パークゴルフ場と天然温泉浴場も併設しています。パークゴルフは初めてという会員もおりましたが、和気あいあいの中で好プレー珍プレーを楽しみ交流を深めました。



正午からは塚原房樹ガバナー、伊藤長英パストガバナー・地区研修リーダー、平 公夫地区幹事の御出席を得て、蝦名久志ガバナー補佐の開会点鐘に始まり開会宣言、国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」の合唱、御来賓及び参加クラブの紹介、ホストクラブ松下会長の歓迎の挨拶、蝦名IMリーダーの挨拶と続き塚原房樹ガバナーより「日本のロータリー史」の講話を頂きました。日本の最初のロータリアンは米山梅吉氏ではなく実は福島喜三次氏である関東大震災の時に世界各国のロータリアンから多くの支援を頂き、深く感動をし、日本は戦中のブランクはあるがこの体験を生かしてもっと日本のロータリー活動を活発にしたいと心に誓ったとのこと。その意志はロータリーを深く愛した多くの先輩達から現在もなお、我々に受け継がれているのです…との素晴らしいお話でした。その後、会場にて伊藤長英パストガバナーの祝杯の挨拶でバーベキューパーティーに移り留学生への記念品贈呈、パークゴルフ大会の表彰式、最後にロータリーソング「手に手つないで」を全員で歌い楽しい時間を過ごしました。

パークゴルフ大会の表彰式で中国からの留学生 孫 建輝君（苫小牧駒沢大学）のパークゴルフ準優勝のスピーチは「こんな楽しい集まりに参加してとっても楽しかった良い思い出になりました」と日本語でユーモラスな北海道弁を交えながら話しその場を和ませました。又、モンゴルのナランフー君（苫小牧工業高専）は「いつも苫小牧東ロータリークラブの皆さんには長沼ロータリークラブの国際交流会そしてキャンプ、新年会等のイベントへの参加をさせていただき有難うございます」とのこと、イランのナイメさん（苫小牧工業高専）「朝寝坊をしてパークゴルフは出来ませんでした。バーベキューは美味しくお腹いっぱい食べました。有り難うございます」と留学生達からのお礼の挨拶がありました。

ご来賓の方、留学生、そしてロータリアン達による楽しい集いが出来ました。今年度のインターシティミーティングのテーマ「いまこそ友情と親睦」が達成されたと思えました。

苫小牧東RC 幹事 齋藤 英 明

## ロータリーの友地区委員よりご報告とお願い

ロータリーの友地区委員 黒澤昌彦(札幌東RC)

「ロータリーの友」地区委員の役割は、地区においては「ロータリーの友」誌の読書率の向上・有効利用の促進に努めること等であります。また、同時に「ロータリーの友委員会」には毎月の活動状況の報告及び「友」誌の感想・意見等をレポートしております。このレポートは「友委員会」資料として「友」地区委員の元に戻ってまいります。

「友」8月号を読まれた地区委員(34地区・34名)の感想の一部をご紹介します。

『会員増強および拡大月間』の特集記事は会員増強に苦慮しているクラブには良いテキストとして利用できるとの感想を述べた地区委員が多数おりました。

『ロータリーの基本』はロータリーの基礎知識を簡潔・明瞭に記述しており、新会員はもちろんベテラン会員も改めて読んでおくべき記事であるとの感想が多くありました。

縦書きの『人を育てる』および『風紋』についても大変好評でした。

「友」9月号には、例会で全員参加の『友』紹介三分スピーチを行っているクラブが掲載されております。大変興味深い記事だと思います。

クラブ会長・幹事の皆様には、ロータリー学習のテキストとして「ロータリーの友」の有効利用を再度お願い申し上げます。

## ハリケーン「カトリーナ」災害救援のために 使途推奨冠名基金(DAF)を設立

国際ロータリー日本事務局 財団室長 片岡暎子

8月29日にハリケーン『カトリーナ』が米国南部に上陸し、日が経つにつれ、その甚大な被害が、連日、報道されております。

第6840地区(ルイジアナ州とミシシッピ州)のPastor・Gubhash Kulkarniの言葉を引用させていただきます。「祈るだけでは十分ではありません。私たちが再び自分の足で立つために援助が必要です。朝目覚めましたら私たちのことを考えて下さい。眠りにつく前に私たちのことを考えて下さい。つらい思いをしています、希望がないわけではありません。打撃を受けましたが、打ち砕かれたわけではありません」

第29ゾーン(米国アーカンソー州とミズーリ州)と第30ゾーン(ケンタッキー州とアラバマ州)がカトリーナ救援基金(Katrina Relief Fund)を設けました。皆さまの温かい義援金をお待ちしています。

カトリーナ救援基金DAF(Donor Advised Fund使途推奨冠名基金)は、米国国内歳入局(IRS)承認の人道的団体に補助金を出すものです。皆さまの義援金のほぼ100%がハリケーン『カトリーナ』の被災地のための補助金に使われます。義援金の2%足らずが管理運営費に使われます。

被災地の人々の差し迫ったニーズに応えるために、この基金が使われますが、仮に当初の救援活動後に資金が残った場合、長期的支援および開発のためのプロジェクトに、この義援金を使います。そして残った義援金については、毎年7月1日にカトリーナ救援基金DAFの市場価格の1%がロータリー財団の年次プログラム基金に寄付されることになっています。

### 寄付の方法

ロータリー・クラブまたは地区が東京三菱銀行本店 普通預金1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長大島四郎の口座に振り込んで下さい。送金明細書にハリケーンと記入して下さい。ポール・ハリス・フェローなどの認証の対象になりません。また税制上の優遇措置を受けることもできないことをご了承下さい。



**会員計報・新入会員のご紹介**

**会 員 計 報**



**中井孝光** 会員 (札幌南RC)  
2005年7月25日ご逝去(享年67歳)

【ロータリー歴】
1978年(昭和53年)1月10日入会 1995~1996年 副会長 2000~2001年 会長(45代)  その他多くの委員長を務めました。

【表彰】
ポール・ハリス・フェロー 米山功労者



**岡 山 一** 会員 (岩見沢RC)  
2005年8月23日ご逝去(享年73歳)

【ロータリー歴】
1981年(昭和56年)2月1日入会 1983~1984年 副幹事 1986~1987年 副幹事 1987~1988年 幹 事 1993~1994年 会 長(40代) 1994~1995年 ロータリー情報委員長 1997~1998年 SAA委員長 2001~2002年 定款細則改正委員会委員長 2002~2003年 職業分類委員長

【表彰】
24年間100%出席 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2) ベネファクター 米山功労者(3)



**佐々木 弘** 会員 (七飯RC)  
2005年8月27日ご逝去(享年74歳)

【ロータリー歴】
1976年(昭和51年)6月入会 1987~1988年 幹 事 1991~1992年 会 長 2000~2001年 ガバナー補佐

【表彰】
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)

**新入会員のご紹介**

(敬称略)



**山形昌一**  
えりもRC  
平成17年7月1日入会



**庭田 徹**  
七飯RC  
平成17年7月19日入会



**土岐英広**  
七飯RC  
平成17年7月19日入会



**富樫正良**  
伊達RC  
平成17年8月2日入会



**吉田久幸**  
小樽RC  
平成17年8月9日入会



**辻 亨**  
小樽RC  
平成17年9月6日入会



**須川昭彦**  
小樽RC  
平成17年9月6日入会



**千田秀侍**  
江別RC  
平成17年8月18日入会



**守山悦満**  
岩見沢RC  
平成17年8月19日入会



**佐藤晴一**  
千歳RC  
平成17年8月25日入会



～出会い・友情・奉仕～

2005年10月15・16日  
国際ロータリー第2510地区

# 地区大会

ホストクラス 札幌東ロータリークラブ

●札幌コンベンションセンター●

## 第1日目

10月15日(土)

登録開始  
会長・幹事会  
本会議 第1日目  
フォーラム・  
パネルディスカッション  
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会  
(札幌ロイヤルホテル)

## 第2日目

10月16日(日)

登録開始  
本会議 第2日目  
《記念講演 養老孟司》  
懇親会  
(札幌パークホテル)

## 10月14日(金)

記念ゴルフ大会/札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース

## 10月10日(祝)

記念囲碁大会/日本棋院北海道本部囲碁会館  
(アステイ45)

## 記念講演

《バカの壁》



養老孟司氏

### プロフィール

昭和12年 神奈川県鎌倉市に生まれる  
昭和37年 東京大学医学部卒業  
一年のインターンを経て、解剖学  
教室に入る  
以後解剖学を専攻  
昭和42年 医学博士号取得  
昭和56年 東京大学医学部教授に就任  
東京大学総合資料館長、東京大学  
出版会理事を兼任  
平成7年 東京大学を退官  
平成8年 北里大学教授に就任  
(大学院医歯人獣科学)  
平成10年 東京大学名誉教授  
平成15年 北里大学を退職  
平成元年 『からだの処方』(筑摩書房)で  
サンデー文学賞を受賞  
平成15年 『バカの壁』(新潮社)で  
毎日出版文化賞を受賞

2005～2006年度  
国際ロータリー第2510地区

## 地区大会 事務局

〒060-0042  
北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F  
TEL・FAX(011)207-2512  
e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

**登録料** | 会 員…13,000円 家族会員… 8,000円 新 世 代… 5,000円  
ゴ ル フ… 5,000円 囲 碁… 4,000円 RI会長代理 歓迎晩餐会…10,000円

2008-2009年度

# ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 塚 原 房 樹  
地区ガバナー指名委員長 小 林 博

2008-2009年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、12月1日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

### 参考

- 国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)
- 国際ロータリー第2510地区 地区ガバナー指名委員会規定(1998-1999年度地区年次大会決議第8号)



## 事務所移転・例会変更について

### ロータリーの友事務所移転のお知らせ

1. 新住所 〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル4階
2. 電話番号 03-3436-6651 変更ありません
3. FAX番号 03-3436-5956 変更ありません

### クラブ事務所の移転

9月16日より札幌あけぼのRCの事務所が下記の通り移転になりましたのでお知らせ致します。

新住所：〒063-0052 札幌市西区宮の沢2条3丁目10-3

電話011-671-6589 FAX011-671-6590（電話・FAX番号の変更はございません）

### 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 江別 RC：10月6日（木）12：30～ 場所：勤労者研修センター1階（江別市緑町西1丁目103）
- 小樽南 RC：10月7日（金）の例会変更 山形県酒田RC訪問（10月8日～10日）
- 苫小牧北 RC：10月11日（火）夜間例会 18：00～ 場所：グランドホテルニュー王子
- 室蘭北 RC：10月11日（火）移動例会（職場訪問の為）  
10月25日（火）夜間例会 場所：ホテルサンルート室蘭
- 室蘭東 RC：10月12日（水）職場訪問例会 場所：室蘭气象台
- 岩見沢東 RC：10月18日（火）の例会は地区大会の振替休会

## 文庫通信 216号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「興味深い講演より」

◎「聴覚障害者の心と体のパートナー聴導犬」

石原みち子 2004 5p（D.2700地区大会）

◎「人体復活―百歳長寿への道―」

福田正臣 2005 8p（D.2730地区大会）

◎「神々の大集會―歴史に見る出雲の真の魅力―」

井沢元彦 2005 15p（D.2690地区大会）

◎「企業と環境について」

張 富士夫 2005 13p（D.2580地区大会）

◎「アジアの新世代の交流（日韓シンポジウム）」

2004 2p（D.2520地区大会）

◎「日本の現状と今後の対応 この国はどうなっているのか」

副島隆彦 2004 12p（D.2630 I M）

◎「私の描いた劇画の世界」

さいとう・たかお 2005 5p（D.2830 I M）

◎「富士山は恋ごろの山」

大岡 信 2005 3p（米山記念館記念式典）

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時

休館＝土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2005年10月 米貨1ドル＝112円

**地区カレンダー (10月・11月)**

10月 職業奉仕月間・米山月間	
1 (土)	公式訪問 (札幌手稲RC)
2 (日)	千歳セントラルRC創立15周年記念式典
3 (月)	公式訪問 (札幌南RC)
4 (火)	公式訪問 (札幌清田RC、札幌セントラルRC)
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	当別RC創立30周年記念式典
9 (日)	
10 (月)	体育の日 地区大会記念囲碁大会 (札幌)
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	地区大会記念ゴルフ大会 (札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース)
15 (土)	地区大会 (札幌コンベンションセンター)
16 (日)	地区大会 (札幌コンベンションセンター)
17 (月)	
18 (火)	公式訪問 (札幌西RC)
19 (水)	公式訪問 (札幌真駒内RC)
20 (木)	公式訪問 (札幌西北RC)
21 (金)	
22 (土)	
23 (日)	
24 (月)	公式訪問 (札幌北RC)
25 (火)	公式訪問 (札幌はまなすRC、苫小牧北RC)
26 (水)	公式訪問 (札幌RC)
27 (木)	公式訪問 (札幌東RC)
28 (金)	
29 (土)	赤平ローターアクトクラブ 創立30周年記念式典
30 (日)	
31 (月)	

11月 ロータリー月間	
1 (火)	
2 (水)	
3 (木)	文化の日
4 (金)	
5 (土)	
6 (日)	米山奨学生・学友・ロータリアン そして家族との交流会 (札幌)
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10 (木)	
11 (金)	
12 (土)	ローターアクト北海道交流会 (札幌)
13 (日)	第7グループIM (長沼)
14 (月)	
15 (火)	
16 (水)	
17 (木)	
18 (金)	
19 (土)	GSEプレゼンテーション
20 (日)	
21 (月)	
22 (火)	
23 (水)	勤労感謝の日 第9グループIM (伊達)
24 (木)	ロータリー財団地域セミナー
25 (金)	第2回ガバナー会
26 (土)	ロータリー研究会 (東京)
27 (日)	ロータリー研究会 (東京)
28 (月)	
29 (火)	
30 (水)	

# 出席報告

## 8 月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,079人 (94人)
増加会員数	93人
当月平均出席率	84.87%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			05. 7. 1	05. 8. 31	増減	内女性	
1	深 川	4	38	39	1	2	85.42
	羽 幌	4	49	49	0	1	77.77
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	72.50
	小 平	3	13	13	0	0	79.49
	留 萌	4	49	51	2	0	90.11
	小 計		159	162	3	3	81.06
	2	赤 平	4	34	34	0	2
芦 別		4	48	48	0	0	87.50
砂 川		4	50	52	2	0	95.00
滝 川		4	106	107	1	1	76.00
小 計			238	241	3	3	86.59
3	美 唄	4	41	40	-1	0	89.00
	江 別	4	36	38	2	1	83.53
	江 別 西	4	35	36	1	3	90.27
	岩 見 沢	4	95	94	-1	0	92.02
	岩 見 沢 東	4	35	36	1	4	81.63
	栗 沢	4	24	23	-1	1	94.79
	栗 山	4	26	26	0	2	98.00
	当 別	4	38	38	0	1	77.64
	小 計		330	331	1	12	88.36
4	札 幌	4	123	128	5	0	97.80
	札幌あけぼの	3	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	72.92
	札 幌 北	4	43	43	0	5	91.88
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	73.04
	札 幌 西	4	72	73	1	3	90.77
	札 幌 西 北	3	48	48	0	2	92.90
	札 幌 手 稲	3	41	41	0	1	99.19
	小 計		419	427	8	16	89.81
5	札 幌 東	3	121	122	1	0	98.81
	札 幌 清 田	4	28	28	0	6	100.00
	札 幌 幌 南	3	70	70	0	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	47	1	3	91.70
	札 幌 南	4	89	93	4	0	98.44
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	78.94
	札幌セントラル	3	17	18	1	5	75.60
	新 札 幌	4	32	33	1	1	93.97
	小 計		422	430	8	19	92.18

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			05. 7. 1	05. 8. 31	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	31	3	0	67.49
	倶 知 安	4	50	50	0	3	86.00
	小 樽	4	64	69	5	0	85.26
	小 樽 南	3	82	82	0	0	92.13
	小 樽 銭 函	3	25	25	0	3	88.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	86.35
	余 市	4	44	44	0	4	71.50
	小 計		304	312	8	10	82.39
7	千 歳	3	61	66	5	3	83.20
	千歳セントラル	4	27	27	0	0	88.00
	恵 庭	4	49	49	0	0	88.04
	北 広 島	4	17	17	0	2	88.24
	長 沼	4	18	18	0	3	77.80
	由 仁	4	13	13	0	0	88.46
	小 計		185	190	5	8	85.62
8	え り も	4	23	23	0	0	86.96
	三 石	4	16	17	1	1	95.50
	様 似	4	18	18	0	1	75.00
	静 内	5	66	71	5	0	76.92
	浦 河	4	33	34	1	1	91.18
	小 計		156	163	7	3	85.11
9	伊 達	4	55	59	4	0	77.97
	室 蘭	4	50	52	2	0	89.22
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	94.68
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	100.00
	登 別	5	36	36	0	2	83.33
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	91.70
	小 計		230	241	11	4	89.48
	10	函 館	4	91	95	4	0
函 館 亀 田		4	43	43	0	1	82.56
森		4	42	42	0	0	78.80
七 飯		3	20	22	2	0	69.60
長 万 部		4	10	10	0	0	55.00
函館セントラル		4	0	30	30	2	75.48
小 計			206	242	36	3	74.16
11	江 差	4	17	17	0	0	75.00
	函館五稜郭	3	63	63	0	0	90.12
	函 館 東	4	43	43	0	4	79.04
	函 館 北	4	32	33	1	0	79.55
	上 磯	3	26	25	-1	2	58.70
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	190	0	7	75.40	
12	白 老	4	23	23	0	0	79.80
	苫 小 牧	3	56	58	2	1	73.75
	苫 小 牧 東	3	31	31	0	3	85.66
	苫 小 牧 北	4	37	38	1	2	91.22
	小 計		147	150	3	6	82.61
合 計		2,986	3,079	93	94	84.87	

※ 7 月末日現在の会員数と出席率の訂正について：函館セントラルRCが7月20日に認証されたため、7 月末日現在の会員数を3,062名（内女性会員94名）、出席率を85.28%に訂正します。

**SERVICE Above Self**



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2510

*No. 5*  
**2005.11**



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

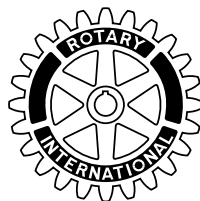
TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	03
地区委員会報告	
ロータリー財団委員会	05
国際親善奨学金委員会	08
GSE委員会	09
ロータリー財団学友委員会	10
補助金委員会	11
ロータリー財団寄付報告	12
クラブ奉仕委員会	13
ご協力に感謝申し上げます	14
新入会員のご紹介	15
例会変更・文庫通信	15
9月の出席率・会員数	16
地区カレンダー(11月・12月)	17

---

## ■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房樹

## 「寄付と喜捨」

会長・幹事の皆さん、いかがお過ごしですか。毎日、公式訪問に明け暮れておりますが、元気に過ごしておりますのでご休心ください。この月信がお手元に届くころは地区大会も73クラブの公式訪問も終えていることでしょう。

さて11月は財団月間であります。奉仕には額に汗する奉仕と、お金を出さなければ出来ない奉仕があります。ロータリー財団や米山奨学会がそれです。我々の捧げた一灯が人類平和のため、国際レベルの人道的、教育的プログラムを通じて、世界の隅々を照らす万灯の灯りとなることを祈ります。我々は単なるお付き合いの「寄付」ではなく善意の心を持って「喜捨」をしたいものです。しかし時々「財団」や「米山」に寄付を取られたという表現を耳にします。そこで「寄付」と「喜捨」について考えてみました。

アメリカでは「困窮者に対する寄付、慈善寄付」など日常の習慣として自然体で行っていますが、日本では寄付と聞くと、つい構えてしまいます。宗教観の違いでしょうか。

ロケット博士として有名な系川英夫さんは、「日本の科学には神との緊張感が無い。なぜならニュートンの力学やアインシュタインの相対性理論を取り入れた時、背後にある神は置き去りにしてしまった。政治も経済も同じで、日本では失敗しても神への倫理的責任はあまり問われない」と云われました。ロータリーも同じです。ロータリーは本来中世キリスト教神学の復興運動であります。日本にやって来た時には背後にある神は置き去りにされました。ロータリーはピューリタンの戒律を一般生活の中で道徳として実践しようとする運動であります。特にアメリカは日常生活の中に神が遍在しています。ちなみにアメリカの全てのドル紙幣の裏には「In God We Trust(神に我々は信を置く)」というフレーズが印刷されています。社会の関係性が成立することを保証する主体が神であります。またアメリカ国歌、政治家のスピーチの中にも神に言及する表現が多くあります。

ロータリークラブの例会を教会の日曜ごとの礼拝になぞらえることは飛躍しすぎることかもしれません。しかしロータリーの哲学とその組織を考えると、両者が果たしている役割には、共通したものがまったく無いとは言い切れません。哲学と宗教は紙一重です。アメリカのロータリアンの中には日曜ごとの礼拝に欠かさず出ている人はたくさんいるでしょう。彼らは教会の他にロータリークラブの例会にも出ています。ところが幸か不幸か我々の多数はほとんど日常、宗教に関心を持っておりません。その結果、現代の社会は、「物と心」の乖離により嘆かわしい倒錯の世相になりました。戦後、連合軍総司令部は教育基本法を作り、歴史や文化、伝統、宗教を否定し続けてきたのが原因です。特に宗教観の欠如により、自分の思想で自分を律することをやめた日本人は哲学を失い、ふわふわ波間を漂う根無し草となってしまいました。

ロータリーでは政治と宗教の話はしません。またポール・ハリスはことさらロータリーと宗教を切り離そうと気を使っておりますが、それは宗教戦争まで起こした一神教世界の歴史が念頭にあるからです。またロータリーを世界へ拡大するためにRIもキリスト教の匂いを消そうと努めました。我々東洋の多神教思想で育ったものからすれば、ロータリーも一種の宗教であっても構わないのです。儒教は厳密な意味で宗教といえないかもしれませんが、それでもやはり宗教的な何かを持っています。人間の倫理を構築する基本になるのは結局宗教でしかありません。ポール・ハリスは「ロータリーは宗教でもなければその代用物でもない。古くからある道徳観を」などといっていますが、ポールの道徳観の根底にあるものはやはりキリスト教ではありませんか。そう考えてくると我々職業人の信奉する宗教として、ロータリーの唱える「職業奉仕」の精神を挙げたいのです。

以前、仕事でオーストラリアに良く参りました。シドニー空港の2階フロアーにプラスチック製の募金箱があります。シドニーRCの名前が大きく書かれています。ロータリーのよしみでいつも帰国の際、余ったオーストラリアのコインや小額紙幣を入れていました。ある時一人の小柄な夫人がつかつかと募金箱に近寄って何がしかのお金を入れました。私は思わずその夫人にあなたはロータリアンですかと聞きました。いいえとって夫人は去って行きました。しばらくすると中年の男性が幾ばくかのお金を入れました。私はまた、あなたはロータリアンですかと聞きました。ノーという返事でした。時折通りがかりの人が浄財を入れていました。キリスト教の国では寄付とか慈善という行為は宗教的習慣として広く浸透しているのだなと感じました。町の交差点でも、足の不自由なお年寄りが渡ろうとすると何人かの人がバラバラと近寄り手を貸そうとします。神様は健常者の心を試すために障害者を作られた、だから健常者は障害者に進んで手を差し伸べる、それが神の御心に適うことなのです。

ロータリー財団への寄付も自分を中心にして人様に尽くすことが「良いこと=善」だと考えていると今ひとつ判りません。国際奉仕は相手の顔がまったく見えない。誰に奉仕しているのか知らずしてそもそも奉仕ということが成り立つのが不思議です。姿の見えない人に奉仕するとは一体どういうことでしょうか。言い換えれば私たちはまだ見たことも無い、話したことも無い、知らない誰かを、本気で愛することが出来るのか。奉仕という言葉がなじみません。もともと奉仕とは神に仕えるという意味です。日本では人が人に仕える時は奉仕とは言いません。「奉仕の理想」と云っても日本人にぴんときません。奉仕という言葉日本人に判りやすい表現に置き換えると「ご恩返し」になるでしょう。「ご恩返し」は2通りあります。受けた恩を直接相手に返すギブアンドテイク型のものと眼に見えぬものへの恩返しがあります。もともと私たちの受けている恩というものが、必ずしも見える相手からの恩ばかりでなくむしろ見えない誰かから受ける恩のほうがずっと多いということに思いをいたすなら見えぬ人たちへ恩を返すのは当然であります。宗教的にいえば、私たちがここに生きていることだけで、宇宙からの無限の恩を受けているわけで、私たちの無数の先祖の血が今この命を支えて生かしてくれているわけです。私たちが見えぬあなたの人に向かって恩返しをするのは当然であります。

日本にも昔から仏教や儒教という東洋哲学の教えがあります。それらもロータリー財団への理解を深め、財団への「喜捨」をいっそう強固に裏打ちしてくれるでしょう。鎌倉時代の叡尊という律宗のお坊さんはい（ハンセン）病の人たちを収容する建物を作ったり、貧窮者に手を差し伸べたり慈善事業を行いました。私は叡尊のものの考え方を聞いてびっくりしました。それはどういうことかと申しますと、らいを病んでいる人とか、あるいは飢えに苦しんでいる人とか、家の無い子供たちというのは、実は文殊菩薩がこの世に、仮に姿を現されたものである。生きとし生けるものをこの世に作り出し、生かしている造物主とってよろしいし、神様とってよろしいし、仏様とってよろしいが、そういう大きな存在が、そこに仮に姿を現したものである。そういう風に叡尊は解釈しましてらい病を患っている人に施しをするというのは、施しをするのではない。文殊菩薩に礼拝をし、供養するのであるとこういう風にとったのであります。我々もそのらい病患者も含め、一切を作っている大きな存在に対して、供養をし、礼拝するという気持ちでいささかなりとも自分に属している財物を捧げる。こういう風に考えますと、こんなことは政府のやることだなんて理屈を考えないで、恵まれない人たちに何かを恵んでやるというような、そういう捉え方ではなく、ごく素直に奉仕が出来るのではないかという風に自分を戒めることが出来たわけでありました。

大いなるものに生かされていることを自覚し、自分に属するいささかの財物を「喜捨」することにより、執着心が取り除かれる、実は自分自身が救われるのです。普通は中々「財施」のチャンスは無いものです。ロータリー財団のおかげで「喜捨・財施」が出来るといふ風に考えてはいかがでしょうか。



ガバナー公式訪問ではありがとうございました



洞爺湖RC公式訪問（8月12日）



えりも・三石・様似・静内・浦河RC合同公式訪問（8月23日）



由仁RC公式訪問（8月25日）



札幌あけぼのRC公式訪問（8月26日）



新札幌RC公式訪問（8月31日）

ガバナー公式訪問ではありがとごいざいました



苫小牧東RC公式訪問（9月1日）



苫小牧RC公式訪問（9月2日）



長万部RC公式訪問（9月5日）



函館亀田RC公式訪問（9月5日）



函館東RC公式訪問（9月6日）



七飯RC公式訪問（9月6日）





## 「財団月間に因んで」

ロータリー財団委員会

委員長 遠藤 正之 (札幌南RC・PG)

11月は財団月間です。財団月間とはクラブが財団プログラムを支援、推進し参加する特別な月間で、ロータリー財団の意義を知り、その活動の努力が、ロータリーが今日100年もの歴史の上にゆるぎなき基礎作りを行えたことを認証し、今後も寄付増進を会員に協力依頼する月間でもあります。既にご承知と思いますが、この財団は1917年アーチ・クラフが「社会のために良いことをしよう」と財団構想を唱え、1928年に「ロータリー財団」と名付けられたもので、本年で88年になります。その間、財団プログラムは大筋次の通りです。

**教育的プログラム**…国際親善奨学生プログラム、国際問題研究のためのロータリーセンタープログラム、財団学友、研究グループ交換プログラム (GSE)

**人道的補助金プログラム**…地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラント、又今年から凍結が解除された3H (保健、飢餓、人間尊重) プログラム

**ポリオ・プラスプログラム**

以上のような財団プログラムを通してロータリー財団の使命である国際的活動に新たに、地域レベル、全国レベルの活動を加えることによってロータリー財団活動の基盤と範囲がさらに広がることとなり、奉仕を更に強化して行くためには、活動の充実と資金面の援助が重要となっております。ロータリー財団の活動源は全てのロータリアンによる奉仕、財政的援助を自発的に行動しようとするロータリアンによってのみ成り立つことは勿論です。

この基本を成しているものが年次寄付と恒久基金への寄付です。

**年次寄付**…財団プログラムを継続させるための燃料の役割を果たしています。毎年クラブと地区は、年次寄付の目標額を設定しロータリアンは毎年、この目標額を達成するために努力しています。このような財団の継続的な支援のことを「年次寄付」と致します。「年次」というのは毎年続けられるからであり、3年後のプログラムに使われています。2001年の規定審議会でも2005年までに毎年1人当たり寄付を100ドルにする決議 (01-276) で採択され、さらに2004年の同審議会で「Every Rotarian, Every Year \$100」が支持されました。これは1人当たり毎年100ドル以上を寄付するという事です。

**恒久基金**…管理委員会は、世界理解と平和のための財団基金 (1982年発足) に代わるものとして採択した名称で、この基金の目的を世界中のロータリアンに理解してもらうためにこの名を付したということです。

2004年9月現在、この累計は1億4,120万ドルで、予測額 (収益や誓約) は2億7,600万ドル、計4億1,720万ドルです。2005年ロータリー100周年までに5億ドル、2025年には10億ドルにするのが夢とのことです。

年次寄付は今日の財団プログラムを支援、恒久基金は明日のプログラムを安定したものにします。この二つの基金の違いをロバート・バース元RI会長は「年次寄付は毎日庭に水を撒き、花々に水分を供給するものです。恒久基金はいつでも水をかけるように十分な水を用意している貯水池のようなもの」と表現しています。恒久基金への寄付は金額を問わず、いくらでも寄付が可能で通常1,000ドルの寄付者はベネファクターとして表彰を受けることができます。ポリオ・プラスは使途指定寄付で昨年まで3年に亘り一人1年間50ドル、3年間で150ドルが目標でしたが、私の説明不足からか当地区はDDF5,000ドルを加えても一人平均90ドル弱に終わりました。150ドルを達成したクラブは15クラブ、残念ながらこの趣旨にご理解を得られなかったのか、又お忘れになってしまって達成率0のクラブが数クラブあったのが残念でした。使途指定寄付はこの他にマッチング・グラント、冠名奨学金等がありますが、これらについてはいずれの機会に譲ります。

**ロータリーカード**…2002-03年度において日本でもロータリーカード (オリコカード) が発行されました。ゴールドカードは年会費10,000円のうち3,000円がロイヤリティとして財団寄付になります。スタンダードカードは参加10,000人に達すると使用額の0.3%がロイヤリティとして財団に還元されます。このカードは永久

年会費無料です。既発行のカードにもう一枚、このカードを加えて戴き、財団に奉仕の形をとって戴きたいと思っております。

**大口寄付**…年次寄付、使途指定寄付、恒久基金寄付の合計で10,000ドル以上の寄付を行った方を大口寄付者 Major Donorであり、2004年6月まで世界で5,633名、日本では2004年10月30日現在555人です。当地区でも大口寄付者への参加を望んでおります。

**財団の友、財団の友クラブ**…ポール・ハリス・フェローとして認証されるために一括1,000ドルを寄付するのではなく、無理のない範囲で1回目に100ドルを寄付し1,000ドルに達するまで随時寄付するというポール・ハリス準フェロー制度がスタートしたのは1957年でした。この名称が1999年にRotary Foundation Sustaining Memberに変わり再び2002年に財団の友に再定義されました。「財団の友」会員は年次プログラム基金へ毎年100ドル以上寄付する人のことです。クラブ会員全員が財団の友になりますと100%財団の友クラブと呼ばれ、バナーが送られます。既に日本では3クラブが財団の友クラブです。当地区でもこの形のクラブの出現を待っております。

以上財団月間に因んで、財団と寄付についての概要について触れましたが、財団プログラムに積極的に参加、奉仕した喜びと満足感を得て戴ければと祈っております。

《Every Rotarian, Every Year \$100 毎年あなたも100ドルを》



## ロータリー財団寄付について

ロータリー財団委員会

委員〈増進担当〉 **大村孝男** (千歳RC)

### □年次寄付と恒久基金寄付

ロータリー財団には年次寄付と恒久基金寄付の二つの寄付方法がありますが、年次寄付に関しては、2004年の規定審議会で、「Every Rotarian, Every Year \$100 (毎年あなたも100ドルを)」というスローガンが支持されました。

年次寄付とは財団プログラムを継続させるための燃料の役目を果たすものであり、毎年クラブと地区は年次寄付の目標額を設定し、ロータリアンはこの目標額を達成するために努力しています。一方、恒久基金寄付は、財団の強固な将来を確実なものにするためのものであります。と言いますのは、年次寄付は3年間利殖のために運用された後、3年後に元金を使用されるものですが、恒久基金は元金は使われず、収益のみ使用されるものであるからです。年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにするという違いがあります。

### □財務内容

寄付金合計は表1に示すように毎年7~8,000万ドルくらいです。2002-03年度の寄付金は1億ドルを超えています。これはこの年度からポリオ・プラスの寄付が始まったことによるものです。これに対し各プログラムに使われる支出は、1億1千万ドルくらいが毎年コンスタントに使われています(表2)。したがって、寄付金収入より支出が多い状態です。この差を補っているのが投資収益で、1999年には4,470万ドルの投資収益がありました。寄付金合計と併せた収入総額が1億1,800万ドルに対し、支出は1億1,400万ドルであり、この年の財団の収支バランスは非常に健全であったと言えます。しかし、2000年以降は投資収益に大きな損失が生じ、2000年は1,380万ドルのマイナス、2001年は4,020万ドルのマイナスになり、収入総額は2000年では6,010万ドル、2001年は4,080万ドルにまで減少しています。幸いにも、この減少は一時的なもので、2002年からは投資収益が改善され、2002年は540万ドルの収益が出ています。また、非公式な数字ですが、2003年は7,360万ドルの投資収益があったようです。

つぎに、表2の「財団の資産の増減」ですが、これは収入の部の収入総額と支出の部の支出総額の差を示したものであり、99年は580万ドルのプラス、2000年は5,550万ドルのマイナス、2001年は7,090万ドルのマイナス、2002年は2,720万ドルのプラスになっています。この結果、表3の財団の純資産は99年に5億9,280万ドルあったものが、2000年には5億3,730万ドル、2001年には4億6,640万ドルまで減っております。2002年は少し持ち直しましたが、これは財団の資産の大部分が株式市場に投資されていることに起因するもので、現在の株価を維持している限りは財団の資産内容は改善されるものと思えます。

もう一度財団の財務内容について整理しますと、財団のお金はその大半が株式で運用されている以上、high-risk、high-returnであることは仕方ないと思えます。数年前までは世界的な不況下にあり、運用益どころか運用損になっていましたが、改善の兆しが見えてきています。

大切なことは、一人でも多くのロータリアンに財団の実情を理解していただくことだと思えます。その上で、寄付していただくことが重要と考えます。

#### □各クラブへのお願い

われわれロータリアンは、ロータリー財団に寄付された浄財を有効に活用して、人類のために奉仕する権利と義務を持っていると言えると思えます。本年度も昨年同様「Every Rotarian, Every Year \$100」のスローガンのもと、地区目標を30万ドルに定めさせていただきます。昨年度同様、1人当たり100ドルの寄付をお願い申し上げます。

表1 財務内容：収入の部

		2002-2003	2001-2002	2000-2001	1999-2000
寄 付	年次プログラム	55.8	67.5	61.1	61.0
	恒久基金	5.2	8.7	11.2	10.1
	ポリオ・プラス	72.0	5.0	1.9	1.9
	一時的に使用指定		-0.2	-0.3	0.7
寄 付 金 合 計		<b>133.0</b>	<b>81.0</b>	<b>73.9</b>	<b>73.7</b>
投 資 収 益	年次プログラム	2.8	-31.0	-14.4	29.6
	恒久基金	0.4	-12.7	-4.9	9.0
	子供たちのための機会補助金			0.1	0.3
	ポリオ・プラス	2.2	3.5	5.4	5.8
投 資 収 益 合 計		<b>5.4</b>	<b>-40.2</b>	<b>-13.8</b>	<b>44.7</b>
収 入 総 額		<b>138.4</b>	<b>40.8</b>	<b>60.1</b>	<b>118.4</b>

単位：百万ドル

表2 財務内容：支出の部

		2002-2003	2001-2002	2000-2001	1999-2000
プログラム の 補 助 金	人道的プログラム	28.4	41.5	38.3	31.4
	教育的プログラム	26.9	24.2	26.7	28.6
	ポリオ・プラス	38.8	29.7	36.6	40.2
合 計		<b>94.1</b>	<b>95.4</b>	<b>101.6</b>	<b>100.2</b>
運 営 費		<b>16.1</b>	<b>16.3</b>	<b>14.0</b>	<b>13.9</b>
総 額		<b>110.2</b>	<b>111.7</b>	<b>115.6</b>	<b>114.1</b>

R I からの資金移管					1.5
財団の資産の増減		27.2	-70.9	-55.5	5.8

単位：百万ドル

表3 財務内容：純資産

		2002-2003	2001-2002	2000-2001	1999-2000
資 産	投資	519.2	521.0	595.2	658.5
	現金、その他	45.1	21.1	25.8	19.6
合 計		<b>564.3</b>	<b>542.1</b>	<b>621.0</b>	<b>678.1</b>
負 債	未払い補助金	53.7	51.0	59.1	55.5
	その他の支払い勘定他	17.0	24.7	24.6	29.8
合 計		<b>70.7</b>	<b>75.7</b>	<b>83.7</b>	<b>85.3</b>
純 資 産	年度期首	466.4	537.3	592.8	587.0
	現年度（増減額）	27.2	-70.9	-55.5	5.8
合 計		<b>493.6</b>	<b>466.4</b>	<b>537.3</b>	<b>592.8</b>

単位：百万ドル



## ロータリー財団国際親善奨学金 当地区の現況

国際親善奨学金委員会

委員長 瀧川 哲夫 (札幌手稲RC)

ロータリー財団国際親善奨学金は世界最大の私的資金による、ロータリーが誇るべき教育プログラムです。1947年創設で、現在はおよそ70ヵ国から年間1,300人の奨学生を互いに派遣しており、世界中に広がる35,000人以上の奨学生学友（帰国奨学生）のネットワークが作りあげられています。

この奨学金には2種類あり、文化研修のための奨学金は海外での3ヵ月または6ヵ月間の集中語学研修と文化研修のために授与されます。1学年度またはマルチ・イヤー奨学金は、1学年または2年間の、主として大学院での勉学のために授与されます。これらは地区の財団寄付によるDDF（地区財団活動資金）でまかなわれます。この他に、国際平和奨学金というのがありますが、これは地区単位のDDFではなく、日本全地区からの寄贈DDFの蓄積にもとづく全国選考となります。国際平和奨学金については、これまで当地区での応募がないため、現在は募集していません。

この奨学金は、国際理解と世界平和を促進するために、ロータリーの使命を果たす親善使節を派遣するものです。この奨学金が他の奨学金と根本的に異なるのは、奨学生にとって、単に資金援助を受けるというだけのものではないところです。奨学生は留学前、留学中、そして帰国後も、ロータリークラブおよびロータリアンを通じて、ロータリーの世界を体験します。各奨学生には、スポンサー地区とホスト地区の双方でクラブのカウンセラー（顧問ロータリアン）が任命され、留學生活を円滑に過ごすことができるように、オリエンテーションや助言を与え補佐します。このことにより、奨学生は他の奨学金制度では経験できない世界を知り、そして、国際的なロータリーの支援が留學中にも大きな収穫をもたらすこととなります。

当地区では、2005-06年度に9名を派遣しており、すでにほとんどの奨学生が現地で活躍しています。特に、合衆国オレゴンに派遣された佐久間早苗さん（札幌南RC）は、文化研修のかたわら、ハリケーン・カトリナの被害者に対するオレゴンでの支援リーダーとして活躍し、派遣地区でも高く評価されています。

2006-07年度には7名の奨学生を派遣することが決まっております、現在オリエンテーションを受けています。

2007-08年度の派遣奨学生は2006年1月頃から募集を開始し、6月には候補者を決定します。

応募に際しては、当地区ロータリークラブ（スポンサー・クラブ）の推薦が条件になっています。クラブによる推薦に際しては、応募者が当地区の親善使節としてふさわしいかどうかを判断してください。スポンサー・クラブとしての財政的負担はほとんどありませんが、クラブ例会（卓話）、クラブ活動への参加をうながして、ロータリーの世界を積極的に教示していただくようお願いいたします。



05-06年度派遣奨学生（壮会にて）

左から、今村真希子（1学年度、カンザス大学大学院、新札幌RC）、小黒智子（6ヵ月、イタリア、札幌西RC）、中川翼（3ヵ月、カナダ、札幌手稲RC）、光原未来（3ヵ月、英国、札幌RC）、川西景子（3ヵ月、オーストラリア、札幌大通公園RC）、佐久間早苗（3ヵ月、合衆国・オレゴン、札幌南RC）、牛山高志（マルチ・イヤー、ミシガン州立大学大学院、札幌北RC）

（上）石黒要（6ヵ月、インドネシア、札幌北RC）  
（下）榊田健志（1学年度、コロラド大学ボルダー校大学院、札幌手稲RC）



06-07年度派遣予定奨学生（留學先についてはロータリー財団の指定待ち）

左から、清水孝俊（3ヵ月、ドイツ希望、札幌東RC）、内田由香（6ヵ月、フランス希望、江別西RC）、伊藤正貴（1学年度、合衆国希望、札幌モーターリングRC）、内本智子（6ヵ月、フランス希望、札幌西RC）、阿部愛美（6ヵ月、フランス希望、札幌真駒内RC）、権平裕美子（1学年度、英国希望、札幌南RC）、松永理恵（6ヵ月、カナダ希望、札幌あけぼのRC）



## 研究グループ交換(GSE)プログラム 開設40周年にあたり

GSE (研究グループ交換) 委員会  
委員長 岡崎 芳明 (小樽南RC)

1965年に研究グループ交換 (GSE) プログラムが出来て、今期でちょうど40周年を迎えます。

ロータリー財団の資金を効果的に活用するこのGSEプログラムは、今までに32,000人以上の男女に職業、文化、交流を通して感動的な体験を与えて参りました。

私どもの地区では1970-71年度に故小泉正美派遣リーダー (旭川西RC) ほか団員3名 (計4名) のGSEチームが米国アイオワ597地区へ派遣され、翌71-72年度に同じ米国アイオワ597地区よりチームリーダー他3名の団員からなる派遣GSEチームを受け入れたのが、我が地区最初のGSE交換プログラムです。それ以来昨年度13回目のGSE交換プログラムとして、タイ・バンコク3350地区から受け入れを行いました。その節、地区内の皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。

今期は来年2月25日から3月25日の29日間3350地区への派遣に当たり、現在橋本信夫新チームリーダーを中心とした4名の団員が毎月半日間の研修に励んでおります。必ずやGSEプログラム開設40周年を記念するに相応しいプログラムになると期待しております。

しかしロータリアンの皆様の中にはGSEという言葉は知っていても、実際にどのような活動なのかを御理解頂けている方は案外少ないと思われまます。尋ねてみますとGSEが単なる外国との親睦交換のプログラムと思っている方が多いのには驚いております。

GSEプログラムはロータリー財団の教育的プログラムの1つであり、25歳から40歳迄の専門職経験の浅い職業人に文化体験や職業経験として、またとない国際交流の場を提供する機会であり、国際化の進む地域社会のニーズに対応出来る国際人としての専門職の技量と指導力を磨く事が出来るプログラムです。

更にGSEプログラムはホームステイを中心としているが故に、普段の旅行では経験出来ない海外文化との交流と親睦体験を味わう事が出来、受け入れ国に滞在中は自分の専門職の研修の機会が必ず (職業研究日として) 設けられている為、自国に帰ってからの自分の仕事や地域社会に役立つ経験を積む事が出来る素晴らしい機会と成り得ます。

実際受け入れたGSEチームのメンバーからの報告書では、滞在地での素晴らしい体験を通し日本のイメージがより良いものになったと、又派遣団員からは人生の中で最も得難い経験の1つで有り、沢山の方にこのGSEプログラムの素晴らしさを味わって頂きたいという意見が大半を占めております。

この様にGSEプログラムは国際親睦の面は基より、ロータリアンの奉仕精神やロータリーの教育活動を広く世界に示す最高の広報媒体になるものと確信しております。

是非ロータリー財団月間にあたり、皆さんのクラブで過去に派遣したGSEメンバーの体験談を披露する機会を与えて頂きたく思うと共に、ロータリー財団に対するご理解と御支援、並びにGSEプログラムに対する御協力を重ねてお願い申し上げます。

是非RI2510地区GSEホームページを御覧下さい。

アドレス<http://www.ri2510.gr.jp/GSE/framepage.html>



橋本新チームリーダーを中心にGSE委員を交えての派遣研修模様





## GSEメンバー紹介 ③

GSE派遣チームメンバー  
中内 健太

2005-06年度タイGSE派遣チームメンバーの中内です。我々GSE派遣チームメンバーは毎月1回ですがタイでの研修に向けて研修会を行い、パワーポイントを使ったプレゼンテーションを作成したり、活動計画を立てたりと様々なことに取り組んでいます。特にタイで行うプレゼンテーションでは北海道のすばらしい魅力（旬の幸、景色など）や特徴ある日本文化を伝えたいと考えております。

私は北海道赤十字血液センターに勤務している臨床検査技師です。日々輸血を必要としている患者さんに安全な血液製剤を確実に供給出来るように検査を行っています。タイではこの血液事業がどのように取り込まれ、日本との共通点・相違点はあるのか興味深いものが有ります。私の職業は医療にも関わる仕事なのでタイの病院も見学出来ればと希望を出しています。病院の中にある検査室ではどのように検査されているのか自分の目で確認してこようと思えます。また海外初経験なので、タイで経験する全てが強烈に鮮明に記憶されることと思えます。この経験が今後の人生の大きな糧になると思われるので頑張って研修をしていきたいです。

現地でのコミュニケーションで少しでも困らないように今月から英会話に通い始めました。もちろんタイ語も少しずつ勉強していきたいと考えています。

このプログラムをチームメンバー一丸となって成功させたいと思っています。

帰国後タイでの様々な経験や体験したことを皆さんにお伝え出来ればと考えております。



## 財団学友委員会の活動について

財団学友委員会

委員長 松下文芳 (江別西RC)

10月15日、国際ロータリー第2510地区大会当日、札幌コンベンションセンター内において塚原房樹ガバナーをお迎えして学友会の総会が開催され、多くの学友と共にロータリアンの方々に参加して戴きました。

これからは学友会の活動をもっとロータリアンに理解されるよう各クラブに学友会の活動を情報として発信します。ロータリークラブの例会において、学友が卓話の機会を多くもてるよう、会長・幹事の皆様をお願いを致します。まず語り合うこと、若い学友のエネルギーをロータリアンに、それからロータリーの活性化にも繋がっていくものと信じております。

若い人達の中で学友ほど、ロータリーを理解している人達はいないわけですから、彼らを通じ広く社会にロータリーとその活動を知ってもらうことが重要であると考えます。学友の活動を積極的に支え、より多くの活動ができるよう



昨年より各クラブ、各ロータリアンの方々に支援をお願いしているところです。皆様から寄せられた貴重な浄財を活用して学友会の活動の場を広げ、学友が自信を持って活動できるよう、助言と援助を行うのが当委員会の大きな使命であります。

各クラブと学友会とのコンダクターとしての場を広げてまいりますので、宜しくお願い致します。



塚原ガバナー



菅原学友会会長



松下学友委員会委員長



## 補助金委員会について

補助金委員会

委員長 **朝倉正人** (札幌東RC)

今年度の地区の補助金委員長を仰せつかりました。札幌東ロータリークラブの朝倉でございます。補助金委員会に所属して未だ間がありませんが、委員会の皆様にお力添えを頂きやっていきたいと思っております。補助金委員会の活動については、4つ位の活動に対して補助金を支出致しますが、マッチンググラントと地区補助金が多いと思っております。

委員会は各クラブから活動計画書、申請書が提出され、それを厳正かつ適切に審査することでございます。

この第2510地区には73のロータリークラブがあります。各クラブでは職業奉仕、社会奉仕活動をしておりますが、その中で独自の奉仕活動、地域に密着した活動に対して又自ら会員が汗を流す奉仕活動に対して補助する、援助することになります。

ただ物を買って差し上げることは遠慮して頂き、継続事業については対象外となります。

マッチンググラントは2ヶ国以上のロータリークラブが協力し合い、奉仕することに補助するものであります。クラブでは世界社会奉仕委員会との連動にならうと思っております。

補助金の支出をする目安として3年前のロータリー財団への寄付及クラブの自主申告の実績表を参考にし、活動内容を審査し判断して参りたいと思っております。昨年度は18,000ドル予算があり多くの申請がありました。今年度は29,000ドルの予算を用意しておりますが、現在2件の申請しかなく各クラブから活動計画書をお待ち申し上げています。

しかし、予算の関係もございまして満足な補助金は出せないと思っておりますが、出来るだけ考えていきたいと思っております。

内容、予算についてご遠慮して頂く場合又減額のお願ひもあると思っておりますので、ご理解を頂きたく思います。

いずれにしても塚原ガバナー、遠藤ロータリー財団委員長、菅原監督委員長さんのご助言を頂き活動して参りますので宜しくお願い致します。

## ロータリー財団寄付報告

(9月末日現在)

地区番号	会員数	地区目標	1人当たりの寄付	年次寄付	使途指定寄付	恒久基金寄付	寄付総額
2500	2,676	133,369	\$9.03	24,157.25	0.00	2,000.00	26,157.25
2510	3,141	295,595	\$11.28	35,417.99	790.70	1,000.00	37,208.69
2520	2,814	131,483	\$11.66	32,822.32	3,703.96	0.00	36,526.28
2530	2,645	276,835	\$15.32	40,512.71	2,142.59	6,100.00	48,755.30
2540	1,287	129,325	\$5.81	7,474.18	500.00	0.00	7,974.18
2550	2,078	238,569	\$7.90	16,421.26	1,092.86	2,000.00	19,514.12
2560	2,193	218,250	\$15.78	34,603.30	0.00	0.00	34,603.30
2570	2,129	216,903	\$30.83	65,641.26	2,335.00	18,773.57	86,749.83
2580	3,641	307,970	\$20.25	73,741.72	0.00	14,000.00	87,741.72
2590	2,718	313,864	\$45.51	123,692.46	2,349.67	42,800.00	168,842.13
2600	2,420	231,500	\$17.33	41,942.72	0.00	3,000.00	44,942.72
2610	3,057	305,032	\$20.25	61,889.77	3,060.00	9,120.00	74,069.77
2620	3,719	358,400	\$14.64	54,461.47	0.00	5,000.00	59,461.47
2630	3,853	387,357	\$3.16	12,166.11	2,000.00	1,000.00	15,166.11
2640	2,763	430,600	\$40.47	111,818.71	7,900.00	5,545.00	125,263.71
2650	5,317	661,832	\$34.79	184,971.75	406.30	88,843.98	274,222.03
2660	4,274	532,568	\$22.25	95,095.67	2,100.00	2,000.00	99,195.67
2670	3,311	139,072	\$17.84	59,055.99	1,235.93	0.00	60,291.92
2680	3,348	341,692	\$25.95	86,876.69	0.00	3,000.00	89,876.69
2690	3,579	442,441	\$25.18	90,109.53	0.00	42,211.00	132,320.53
2700	3,341	330,548	\$15.19	50,748.74	2,510.00	0.00	53,258.74
2710	3,647	339,715	\$25.74	93,866.63	6,934.63	10,000.00	110,801.26
2720	2,821	237,800	\$13.84	39,056.72	3,517.86	0.00	42,574.58
2730	2,649	166,700	\$10.45	27,680.45	5,175.00	4,000.00	36,855.45
2740	2,622	250,320	\$10.16	26,630.09	9,900.00	6,000.00	42,530.09
2750	5,058	466,363	\$24.95	126,196.29	4,625.00	10,111.11	140,932.40
2760	5,323	524,644	\$25.05	133,346.35	8,083.33	19,071.43	160,501.11
2770	2,914	484,814	\$62.85	183,132.95	26,493.77	139,000.00	348,626.72
2780	2,549	0	\$13.14	33,502.86	0.00	9,000.00	42,502.86
2790	3,201	118,078	\$13.37	42,809.72	10,635.25	35,000.00	88,444.97
2800	2,115	209,040	\$50.35	106,493.49	2,050.00	1,678.57	110,222.06
2820	2,378	301,134	\$16.47	39,174.75	2,508.63	4,000.00	45,683.38
2830	1,291	129,510	\$38.16	49,269.22	0.00	12,000.00	61,269.22
2840	2,148	217,030	\$7.34	15,767.95	719.63	0.00	16,487.58
日本	103,020		\$21.55	\$2,220,549.07	\$112,770.11	\$496,254.66	\$2,829,573.84
世界	1,181,152		\$10.54	\$12,454,036.97	\$4,696,499.58	\$3,855,142.45	\$21,005,679.00



## 第1回地区クラブ奉仕委員会

クラブ奉仕委員会

委員長 羽部大仁 (札幌南RC)

日時：平成17年7月30日（土）午後7時開会／場所：オリゾンテ

参加者：富原カウンセラー、堅田副委員長、戸部委員、山本委員、杉目委員／記録：羽部／欠席者：近藤委員

### 1) 地区委員会としての計画 「超我の奉仕」について

ロータリーの広報に関して富原カウンセラーからお話を聞きたいと思います。

本年度の地区委員会として「メディアフォーラム」の実施は？

次年度に向けて、準備をする。各地区での地域に根ざした活動を調査する。

### 2) 会員増強と退会防止

クラブ奉仕の重要性を認識して、楽しいクラブ例会のヒントを探る。

マンネリ化したプログラムを思い切って新企画のプログラムにチャレンジする。

### 3) 地区ホームページの更新について

8月29日に長沼RCに取材に参ります。

国際フェスティバルに関してその他に1クラブを推薦して下さい。地方のクラブが良いのですが…

### 4) その他

#### 「ロータリーの広報に関して」 富原カウンセラー

7月9-10日の両日東京プリンスホテルに於いて、ガバナーの初顔合わせと懇話会に参加して来た。新年度の挨拶やテーマについての話や広報についてもお話しがありました。それには広報活動のポイント、広報が何故必要か。基本的理念については、広報活動によって会員増強は？これはいささか反対であるが、今までの活動をロータリーは深く反省しなければいけない。

まず1)に一般地域住民に向けた広報とロータリアンに向けた広報は違う！テクニックが違うと思う。一般の人々のロータリー感は、「お金持ちの昼食会」私も以前はアンチロータリアンであった。しかし、会社での立場や付き合いで、社交場の発想で入会した。ロータリアンとしてのステータスと魅力を持って活動して、これによって会員増強になると理想的である。

ロータリーの一業種一人制、発生当時4人の仲間が集まって話し合ったことは、ロータリーの理念「超我の奉仕」の実践であった。専門職業人の一人を選んで会員にする。選ばれた人々が集まり、異業種の仲間になろう！そして相互扶助を行い、そこにビジネスチャンスが生かされた。

手段と方法—外向きの方法と内向きの方法を考えなければいけない。この両者を満足させることを広報する。

従来ロータリーは宣伝が下手でした。良いことを黙々と実践するような美学を持って活動してきたのかも知らない。

地域社会との接点を見失っていないか？自分自身の足下が見えていないのではないか？もう少し地域社会に対してロータリーはこんな活動をしていますよ！何か地域社会の皆様にお手伝いすることはありませんか？とここに四大奉仕を通じてロータリーが地域社会に理解されていく架け橋になることが願われている。即ち内向きだけの広報に終始せず、外向きの広報が今願われている。今、地区におけるクラブ奉仕委員会の役割は重大のものと確信している。併せて本年度は委員会に「ロータリーの広報」が追加された訳ですからその任務は一層大切になった。各委員が英知を出し合って有意義な一年間の委員会活動にして頂くことを念願したい。

## ご協力に感謝申し上げます

### ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

#### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

井原 敏 男 会員 1回 (新札幌RC) 9月2日  
井門 英 明 会員 2回 (美唄RC) 9月9日  
宮本 隆 支 会員 1回 (札幌セントラルRC) 9月30日

南原 幹 生 会員 (岩見沢東RC) 9月2日  
梨本 忠 一 会員 (岩見沢東RC) 9月2日  
田口 剛 志 会員 (岩見沢東RC) 9月2日  
桜田 伸 也 会員 (森 RC) 9月30日

#### ポール・ハリス・フェロー

大谷 律 子 会員 (浦河RC) 8月29日  
折笠 真 仁 会員 (岩見沢東RC) 9月2日

#### ベネファクター

三浦 武 美 会員 (美唄RC) 9月2日

### 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

#### 米山功労者

林 完 治 会員 1回 (函館東RC) 7月5日  
大島 利 一 会員 1回 (札幌西北RC) 7月28日  
佐藤 寿 夫 会員 3回 (室蘭RC) 7月29日  
若林 成 治 会員 1回 (札幌清田RC) 8月10日  
池田 春 男 会員 3回 (江別RC) 8月26日  
小笠原 孝 会員 10回 メジャードナー  
(函館北RC) 8月26日  
西原 宗 幸 会員 1回 (岩見沢東RC) 8月29日  
津本 美智代 会員 1回 (岩見沢東RC) 8月29日  
上野 弘 美 会員 1回 (岩見沢東RC) 8月29日  
渡辺 勝 治 会員 1回 (岩見沢東RC) 8月29日  
竹原 巖 会員 6回 (札幌北RC) 8月30日  
木村 修 会員 3回 (苫小牧東RC) 9月5日

松下 昌 平 会員 1回 (苫小牧東RC) 9月5日  
谷口 良 一 会員 3回 (札幌北RC) 9月6日  
武市 雄 弘 会員 1回 (美唄RC) 9月8日  
佐藤 公 会員 1回 (札幌北RC) 9月13日  
白崎 邦 彦 会員 1回 (札幌東RC) 9月27日  
小林 博 会員 7回 (札幌北RC) 9月28日  
伊藤 長 英 会員 21回 (苫小牧北RC) 9月28日  
丸屋 憲 一 会員 5回 (苫小牧北RC) 9月28日

#### 米山功労クラブ

札幌清田RC 2回 9月6日  
苫小牧北RC 12回 9月28日  
函館五稜郭RC 11回 9月30日

## ポール・ハリスの住まい カムリーバンク募金報告

7月下旬、地区内各クラブに募金のお願いを致しました『カムリーバンク募金』について、下記の28クラブから総額728,351円を頂戴致しました。

10月12日、日本での取りまとめ先であるガバナー会へご送金致しましたのでご報告致します。ご協力誠にありがとうございました。

妹背牛RC・留萌RC・美唄RC・江別RC・岩見沢RC・岩見沢東RC・  
栗山RC・当別RC・札幌RC・札幌モーニングRC・札幌西RC・札幌西北RC・  
札幌手稲RC・札幌東RC・札幌清田RC・札幌幌南RC・札幌真駒内RC・札幌南RC・  
新札幌RC・岩内RC・小樽RC・室蘭RC・室蘭北RC・洞爺湖RC・  
函館RC・長万部RC・函館五稜郭RC・苫小牧RC

国際ロータリー為替レート 2005年11月 米貨1ドル=112円

# 新入会員のご紹介・例会変更について・文庫通信

## 新入会員のご紹介

(敬称略)



**田中 孝**

苫小牧RC  
平成17年  
8月5日入会



**森 昌弘**

苫小牧RC  
平成17年  
8月26日入会



**中村 信仁**

札幌東RC  
平成17年  
8月18日入会



**矢島 泰司**

札幌東RC  
平成17年  
8月25日入会



**田中 満雄**

札幌東RC  
平成17年  
9月8日入会



**北川 文夫**

滝川IRC  
平成17年  
9月1日入会



**佐伯 敏和**

滝川IRC  
平成17年  
9月22日入会



**尾本 眞二**

千歳セントラルRC  
平成17年  
10月2日入会

## 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

岩見沢 RC：11月4日（金）休会  
（定款第5条第1節による）

倶知安 RC：11月9日（水）夜間例会 18：30～

室蘭東 RC：11月9日（水）登別・白老・室蘭東  
RC合同家族同伴夜間例会  
場所：登別ホテル平安

11月13日（日）家族同伴野外例会

11月16日（水）振替休会

11月30日（水）振替休会

室蘭北 RC：11月22日（火）振替休会

苫小牧北RC：11月22日（火）休会

（定款第5条第1節による）

## 文庫通信 217号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「ロータリーの心を尋ねて」

◎「ロータリー入門書 2005-2006年度版」  
前原勝樹；重田政信(改訂) 2005 190p  
[申込先：重田政信 FAX(027)363-4338]

◎「理想的なロータリークラブの条件」  
南園義一 2005 3p (D.2730 月信)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

◎「ロータリーの心を尋ねて 追録」  
松田尊文 大牟田RC 2005 18p  
[申込先：大牟田RC FAX(0944)57-7220]

◎「ロータリーに生き抜かれた宮脇 富先生を偲び」  
大田RC 2005 39p  
[申込先：大田RC FAX(0854)82-5121]

◎「ロータリーと米山奨学会」  
島津久厚 2004 7p (D.2700 地区大会基調講演)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

◎「超我の人 米山梅吉の聲音」

米山梅吉記念館 2005 266p  
[申込先：米山梅吉記念館 FAX(055)989-5101]

◎「点描 米山梅吉」  
谷内宏文 2005 369p [申込先：新風舎 TEL(03)3746-4648]

◎「『決議23-34』を守る意義とその歴史 一心のよりどころを守って」  
D.2780 2005 8p (D.2780 地区史)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

◎「1911年11月号のThe National Rotarian 第1号に掲載のコリンスのスピーチ原稿」  
8p (D.2680 月信) [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

### 「ロータリー文庫」

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

## 9月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当期末会員数(女性)	3,078人(96人)
増加会員数	92人
当月平均出席率	84.93%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05. 7. 1	05. 9. 30	増減	内女性	
1	深 川	4	38	39	1	2	88.89
	羽 幌	4	49	49	0	1	74.44
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	82.50
	小 平	4	13	13	0	0	82.69
	留 萌	4	49	51	2	0	90.69
	小 計		159	162	3	3	83.84
	2	赤 平	4	34	34	0	2
芦 別		4	48	48	0	0	88.70
砂 川		4	50	52	2	0	95.92
滝 川		5	106	108	2	1	75.00
小 計			238	242	4	3	85.74
3	美 唄	5	41	40	-1	0	96.00
	江 別	5	36	38	2	1	84.86
	江 別 西	4	35	36	1	3	92.35
	岩 見 沢	4	95	94	-1	0	90.66
	岩 見 沢 東	4	35	36	1	4	84.10
	栗 沢	4	24	24	0	1	93.75
	栗 山	4	26	27	1	2	95.83
	当 別	3	38	38	0	1	78.07
	小 計		330	333	3	12	89.45
4	札 幌	4	123	129	6	0	98.26
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	75.00
	札 幌 北	3	43	42	-1	5	94.17
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	73.04
	札 幌 西	4	72	73	1	4	91.20
	札 幌 西 北	5	48	48	0	2	91.77
	札 幌 手 稲	3	41	41	0	1	98.37
	小 計		419	427	8	17	90.23
5	札 幌 東	5	121	122	1	0	97.72
	札 幌 清 田	4	28	29	1	6	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	70	0	0	99.62
	札幌真駒内	4	46	48	2	3	92.67
	札 幌 南	3	89	93	4	0	95.42
	札幌大通公園	4	19	19	0	4	68.42
	札幌セントラル	4	17	18	1	5	72.90
	新 札 幌	3	32	34	2	2	94.33
	小 計		422	433	11	20	90.14

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05. 7. 1	05. 9. 30	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	70.19
	倶 知 安	4	50	50	0	3	59.00
	小 樽	4	64	71	7	0	74.61
	小 樽 南	4	82	81	-1	0	88.82
	小 樽 銭 函	5	25	25	0	3	92.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	86.35
	余 市	4	44	44	0	4	94.30
	小 計		304	312	8	10	80.75
7	千 歳	4	61	66	5	3	84.10
	千歳セントラル	4	27	27	0	0	86.10
	恵 庭	4	49	49	0	0	73.91
	北 広 島	3	17	17	0	2	88.24
	長 沼	3	18	18	0	3	91.00
	由 仁	4	13	13	0	0	92.31
	小 計		185	190	5	8	85.94
8	え り も	5	23	23	0	0	88.70
	三 石	3	16	17	1	1	92.10
	様 似	3	18	18	0	1	54.20
	静 内	3	66	70	4	0	86.66
	浦 河	4	33	34	1	1	86.77
	小 計		156	162	6	3	81.69
9	伊 達	4	55	59	4	0	76.27
	室 蘭	4	50	51	1	0	98.04
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	88.90
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	100.00
	登 別	4	36	36	0	2	83.33
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	100.00
	小 計		230	240	10	4	91.09
10	函 館	4	91	93	2	0	82.15
	函 館 亀 田	3	43	43	0	1	83.72
	森	4	42	42	0	0	75.20
	七 飯	4	20	22	2	0	69.30
	長 万 部	4	10	10	0	0	55.00
	函館セントラル	4	0	30	30	2	71.67
小 計		206	240	34	3	72.84	
11	江 差	5	17	17	0	0	77.50
	函館五稜郭	4	63	62	-1	0	96.30
	函 館 東	4	43	42	-1	4	82.92
	函 館 北	4	32	33	1	0	84.09
	上 磯	4	26	25	-1	2	64.00
	松 前	5	9	9	0	1	70.00
小 計		190	188	-2	7	79.14	
12	白 老	4	23	23	0	0	70.00
	苫 小 牧	4	56	58	2	1	73.33
	苫 小 牧 東	4	31	30	-1	3	95.08
	苫 小 牧 北	4	37	38	1	2	92.86
	小 計		147	149	2	6	82.82
合 計		2,986	3,078	92	96	84.93	

## 地区カレンダー (11月・12月)

11月 ロータリー月間	
1 (火)	
2 (水)	
3 (木)	文化の日
4 (金)	
5 (土)	
6 (日)	米山奨学生・学友・ロータリアン そして家族との交流会 (札幌)
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10 (木)	
11 (金)	
12 (土)	ローターアクト北海道交流会 (札幌)
13 (日)	ローターアクト北海道交流会 (札幌) 第7グループIM (長沼)
14 (月)	
15 (火)	
16 (水)	
17 (木)	
18 (金)	
19 (土)	GSEプレゼンテーション
20 (日)	
21 (月)	
22 (火)	
23 (水)	勤労感謝の日 第9グループIM (伊達)
24 (木)	ロータリー財団地域セミナー
25 (金)	第2回ガバナー会
26 (土)	ロータリー研究会 (東京) ローターアクト地区協議会 (室蘭)
27 (日)	ロータリー研究会 (東京) ローターアクト地区協議会 (室蘭)
28 (月)	
29 (火)	公式訪問 (函館セントラル)
30 (水)	

12月 ロータリー家族月間	
1 (木)	
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	
12 (月)	
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	天皇誕生日
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	

**SERVICE Above Self**





# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL  
DISTRICT 2510

*No. 6*  
*2005.12*



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

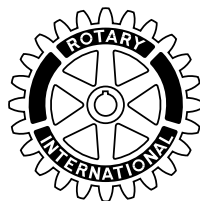
TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	04
地区大会特集	06
投稿記事	
自動車道周辺に幼木100本植える (留萌RC)	10
「2005 ドイツでいこう In Takikawa」 (滝川RC)	10
GSEメンバー紹介	11
ロータリーの友委員会報告	11
100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの紹介	12
ご協力に感謝申し上げます	
ロータリー財団	12
米山記念奨学会	12
2004年国際大会決算報告書	13
会員訃報・新入会員のご紹介	14
青少年交換派遣学生募集	14
例会変更・文庫通信	15
地区カレンダー (12月・1月)	16
10月の出席率・会員数	17

---

■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

「ロータリーの本(忘れ得ぬ一冊の書)」

地区大会を無事に終えることができました。ご参加いただいた全てのクラブおよび会員の皆様に心から感謝を申し上げます。

中島RI会長代理は、卓越したロータリー知識の持ち主で、また人間的にもスケールの大きい方でした。ロータリーは百年の歴史を終え「奉仕の新世紀」を迎えるにあたり、先人の心を訪ねその心をこれからのロータリーに活かすことが必要です。ロータリーの普遍の理念の大切さを改めてご指導頂きました。素晴らしい会長代理をお迎え出来たことは我々にとってこの上なく幸せなことでした。

また地区大会の目玉として新たに設けました「指導者育成セミナー」のプログラムは、片岡暎子氏、道下俊一PG、田中毅PGを交えて「財団フォーラム」、「新世紀シンポジウム」を開催いたしました。内容や成果につきましては、十分把握をしておりませんが、皆さんから示唆に富んだ内容であったとご好評をいただいております。天候にも恵まれ、ホストクラブの皆様の並々ならぬご努力のおかげで大過なく大会を終えることができました。ありがとうございました。

地区大会終了後の10月27日、私のホームクラブである札幌東ロータリークラブの公式訪問を終え、余すところ函館セントラルクラブのみとなりました。

思えば7月1日の小樽南RCさんを皮切りに、本当に大勢の方のお世話になりました。どのクラブの皆さんとも精一杯お話をさせていただきましたが、私の力不足で十分お役に立てなかったことをお詫び申し上げます。私が公式訪問で終始申し上げたかったことは、「ロータリーの目的は奉仕の心を育成すること」で、「奉仕はロータリーの目的ではなくロータリアンを訓練する手段である」ということでした。ここで自省の意味でもう少しロータリーの奉仕について振り返ってみたいと思います。

四国の今治RCに森光繁さんという会員がおられました。昭和26年に「ロータリーの本」というロータリーの綱領についての小冊子を刊行されました。私にロータリーとは何かを教えてくれた貴重な書です。昭和26年というと日本のロータリーが国際ロータリーに復帰したわずか2年後のことです。この本からいかに戦前のロータリアンの質が高かったか伺い知ることが出来ます。綱領は四項目からなっていますが、その中で特に綱領の第三奉仕部門、社会奉仕について、今まで全世界のロータリアンが誰もなしえなかった素晴らしい森氏の所説をご紹介します。

『綱領の第三に、「**ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活、および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること**」とありますが、奉仕の理想を千差万別な、日常生活に適用しようなどということとは出来ることではない。なぜなら日常の千差万別な、そして何の脈絡も無く、相互に関連性無く発生する諸現象に奉仕の理想を適用しようと身構えることがそもそも無理なことである。それはあたかもザルで水を掬うようなものである。しかしザルを水の中に入れることはたやすく行うことが出来る。人間の心の世界は無限性を持っているから、これを「奉仕の海」に浸しておく、心は「奉仕の海」に住んで常住坐臥、奉仕の世界から抜け出すことは出来ない。したがってその心を持って淡々たる行動を日常万般の生活の中で行えば、その行動はおのずから、奉仕の心の実践という形をとる』。

これが奉仕の心の適用に当たると説くのであります。もう少し徹底して云えば、一切の生活の中に「奉仕の理想」が適用されるというよりも、一切の生活が「奉仕の理想」の中に没入している姿が最も理想的であります。私はこの「奉仕の理想」を今年度のRIのテーマ「超我の奉仕」に置き換えていただきたいのです。

ステンハマーRI会長は、強調事項の一つに「超我の奉仕」をよく理解して実践してほしいといわれました。「超我の奉仕」を一片の知識(Knowledge)として理解するのなら中学生でも出来ます。よく理解して実践するとはどういうことでしょうか。ステンハマー会長は単なる知識ではなく、智慧(Wisdom)にまで昇華させて欲しいと願っておられます。「超我の奉仕」を智慧にまで高めるとは、具体的にどうすればいいのでしょうか。

我々には本来の仕事があり、そのほかにロータリーがあるというのは間違っています。つまり我々の仕事や生活の一部分にロータリーがあるのではなく、我々の仕事や生活の基本が「超我の奉仕」の中に無ければなりません。日本のロータリーの始祖、米山梅吉氏の言葉を引用させていただきます。『自分の人生に於いて判断の背後にございますものはロータリーの理論でございます。その理論はどこから来たのかというロータリーの例会出席を通じてでありまして、その意味でロータリーの例会は人生の道場といえます。私のことをロータリーの米山と呼んでいただいて結構です』。

森光繁氏のいわれた「奉仕の海」とは、米山さんにとっては、ロータリーの例会のことでした。

また私は、公式訪問の際困っている人の戸口にそっと物を置いてくるのは立派な奉仕の実践ですが、ロータリーでは困っている人の戸口へそっと物を置いてくることよりも、むしろ困っている人に物を届けるといふ心の境地のことを奉仕だといいました。「奉仕の心の育成」がロータリーの目的で「奉仕の実践」は奉仕の心を育成する手段です。

『奉仕の心の無いままに、ただ奉仕を形に現してロータリーを示そうとすればこれは奉仕ではなく寄付であり、慈善行為となってしまいます。奉仕をはじめから何か形で表そうとすることは悪く言えば安易を求めるものであって、決してロータリーの奉仕ではありません。見せたい奉仕、後に残したい奉仕、こんな衝動に駆られる気持ちも分からなくないが、何故奉仕を形にしたいために、どうしてあんなに苦勞するのか。その苦勞を例会を通じてロータリーの心を育成するための努力にしたらどうだろうか。奉仕がいかに華々しい形で示されてもロータリーの心のこもらぬものならば、その活動は奉仕ではない』これも森光繁氏の言葉です。

さて社会奉仕ですが、ライオンズクラブは例会のたびに寄付金を集めて団体に金銭奉仕をします。公園に時計塔を寄贈したり、町に救急車を寄付したりします。1917年メルビン・ジョーンズによりテキサスのダラスで活動を開始し、今日のわが国の多くの地域社会において大変活発な運動を行っているライオンズクラブの奉仕に対し深い敬意を表しながら、一体ロータリーの社会奉仕は、ライオンズクラブのそれとどう違うのでしょうか。

まず云えることは、ロータリーの社会奉仕活動の資金はニコニコ箱が頼りで事業資金は持っていません。皆さんの払う年会費はクラブの運営費で、奉仕のお金は含んでいません。クラブの大小にもよりますが、大体一クラブあたり年間15万円から30万円くらいがニコニコ箱より割り当てられています。しかしロータリークラブは地域の中から選ばれた職業人の集まりです。その職業人たちが、年間15万円から30万円のお金を地域社会に還元したからといって、果たしてロータリーは奉仕クラブといえるのかという問題があります。実はこのお金は社会奉仕の事業費ではなくて、社会奉仕委員長さんが毎年、地域の中にどのような救済の手を待っているニーズがあるのかを調べる調査費であり、そしてそのニーズを会員に伝え、救済活動の働きかけをする「呼び水」なのです。

社会奉仕は、クラブ全体でも行いますが、大事なことは金銭による団体奉仕ではなくてロータリーアン一人一人の個人奉仕なのです。綱領にあるとおり「**ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活、および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること**」なのです。

ロータリーの社会奉仕は“コミュニティーサービス”の訳語です。コミュニティーサービスを日本語で社会奉仕と訳したものですから、おかしなことになってしまいました。社会奉仕というと、強い立場のものが弱い立場のものに対して何かを施す、恵んであげるというイメージがどうしても伴います。けれども、もともとのコミュニティーサービスは、「良き市民たれ」というのが本筋です。コミュニティーサービスを適当な日本語に訳せないかと考えたときに浮かんだのは、「親身になる」

という言葉です。「親身になる」とは「相手の身になる」ことで「友情にあふれた関係」を作ることです。

「親身になる」ということが、自分の町内で発揮されれば、それがコミュニティーサービスです。お互いに友情あふれたコミュニティーを作ることが社会奉仕なのです。ロータリー運動の中核をなすものすなわち一番大事なものは、何であるかということ、仮に表現したならこのようにいえます。

自分の住んでいる町や市に対して、親身になれば、商売においても親身になれば、ということが高く掲げて、そのような人に育っていく事を手助けする。一人一人の努力も勿論大切ですが、一人より二人、二人より三人が、一緒に励ましあい教えあう中から、そういう「親身になることの喜びを味わえる」人々の和を広げていく事、これがロータリー運動の中核をなすものではなからうかと思うのです。

また12月は家族月間です。一般的に家族というと両親、子供、孫といった身近な自分の家族を指します。けれども、ロータリーの云う「ロータリー家族」は、もっと範囲が広くクラブの会員はもちろん、元会員の配偶者、ローターアクターやインターアクター、青少年交換学生などロータリーと関わりのある全ての方々を含むようです。ロータリークラブは家族に似た個人関係を築く一方で、多様性を発揮します。「家族月間」とはロータリークラブが家族のように親しくするには、更に何をしたらいいのかを考える「月間」にしてください。

最後になりましたが、会長幹事さんにはあわただしい師走を迎え何かとお忙しいことと存じます。向寒のみぎり、くれぐれもご健康にご留意の上良き新年をお迎えください。

引用文献 森 光繁（ロータリーの本） 森 三郎（私のロータリー）

## ポール・ハリスの言葉

Two things seem to me important in my more than three score and ten years of life – my New England valley and the Rotary Club movement.

“My Road to Rotary”

**【私の70余年の人生で大切なものが2つあります。**

**1つはニューイングランドの谷あいの村、もう一つはロータリー運動です】**

**“わがロータリーへの道”**

ポール・ハリスは『私がロータリーに身を捧げるようになった源を探っていくと、故郷の谷間、村人の人情、宗教や政治に対するおおらかな心遣いにまでさかのぼる。見方によればロータリーは故郷の谷間で産声を上げた』と述懐しています。ポールはニューイングランドのピューリタンの家庭における厳しい躾けや教育というものの大切さ、またあらゆる信条に寛容であることを学び、これを全ての人々に広めようと考えました。こうして今から100年前の2月23日、風の強い凍てついたシカゴの夜にロータリーは呱呱の声を上げました。

ロータリーの故郷はポールが少年時代を過ごしたバーモント州の谷あいのウォーリングフォード村でした。

ガバナー公式訪問ではありがとごいざいました



森RC公式訪問（9月7日）



函館北RC公式訪問（9月7日）



北広島RC公式訪問（9月12日）



白老RC公式訪問（9月13日）



上磯RC公式訪問（9月15日）



函館RC公式訪問（9月15日）



ガバナー公式訪問ではありがとうございました



函館五稜郭RC公式訪問（9月16日）



江差・松前RC合同公式訪問（9月16日）



千歳セントラルRC公式訪問（9月20日）



恵庭RC公式訪問（9月21日）



長沼RC公式訪問（9月26日）



当別RC公式訪問（9月27日）



# 国際ロータリー第2510地区大会

10月15日（土）、16日（日）の両日に亘り、中島治一郎RI会長代理ご夫妻を迎えて札幌コンベンションセンター、札幌ロイヤルホテル、札幌パークホテルで開催されました地区大会には、地区内各クラブより多数のご参加を賜り盛会に終了致しました。誠にありがとうございました。



## 会長・幹事会 (札幌コンベンションセンター)



## 本会議兼地区指導者育成セミナー 【地区財団フォーラム】



**シンポジウム  
「奉仕の世紀を迎えて」**



**本会議兼地区指導者育成セミナー  
【地区財団学友会総会】**



**RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 (札幌ロイヤルホテル)**



**2日目**  
**大会**

**本会議 (札幌コンベンションセンター)  
ご来賓祝辞**



**中島治一郎RI会長代理  
現況報告**



**クラブ紹介**



**記念講演「バカの壁」養老孟司氏**



**表彰**



## 並行プログラム



## 友愛の広場



## 懇親会



## 記念囲碁大会

10月10日(祝)、日本棋院北海道支部において地区内各クラブより32名のご参加を戴き開催されました。



## 記念ゴルフ大会

10月14日(金)、札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースにて開催されました。



## 自動車道周辺に幼木100本植える

平井 誠 治 (留萌RC)

市民待望の高規格幹線道路「留萌深川自動車道」の幌糠インターチェンジが来年秋開通の予定だ。好天に恵まれた10月12日(水)留萌ロータリークラブの植樹例会がこの地域で本年もまた実施された。

それぞれ作業服に着替えたクラブ会員たちは、ミズナラ、シナノキ、ハルニレなど周辺に自生する7種類の幼木100本を道路ののり面に丹念に植え込んだ。

道路周辺の自然回復と景観整備を目的に去年は同道の幌糠ゾーンで、そして本年は峠下ゾーンで、当クラブの植樹活動が会員たちの心地よい汗と慣れた手つきで続けられてきた。

地域住民参加による道路植樹会が望まれている昨今、当クラブのこの活動が自動車道周辺の緑化に一役を買い、さらに住民協力による植樹活動の拡がりになることを期待している。



### 社会奉仕委員会活動報告

## 『2005 ドイツでいこう! In Takikawa』

明 円 直 志 (滝川RC)

ドイツ年を記念して去る10月30日(日)に滝川市と共催で標記イベントを開催しました。まず、ドイツ連邦共和国の環境省にあたる環境自然保護・原子炉安全省のハラルド・ナイツェルさんには、ドイツにおける官民挙げての環境への取り組みについて、ドイツでは環境活動のキーワード「地域で取り組み楽しもう」「持続可能性」であることを数々の事例をまじえて講演していただきました。

次に環境アドバイザーとして札幌で活躍しているビアンカ・フルストさんから、楽しくて得するドイツのエコライフ事情として紙コップなどを使わずマイマグカップやエコプラスチックなど実物を示して紹介、すぐにでも北海道で取り組めるものがあると熱く語っていただきました。

最後に元デュッセルドルフ総領事館料理長の寺西健雄さんから、意外と食にこだわりのないドイツ人の食生活を紹介してもらい、ドイツ料理のデモンストレーションさらに試食会があり、来場者はマッシュポテトやドイツワインに舌鼓を打ち、イベントは盛況のうちに終了となりました。





## GSEメンバー紹介 ④

GSE派遣チームメンバー  
**高倉 美穂子**

2005-2006年GSEメンバーの高倉です。派遣まであと二ヶ月となり、緊張しつつも委員の方々やメンバーに励まされその緊張も楽しめる様になった今日この頃です。月一回の研修では、プレゼンテーションを中心として行っております。主に日本の四季や行事・風習、メンバー個人の職場の紹介といった内容なのですが、日常行っている事柄の意味を知らない事が多かったり、資料の為の写真を通じて四季の移り変わりに感動したりと、普段見ている見どころが多かったり、新たな発見をし、喜びに変えています。

私は、グループホームで介護の仕事に従事しております。仕事でも日によって娘だったり、孫だったり、嫁になったりと割り振られながら、その行動を受け入れ楽しんだり驚いたりとの連続です。その中に、本音や希望が見え隠れしている事もあり、日々気持ちを新たに接して行こうと心がけております。

タイでの職場研修は福祉施設を希望しているのですが、国民性や宗教の違いはあれど、利用者・職員の方と心の共通性を見出してゆけたら素晴らしいと思っております。

派遣の前からこのような勉強や、視野を広げて下さった事にとっても感謝しております。又、派遣に際し、月々の研修も含め職場の理解があつてこそ成り立っている事を忘れてはなりません。国境を越えた新たな発見を数多く出来る事を待ち望んでおります。そしてそれが私自身、家族、同僚に伝えるべき財産になると思われまます。

---

---

## ロータリーの友委員会報告

---

---

ロータリーの友地区委員  
**黒澤 昌彦** (札幌東RC)

11月14日(月) 12:30より「メルパルクTOKYO」にてロータリーの友地区委員・常任委員合同会議が開催されました。冒頭の挨拶で渡邊 隆「友」委員長(習志野RC)は「友」誌は34地区のガバナーの委嘱によって製作されるものであるため、ガバナーの意向を十分反映させて欲しいと強調されておりました。

会議では、「ロータリー会員名簿」・「ロータリー手帳」申し込み状況についての説明があり、残り少ないので希望者はなるべく早く申し込んで欲しいとのことでした。

また、「友」誌に替わって「THE ROTARIAN」を購読している会員には出来ることなら、「友」誌の購読もお付き合い願いたいとのことでありました。

「友」誌投稿記事に関して、投稿した記事がなかなか掲載されないとの話が出たが、送付後6ヵ月をめぐりに判断して欲しいとのことで、活動後3ヵ月経ったもの、新聞記事の切り抜き、写真だけのものがありこの様な投稿記事は掲載出来ないとの説明がありました。

また、「ロータリーの友」ホームページについて説明があり、大いに利用して欲しいとのことです。ホームページを持っている地区及び地区内クラブで「友」ホームページと未だリンクしていないクラブは早急にリンクしたいとのことで、会長・幹事等担当者の署名付の承諾書を送って欲しいとのことでありました。

**100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの紹介**

**100%ポール・ハリス・フェロー・クラブの紹介**

岩見沢東RCが2005年10月13日、地区内で初めて100%ポール・ハリス・フェロー・クラブ（全会員がポール・ハリス・フェローになったクラブ）になりました。

ロータリー財団管理委員会から財団への感謝の印として写真のバナーが岩見沢東RCに贈呈されました。他に米国エバンストンの国際ロータリー世界本部に岩見沢東RC名の彫られたプラークが飾られます。弛まぬご支援に感謝申し上げます。



**ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます**

**ポール・ハリス・フェロー**

大和力会員 (岩見沢東RC) 10月5日	柴野美智子会員 (岩見沢東RC) 10月5日
藤田文雄会員 (岩見沢東RC) 10月5日	渡辺直樹会員 (岩見沢東RC) 10月5日
高崎英雄会員 (岩見沢東RC) 10月5日	石橋宣利会員 (岩見沢東RC) 10月5日
只野公幸会員 (岩見沢東RC) 10月5日	中道博会員 (札幌南RC) 10月7日
林崎弘吉会員 (岩見沢東RC) 10月5日	吉田壽昭会員 (札幌南RC) 10月7日
稲垣政敏会員 (岩見沢東RC) 10月5日	滝口直久会員 (倶知安RC) 10月21日
	鈴木徹雄会員 (札幌あけぼのRC) 10月28日

**米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます**

**米山功労者**

小島安彦会員 1回 (三石RC) 10月3日	野村勝隆会員 1回 (札幌はまなすRC) 10月26日
三味正明会員 1回 (札幌北RC) 10月4日	伊藤崇会員 7回 (深川RC) 10月27日
若狭吉範会員 3回 (札幌北RC) 10月4日	後藤田隆雄会員 5回 (深川RC) 10月27日
太刀川善一会員 9回 (函館RC) 10月14日	杉村修会員 5回 (深川RC) 10月27日
竹田公一会員 1回 (函館RC) 10月27日	吉本勲会員 4回 (深川RC) 10月27日
吉村洋吉会員 13回 (札幌真駒内RC) 10月21日	佐々木実会員 3回 (深川RC) 10月27日
佐々木則秋会員 6回 (札幌真駒内RC) 10月21日	成田昭彦会員 3回 (深川RC) 10月27日
佐藤泰彦会員 6回 (札幌真駒内RC) 10月21日	下村寿太郎会員 2回 (深川RC) 10月27日
南部昭憲会員 1回 (札幌真駒内RC) 10月21日	池垣清信会員 19回 (函館東RC) 10月28日
鈴木徹雄会員 1回 (札幌あけぼのRC) 10月25日	
村井么乙会員 2回 (室蘭北RC) 10月25日	
松田博文会員 1回 (室蘭北RC) 10月25日	
神島章会員 1回 (室蘭北RC) 10月25日	
大石春雄会員 2回 (札幌はまなすRC) 10月26日	

**米山功労クラブ**

札幌真駒内RC	20回	10月21日
札幌あけぼのRC	6回	10月25日
札幌はまなすRC	3回	10月26日



# 国際大会決算報告書

## 国際ロータリー2004年国際大会(関西) ホスト実行委員会決算報告書

実行委員長 近藤 雅臣  
副実行委員長(事務総長) 吉川 謹司  
副実行委員長(財務長) 井上 暎夫

### 【収入の部】

	決算額	摘要
会員拠出金 ホスト4地区	375,782,809	1人 4,000円宛 1998年より5年間
〃 4地区外	994,661,765	1人 2,000円宛 1998年より5年間
4地区準備負担金	4,000,000	ホスト4地区 1996年より2年間
RI負担金	88,395,200	交通、危機管理、プログラム、友愛の家
登録料	16,799,580	パークフェスタ、N響、アレコンベンション(京都デー、神戸ナイト・クルーズを除く)
雑収入	26,311,549	グッズ、パッチ販売、駐車料金、ドネーション、DVD・記録誌販売、RYLA事務局費、預金利息
合計	1,505,950,903	未収入金 92,000 を含む

### 【支出の部】

	決算額	摘要
事務局費	63,959,602	人件費、備品、通信費、事務用品、家賃
総務委員会費	42,074,007	RI打合せ費、オン・ツー・オオサカ、実行委員会会議費、大会運営費、監査料
海外広報費	39,019,624	アナハイム、バルセロナ、ブリスベン
会場費	362,712,117	大阪ドーム、大阪国際会議場、リーガロイヤル、RI事務局
第1部会 登録・受付	11,840,519	コンgresバッグ 封入、配布
第2部会 歓迎・インフォメーション	81,321,540	空港・JR・市内案内ブース、歓迎バナー、N響コンサート、バッグ
第3部会 友愛の家・日本文化紹介	96,871,123	友愛の家(RI負担 ¥11,600,000)
第4部会 青少年関係	53,616,353	YEO、RAC、RYLA、青少年の家(インターネットカフェ)、J-RYLA
第5部会 交通・輸送	151,821,614	関西バス配布、駐車場、ホスト行事送迎費(RI負担 ¥42,240,000)
第6部会 プログラム	84,237,579	日本独自プログラム、プレショー(RI負担 ¥17,000,000)
第7部会 アトラクション	31,067,548	日本提案出演者、演出
第8部会 設営・装飾	8,142,556	大阪ドーム、リーガロイヤルホテル、大阪国際会議場、サイン
第9部会 PR・報道	37,513,697	国内向けPR、報道
第10部会 宿泊・観光・ホームホスピタリティ	112,270,700	パークフェスタ、ホストプログラム、インフォメーション *1
第11部会 翻訳・記録	46,862,699	インフォメーション通訳、大会記録(DVD・CD・冊子)
第12部会 医療	1,185,144	RI補助医療
第13部会 VIP・接遇	3,861,510	RI
第14部会 アレコンベンション・国際研究会	1,395,105	国際研究会、財団学友
インターネット委員会	3,904,657	WEB
危機管理委員会	57,889,170	警備計画、実施、SAA(RI負担 ¥17,555,200)
計画策定推進	52,500,000	ジェイコム委託費
誘致準備委員会	11,540,104	準備委員会、推進委員会
ボリオ募金	6,493,282	N響チャリティーコンサート、道頓堀ナイトカフェ *2
合計	1,362,100,250	未払金 1,459,484 を含む
差引残金	143,850,653	

残金の処分 日本財団設立準備基金 *3	100,000,000
愛知万博	20,000,000
日本ガバナー会	23,000,000
精算予備費 *4	850,653

- \*1 京都デー(第2650地区) 23,000,000円  
神戸ナイトクルーズ(第2680地区) 8,000,000円  
上記を補助金として支出。
- \*2 N響コンサートをボリオ撲滅のためのチャリティーコンサートとしたため、登録料及びドネーションをロータリー財団に寄付。
- \*3 残金処分については、2004年度日本ガバナー会に報告の上、実行委員会の決議による。
- \*4 最終費用を支出した残金は、日本ガバナー会 青少年育成委員会に入金。

### 監査報告

当委員会は本決算報告書につき、2005年10月31日開催の監査委員会にて慎重監査の結果、公認会計士による監査報告書の通り会計処理は適切に行われ、その結果を適正に表示していることを認めました。

2005年11月10日

監査委員会 第2640地区 月山 和男 第2650地区 山本 浩三  
第2660地区 松本 良諄 第2680地区 奥村 孝

### 独立監査人の監査報告書

平成17年10月27日

国際ロータリー2004年国際大会(関西)

実行委員長 近藤雅臣 殿

事務所所在地 大阪府吹田市内本町2丁目7番3号

事務所名 公認会計士 西村武規事務所

電話 (06) 6381-8592

登録番号 第1643号

公認会計士 西村武規 

私は、国際ロータリー2004年国際大会(関西)実行委員会の依頼に基づく監査報告を行うため、国際ロータリー2004年国際大会(関西)の会計年度(1997年3月3日から2005年9月30日まで)の計算書類、すなわち、決算報告書(収支計算書)について監査を行った。

この計算書類の作成責任は実行委員会にあり、私の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査をおこなった。

監査の基準は、私に計算書類に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。

監査は、実行委員会より提出された計算書類及び帳簿並びに証憑書類を基に、試査を基礎として行われ、実行委員会が採用した会計方針及びその適用方法も含め全体としての計算書類の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の計算書類が、国際ロータリー2004年国際大会の2005年9月30日をもって終了する会計年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

国際ロータリー2004年国際大会(関西)実行委員会と私との間には、公認会計士法の規定に準じて記載すべき利害関係はない。

以上

**会員計報・新入会員のご紹介**

**会 員 計 報**



**廣 田 満 男** 会員  
(岩内RC)  
2005年9月4日ご逝去(享年79歳)

【ロータリー歴】
1962年9月1日 入会
1971～1972年度 副会長
1977～1978年度 会長
その他、多数の委員長を歴任されました。

【表 彰】
通年皆出席42年間
ポール・ハリス・フェロー



**川 原 宏 一 郎** 会員  
(札幌東RC)  
2005年9月6日ご逝去(享年73歳)

【ロータリー歴】
1978年11月9日 入会
1981～1982年度 SAA
1985～1986年度 幹事
1993～1994年度 親睦活動委員長
1997～1998年度 副会長 (職業奉仕委員長)
2001～2002年度 会長 (43代)

【表 彰】
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (3)
米山功労者 (3)

**新入会員のご紹介**

(敬称略)



**黒 田 忠 雄**  
室蘭東RC  
平成17年7月6日入会



**佐々木 彰 夫**  
室蘭東RC  
平成17年7月6日入会



**千 田 学**  
室蘭東RC  
平成17年7月6日入会



**多 田 伸 一**  
室蘭東RC  
平成17年7月6日入会



**丹 治 典 久**  
札幌清田RC  
平成17年9月6日入会



**石 見 理 恵**  
札幌清田RC  
平成17年10月4日入会



**梅 津 時 央**  
岩見沢RC  
平成17年10月7日入会



**溝 口 和 男**  
苫小牧RC  
平成17年10月14日入会



**水 田 清 継**  
苫小牧RC  
平成17年11月11日入会



**日 高 修**  
滝川IRC  
平成17年10月20日入会

**短期交換プログラム 派遣学生募集**

青少年交換プログラムはロータリアンの子女である無しは問いません

**派遣学生の家庭がホスト・ファミリー、受入学生と一緒に相手地区を訪問するプログラム!**

- 派遣期間 約4週間(2006年7月末～8月末頃)
- 派遣国 ●カナダ ●アメリカ ●スイス

\*派遣国は相手地区の都合等により変更がある場合があります。

- 応募期日 2006年1月18日(水)
- 選考日 2006年1月29日(日)予定

◎応募申請書類請求・送付先

【問い合わせ先】

045-0023 岩内町相生195

RI2510地区青少年交換委員会 野澤 幸平

\*TEL: 0135-61-4728

\*FAX: 0135-61-4832

\*携帯: 090-1649-5810

## 例会変更について・文庫通信

### 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 江別RC：12月15日（木）家族例会 18：30～ 場所：江別市民会館小ホール  
12月22日（木）・12月29日（木）・1月5日（木）休会（定款第5条第1節により）
- 岩見沢RC：12月16日（金）は12月17日（土）に変更 家族忘年例会 18：00～ 場所：ホテルサンプラザ  
12月30日（金）・1月6日（金）休会（定款第5条第1節により）  
1月13日（金）岩見沢東RCとの合同新年交歓会 18：00～ 場所：ホテルサンプラザ
- 岩見沢東RC：12月27日（火）休会（定款第5条第1節により）
- 室蘭東RC：12月21日（水）定期総会・年忘れ夜間例会 18：30～ 場所：蓬峽殿  
12月28日（水）休会（定款第5条第1節により）
- 室蘭北RC：12月13日（火）夜間例会・クリスマス家族例会 18：30～ 場所：ホテルサンルート室蘭  
12月27日（火）休会（定款第5条第1節により）
- 登別RC：12月14日（水）創立記念夫人同伴夜間例会 場所：登別グランドホテル  
12月28日（水）・1月4日（水）休会（定款第5条第1節により）
- 苫小牧RC：12月9日（金）夜間例会「クリスマス会・忘年会」 18：00～ 場所：ホテルニドム  
12月30日（金）休会（定款第5条第1節により）
- 苫小牧東RC：12月8日（木）移動例会「忘年会」 18：00～ 場所：いといの湯  
12月29日（木）休会（定款第5条第1節により）

### 地区役員の変更について

地区ロータリー財団委員（増進担当）の大村孝男会員（千歳RC）が転勤により退会されましたので地区組織図・地区名簿から削除をお願い致します。

## 文庫通信 218号

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

### ロータリー文庫 2004～2005年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現金	130,585	雇用保険料預り金	10,217
普通預金	7,968,238	社会保険料預り金	172,471
定期預金	7,000,000	負債合計	182,688
仮払金	2,000	正味財産	
現金預金計	15,100,823	次期繰越剰余金	14,918,135
合計	15,100,823	合計	15,100,823

(収支計算書)

収 入		支 出	
会費収入	30,898,350	委員会費	1,408,362
雑収入	437,233	業務費	2,564,700
		貸借管理費	8,438,258
		人件費	16,458,577
		予備費	0
当期合計	31,335,583	当期合計	28,869,897
前期繰越収支差額	12,452,449	当期収支差額	2,465,686
収入合計	43,788,032	次期繰越収支差額	14,918,135

### （ロータリー文庫）

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2005年12月 米貨1ドル=118円

## 地区カレンダー (12月・1月)

12月 ロータリー家族月間	
1 (木)	
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	第2回JYEC委員打合 (東京) 第2回青少年交換委員長会議 (東京)
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	地区補助金委員会 (札幌)
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	地区青少年交換オーストラリア受入学生送別会 (札幌)
12 (月)	第1回ガバナー指名・第2回ガバナー諮問委員会 (札幌)
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	地区国際奉仕・世界社会奉仕・国際友好合同委員会 (札幌)
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	天皇誕生日
24 (土)	
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	

1月 ロータリー理解推進月間	
1 (日)	元日
2 (月)	振替休日
3 (火)	
4 (水)	
5 (木)	
6 (金)	
7 (土)	
8 (日)	
9 (月)	成人の日
10 (火)	
11 (水)	
12 (木)	
13 (金)	
14 (土)	
15 (日)	
16 (月)	
17 (火)	
18 (水)	青少年交換短期派遣学生募集締切
19 (木)	
20 (金)	
21 (土)	
22 (日)	
23 (月)	
24 (火)	
25 (水)	
26 (木)	
27 (金)	
28 (土)	派遣GSE壮行会 (札幌)
29 (日)	2006年度米山奨学生選考試験 (札幌) 青少年交換短期派遣学生選考予定 (札幌)
30 (月)	
31 (火)	

### 2006-07年度関連の主要行事予定

● 会長エレクト研修セミナー

2006年3月25日 (土)、26日 (日)  
場所: ホテルライフオーブ札幌

● 地区協議会

2006年4月9日 (日)  
場所: ロイトン札幌

● 地区大会

2006年10月14 (土)、15日 (日)  
場所: 札幌市民会館、ホテルライフオーブ札幌

## 10月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,094人 (97人)
増加会員数	108人
当月平均出席率	84.58%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.10.31	増減	内女性	
1	深 川	4	38	39	1	2	86.81
	羽 幌	4	49	49	0	1	74.77
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	75.00
	小 平	4	13	13	0	0	73.08
	留 萌	4	49	51	2	0	93.02
	小 計		159	162	3	3	80.54
	2	赤 平	4	34	34	0	2
芦 別		4	48	48	0	0	84.88
砂 川		4	50	52	2	0	96.94
滝 川		4	106	109	3	1	73.30
小 計			238	243	5	3	84.16
3	美 唄	4	41	40	-1	0	92.00
	江 別	4	36	38	2	1	92.54
	江 別 西	4	35	36	1	3	93.74
	岩 見 沢	4	95	95	0	0	89.88
	岩 見 沢 東	3	35	36	1	4	79.80
	栗 沢	4	24	24	0	1	89.59
	栗 山	4	26	28	2	2	95.00
	当 別	4	38	38	0	1	78.95
	小 計		330	335	5	12	88.94
4	札 幌	4	123	133	10	0	98.51
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	75.00
	札 幌 北	4	43	42	-1	5	91.80
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	78.43
	札 幌 西	4	72	75	3	4	92.03
	札 幌 西 北	4	48	48	0	2	96.82
	札 幌 手 稲	5	41	41	0	1	98.02
	小 計		419	433	14	17	91.33
5	札 幌 東	4	121	122	1	0	99.34
	札 幌 清 田	4	28	30	2	7	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	69	-1	0	99.60
	札幌真駒内	4	46	48	2	3	94.59
	札 幌 南	4	89	92	3	0	96.56
	札幌大通公園	4	19	19	0	4	62.23
	札幌セントラル	4	17	18	1	5	75.70
	新 札 幌	4	32	35	3	2	92.50
小 計		422	433	11	21	90.07	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.10.31	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	82.69
	倶 知 安	4	50	50	0	3	54.00
	小 樽	4	64	71	7	0	81.25
	小 樽 南	4	82	81	-1	0	84.72
	小 樽 銭 函	4	25	25	0	3	92.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	79.53
	余 市	4	44	44	0	4	93.10
	小 計		304	312	8	10	81.04
7	千 歳	4	61	65	4	3	80.70
	千歳セントラル	4	27	28	1	0	81.10
	恵 庭	4	49	49	0	0	75.00
	北 広 島	4	17	17	0	2	82.35
	長 沼	4	18	18	0	3	88.89
	由 仁	4	13	13	0	0	86.54
	小 計		185	190	5	8	82.43
8	え り も	4	23	23	0	0	91.30
	三 石	3	16	17	1	1	90.19
	様 似	3	18	18	0	1	62.50
	静 内	4	66	71	5	0	82.92
	浦 河	4	33	34	1	1	98.53
	小 計		156	163	7	3	85.09
9	伊 達	5	55	59	4	0	77.96
	室 蘭	4	50	50	0	0	91.50
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	91.27
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	100.00
	登 別	4	36	37	1	2	83.79
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	100.00
	小 計		230	240	10	4	90.75
	10	函 館	4	91	93	2	0
函 館 亀 田		4	43	44	1	1	84.30
森		4	42	42	0	0	78.50
七 飯		4	20	22	2	0	69.30
長 万 部		3	10	10	0	0	58.00
函館セントラル		4	0	30	30	2	71.67
小 計			206	241	35	3	73.87
11	江 差	4	17	17	0	0	85.00
	函館五稜郭	4	63	65	2	0	90.18
	函 館 東	4	43	43	0	4	87.42
	函 館 北	4	32	33	1	0	79.55
	上 磯	4	26	25	-1	2	54.00
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	192	2	7	77.69	
12	白 老	4	23	23	0	0	75.00
	苫 小 牧	4	56	59	3	1	73.78
	苫 小 牧 東	4	31	30	-1	3	88.79
	苫 小 牧 北	4	37	38	1	2	93.57
	小 計		147	150	3	6	82.79
合 計		2,986	3,094	108	97	84.58	

**SERVICE Above Self**



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 7* **1**  
*2006.*



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp





2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



# 超我の奉仕

## C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	04
ロータリー・ゾーン研究会報告	06
委員会報告 (WCS・補助金)	13
投稿記事	
室蘭東・登別・白老RC合同家族同伴夜間例会 (室蘭東RC)	15
日本事務局からのお知らせ	15
ご協力に感謝申し上げます	
ロータリー財団	16
米山記念奨学会	17
会員訃報・新入会員のご紹介	
ハリケーン・カトリーナ募金報告	18
例会変更・文庫通信	19
下期地区カレンダー	20
11月の出席率・会員数	21

## ■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房樹

## ロータリーと否定の論理

新年明けましておめでとうございます。

会長幹事の皆さんには、お元気で新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。松飾りもとれ、もうすでに新年の決意新たに活動を開始されていることでしょう。我々の年度もいよいよ下半期に入りました。人生にとっても組織にとっても大敵は「慣れる」と云うことです。「慣れ」から身を守る唯一の方法は、初心を忘れないこととあります。どうか会長幹事さん、就任された際の謙虚で緊張したみずみずしい気持ちを忘れずに、当初の活動計画をチェックして、年度の仕上げにむけて一層の努力をお願いいたします。

ロータリーとは何かを考える上でもっとも大切なことは、ロータリーの精神とは何かということです。選ばれて初めて入会した人や、手続要覧に初めて出会ったロータリアンは、その難しい理屈に圧倒され、しばしば途方にくれるでしょう。このようなロータリーを管理する技術的仕組みは、もちろん重要ではありますが、第二義的なことに過ぎません。私たちはその組織規定に迷わされること無く、技術の背後にあるロータリーの精神を見抜かなければなりません。いくらロータリーの奉仕プロジェクトを学んでも、その精神がわからなければ、ロータリーがわかったとは到底いえないでしょう。ロータリーの精神とは、一言でいえば倫理であります。ロータリーは職業人の集まりです。それゆえロータリーとは何かという問いは、職業倫理とは何かという問いに置き換えられます。法学は正義を探究し、芸術は美を探究する、科学は真理を探究するという例に例えるなら、ロータリーとは職業倫理を探究することになります。だからロータリーに入会したものは、倫理を求め、職業奉仕を実現する精神を身につけなければならないのです。この原点を忘れたものはロータリーについて語る資格はありません。

では職業奉仕を実現する精神はどこで身につけたらいいのでしょうか。それはロータリーの例会です。また奉仕の海を航海する者、何を一体目印にしたらいいのでしょうか。それはロータリーの開発した良質な理念なのです。理念にはロータリーの綱領、ロータリー標語、4つのテスト、ロータリー倫理訓などがあります。ロータリーのバイブルである決議23-34によると、これらの奉仕の理念を団体で学ぶこととあります。次いで各会員から自分の業界に無い知恵を学びます。つまりロータリーの例会は会員同士が切磋琢磨してロータリーの理念と異業種の知恵を学ぶ教育的な場なのです。

そのためにロータリーは比類なき、特別の制度を用意しています。ロータリーは無数の歯車から成り立っています。その中で特に重要な二枚の歯車があります。それが「職業分類制度」と「例会出席」です。ロータリーはこの二つを失うとロータリーという名前は残ってももはや異質の団体となります。「職業分類制度」の原則は一業一会員制です。職種が異なるとそこから発想する人生観がそれぞれ違います。自分の業界に無い異業種の知恵を毎回の「例会出席」を通じて学び自分を高めていく、これが奉仕の心の育成にあたります。職業が違うということは互いに『異質』であります。またロータ

リアンは企業の管理者としてレベルは同じです。レベルが同じだと仲良くなれます。レベルが同じということは互いに『等質』です。『異質』と『等質』が出会うと爆発的の自己改善効果が起こります。ロータリーで漠然と切磋琢磨とか自己改善とか言いますが、これは『異質』と『等質』の出会いのことなのです。ロータリーは異業種の会員の知恵を例会の親睦を通して学ぶことなのです。

近年、悲しむべきことはロータリーを隆盛に導いたこの比類なき「職業分類制度の原則」と例会への「規則的出席」がないがしろにされ、換骨奪胎、ロータリーは人を作る運動から、人道的国際ボランティア団体に移行してしまったことです。しかし奉仕の新世紀を迎えてRIは職業奉仕の再構築を提唱し、原点回帰の姿勢が見えたことは日本のロータリアンにとって朗報です。

ここでもう少し例会での『切磋琢磨』という表現を認識論的に分析してみましょう。ここに否定の論理の存在を見ることが出来ます。

ロータリーはその発展過程において〈他人の立場に立って〉という自己研鑽の原則を確立しました。しかし〈他人の立場に立って〉という原則は、日常の例会では他の会員に対する妥協的対応のみ見られて、相手の気持ちにひたすら迎合することと誤解されています。これでは『切磋琢磨』とはほど遠い次元です。

本来の〈相手の立場に立って〉ということは、例会場で自分の心の中にもう一人の自分をおいて、現在の自分を否定することです。もう一人の自分が他の会員の言動を見習って、自己否定（反省）することによってロータリアンの境地は進化します。

このことを明確に解明したのは、青森ロータリークラブの渡辺泰助氏でした。氏の会長時代の会報（1968年1月4日）の〈他人の立場に立って考える〉という小文を引用します。『奉仕第一、自己第二』という標語があります。この言葉もよくロータリーを表していきましょう。しかし私は〈他人の立場に立って考える〉ことが、ロータリアンの基本とされるとき、それに最も深い意味を感じます。〈他人の立場に立って考える〉ということは、人間の自覚という作用の構造を実に良くあらわしていると思うのです。考えるのはあくまで自分であって他人ではありません。ですから〈他人の立場に立って考える〉ということは、自分の中に、自分でないもうひとりの自分……非我といっておきましょう……を持ち、その立場で考えるということになりましょう。自分で自分の目を見ることは出来ません。いったん、鏡か何かに映して見なければならぬでしょう。これと同じように、自分で自分を直接知ることは出来ません。非我の立場に立って自分を見て、初めて正しく自分を知りえます。つまり、いったん自分から離れることが必要です。自分についてばかりいては駄目なのです。非我の立場というものは広いものです。自分を深いところから支えている立場です。

自分……我は、空間的にも時間的にも限られたものです。これに対して非我は無限に連なるものです。ですから自分の中に非我を持ち、その立場に立つことによって、限られた身の我が、限られたものではなくなるのです。身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあれということでしょう。我だけで持ちこたえられ

る時間は知れたものです。我は非我によって歴史に耐えられるものなのです。〈他人の立場に立って考える〉という思想はロータリーに固有のものではありません。もっと普遍的なものです。非我の立場に立ちがたい、打算の世界にこれを適用しようとするところにロータリーの本領があると思うのです』

青森RCより40年前の会報を送ってもらいました。渡辺氏はロータリーの例会における否定の論理の存在を明快に解明されました。これは誰もが為しえなかったことで 私は氏をロータリーの恩人と呼んでおります。

このようにしてロータリー思想の根底には、個々のロータリアンの認識の世界において、奇しくも正反合、直感・反省・自覚という弁証法が作用していることを知ります。〈相手の立場にたって考える〉ということは、相手に迎合することではなくして、ロータリアンがその心の中に客観的自己を立てるに当たって、相手側の行動を媒体とすることを意味します。これがあればこそ個々のロータリアンがその境地の向上を果たすことが出来るとともに、例会出席およびロータリーの教育的機能の実態がわかるのであります。否定の否定は「重要な発展法則」であります。

ロータリー運動の目的は個々の会員の自己研鑽です。職業人として更に自分を高めるために他の業界の知恵を例会で謙虚に学ぶのです。そのために漠然と例会に出席するのではなく、ロータリーの例会で自分を磨くのだという自己研鑽の目的意識を持って出席することが必要です。自己研鑽の目的意識を持つということは、〈他人の立場に立って考える〉ということなのです。

「ロータリーとは何か」、「ロータリアンとは何か」がいつも問われますが、これは簡単に答えられる問題ではありません。ロータリーは理解しやすいと同時に定義しがたいものです。ロータリーとは、対立する政治・哲学、宗教、信条の違い、文化的価値の違いが唱える「否定」を潔しとせず、これを超越することによって国際親善と理解を妨げてきた障壁の全てを乗り越えていく生きかたであります。ロータリーはこれらのイデオロギーや信条の違いに関する究極の問題に対して対決するのではなく、寛容の精神でこれらが持つ価値を止揚（他人の立場に立って考える＝否定の論理）して、人間性を高める生きかたです。

このような考え方から、ロータリーにあっては、例会における親睦活動のうち各自の精神的境地が接触し、自己否定の論理を媒体として各自の精神的境地が高まり、支配ではなく寛容の精神によって社会集団活動が目的を達成するという理論構造を持っています。まして国際紛争を武力行使によって解決することを認めないのです。

『ロータリー理解推進月間』にあたり例会における自己研鑽・切磋琢磨の必要条件を少し掘り下げて考えてみました。

今（11月10日）、この原稿を書いている時テレビで鳥インフルエンザの対策がしきりに報道されています。どうか会長幹事の皆さんくれぐれも風邪にはお気をつけください。



ガバナー公式訪問ではありがとびぎりました



札幌モーニングRC公式訪問（9月28日）



千歳RC公式訪問（9月29日）



札幌幌南RC公式訪問（9月30日）



札幌手稲RC公式訪問（10月1日）



札幌南RC公式訪問（10月3日）



札幌清田RC公式訪問（10月4日）



ガバナー公式訪問ではありがとうございました



札幌セントラルRC公式訪問 (10月4日)



札幌西RC公式訪問 (10月18日)



札幌真駒内RC公式訪問 (10月19日)



札幌西北RC公式訪問 (10月20日)



札幌北RC公式訪問 (10月24日)



函館RC公式訪問 (9月15日) 12月号掲載の写真に間違いがありましたので、再度掲載させていただきます。



## 第34回 ロータリー・ゾーン研究会報告

2005 - 2006年度 国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

今年度の第34回ゾーン研究会は、付随行事として財団地域セミナー、ガバナーエレクト研修セミナー、ガバナー会、地区会員増強委員長合同セミナー並びにRI会長歓迎晩餐会を含め、11月24日より27日の4日間、東京の新高輪プリンスホテルで開催されました。

招集者は南園義一、重田政信、両RI理事でカール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長並びにフランク・デブリン財団管理委員長をお迎えして開催されました。

ロータリー・ゾーン研究会は、RI元、現、次期役員にRIの方針やプログラムを伝えると同時に、これらの方針やプログラムの改善、刷新について意見を述べる場であります。

本年度はまさにロータリー第2世紀の幕開けの年であり、ロータリー100年の歴史を踏まえて先人の知恵をこれからのロータリーに活かすべく、将来の更なる発展を目指し新世紀ロータリーのあり方が討議されました。

第1日目の冒頭ステンハマーRI会長は、基調講演の中で各国のクラブ拡大事情に触れ、『ロシアは現在アメリカの5010地区が管理しているが新たにロシアに地区を作りたい、また香港、マカオ、モンゴルとは別に10億の人が住む中国本土にロータリーを拡大することを理事会決定、目下コーディネーターを検討中。キューバは1960年の制裁後ロータリークラブはなくなったが再興したい。またキプロスは分割されているが全体を1つの地区としたい』そして女性会員の入会を強く求められました。

南園理事はRI近況報告の中で、『①会員増強におけるコーディネーターシステムの活用 ②財団はロータリービジョンの確立が必要 ③ポリオ、ロータリープログラム、トレーニング教育、公共パブリックリレーション、これらはロータリー100周年を終えこれからどうあるべきか ④RIプログラムの整理→RACT、IACT、GSE、そして趣味職業別親睦活動をヒューマニティックとロータリーアクショングループに分ける ⑤地域的文化的なロータリーの多様性の尊重 ⑥ロータリーの2つの標語のうち「Service Above Self (超我の奉仕)」だけ取り上げられ、「He Profits Most Who Serves Best (最も奉仕するもの最も多く報いられる)」は何故ないがしろにされているのか、再考の必要あり ⑦金をばらまく上滑りの奉仕から、人間を愛し幸せをどうやって実現するのかという倫理観に裏打ちされたささやかな活動の必要性 ⑧現在各国で独自の情報ウェブサイトがあるが、RIウェブサイトをオフィシャルな基幹ウェブサイトとする』と述べられました。また南園理事は「RI財政5カ年計画」について、『2005-06年の人頭分担金は43US\$、2007-10年は47US\$、会員数を現状のまま、インフレ率3%、投資利益5%に推移すると仮定して、2010年までは健全』とシミュレーションされました。

玉村文夫ロータリー財団管理委員の「ロータリー財団近況報告」は丸山淳士エレクトが触れられておりますので割愛します。また「ポリオ撲滅キャンペーン報告」「ロータリー・センター報告」がありました。

続いて田中作次直前理事は「ロータリー第2世紀を迎えて」という講演で3つの課題を話されました。この講話は各クラブの皆さんにも是非お伝えしたいので、メモを整理して若干詳細に記します。『第一にガバナーの任務の最初に掲げられている会員の増強と拡大について。日本の会員数は1998年6月末には127万人、2005年6月末には100万人、7年間で平均3300人の減少。会員増強でご支援を頂いた銀行、保険会社などの企業、特に大都市を除く地方で支店長クラスを全国的に失った。一方女性会員は世界では12.7%、日本では3.3%と低く今後の積極的な開拓をお願いしたい。魅力的なクラブづくりが会員増強と退会防止の要であり以下の項目に留意してほしい。①毎例会の情報提供 ②少人数による討論式会員研修 ③クラブ指導者育成プログラムの実施 ④新会員研修プログラムの実施 ⑤元会長の研修企画 ⑥ロータリー活動と向き合うスタンス ⑦クラブの中・長期計画の作成。企業や組織には必ず中・長期計画がある。同様にロータリークラブも将来の適正な会員数、プログラムの絞込みとその充実、適正な会費、ウェブの積極活用、広報の重要性、人材の育成など3～5年のスパンを考慮したクラブ独自の計画が必要。これは会員に夢を与え、新しいクラ



ブのあり方と真剣に取り組むことによりクラブの魅力は増加する。情報資源については2005ロータリー必携、例会用の4分間情報(最新の45テーマを用意)がある。第二の課題は一部少数の方々の現象とはいえ、国際ロータリーに対する不満や、ロータリー財団に対する拒否反応がある。どの組織や人々にもそれぞれの長所と短所が並存する。文化、歴史、宗教の異なる世界168カ国の全てのロータリアンに完璧な満足を提供することは不可能である。しかしロータリーは100年の間、長所と短所を同居させながら多くの課題と論争を乗り越え、会員のニーズに耳を傾け今日まで発展して来た。それは世界32,000クラブと会員相互の協力によるものであった。ロータリーの原点はクラブにある。クラブの魅力が醸成されてこそ会員の帰属意識が高まり国際ロータリーの発展が約束される。

第三はロータリーと向き合う個人のスタンスである。入会して間もなく2回もクラブを退会したいという友人の奥さんが「主人は以前から我が強く人の言うことは聞かず困っていましたが、ロータリーのおかげで最近ではすっかり変わり生き活きとして角が取れました。ロータリアンになってくれてよかったですと感謝しています」と話された。

ロータリーは私たちに人としての生き方を教え、ビジネスを始めあらゆる場面で学ぶ場を与え地域や世界社会に向けて奉仕の機会を与えてくれる。自らロータリーに何かを得ようとするならそれは無限であり、良い人生を送るために多くを学ぶことが出来る。「National Rotarians」12月号に掲載されたポールハリスの言葉を一部ご紹介しましょう。《私たちの生きる道は何であろう。それは学ぶことです。何を学ぶために生きているのでしょうか。学ばなければならない唯一のことは、どうすれば自己に囚われないようになるかということです。遅かれ早かれ私たちは自己と決別せざるを得ません。最後の日を迎えるまで、自己に囚われているかもしれません。あるいは自然に、徐々に喜びを持って自己と決別できるかもしれません。18歳のときあなたは100%エゴそのものでした。単に自己中心であるだけでなく、徹頭徹尾自分の事だけ考えていました。カーライルによると、18歳で人は嫌味の局地に達するという事です。それから仕事に就きます。そしてあなたの自我が屈服します。次いで結婚します。結婚に伴いあなたの自我はまた屈服します。自我との決別はこのように自然に喜びを伴いながらやってきます。あなたは自分の内部で何が進行しているのかほとんど気付かないでしょう。あなたは犠牲を払うという榮譽のために懸命に戦ってきたことでしょう。私たちの生きる目的は何でしょうか。学ぶことです。何を学ぶのですか。人生を学ぶのです。人生の中で如何にエゴと決別するかを学ぶのです》と結ばれました』少々長くなりましたが田中直前理事の講演をご紹介しました。

以上がゾーン研究会第一日目午前の部、本会議のプログラムでした。午後は「ロータリー第2世紀の課題」として、規定審議会「第2世紀のルール」について田中毅PGより規定審議会代表議員に対する注意事項の説明がなされました。また河本親秀ポリオ・プラスコーディネーターによるポリオ・プラス「究極の目標を求めて」の講演と質疑応答がありました。

その後の各分科会では、ステンハマーRI会長の要請に基づいて1.ロータリー第2世紀のビジョンを語る 2.ロータリー情報とクラブ強化・CLP 3.会員基盤の強化と公共イメージ 4.水保全と健康 5.識字と教育 の5部門に分かれて行われました。これらについては研究会報告書にまとめられます。皆さんには機会を見てフォーラムの内容を付言させていただきます。ゾーン研究会2日目は、分科会報告と全体フォーラムがありました。

なお25日のガバナー会では、2004-05年度ガバナー会決算報告、次いで1.カムリーバンク募金状況報告 2.カトリナ災害義援金報告 3.ガバナー会・青少年育成会の職場体験ビデオ 4.ガバナー会・青少年交換委員会(性的虐待防止対応) 5.ロータリー情報センタージャパン設立準備委員会についてそれぞれ報告並びに審議が行われました。ちなみに当地区のカムリーバンクの募金は740,351円、カトリナ・ハリケーン義援金は2,148,840円でした。全地区平均を上回るご協力をしてくださった各クラブの皆さんに心より感謝申し上げます。

今回のロータリー・ゾーン研究会はロータリー第2世紀の幕開けの年にふさわしい、ロータリアンであることを実感できる感動的な研究会であったことを最後に申し添えて報告といたします。





---

---

## 心景・第34回ロータリー・ゾーン研究会

---

---

パスト・ガバナー 石垣博美 (札幌セントラルRC)

### 「100ドル」キャンペーン

ステンハマーRI会長とデブリン財団委員長のコンビが素晴らしかった。プレナリー会も分科会も熱気が走り、懸案の「100ドル」プロジェクトは功を奏したのではないかと。私個人もこれほど言われると、クラブ全員に「月千円」キャンペーンを奨励しようと思った。出席者全員が私同様な印象を持たれたら今年度、日本における「100ドル」キャンペーンは大成功であろう。

### 北欧型ロータリーの「かたち」

というのもRI会長は北欧、財団委員長は南欧、この欧州出身のRI役員は絶妙なコンビはひととき説得力を持っていたように考えられるからだ。それに財団委員の玉村氏が加わり、私どもは感動したからである。ステンハマーRI会長は基調スピーチの持ち時間の全てをアジアにおけるロータリー分布、その活動の状況に費やした。ユーラシア、アラスカ地域やオセアニア、そしてインドまでも含む「拡大アジア」に広がるロータリーについて語った。そこには、戦後60年めざましいロータリー活動があって一時は、全世界ロータリーの60%を占めていたという。中国本土にすら2つの仮クラブはあり、周辺には48のクラブ（香港・マカオ）が活動している。ところが、現在の日本はどうも元気がない。勿論その理由にははっきりしている。十数年に及ぶ戦後最大の不況のためだというより、アメリカ主導の“グローバリティ”への対応に遅れたためだ。だがしかし、この調整過程は終わった。どうかアメリカに次ぐロータリー大国日本を回復して欲しい。日本にとってその仕事はそんなに難しくない。なぜなら、第1に日本のロータリアンは知っている。ロータリー活動は、とてつもなく大きな「ジグソーパズル」のようなものだ。ロータリアンはそれぞれ大小様々な形の身の丈に応じたパート（細片）をパズル絵にインプットする。それは、「寄贈」であるが、互酬感覚の始まりであり「奉仕」に繋がる。思い出して欲しい。G.K.東ヶ崎（1967-68年度RI会長）は「参加（participation）」という標語を掲げた。そして、1982-83年度の向笠RI会長「人類の友愛（Mankind is one）」と言った。この向笠RI会長のスローガンは20年前のものなのに第2世紀のロータリーが目指す世界に一致する。この大いなる21世紀の目標に向かって、日本のロータリアンは「参加意識を発揮しつつ、21世紀の友愛の時代」の課題に取り組んで行かねばならない。以上が、私の心に響いたステンハマーRI会長のメッセージである。

### 会議は踊る

今回も会議は踊ったのである。私はどうもロータリー活動にも国により地域により、色々なタイプがあるような気がする。北欧型は日本型と共通するところがあるのではなからうか。その意味でステンハマーRI会長のスピーチに印象を強め、親しみを覚えた。来年のゾーン研究会が楽しみである。



---

---

## 第34回 ロータリー・ゾーン研究会参加報告

---

---

パスト・ガバナー 伊藤長英 (苫小牧北RC)

1997年に札幌で開催されたロータリー研究会（2002年よりロータリー・ゾーン研究会）に参加して以来、連続9回

目の参加となりました。会の運営については、年々改善され充実してきています。研究会の全容については塚原ガバナーにお任せして、私は米山記念奨学会について述べます。この研究会において米山記念奨学会が取り上げられたのは第31回（2002年）が最初です。その理由は、2001年までは日本独自の奨学会として活動しており、RIには認知されていなかったからです。2002年にタイのビチャイ・ラタクルRI会長が日本の研究会に参加された時、静岡県三島市にある米山梅吉記念館を訪問されました。その後RI理事会において米山記念奨学会が高く評価されると共に、日本のロータリーの多地区合同活動であるということで正式に認知されたのです。それ以来毎年この研究会において取り上げられ、今年も宮崎専務理事が発言の機会を与えられました。パワーポイントを使用してわかりやすい説明でした。まず明るいニュースとして1996年以来毎年寄付額が前年比マイナスが続いていましたが、今年9年ぶりに前年比プラスになった（11月末現在）との報告があり、今後是非この状態が続いてほしいとの願望を述べられました。次に米山奨学会においては2006年度からの事業制度改編に取り組んでおり、①「現地採用ロータリー米山奨学金制度」と②「地区奨励ロータリー米山奨学金制度」を新設、①については来日することさえ出来ない優秀な学生の日本留学を支援する制度で最初はベトナムのホーチミン市からを予定している。②については短大・高専・専門学校を地区の判断で指定校にすることが出来、奨学金額が7万円であるため、採用数1名枠で2名採用できる。現行制度の改訂点は、現役奨学生の延長支援制度である「クラブ支援ロータリー米山奨学金」の対象を、博士号取得見込み者のほか同大学の上級課程への進学者へ拡大し、複数回申請を可能とする。その他、地区別奨学生割当数算出方法を、学生数1割：個人平均寄付額5割：地区別寄付額4割とする。そして世界で活躍する米山学友の紹介がありました。これは米山学友の群像という小冊子に詳しく記載されています。



## 第34回ロータリー・ゾーン研究会に参加して ロータリー情報とクラブ強化・CLP分科会

パスト・ガバナー 岩城 秀晴 (札幌南RC)

第1日目、11月26日（土）の分科会は、近年会員数の減少に伴い、RIがこの対応策として、クラブ・リーダー・シップ・プラン（CLP）をロータリークラブに推奨される管理的枠組みであります。当2510地区においても、地区大会の際に、田中氏がセミナーとして御講話されましたが、この問題について、研究会においても取り上げられました。黒田氏がモデレーターとなり、パネリストに曾我・川尻両氏、リポーターに太田氏のもとに展開された。クラブ会員の減少原因の追究とその施策が述べられたが、やはり、ロータリーとは何か、奉仕の中の財団への思考との葛藤が減少をもたらす結果となっているのではないかと、ロータリーは100周年を迎えた今期的問題として考えることではないだろうか、新会員に対してはクラブの情報委員会において情報を交換するだけでよいのかどうか、むしろ地区における新入会員のフォーラムを地区協議会又は地区大会において開催するのはどうであろうかと私は提言したいのです。

新会員はロータリークラブの情報では不足であり、地区におけるレベルでセミナー又は協議会を開催し、知識のレベルアップを図る必要性を感じる。これによって、ロータリーへの共感と感動が与えられるのではないかとと思う。CLPの事はクラブにおいては会員数の規模により、その組織の変化があっても良いのではないかと考えられました。CLPは、クラブの蘇生策として考えられたもので、奉仕活動を効果的にクラブ運営で実施出来るのではないかと考えます。クラブの会員数によっては、委員は3年任期となる場合が多くなると思われそうですが、むしろこれによって奉仕活動に対する理解が深められる。

以上は、CLPのセクションにおいて、テーマによって討議されたことについて私見を交えて記述しましたが、特に質問の中で、新入会員の教育であり、情報をスピードをもって広報するとか、会報が粗雑である、会長の挨拶が不誠実である。意識の喚起が少ないと云われた。当地区においてもCLPの採択には時間を要するとは思いますが、迅速に実施することが退会者の発生を防止することが出来るのではないかと考えられます。





## 識字と教育

パスト・ガバナー 小林 博 (札幌北RC)

「識字と教育」の第5分科会のコーディネーター藤川享胤パストガバナー（鶴岡RC）から私の所に電話があり、ロータリー・ゾーン研究会（11月26、27日 東京）の分科会で発言してほしいとの依頼であった。

### 単年か継続かの比較

特に2510地区に「スリランカ子ども基金北海道」というのがあるが、それはどのようなものか説明してほしいというのである。恐らくこの基金の目的が「識字と教育」に関すると考えられたからであろう。

そこで当日、私は「この基金は岩見沢東RCの100周年記念に寄せられた同クラブ会員のご芳志をスリランカの子どもの教育支援のためにとの主旨で作られた基金であり、しかも同基金を使い込むことなく一定の利率から生み出る利息のみで事業を行うものである。従って単年度の支援に留まることなく半永続的な支援活動を狙った基金である」と説明した。

「識字と教育」に関わる息の長い仕事は単年で完了できることではないことは当然である。大きな夢の事業ほど息の長い継続的な事業が望まれるのではないか。それだけに少なくとも自力で継続事業を行える最小限の態勢を作っておく必要があるものであり、「スリランカ子ども基金」はそのような狙いの一つの新しいモデルになると思われる。

### タイとスリランカの比較

識字のことが識字率およそ100%の日本で問題になることはない。だが国際ロータリーでは識字がポリオに次ぐ大きな課題と受けとめている。それは識字率の低い国々がこれに絡んでいろいろ多くの難題をかかえているからである。

識字とは字を読めるかどうかであるが、単に字を読めるようにするというだけの意味ではない。その背景には貧困問題があり社会不安が潜む。人間の不幸が大きく関わっている。貧困は非識字を呼び、非識字は貧困を招くという悪循環もある。従ってロータリーの非識字対策は世界で最も重大な貧困対策の一つといってもよい。

非識字はアフリカ、アジアの一部地域に目立っている。試みにタイとスリランカのGDPと識字率を比較してみるのも興味深い（表1）と思い、分科会当日、私はさらに次のような説明を追加した。

国民一人当たりのGDPは2003年の統計でスリランカは956US\$、タイ2,278US\$であるから、スリランカのGDPはタイの2分の1から3分の1ということになる。つまりスリランカはタイに比べかなり貧困なのである。ところが識字率はタイとおおよそ同率である。この事実と関連があると思われるが、両国は平均寿命が同じであり（というよりスリランカのほうがむしろ1年長いのだが）、乳児死亡率では1,000人対でタイが25.4に対しスリランカは17.3と逆転してしまう。

従って少なくとも平均寿命や乳児死亡率に代表される医療レベルでみる限り、そのレベルは一人当たりのGDPとは必ずしも相関しないことがわかる。その要因は識字率以外にも多くあるのであろうが、私はスリランカの識字率の高さが同国の医療の水準を下支えしているのではないかと考えている。

### 他組織とロータリーの協力

JICAに草の根支援事業というのがある。私達の所属するNGO（財団法人札幌がんセミナー）がスリランカで行っている小中学校の子ども達に対する生活習慣病対策はこのJICAの草の根支援事業の一つである。3年間に1千万円（年間3百～4百万円）の予算で始めたが、経過によっては5千万円、将来さらに年間1億円の大きな事業への発展の可能性もある。

もちろんこの草の根支援事業は同国1万校の小中学校の全てをカバーできるものではない。津波被災地に近い南部州からとりあえず4校をモデル校として選び、そこに私は既に数回足を運んだ。ところが学校側の差し当たっての要望は

安全な水の供給、清潔なトイレの設営であり、また毎日教室で使う黒板の提供である。これらの要望はJICAの大きな目標以前の余りにも身近な問題でもある。

同国への生活習慣病対策や識字運動を通してよく考えるのだが、JICAのような大きな組織の行動計画の行き届かないかも知れないところをロータリーが動くことによってこれを補う、つまりその補完役を果たすことはできないものであろうか。あるいは逆にロータリー単独では難しい大きな事業にJICAの手を借りることはできないものであろうか。いずれにしても、2つの大きな組織、国際ロータリーとJICAが共に手を携えて一つの大きな計画を継続的に進めていくことは素晴らしいことではないかと思う。

このことはポリオ撲滅が国際ロータリーだけでなく日、英、米をはじめとする各国政府、WHO、ユニセフをはじめとする多くの組織の資金支出によってなされた輝かしい成功の歴史を思い出させる。これからのロータリー活動もポリオ撲滅にあやかって、ロータリー単独に固執することなく、政府機関はじめあらゆる組織との積極的な協力、連携があってもよいのではなかろうか。「識字と教育」という目に見えにくい巨大な計画を成功させるためにも必要なことではないかと思うのである。

誤解がないように書き添えれば、ロータリーが自力単独ではなく仮に他組織と力を合わせるとしても、その狙いはあくまでも大きな目標の達成であり、また我々の背中を支えるものはいつもロータリーの「奉仕の心」であることを忘れてはいけない。

## 補足

最近タイの識字率は数年の間に92%から95%に上昇した。これはCLEの成果といえるのかも知れない。CLEとは Concentrated Language Encounterの略称で、非識字の人たちに対する独特の語学教育によって、いま非常に大きな成果を挙げつつあるという。

特にタイのロータリアンの積極的な協力もあって、学校教育の現場のほかにストリートチルドレンや目の不自由な子ども達も含めすべての非識字の人たちに対し「聞く」、「話す」、「書く」を反復する特訓法が大きな成功をおさめている。その実績をもとに、タイのほかバングラディッシュ、南アフリカ、ブラジル、トルコ、エジプトなどにもそれぞれの母国語による識字率アップの計画が進行中である。

## さまざまな指標の国別比較

(表1)

	日 本	スリランカ	タ イ	単 位	統計年度
面 積	377,880	65,610	513,115	km <sup>2</sup>	2001年
人 口	127,687	19,218	63,465	千人	2004年
出 生 率	9.2 (2002年)	17.3 (1999年)	19.6 (95-00年推計)	人口1,000人当たり	
死 亡 率	7.8 (2002年)	6.0 (1999年)	6.1 (95-00年推計)	人口1,000人当たり	
乳児死亡率	3.0 (2002年)	17.3 (1996年)	25.4 (95-00年推計)	人口1,000人当たり	
平均寿命 平均	81.9	70.3	69.3	年	2002年
男	78.4	67.2	66.0	年	
女	85.3	74.3	72.7	年	
国内総生産(GDP)	4,302,557	18,237	143,158	100万米ドル	2003年
一人当たり	33,727	956	2,278	米ドル	
国民総所得(GNP)	4,375,883	18,042	140,636	100万米ドル	2003年
一人当たり	34,301	946	2,238	米ドル	
医 療 費	8.0	3.6	3.7	対GDP比率	2001年
医 師 数	1.9	0.4	0.4	人口1,000人当たり	1995-2002年内の最新年次の数値
病 床 数	16.5	2.9 (1980年)	2.0	人口1,000人当たり	”
識 字 率 平均	—	92.1	92.6	人口1,000人当たり	2004年
男		94.7	94.9		
女		89.6	90.5		

「世界の統計2005」総務省統計局 編集総務省統計研究所より



## セミナー出席報告

ガバナー・エレクト 丸山淳士 (札幌真駒内RC)

### 第2回ガバナー・エレクト研修セミナー (GETS) に出席して

2005年11月25日、東京の新高輪プリンスホテル国際館パミールにおいて開催された。

RI研修リーダー・GETS研修チームリーダー川尻政輝氏の司会進行で研修が開始された。

セッションが1から7まであり、セッションが1のコミュニケーションに続き、会員増強、国際ロータリーからの支援、国際協議会予備知識、奉仕プロジェクト、オープンフォーラム、評価とぎっしりとたたき込まれた。

配偶者も同伴であり、配偶者にはセッションが3つで、ロータリーの基礎知識(1)はロータリー財団についてを南園RI理事が担当、ロータリーの基礎知識(2)は国際ロータリーについてで、重田RI理事が担当した。セッション3は配偶者懇談会でロータリーの基礎知識を学んだ。

終了後、配偶者は国際協議会でのプレゼンテーションの練習に入り、ガバナー・エレクトもセミナー終了後これに加わり、「マツケンサンバ」の練習にまたまた汗を流した。

研修会では、公式訪問のあり方、クラブ行事にどこまで参加するか、ガバナー講演を効果的にするにはどうすればよいか、どのような主題を盛り込むか、ガバナー月信には何を盛り込むべきか、ロータリーの広報のあり方、地区大会における諸問題について、具体的指導と討論が行われた。

私も含め、高齢者の多いガバナー・エレクトの34名は、学生時代に逆戻りして各研修リーダーの質問攻めに鈍くなった頭脳にむち打ちながらの一日であった。



### ロータリー財団セミナーに出席して

11月24日、ゾーン1, 2, 3, 4 (A) のロータリー財団セミナーが、東京の新高輪プリンスホテル国際館パミールにおいて開催された。

RI会長カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏、TRF管理委員長フランク・J・デブリン氏(写真)、そしてロータリーセンター部長のジュディ・S・ギブソン氏も出席された。デブリン氏は、4つの“T”を提唱し、意識の喚起を提唱された。

4つの“T”とは ①Think (考える) ②Talent (知能) ③Time (時間) ④Treasure (宝:財産) であり、ロータリー財団にたいして、会員皆様の考え、知能、時間と財力を提供していただきたいということである。

RRFCの片岡信彦氏の司会進行でセミナーが進められ、RRFCの宮崎茂和氏の来賓紹介に始まり、南園義一RI理事の挨拶、玉村文夫TRF管理委員の財団管理委員会報告があり、田中作次恒久基金日本委員会委員長の報告、RRFC上野孝氏より寄付の重要性とロータリーカードの経過報告があった。特に、ロータリーカードは加入会員が1万名に達して初めてロータリー財団にたいしてのカード会社からの3%が支払われることになっていたが、思うように会員数が伸びず、現在1,600名の加入しかないので、カード会社と交渉の上、来年3月末までという条件付きで、会員3,000名でカード会社から3%の支払いができるようにしていただいたということである。あと1,500名の早急な加入が必要なので、各会員の絶大な協力をお願いするということである。ゴールド会員と普通会员とがあり、ゴールド会員は年会費があるが加入時点で3,000円が財団に寄付される。普通会员は年会費も無料であり、今後とも金銭的負担は全くないので、是非加入していただきたいとのことである。皆様のご協力をお願いいたします。



片岡RI日本事務局財団室長からは、ロータリー財団改正事項についての説明があった。最後に、重田政信RI理事の講評でセミナーが終了した。





## タイ国ノンカイRC訪問ツアーが 終了しました

世界社会奉仕(WCS)委員会  
委員長 齋藤修弥(室蘭RC)

タイ国ノンカイRCとRI2510地区との友好と親善を深めると共に、昨年度から今年度にかけて実施した諸事業の検証を兼ねた当委員会の訪問ツアーを、去る11月2日から6日にかけて実施しました。参加メンバーは遠藤秀雄(登別RC)をはじめ、志比川武(蘭越RC)、出村知佳子(札幌北RC)、手塚貴志(白老RC)、長太義雄(札幌北RC)、瀧内洋(札幌南RC)、金井重博(札幌南RC)、齋藤修弥(室蘭RC)の8名です。連日30度を超す暑さでしたが精神的に4つの小学校の浄水施設の完成状態や、滝川RCから寄贈された救急車の利用状況を視察し、現地の関係者と親しく懇談してきました。この間2日間にわたるノンカイRCの周到な準備とサービスのお陰で予想以上の成果をあげる事が出来たと感謝しています。ノンカイを離れて早くも10日になりますが、4つの小学校で温かく出迎えてくれた子供たちの澄んだ瞳ときらきら輝く笑顔が印象的で、未だ私の眼の中に焼きついています。また、地域としても切実に安全な水の供給を求めており、付近の住民が多数この施設を利用しているという報告を受けました。改めてクリーンウォータープロジェクトの重要性を再認識しました。どうか2510地区各地のRCにおいても、これから積極的に水事業を検討し申請されますようお願いいたします。総じて今回のツアーは遠藤PGを中心とした「8人の侍」の素晴らしい友情とチームワーク、そしてノンカイのRCの徹底したホスピタリティのお陰で、極めて有意義に終了したものと深く感謝しています。私にとってはこれまでの人生の中で社会奉仕を考え直す一番印象深い旅であった事を申し添えます。次回は救急車の利用状況についてご報告いたします。



## 地区補助金委員会報告

補助金委員会  
委員長 朝倉正人(札幌東RC)

ロータリー財団は会員皆様のご寄付で、人道的、教育的、文化的プログラムの活動をしており、この基金が地区財団活動資金(DDF)になっています。

地区補助金は地域のため、あるいは経済的に恵まれない人々の生活を改善するために、地区が地元地域社会及び国際レベルでの人道的プロジェクトにDDFを使うことを認められています。

したがって各クラブで計画したプログラム、プロジェクトをRC活動申込書に内容、費用等を記入のうえ、申請をして頂くようお願い致します。

12月7日(水)に補助金委員会を開会し、塚原ガバナー、丸山ガバナーエレクト、遠藤R財団委員長、補助金監督委員会のメンバー、補助金委員の方々と公正に討議し、6クラブ7件の申請に対して、補助金を決定させて頂きました。



後期の予算が17,000ドル現在有しており、各クラブから積極的な活動申請書をお待ち申し上げております。

**補助金委員会において下記の補助金を決定**

1.七飯RC (8月18日)	町民より使用予定のないカレンダーを集め安価で販売し、収益金を七飯町社会福祉協会に寄付。	150,000円	5.美唄RC (11月28日)	線路を要しないユニークなデザインのSL型列車を各種イベント会場に於いて運行し、多くの子供たちを乗車させ夢を与える。	未定
2.札幌西RC (9月9日)	札幌育児園の児童達の慰問事業。親のいない子供達を旭川旭山動物園へ招待。	130,000円	6.岩見沢東RC (12月2日)	小学3年・4年生による8チームでのサッカー大会を実施。子供達に目標を持たせ、サッカーへの情熱を高揚させ、技術を高めることになる。	170,000円
3.苫小牧東RC (11月1日)	苫小牧市内に住む一定条件に当てはまる外国人による弁論大会を開催。国際交流を通して、互いの国籍や文化の違いに相互理解を深める。	350,000円		親のいない子供達を焼肉海鮮工房ラマへ招待。子供達とロータリアンが楽しい一時を過ごし、子供達の小さい頃の思い出作りをする。	80,000円
4.苫小牧北RC (11月11日)	市民の健康相談に無料で応じる。医師であるロータリアンが専門知識を生かし、健康に不安を持つ市民の話の聞き、アドバイスをする。	130,000円	合 計		1,010,000円



## インターネット活用の薦め

情報・IC委員会

委員長 坂 井

治 (千歳セントラルRC)

### ◆73分の24

なんの数字かわかりますか？ 2510地区内73クラブ中ホームページを開設しているクラブの数です。現在次の24クラブがクラブホームページを持っています（倶知安、美唄、札幌幌南、札幌モーニング（私設）、札幌東、函館北、室蘭東、当別、上磯、苫小牧北、室蘭北、千歳セントラル、余市、深川、函館、千歳、滝川、函館五稜郭、札幌大通公園、函館亀田、砂川、江差、松前、札幌南）。このクラブのホームページは地区ホームページ（<http://www.ri2510.gr.jp/>）を開き、リンク集をクリックしていただきますと見ることが出来ます（Yahooなどの検索エンジンから「ロータリー2510」と入れても見ることが出来ます）。

情報・IC委員会ではクラブホームページの開設の支援もしています。開設したいがどうしてもわからないと言うクラブがありましたらお手伝い致します。

### ◆メールマガジン（News2510）読者数

12月末日現在、460数人の登録があります。地区内メンバーは、約3,100人ですから約14%のメンバーの登録になります（クラブでご登録いただき全メンバーに転送していただいているクラブもありますので実際はもっと多いようです）。ホームページの更新情報など随時各種情報をメールでお伝えしています。まだご登録になっていないメンバーの方は是非読者登録をお願いいたします（地区ホームページから簡単にできます）。

### ◆ホームページへ投稿のお願い

皆さんのクラブやグループ、職場でのロータリーにかかわる行事や出来事をホームページに載せませんか？写真と原稿を添えてお送りください（送り先 o-sakai@titan.ocn.ne.jp または千歳セントラルRC事務局へ送付）。

■わからないことがありましたらご遠慮なく委員会までお問い合わせください■

# 室蘭東・登別・白老RC合同 家族同伴夜間例会

室蘭東RC



11月9日、登別ロータリークラブ主管で三クラブ合同夜間例会（室蘭東RC、登別RC、白老RC）が登別市ホテル平安にて開催されました。

室蘭東RCが登別RCの親クラブ、登別RCが白老RCの親クラブという事でいわば「親」、「子」、「孫」クラブ三世代のクラブが家族を含め一同に集いました。セレモニーに続き地区国際奉仕委員会の事業報告、そして懇親会では様々なゲームが企画され、ミニオリンピックと称したゲームでは脚力、腕力、ジャンプ力に勝る当クラブが総合優勝の賞金を、みごとにゲット。「親」としての面目を保ち楽しい一時を過ごしました。



## 日本事務局からのお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成18年1月1日から東京三菱銀行とUFJ銀行の合併により東京三菱銀行のロータリー財団への寄付振込口座は銀行名が「**三菱東京UFJ銀行**」になります。

また、特定非営利活動法人ロータリー日本財団への寄付振込口座の支店名も「赤羽支店」から「**赤羽駅前支店**」(あかばねえきまえしてん)になります。

口座番号・名義は変更がございません。

平成18年1月1日以降の東京三菱銀行への寄付の振込口座

\*三菱東京UFJ銀行 本店 普通預金 1528228

国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島 四郎

(特定非営利活動法人ロータリー日本財団への寄付の振込口座)

\*三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店 普通預金 1568210

特定非営利活動法人ロータリー日本財団 理事長 岩井 敏(いわい とし)

国際ロータリー日本事務局 経理室

Tel: 03-3903-3183/Fax: 03-3903-3781

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

永井久之会員 (深川RC) 11月30日  
大沼哲郎会員 (留萌RC) 11月25日  
篠島弘会員 (滝川RC) 11月30日  
吉田正治会員 (滝川RC) 11月30日  
五十嵐閣会員 (岩見沢RC) 11月30日  
中村一二会員 (栗沢RC) 11月30日  
菊地弘嗣会員 (札幌東RC) 11月30日  
米谷龍三会員 (札幌東RC) 11月30日  
坂東宗一会員 (札幌東RC) 11月30日  
高橋徹会員 (札幌東RC) 11月30日  
奥村義夫会員 (札幌東RC) 11月30日  
羽部大仁会員 (札幌幌南RC) 11月30日  
浅井雅雄会員 (札幌幌南RC) 11月30日  
奥村建夫会員 (札幌幌南RC) 11月30日  
佐々木金治郎会員 認証漏れ (千歳RC) 1月28日  
高慶繁博会員 認証漏れ (千歳RC) 1月28日  
羽山昇蔵会員 (千歳RC) 11月30日  
岩崎暉久会員 (千歳RC) 11月30日  
村松克重会員 (千歳RC) 11月30日  
中山和朗会員 (千歳RC) 11月30日  
長澤邦雄会員 (千歳RC) 11月30日  
小笠原良会員 (千歳RC) 11月30日  
武石忠俊会員 (千歳RC) 11月30日  
中里邦治会員 (恵庭RC) 11月11日  
増田定雄会員 (函館北RC) 11月2日  
斎藤義寛会員 (室蘭北RC) 11月30日  
竹田公一会員 (函館RC) 11月18日

小泉護太郎会員 (函館セントラルRC) 11月30日  
和歌宏侑会員 (白老RC) 11月30日  
杉村孝会員 (白老RC) 11月30日

ポール・ハリス・フェロー

北村幸雄会員 (深川RC) 11月30日  
若浦俊夫会員 (栗沢RC) 11月30日  
椀澤忠彦会員 (栗山RC) 11月30日  
松原正和会員 (栗山RC) 11月30日  
梅津征夫会員 (札幌モニングRC) 11月18日  
村田彰夫会員 (札幌手稲RC) 11月30日  
川幡宏一会員 (札幌東RC) 11月30日  
南部昭憲会員 (札幌真駒内RC) 11月25日  
齋藤徹会員 (岩内RC) 11月30日  
小野晃裕会員 (小樽RC) 11月30日  
曙恒平会員 (千歳RC) 11月30日  
日向祥一会員 (千歳RC) 11月30日  
五十嵐宏会員 認証漏れ (千歳RC) 1月28日  
梶原勝会員 (千歳RC) 11月30日  
村田研一会員 (千歳RC) 11月30日  
大西信也会員 (千歳RC) 11月30日  
細川茂会員 (恵庭RC) 11月11日  
内田信一会員 (恵庭RC) 11月11日  
伊藤道雄会員 (函館セントラルRC) 11月30日  
増山正会員 (函館北RC) 11月2日

ベネファクター

遠藤秀雄会員 (登別RC) 11月18日

**ご協力に感謝申し上げます**

**米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます**

**米山功勞者**

山 腋 一 範 会 員 1 回 ( 深 川 RC ) 11 月 30 日  
 越 野 俊 興 会 員 1 回 ( 留 萌 RC ) 11 月 21 日  
 瓜 俊 雄 会 員 1 回 ( 砂 川 RC ) 11 月 25 日  
 津 田 政 勝 会 員 1 回 ( 江 別 RC ) 11 月 25 日  
 西 川 昇 会 員 6 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 三 嶋 顕 会 員 4 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 小 坂 昭 男 会 員 4 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 大 屋 均 会 員 4 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 佐 川 修 一 会 員 3 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 石 田 豊 明 会 員 2 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 荒 岡 春 雄 会 員 1 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 荒 木 英 雄 会 員 1 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 山 本 辰 勇 会 員 1 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 谷 勲 会 員 1 回 ( 岩 見 沢 RC ) 11 月 9 日  
 小 林 博 会 員 10 回 ( 札 幌 北 RC ) 11 月 8 日  
 谷 口 二 朗 会 員 27 回 ( 札 幌 西 北 RC ) 11 月 11 日  
 三 上 直 彦 会 員 7 回 ( 札 幌 西 北 RC ) 11 月 11 日  
 森 本 正 夫 会 員 5 回 ( 札 幌 西 北 RC ) 11 月 11 日  
 武 田 忠 和 会 員 3 回 ( 札 幌 西 北 RC ) 11 月 11 日  
 米 谷 龍 三 会 員 4 回 ( 札 幌 東 RC ) 11 月 2 日  
 滝 川 武 彦 会 員 1 回 ( 札 幌 東 RC ) 11 月 2 日  
 坂 東 宗 一 会 員 9 回 ( 札 幌 東 RC ) 11 月 30 日  
 菊 地 弘 嗣 会 員 3 回 ( 札 幌 東 RC ) 11 月 30 日  
 川 幡 宏 一 会 員 1 回 ( 札 幌 東 RC ) 11 月 30 日  
 高 橋 宣 充 会 員 2 回 ( 札 幌 清 田 RC ) 11 月 9 日  
 中 川 勝 之 会 員 4 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 22 日  
 金 谷 寛 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 22 日

三 国 信 樹 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 22 日  
 中 村 孝 一 会 員 1 回 ( 札 幌 真 駒 内 RC ) 11 月 25 日  
 クリステンセン・トール 会 員 6 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 富 樫 英 樹 会 員 5 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 杉 目 幹 雄 会 員 3 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 熊 本 努 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 黒 田 忠 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 青 木 健 次 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 太 田 眞 琴 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 中 島 一 郎 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 田 井 秀 典 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 和 田 丈 夫 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 澤 田 隆 一 会 員 1 回 ( 札 幌 南 RC ) 11 月 16 日  
 吉 村 克 之 会 員 1 回 ( 小 樽 RC ) 11 月 9 日  
 松 倉 弘 会 員 1 回 ( 小 樽 RC ) 11 月 9 日  
 青 木 一 雄 会 員 1 回 ( 小 樽 RC ) 11 月 9 日  
 能 島 正 朋 会 員 1 回 ( 小 樽 RC ) 11 月 9 日  
 木 下 博 会 員 6 回 ( 室 蘭 RC ) 11 月 8 日  
 澤 山 豊 会 員 2 回 ( 室 蘭 北 RC ) 11 月 30 日

**米山功勞クラブ**

深 川 RC 12 回 11 月 30 日  
 砂 川 RC 10 回 11 月 25 日  
 札 幌 北 RC 22 回 11 月 8 日  
 札 幌 東 RC 30 回 11 月 30 日  
 札 幌 南 RC 15 回 11 月 22 日  
 札 幌 南 RC 30 回 11 月 16 日  
 小 樽 RC 6 回 11 月 9 日

会員計報・新入会員のご紹介

会員計報



日沼俊栄 会員  
(岩見沢RC)

2005年11月11日  
ご逝去(享年77歳)

【ロータリー歴】  
1976年1月 入会  
1980～1981年度 雑誌委員長  
1994～1995年度 雑誌副委員長  
1997～1998年度 会員選考委員長  
2002～2003年度 米山奨学副委員長

【表彰】  
25年100%出席  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
米山功労者(1)



佐々木昌利 会員  
(小樽南RC)

2005年11月17日  
ご逝去(享年59歳)

【ロータリー歴】  
1988年3月11日 入会  
1997～1998年度 会員増強委員長

【表彰】



中川武彌 会員  
(小樽南RC)

2005年11月24日  
ご逝去(享年79歳)

【ロータリー歴】  
1975年6月6日 入会  
1993～1994年度 副会長  
1994～1995年度 会長  
2001～2002年度 理事・職業奉仕委員長  
2004～2006年度 会員選考委員長

【表彰】  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
20年100%出席

新入会員  
のご紹介

(敬称略)



伊藤正明  
小樽南RC  
平成17年9月30日入会



本間公子  
小樽RC  
平成17年11月8日入会



廣田正  
岩内RC  
平成17年11月10日入会



今野安信  
札幌大通公園RC  
平成17年11月17日入会

ハリケーン・カトリーナ募金報告

地区内各クラブに募金をお願いを致しました『ハリケーン・カトリーナ募金』について、下記の51クラブから総額2,148,840円を頂戴致しました。

12月1日、募金窓口のロータリー財団へご送金致しましたのでご報告致します。ご協力誠にありがとうございました。

深川RC・妹背牛RC・小平RC・留萌RC・赤平RC・滝川RC・  
美唄RC・江別RC・岩見沢東RC・栗沢RC・栗山RC・当別RC・  
札幌RC・札幌あけぼのRC・札幌はまなすRC・札幌北RC・札幌モーニングRC・札幌西RC・  
札幌西北RC・札幌手稲RC・札幌東RC・札幌清田RC・札幌幌南RC・札幌真駒内RC・  
札幌南RC・札幌大通公園RC・新札幌RC・岩内RC・小樽RC・蘭越RC・  
余市RC・千歳RC・北広島RC・由仁RC・三石RC・様似RC・  
伊達RC・函館RC・函館亀田RC・七飯RC・長万部RC・函館セントラルRC・  
江差RC・函館五稜郭RC・函館東RC・函館北RC・上磯RC・白老RC・  
苫小牧RC・苫小牧東RC・苫小牧北RC



## 例会変更について・文庫通信

### 例会曜日・例会時間の変更について

- 苦小牧東RC：1月26日（木）夜間例会に変更 18：00～ 場所：グランドホテルニュー王子  
 苦小牧北RC：1月31日（火）移動夜間例会「新年家族会」18：00～ 場所：グランドホテルニュー王子「桃苑」  
 苦小牧RC：1月13日（金）夜間例会「新年家族会」18：00～ 場所：グランドホテルニュー王子「芙蓉の間」  
 1月27日（金）夜間移動例会 18：00～ 場所：第一洋食店  
 白老RC：1月10日（火）新年家族例会 18：00～ 場所：しらおい創造空間「蔵」（白老町本町）  
 伊達RC：1月10日（火）新年交礼会 18：00～  
 江別西RC：1月10日（火）新年夜間例会 18：00～ 場所：マキシドルパ  
 岩見沢東RC：1月17日（火）の例会を1月13日（金）に変更  
 岩見沢RCとの合同新年交歓会 18：00～ 場所：ホテルサンプラザ  
 室蘭北RC：1月10日（火）休会（1月8日～9日 新年1泊例会振替のため）  
 室蘭東RC：1月25日（水）創立45周年記念家族同伴夜間例会 18：30～ 場所：蓬峽殿

### 定例例会会場変更について

- 北広島RC：12月より例会場が下記の場所に変更となりました。  
 例会場：カフェ・グローブ  
 住所：北広島市栄町1-5-2 北広島ビル1階 電話：011-373-9696
- 札幌あけぼのRC：2月第一例会の定例夜間例会から  
 第一例会会場：宮の沢白い恋人サッカー場 レストラン「おうるず」2階  
 住所：札幌市西区宮の沢2-2 電話：011-666-3003  
 第二例会以降の会場：レストラン「あんとるぼー」

## 文庫通信 219号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「地区大会講演から」

- |   |   |
|---|---|
| ◎「ロータリーの職業奉仕」<br>川尻政輝 2004 8p (D.2500)                      | ◎「多くの人たちとの出会いの中で」<br>松島トモ子 2005 9p (D.2590) |
| ◎「養老先生による『ぼけのおはなし』人の心と体にあたえる脳の役割」<br>養老孟司 2005 18p (D.2780) | ◎「地域崩壊のバイタルサイン」<br>壊島庄治 2005 11p (D.2600)   |
| ◎「二本の手」<br>千田孝信 2004 12p (D.2840)                           | ◎「大転換期に直面した世界と日本」<br>中曽根康弘 2005 9p (D.2660) |
| ◎「如何に育てん我らの新世代 子どもの心が観えますか」<br>藤川享胤 2005 12p (D.2570)       | [上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]                        |
| ◎「激動の2005年 日本の情勢を展望する」<br>福岡政行 2005 7p (D.2570)             |   |
| ◎「生き方雑記帖」<br>山本一力 2005 18p (D.2610)                         |   |

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

2005-2006年度下半期地区カレンダー

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 IM、クラブ周年行事
2006年(平成18年)	ロータリー理解推進月間	1		各クラブ半期報告、人頭分担金送金 青少年交換短期派遣生選考試験 07-08国際親善奨学生応募開始 ガバナー補佐会議 派遣GSEチーム壮行会			
	世界理解月間		5(日)	2006年度米山奨学生選考試験 札幌スキー・マラソン(新世代)	6(月) 16(木)~23(木) 18(土)	ガバナー・エレクト・米山奨学委員会セミナー 国際協議会(米国・サンディエゴ)	第4・5グループIM(札幌市)
	ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23)	2	11(土)	06-07国際親善奨学生オリエンテーション 函館大学ロータリーアクトクラブ創立35周年記念式典	18(土)~19(日) 25(土)	全国ロータリーアクト研修会	第2グループIM(滝川市)
	世界ロータリーアクト週間 (3/13を含む1週間)	3	5(日) 25(土) 25(土)~26(日)	2006年3月終了米山奨学生歓送会 地区チーム研修セミナー GSEチーム第3350地区(タイ)派遣予定 ロータリーアクト地区セミナー 地区R財団セミナー、地区米山セミナー 会長エレクト研修セミナー 07-08国際親善奨学生応募締切り		ロータリーの友委員会(予定)	
	ロータリー雑誌月間	4	9(日) 23(日)	地区協議会 青少年交換長期派遣生募集開始 財団学友帰国報告会 新規米山奨学生オリエンテーション・カウンセラー研修会	14(金)~15(土) 22(土)	ROTARY-NO-TOMO発行 第3700地区(韓国)地区大会	第10・第11グループIM(函館市) 札幌北RC創立35周年(予定) 第3グループIM(美唄市)
		5		米山学友家族懇親会(予定)	11(木) 12(金)~13(土) 28(日)	JYEC大会(長崎県)	余市RC創立45周年(予定) 札幌大通公園RC創立5周年(予定)
	R1国際大会 ロータリー親睦活動月間	6	17(土)	インターアクト地区年次大会(札幌市) ロータリーアクト地区年次大会(札幌市) 新旧地区委員長・ガバナー補佐合同会議 07-08国際親善奨学生選考試験 塚原年度地区要覧発行	5(月) 11(日)~14(水)	国際大会(コペンハーゲン・マルメ)	札幌南RC創立50周年(予定)
		9					米山記念奨学会、理事会、評議員会



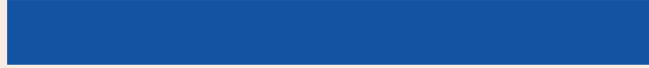
## 11月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,093人 (98人)
増加会員数	107人
当月平均出席率	83.47%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.11.30	増減	内女性	
1	深 川	4	38	39	1	2	85.42
	羽 幌	3	49	49	0	1	75.97
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	83.00
	小 平	4	13	13	0	0	78.85
	留 萌	4	49	51	2	0	95.34
	小 計		159	162	3	3	83.72
	2	赤 平	4	34	34	0	2
芦 別		3	48	48	0	0	86.05
砂 川		4	50	52	2	0	96.43
滝 川		3	106	109	3	1	75.85
小 計			238	243	5	3	86.43
3	美 唄	3	41	40	-1	0	88.23
	江 別	3	36	38	2	1	88.28
	江 別 西	5	35	36	1	3	91.66
	岩 見 沢	3	95	94	-1	0	90.15
	岩 見 沢 東	5	35	35	0	4	85.44
	栗 沢	4	24	24	0	1	87.50
	栗 山	5	26	28	2	2	91.68
	当 別	5	38	38	0	1	83.68
	小 計		330	333	3	12	88.33
4	札 幌	4	123	137	14	0	98.35
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	69.79
	札 幌 北	3	43	41	-2	5	95.79
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	67.65
	札 幌 西	4	72	75	3	4	89.06
	札 幌 西 北	3	48	49	1	2	94.19
	札 幌 手 稲	4	41	41	0	1	95.73
	小 計		419	437	18	17	88.82
5	札 幌 東	3	121	121	0	0	95.90
	札 幌 清 田	5	28	30	2	7	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	69	-1	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	48	2	3	93.33
	札 幌 南	4	89	93	4	0	93.99
	札幌大通公園	4	19	17	-2	4	83.82
	札幌セントラル	5	17	18	1	5	63.30
	新 札 幌	4	32	35	3	2	94.17
	小 計		422	431	9	21	90.56

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.11.30	増減	内女性	
6	岩 内	3	28	31	3	0	76.26
	倶 知 安	4	50	50	0	3	60.00
	小 樽	5	64	72	8	1	80.50
	小 樽 南	4	82	79	-3	0	86.24
	小 樽 銭 函	3	25	25	0	3	88.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	76.94
	余 市	4	44	45	1	4	97.20
	小 計		304	313	9	11	80.73
7	千 歳	3	61	65	4	3	80.50
	千歳セントラル	5	27	28	1	0	81.40
	恵 庭	4	49	49	0	0	79.88
	北 広 島	4	17	17	0	2	90.59
	長 沼	4	18	18	0	3	80.56
	由 仁	3	13	13	0	0	87.18
	小 計		185	190	5	8	83.35
8	え り も	3	23	23	0	0	84.06
	三 石	4	16	17	1	1	92.64
	様 似	5	18	18	0	1	77.77
	静 内	4	66	72	6	0	62.46
	浦 河	5	33	35	2	1	75.43
	小 計		156	165	9	3	78.47
9	伊 達	5	55	59	4	0	79.32
	室 蘭	3	50	50	0	0	90.48
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	94.20
	室 蘭 北	5	37	38	1	2	88.95
	登 別	4	36	36	0	2	84.95
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	91.80
	小 計		230	239	9	4	88.28
	10	函 館	3	91	91	0	0
函 館 亀 田		4	43	45	2	1	79.86
森		4	42	42	0	0	80.30
七 飯		4	20	22	2	0	57.90
長 万 部		4	10	10	0	0	63.00
函館セントラル		4	0	30	30	2	70.83
小 計			206	240	34	3	71.53
11	江 差	5	17	17	0	0	82.00
	函館五稜郭	4	63	64	1	0	82.59
	函 館 東	5	43	42	-1	4	85.00
	函 館 北	4	32	33	1	0	80.51
	上 磯	3	26	24	-2	2	54.10
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	189	-1	7	75.70	
12	白 老	5	23	23	0	0	78.00
	苫 小 牧	4	56	60	4	1	62.94
	苫 小 牧 東	3	31	30	-1	3	81.61
	苫 小 牧 北	4	37	38	1	2	94.29
	小 計		147	151	4	6	79.21
合 計		2,986	3,093	107	98	83.47	

**SERVICE** Above Self



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 8* **2**  
*2006.*



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
ガバナー公式訪問	04
ガバナー補佐会議報告	05
2007-08年度GSEプログラムが マレーシアの3300地区に内定	13
2007-08RI会長ノミネーに ウィルキンソン氏が正式に決定	14
RI3700地区・地区大会のご案内	14
新入会員のご紹介	14
第4回パヴェナ基金訪問記	15
ロータリーの友地区委員よりお知らせとお願い	15
ご協力に感謝申し上げます	16
100%『財団の友』会員クラブ紹介	16
例会変更・文庫通信	17
地区カレンダー（2月・3月）	18
12月の出席率・会員数	19

---

■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

**[追悼記念週間]**  
**ロータリー揺籃の地ウォーリングフォード**

会長・幹事さん、寒さ厳しき折からいかがお過ごしでしょうか。お元氣のことと存じます。1月27日を含む1週間はポール・ハリスの追悼記念週間です。ロータリー新世紀を迎えた今、この運動の大河のような今日の姿を源泉にまでさかのぼり、ロータリーの始祖はどのような過程でこの運動のアイデアを得たのか探ってみることは、まことに意義深いことであります。創始者の追悼週間を迎えて始祖の遺徳をしのびながらその心を今に活かしたいからです。そこで「月信9月号」でも少し触れましたが、今回は10年前、ポール・ハリス没後50周年（1996年）を機に訪れたロータリーの古里（ウォーリングフォード）の様子を拙著『ポール P. ハリスの足跡を訪ねて』よりご紹介します。

【1947年1月27日、ポール・パーシー・ハリスは79年に亘る生涯をシカゴで閉じてから既に久しく、50年の歳月を数えるに至った。かねてより、ぜひこの目でロータリーが生まれたニューイングランドの谷間を見たいと念願していたが、ポール・ハリスの没後50周年を機会にウォーリングフォードを訪ねることになった。

ニューイングランドといえば、誰もがメイフラワー号やピューリタン、ハーバード大学やボストン交響楽団を思い浮かべる。ここはアメリカの歴史と文化を代表する地域である。ポール・ハリスは1868年ウィスコンシン州のラシーンで生まれたが、3歳の時に父が事業に失敗したので、ニューイングランドのバーモント州、ウォーリングフォードの祖父の家で預けられた。ロータリー揺籃の地ウォーリングフォードには、ポールが愛した少年時代と変わらぬ四季折々の美しい自然と、祖父の「ハワード・ハリスの家」と彼が通った「赤い小さな学校」、Congregational教会などがある。

ウォーリングフォードに行くにはいろいろな交通手段があるが、オルバニー（ニューヨークの州都）経由で行くことにする。ニューヨークのペンシルバニアステーションから、8時30分発のアムトラック（日本のJR）のモントリオール往きに乗る。車窓の左手には対岸の緑が霞むほどのハドソン河が悠然と流れていて、ヨットハーバーが随所に見える。列車はひたすらハドソン河に沿って北上を続ける。2時間後にオルバニー着、あらかじめ予約しておいたレンタカーで、北ハイウェイ7号線から9号線を北上してウォーリングフォードを目指す。バーモントは仏語で緑の山という意味で、6月のグリーン山脈の新緑は殊の外美しい。楓、柏の中に白樺が点在して、所々にサイロが見え隠れするさまは、まるで北海道の緑豊かな富良野、十勝地方をドライブしているようである。ハイウェイの両側に時々骨董品の店（アンティークショップ）が現れては消える。週末にはニューヨーカー達が大勢このアンティーク街道を訪れる。ここはヤンキーの故郷なのである。

二本のグリーン山脈の間を走ること約2時間、行く手の右側にロータリーマークの立て看板が現れた。愈々ウォーリングフォードにきたのだと心躍る思いがする。楓の街路樹が並び、古い手入れの行き届いた家が点々と散在している村のハイウェイを数百メートル行くと、教会通りの角にポールが少年時代、日曜日ごとに礼拝に通った白いペンキ塗りのCongregational教会が現れた。続いてノースメイン通り沿い右手に祖父のハワード・ハリスの家を見つける。そして道を挟んでその真向かいに、ウォーリングフォードでの今夜の宿、「ビクトリア・イン」の看板がある。ニューイングランドには、歴史的由緒のあるカントリーインが各村々にあり、それぞれ快適なサービスを提供している。「ビクトリア・イン」は1877年に建て替えられた3階建て木造で、フレンチスタイルの堂々とした邸宅をホテルとしたもので、それ以前はポールの自叙伝によると、祖父の友人ウェブスターの店と住まいで、祖父達80代の老人の唯一の社交の場となっていたところである。「イン」は若夫婦の経営で奥さんは



日本人と韓国人の2世で、ご主人は、ドイツ系のスイス人でなかなか腕利きのコックである。悪戯盛りの男の子が2人いるが果たして彼らの血筋は何系に属するのであろうか、ともかくサービス精神に溢れたインターナショナルな明るい家族である。ウォーリングフォードを訪ねられる方は、温かなもてなしと清潔で広々としたベッドと、ひなには希なおいしい食事のあるこの「イン」をお勧めしたい。ただし客室は、大小合わせて5部屋である。さて、インで小休止していると、ウォーリングフォードRCの元会長のディビット・バロー氏と次期女性会長のアン・ラチューカさんが迎えに来てくれた。アン次期会長は、ご主人もウォーリングフォードRCの会員で、日本の向笠広次RI会長（1982-83）が、ウォーリングフォードを訪れた際のクラブ会長だったそうである。親子2代のガバナー、同じクラブで親子の会長の例はあるが、夫婦で同一クラブの会長を務めるというのは大変に珍しい。

まず、ポールが初めてABCを学んだポール・ハリス記念館（親愛の情を込めて、赤い小さな小学校と呼んでいる）を案内された。1928年創立のウォーリングフォードRCの現在の会員数は25人だが、赤煉瓦作りのこぢんまりとしたこの平屋建ての建物が、ウォーリングフォードRCの例会場である。もともとこの建物は、1818年にポールの曾祖父に当たるジェームス・ラストインが建てたものであるが、1928年、ウォーリングフォードRCが属する第787地区が地区内各クラブから募金して買収し、それを1948年にウォーリングフォードRCに寄贈したものである。玄関のドアを入ると小さなテーブルがありその上に25人の会員の胸章が並べられていて、右側には、来訪者を受け付けるテーブルがある。中は一間、6人掛けのがっしりとしたテーブルが左右に8台、これが教室であったとのこと実に質素な部屋、何の飾りもない。しかし、周囲の壁には世界各国から送られたバナーが所せましと架けられ、正面のガラスケースには、ポールの「わがロータリーへの道」の自筆の草稿や、海外旅行で贈られたゆかりの品の数々の記念品が並べられている。中央にはポールが1935年にマニラでの太平洋地域大会出席の途中、来日した際、米山梅吉から贈られた盛岡勇夫氏製作のポールの胸像が安置されている。

ポール・ハリス記念館の1軒おいて隣ノースメイン通りの1849番地に、1853年に建てられたポールの祖父ハワード・ハリスと祖母パメラが住んでいた家がある。この家こそが、ポールが3歳の時より大学に入学するまで過ごした、彼の人格形成の上でかけがえのない神聖な記念すべき家であった。ハイウェイを車で行くと、スレート葺きの屋根にハワード・ハリスの頭文字「H.H」が、1世紀半の風雪に堪えてきた為に色は少し薄れてきたが、大きく描かれているのが読みとれる。白い2階建てのシンメトリカルな美しい、風格のある家で、ポールの自伝には「わが家は大邸宅ではありませんが、それでも14部屋もあり…」と紹介されている。家の周りは美しく刈り込まれた緑の芝生で、道路から玄関までの大理石の石畳の両側には、ピンクの芍薬が美しい。白い玄関のドアにも淡いピンクと白い花々で作られたリースがさりげなく飾られ、ここに住む人々の心の優しさが伺われる。このドアのあるポーチがポールの祖父のお気に入りの場所で、晩年、夏の午前中祖父は決まって此处でぼんやり時を過ごしたそうである。家の右奥に大きな白樺の大木がある。

ポールが小さかった頃は、この白樺も小さかったであろう。ハリス家の果樹園や、野菜畑はあの辺りだったのだろうか、またポールの寝室はこの窓の辺りであったのであろうか。いやが上にも想像は高まり、遙かなる遠い昔、ポールの少年時代のエピソードの数々が頭をよぎる。かつての祖父母のこの家には、ニューイングランドの古き良き時代の家庭を代表する素朴な美德として大切な、犠牲心、献身、名誉、真実、誠実、愛情という、後にロータリーの原点となった他人を思いやる家風と躰があった。ポールが腕白時代を過ごした家の屋根の「H.H」の2文字を臉にやきつけ、去りがたい気持ちを抑えロータリーの揺り籃、祖父母の家を後にした。

ポールの少年時代、手持ち無沙汰の子供たちに一番人気があったのは「デポ（Depot）と呼ばれた鉄道の駅であった。ポールは夜の10時になると祖父母の眠りにつくの待ちかね、自分の部屋の窓からそっと抜け出し、機関手に気づかれないように機関車の最先端（エプロン）に座り込み、暗闇の中を近くのマンチェスター駅まで命がけの往復をした。その鉄道も廃線となって久しく、現在、消防署となっている旧ウォーリングフォード駅舎を訪ねる。「ずっと昔のある夏の夜、父、5歳の兄セシル

と2歳年下の私の3人でアメリカ東部のバーモント州、ウォーリングフォードで汽車から降りまし  
た」と自叙伝『わがロータリーへの道』の第1章にあるとおりポールにとっては、わが懐かしき故郷  
の谷間に第一歩を記した記念すべき場所である。駅の側をロアリング川が流れている。橋を渡り林の  
中の道をフォックス池へと向かう。エルフィン湖とも呼ばれるこの池は、かつてポールの叔父ジョー  
ジ・フォックスが所有していたことがあった。森に囲まれた美しい池は、ウォーリングフォードの子  
供たちの格好のリクリエーションの場でもあるし、放牧された牛たちの水飲み場でもある。長さは南  
北に1マイル、対岸まで半マイル、ポールが初めて泳ぎを覚えたところである。そして秋になり周囲  
の木々が色づく頃、茸がたくさん採れるそうである。向笠広次RI会長がここを訪れたとき、子供たち  
がこの森で茸を狩りバーベキューをしてもてなしたそうである。

次に村のはずれのウォーリングフォードの「グリーンヒル墓地」を訪ねる。なだらかな芝生が丘の  
上まで広がり、近隣の山から切り出された大理石の大小の墓標が初夏の日ざしを受けて点々と羊の群  
のようである。ハリス家のゆかりの人々の墓は、墓地のゲートをくぐり約50メートルほど真っ直ぐに  
進み、そして右へ30メートルほど行ったところにある。その中でも高さ2メートルほどの、一際立派  
な尖塔が目につく。それがハリス家の墓で、下の台座には、ハワード・ハリスとパメラ・ハリスの祖  
父母の名前が記されている。両親と縁の薄かったポールは、祖父母をまたとなく慕っていた。後に彼  
は人々に対する奉仕の新時代を開いたが彼の人格を形成し、そうした資質をポールに植えつけたのは  
祖父母であった。その意味からも祖父ハワード・ハリスと祖母パメラ・ハリスの名は決して忘れては  
ならない。この二人こそロータリーの基礎を築いた功労者なのである。謹んで偉大な教育者の墓前に  
感謝の祈りを捧げる。

ニューイングランドの自慢は緑あふれたグリーン山脈と、四季折々に表情を変える湖沼の美しさで  
あろう。この田舎の美しさや田園生活の魅力に取りつかれた、作家、芸術家にはあこがれの聖地であ  
ったこともうなずける。ニューイングランドは、まさにアメリカの歴史と文化を代表する地域なので  
ある。ポール・ハリスは、自分の家系を辿るとピルグリムファザーズにまで遡るともらしたことがあ  
る。

1620年メイフラワー号で新大陸にやってきたピューリタンたちは「丘の上の町」としてみんなが仰  
ぎ見るような、教会を中心とした社会を作ろうとした。このイギリスからやって来た初期の移民は、宗  
教、言語、風習も等しく、厳しい自然の中でまとまりのある社会を形成した。そして他人を頼らず、勤  
勉と節約を旨とし発明好きで、進取的なヤンキー気質を持つ人間がここに生まれた。彼らは宗教や学  
問と共に、こうした生活態度をアメリカ各地に広めようと勤めた。その結果ニューイングランドは、「丘  
の上の灯台」として、文化的影響力を強め、もともと「ニューイングランド生まれの人々」を意味し  
た「ヤンキー」はアメリカ人の代名詞となった。ロータリーはこのような歴史的背景の中、ニューイ  
ングランドの谷間で産声をあげたのである。再び自叙伝より…「長い人生を振り返ってみると、ある  
ときには重要だと思ったことが、年を経ると重要でなくなったり、また最初はたいしたことではな  
いと思ったことが、後でこれはとても重要だと気がつくものがあります。犠牲、献身、名誉、真実、誠実、  
愛情はニューイングランドの古き良き時代の家庭を代表する素朴な美徳として大事なものです」…】

少し長くなりました。村の訪問記を書いたのは丁度10年前の6月のことでした。ウォーリングフォ  
ード村は村の地図を見ても130年前、ポールの幼少のころとあまり変わっておりません。200年前の教会  
や150年前の住宅・民家がそのまま現存して使われていました。美しい自然も、もてなし好きな村人  
の気風もそのままでした。この村では古き良きアメリカにタイムスリップできます。ポールはシカゴ  
の多忙な暮らしの中から、この村に帰省することを何より楽しみにしていました。ロータリー運動と  
は100年前の暗黒の街シカゴにおいて人々の心に潤いを与える、村の人たちのこまやかな人情、犠牲、  
献身、寛容など、ピューリタンの訓えの復興運動でした。追悼記念週間に当たりロータリーの古里に  
思いを馳せ、シカゴのマウントホープ墓地に眠る始祖のご冥福を皆さんとともに祈りましょう。



ガバナー公式訪問ではありがとついでいきました



札幌はまなすRC公式訪問 (10月25日)



苫小牧北RC公式訪問 (10月25日)



札幌RC公式訪問 (10月26日)



札幌東RC公式訪問 (10月27日)



函館セントラルRC公式訪問 (11月29日)



# ガバナー補佐会議報告

## ～グループ別各クラブの活動報告・計画～

2006年1月21日 札幌ロイヤルホテルにて開催



### 第2回ガバナー補佐会議

2006年1月21日(土)札幌ロイヤルホテルにおいて、丸山ガバナー・エレクト、遠藤正之地区ロータリー財団委員長、各ガバナー補佐を迎え、第2回ガバナー補佐会議を開催しました。各ガバナー補佐からは担当グループの上半期の活動を報告して戴き、遠藤財団委員長からは財団の現況についてお話を戴きました。また、下半期のスケジュール、IMの開催等を確認し合い閉会しました。各グループの上半期報告については下記をご参照下さい。



### 第1グループ



ガバナー補佐  
**吉本 勲**

第1グループ各5クラブを夫々1回ずつ訪問した。

1) 9月16日(金) 小平RC、小平文化交流センターにて例会出席。

「超我の奉仕」の理解について。

米山梅吉氏はService Above Selfを「奉仕が一番、自分のことは二番目」と生前このように訳して、しばしば口にされていたとのことであるが、スペインロータリークラブではDar de Si, antes de pensar en Siという。翻訳すれば「先ず他人に自己を与えよ、そののちに自己のことを考えよ」で、米山氏の考え方とぴったり一致する。このことを中心にスピーチを行った。

2) 9月20日(火) 深川RC、プラザホテル板倉にて例会出席後講演。

「超我の奉仕」の理解と強調。

最近のロータリークラブの風潮として、例会等がとかく親睦の側に流れがちであり、奉仕の理念が形骸化している。青年層はロータリークラブのような規則、規律のきびしいところには入会しようと思わず、中年世代は入会しても奉仕の理念を省みることがあまりにも少なく、熟年者は単に慣習として例会に出席して

いるだけで(出席率だけは異常に高い)、進んで奉仕の道を歩もうとする意欲に乏しい。この点、反省材料であることを強調した。

3) 10月5日(水) 留萌RC、留萌産業会館にて例会出席後講演。

日本社会において青年層のいわゆる「ひきこもり」現象やニートの存在が問題視されているが、このような風潮は実は成人社会にも及んでいる。孤独、内閉、抑うつ、が日本人を支配する今日の精神像である。このことがロータリークラブの精神面にも影響を及ぼし、万事、ことなかれ主義で往年の活力が失われつつあるのではないか、ということを中心に話題提供を行った。

4) 10月6日(木) 羽幌RC、サンセットプラザ羽幌にて例会出席。

留萌RCにおけるスピーチとも関連するが、会員減少をもっぱら経済的不況に原因があるとする向きがあるが必ずしも正しいとは言えない。積極的な人と人との交わりや関わりをとにかく避けようとする一種の退廃現象、今日の日本人のいわばタコソボ型の生き方が会員減少につながっているのではないか、ということを中心として強調した。

5) 10月26日(水) 妹背牛RC、妹背牛商工会館にて例会訪問。

第1グループガバナー補佐として本年度グループ目標を先ず「超我の奉仕」の理解、ついでRCそのものの簡素化(お金、労力、時間、言葉のすべて)としたが、この簡素化の線に則して地区大会等の在

り方についてスピーチ、のち会員諸氏と活発な論議を展開した。

年次頭初のガバナー補佐訪問であるから、各クラブの活動状況については報告しえない。次回活動報告書においてそのことを果したい。

### 第2グループ



ガバナー補佐  
**千葉 清**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 平成17年4月20日

於：砂川パークホテル 出席 10人

- ①ガバナー公式訪問日程の確認
- ②IMに関する意見交換
- ③ガバナー補佐のクラブ訪問について
- ④その他

第2回 平成17年8月31日

於：滝川ホテル三浦華園 出席 11人

- ①IMに関する事項
  - A. 平成18年2月25日開催決定
  - B. タイムスケジュール
  - C. 登録料@5,000円
  - D. メインプログラム→塚原房樹ガバナーに、記念講話依頼

第3回 平成17年12月16日

於：赤平おでんのいのし 出席 11人

- ①次年度(06-07)第2グループ担当ガ



バナー補佐推薦について

- ②IMプログラムについて
- ③各クラブ上期活動報告提出の件
- ④その他

第2グループ特記事項

- ①会員増強・退会防止は、滝川RC以外の各クラブは、共通して会員の退会防止と増強に妙薬がなく苦慮している。
- ②R財団寄付については、各クラブとも下期に向けて、当初予定をクリアすべく努力している。
- ③米山記念奨学金寄付についても、各クラブとも下期に向けて、当初予定をクリアすべく努力中です。
- ④各クラブの特徴・問題点は、下記の各クラブの報告書参照。
- ⑤各クラブ奉仕プロジェクトについても、下記の各クラブの報告書参照。

■担当グループ特記事項

(1)芦別ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	48名
12月31日現在会員数	48名
下期の増強予定について	2名
12月末日をもって、2名退会	
2006年1月1日現在会員数	46名
- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 0
12月31日現在寄付合計額	\$ 0
下期寄付予定額	\$ 4,600
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	0円
12月31日現在寄付合計額	0円
下期寄付予定額	192,000円
- ④クラブの特徴・問題点について  
会員の増強予定がない中で、会員退会に歯止めがかからない。故に、RCの魅力如何にアピールして会員勧誘をしたら良いのか悩んでいる。
- ⑤奉仕プロジェクトについて  
職業奉仕⇒「職場訪問」→ 本年は10月20日に、市内の認知症グループホームを訪問し、見学を通して、現状を把握し意識の向上に努めた。  
社会奉仕⇒「協同奉仕」→赤い羽根募金は恒例となっており、今年も募金や年末助け合い運動は、クリスマス家族会の時チャリティーオークションを行い本年は150,000円を募金。  
国際奉仕⇒芦別市国際交流協会と連携し、今年も芦別市と姉妹都市の関係にある、カナダ・シャーロットタウン市に、中学生派遣事業に協力。

(2)赤平ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	34名
12月31日現在会員数	34名
下期の増強予定について	

2006年1月1日付けにて新会員1名入会を決定しております。

- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 3,400
12月31日現在寄付合計額	\$ 3,400
下期寄付予定額	未定
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	0円
12月31日現在寄付合計額	0円
下期寄付予定額	クラブ内で検討中

- ④クラブの特徴・問題点について  
特 徴：各種事業への参加が非常に良いこと。会員相互のコミュニケーションがよく、各種事業への提案が常に話し合われている。  
親睦事業にも積極的に参加する。ローターアクトクラブ活動に積極的な協力と援助をしている。

問題点：例会に欠席する会員が決まっており、今後の働きかけが重要と考えると同時に、100%出席目標例会を実施している。(毎月第1例会日) 会員数が少ない分、各委員会活動に支障があると思えます。今後クラブ細則の見直しをして、委員会の併合も検討したい。

- ⑤奉仕プロジェクトについて
  - 市内小・中学校障がい児童、及び卒業後の障がい児施設の生徒に対する奉仕活動として30年に及ぶ「お楽しみクリスマス会」事業の実施。
  - 「ワンコイン・ワンフラワー」活動に参加(サルビアの花壇作り)
  - 市内小規模事業所の健康相談事業の実施。
  - 米山功労者、PHFの誕生者の拡大に努める。

(3)滝川ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	108名
12月31日現在会員数	109名
下期の増強予定について	
2006年1月5日入会	1名
- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 10,700
12月31日現在寄付合計額	
(進捗率80.69%)	\$ 8,634
下期寄付予定額	\$ 2,066
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	1,284,000円
12月31日現在寄付合計額	
(進捗率68.93%)	885,000円
下期寄付予定額	399,000円
- ④クラブの特徴・問題点について  
会員100名を超えるクラブですが、従

来同様まとまりがあり、概ね初期に掲げた活動計画通り推移しており、特に問題はありません。

- ⑤奉仕プロジェクトについて
  - ◎9月11日(日)「新世代環境フォーラム」新世代活動推進委員会事業  
滝川市内3高校の生徒、先生60名の参加による環境保護への取り組み発表及び意見交換。  
クラブ会員、市関係者、一般市民等出席者多数。「環境について考える良い機会になった」「学校の垣根を越えた生徒間の交流は初めて」等々、継続事業を望む声が多かった。

◎10月30日(日)「2005ドイツでいこう! in Takikawa」社会奉仕委員会事業  
本年は「日本におけるドイツ年」であることに因んで、滝川市におけるドイツのエコと食のセミナーを、滝川市と協賛で開催。外務省、環境省、ドイツ大使館、北海道の後援。講演会、料理講習会、試食会等を通じ、環境先進国ドイツに学ぶべき事例や、地元の食材を有効に利用するドイツの食生活を手本に、滝川市の「地産地消費」を考え直すことを事業の趣旨とした。  
クラブ会員、一般市民等200名の出席、各新聞社の記事掲載の他、NHKテレビにも放映された。

(4)砂川ロータリークラブ

- ①会員増強について
 

2005年7月1日現在会員数	52名
12月31日現在会員数	52名
下期の増強予定について	1名
- ②ロータリー財団への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	\$ 5,000
12月31日現在寄付合計額	\$ 2,000
下期寄付予定額	\$ 3,000
- ③米山記念奨学会への寄付状況について
 

2005-06年度寄付予定額	677,500円
12月31日現在寄付合計額	440,000円
下期寄付予定額	139,500円
- ④クラブの特徴・問題点について  
例年通り、出席率が96%前後と高く、特に問題なしと考えます。
- ⑤奉仕プロジェクトについて  
社会奉仕委員会  
1.献血事業広報推進事業(8月24日、献血者36名)  
2.赤い羽根街頭募金への協力(10月4日、参加者20名)  
3.ノーマライゼーションふれあい体験学習「林檎狩り」(10月6日)  
三谷果樹園にて林檎狩り、ゲーム、食事会にRC会員23名、生徒13名、父母12名、先生14名の参加を頂き盛大に開催された。

新世代委員会

- 「イカダで川下り」(7月19日) 昨年は雨で中止になったが、今年はまずまずの天気でしたが風は冷たく7月とは思えない天気でした。ロータリー号は、イカダ乗り名手・西川悦郎会員に乗って頂きました。子供達の参加費や昼食代の援助をはじめ、会員と焼肉を通してふれあいの時間がもたれました。
- 「農業体験、収穫、調理」(9月3日) 農作業には丁度良い気候の中、沢山の親子とRC会員が一緒になり、芋ほりやトウキビ等の収穫に汗を流しました。その後、収穫した作物でパーベキューを楽しみましたが、自分達が育てた作物の味は格別だったようです。

#### 国際奉仕委員会

2006年5月実施予定の「国際交流会」の開催に向けて、8月24日に砂川市教育委員会の英語指導助手、カナダ・ブリティッシュコロンビア州出身のタリン・オルソンさんと通訳に砂川市社会福祉課で勤務の齊藤隆史さんのお二人を招き、「世界から見た日本、又は日本人」と題して、1)出身地のビクトリア市の様子、2)日本に来た動機、3)砂川の第一印象、4)生活習慣・文化・教育等の外国と日本の違い等を、インタビュー形式で行った。

### 第3グループ



ガバナー補佐  
**円子 保**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 5月17日(火) 出席 20人

- ①第3グループ行事日程について
- ②ガバナー公式訪問について
- ③クラブ訪問について
- ④親睦行事について
- ⑤IMについて

第2回 8月16日(火) 出席 18人

- ①クラブ訪問について
- ②IMについて
- ③親睦行事について

#### ■担当グループ特記事項

- 美唄ロータリークラブ

専修大学北海道短期大学の中国人留学生29名全員を国際交流事業として例会及びクリスマス家族同伴例会に招待し交流をはかっている。

地域で顕著な奉仕活動をされた団体、個人を褒賞。

- 江別ロータリークラブ  
2001-02年度から『ネパール日本友情学校』校舎建設を継続し、現在は増築事業として進めている。  
ホテル生息地の清掃。アオサギ・コロニーへの奉仕。
- 江別西ロータリークラブ  
酪農大学に国際親善奨励資金制度を設けており、今年は韓国の学生が日本学術協会から研究員として認定された。  
ロータリー財団奨学生のスポンサーを今年度の目標とし活動している。
- 岩見沢ロータリークラブ  
中学生野球大会の主催。市民パークゴルフ大会の実施。  
当地区第4位の会員数を維持し、所帯が大きく地域に根をおろした活発な活動に力を発揮している。
- 岩見沢東ロータリークラブ  
ロータリー財団及び米山について会員の理解を深め、100%ポール・ハリス・フェロー・クラブを達成した。  
『スリランカ子供基金北海道』を創設し、継続して充実させている。
- 栗沢ロータリークラブ  
伊藤アキ会長はクラブ運営方針に“人の幸せを願うロータリークラブづくりを目指したい”と述べ、難しくなく共感を呼んだ。北海道福祉村に当地区ガバナーが長年にわたり記念植樹をしている。
- 山ノ上ロータリークラブ  
早期に3名の会員増強を達成し、更に相場の候補者を持っている。砺波市との交流事業が盛ん。次年度ガバナー補佐クラブとして準備を進めている。
- 当別ロータリークラブ  
スウェーデンの都市との提携で学術や様々な交流を長年続けている。  
30周年記念式典・事業が10月8日盛大に行われた。

#### ●第3グループ

2006年5月11日(木)に予定しているIMは、全員で経費負担し親睦・交流を大切にしたい内容でできるだけ多くの参加者で実施できるよう計画中。

### 第4グループ



ガバナー補佐  
**坂本 勝彦**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 5月24日(火) 20人

- ①顔合わせ、懇親

第2回 1月16日(月) 36人

- ①IMについて、第4・5合同

### 第5グループ



ガバナー補佐  
**五十嵐 勤**

#### ■会長・幹事会の開催について

第1回 7月21日(日)

札幌パークホテル 出席 13人

- ①第4・5グループ合同IMの開催の件  
(ホストクラブ、コ・ホストクラブの件)
- ②ガバナー公式訪問の件
- ③札幌西RC創立45周年記念の件

第2回 9月14日(水)

ルネッサンスサッポロホテル 出席 14人

- ①地区大会の件

第3回 12月1日(日)

ホテルライフオーツ札幌 出席 12人

- ①第4・5グループ合同IM開催のテーマ、日程の件
- ②次期第5グループガバナー補佐の件
- ③1月以降の行事日程の件

#### ■担当グループ特記事項

- 札幌東ロータリークラブ  
ガバナー輩出クラブであり、会員数においても第5グループ最大の会員数と人材に恵まれたクラブである。今年度10月15日～16日の地区大会も約1800名の会員を迎え、また第3700地区のガバナー及び多くの韓国会員も迎え、意義のある成果として評価されました。各委員会活動は地区委員会に多くの人材を輩出し、地区大会を始めとする各行事が前半に集中したためもあり、今年度後半に消化される模様である。
- 札幌清田ロータリークラブ  
柏倉会長の若き明解なる指導力で明るく例会が開催され、女性会員の積極的な活動が見られる。地域住民と共同で市有地にパークゴルフ場を造成し旧年度と合わせて今年度18ホールとなり、住民との間でコンペを開催するなどユニークな活動が目まぐるしく。環境問題も地域住民と連携し、有明地区に放置されている粗大ゴミも地域住民、地権者、札幌市、災害防止協力会と共催で対応している。
- 札幌南ロータリークラブ  
豊富な人材で地区委員会に多数の委員を送り出し、また青少年関連でも羊ヶ丘養

護園との収穫祭やローターアクト等の活動では地区でも大きい実績を誇るクラブである。

一時大きく会員の減少が見られたが漸次回復し安定した運営と共に活発なる活動が見られる。

今年度も8月19日(金)に第2000回記念例会を迎え、スポンサーである札幌東RC、誕生のホストをした札幌真駒内RC、北広島RC、札幌清田RC、札幌大通公園RCの各クラブと合同の記念例会も白石区のアサヒビール園で開催し大盛況の例会であった。

- 札幌真駒内ロータリークラブ  
佐藤会長の柔軟なる指導力で次期ガバナー輩出のための人員の配置、ガバナー事務所の開設、次年度地区大会の段取りなどを対応している。

ガバナー輩出クラブとしては会員数が少ないため、会員一同一致団結した活動は見事である。

- 札幌南ロータリークラブ  
武部会長の強烈なる指導力で種々の改革が見られる。市内第4・5グループで2番目に歴史を誇るクラブで今年度6月5日(月)の創立50周年記念に向け、豊富な人材と今日迄の伝統ある運営は会員の増強を含めて円滑なる運営が計られている。

- 札幌大通公園ロータリークラブ  
例会日が毎週月曜日午後6時より毎週金曜日午後6時30分に8月より変更になった。その第1日目の8月5日(金)にガバナー公式訪問となる。会員数は19名であるが、今年度中に5名の増加を見込んでいる。学友を含めて札幌学院大学の学生と共に札幌雪まつりの雪像の製作参加を計画している。少人数だがユニークな活動が光る。今年度5月28日に創立5周年記念行事を予定している。

- 札幌セントラルロータリークラブ  
バスター・ガバナーの石垣会員を中心に熱心にロータリーの勉学に励んでいる。荒又会長の柔らかい指導力で家族的な雰囲気での会員の退会に歯止めをかけ、2名~3名の増員を目標に運営されている。

- 新札幌ロータリークラブ  
今期上期で3名の会員増強がなされた。割箸回収も継続事業として取り組み、シェラトンホテル、アサヒビール園、その他より回収し江別の王子製紙江別工場に持ち込み、リサイクルで再生紙としての活用を計っている。今年度は2月18日(土)に第4・5グループ合同によるIMのコ・ホストクラブとして協力体制を整え対応している。

交換留学生、米山学友との交流も盛んで青少年問題も過去に作成したエコノートと共に熱心に取り組んでいる。

第6グループ



ガバナー補佐  
北川 暁一

■会長・幹事会の開催について

第1回 7月4日(月) 出席 15人

- ①ガバナー公式訪問の件
- ②ガバナー補佐クラブ訪問の件等

第2回 12月12日(月) 出席 19人

- ①地区ガバナー補佐次期候補者推薦の件
- ②米山奨学生博士号修得にかかわる期間延長の関係クラブ援助

■担当グループ特記事項

- 第1回はガバナー公式訪問の各クラブ日程の確認、対応について

歴代ガバナー補佐は所属RCの予算を結構な数字消費しているため、クラブ予算に迷惑をかけぬよう訪問時の登録料を徴収しないこと、各クラブで痛みを分け合う協力をするを取り決めた。

- 第2回は次期ガバナー補佐候補者推薦について

これについて過去、小樽3クラブと後志4クラブとの交代制をとってきたが、その都度、その時になって事情を持ち出したり、何とか当らずに逃げをうったりで、時間と腹の探り合いで、グループ内の結束に欠けること間々あったので、最初次期と次々期の予定クラブの話を進めていたのですが仲々に進まず、どのクラブも例え人数が少なくとも立派な方、出来る方は在籍なので、いっそ6グループで輪番にしては、と具申した処、意見の一致をみ、順番が確定。各自のクラブが何年後に廻ってくる、予定と心の準備が出来ると一同賛成となった。

- 米山奨学生の援助について-小樽南クラブ

第6グループの交換留学生補助金運用規約の第1条、この積立金の対象は地区青少年交換委員会の交換プログラム、またはこれに準ずるプログラムを実施するグループ内クラブとする、を広義解釈。これに当てようと(米山奨学生も学生とし、同地区・同大学も博士課程はないので合格の上)地区青少年プログラム補助金額、長期(1年間)36万円を補助することとし、グループ内全クラブ会長の賛成を得た。

※グループ内ガバナー補佐の順番

- 2006-07年度 余市RC
- 2007-08年度 小樽銭函RC
- 2008-09年度 岩内RC
- 2009-10年度 小樽南RC

2010-11年度 倶知安RC  
2011-12年度 小樽RC

第7グループ



ガバナー補佐  
望月 良典

■会長・幹事会の開催について

第1回 7月1日(金) 12人

- ①IM開催の意見交換
- ②クラブ訪問の日程調整

第2回 10月7日(金) 13人

- ①IM打合せ
- ②次期ガバナー補佐クラブの選出

第8グループ



ガバナー補佐  
出口 弘史

■会長・幹事会の開催について

第1回 7月20日(水) 出席 12人

- ①2005-06年度各RCの活動推進等について交流
- ②第8グループのガバナー公式訪問について
- ③ガバナー補佐特別委員会の設置と各RCの負担金について

第2回 10月12日(水) 出席 12人

- ①次期ガバナー補佐の選出について
- ②第8グループ「おじゃまします例会」の実施について

■担当グループ特記事項

- 各ロータリークラブの訪問
  - 6月6日(月) 三石RC
  - 6月7日(火) 様似RC
  - 6月8日(水) 静内RC
  - 6月9日(木) えりもRC
  - 6月14日(火) 浦河RC
- 他に夜間例会、G補佐選出に関するえりもRC、静内RCの例会に行っている。
- ガバナー公式訪問について
  - 8月23日(水) 浦河ウエリントンホテル
  - 9:00~12:20 会長・幹事懇談会  
(浦河RC→様似RC→三石RC→静内RC→えりもRC)
  - 12:30~13:30 第8グループ合同例会  
出席者数 102名



- 静内RC32名、三石RC14名、浦河RC34名、様似RC10名、えりも10名、地区2名
- 第8グループ新入会員（8月23日現在）  
えりもRC1名、浦河RC3名、三石RC1名、静内RC5名
  - 次期ガバナー補佐選出の件について  
第8グループは各クラブ持ち回りでやってきたが来年度えりもRCの順でしたが、色々な事情があり引き受ける事が出来ない事になり、今回は特別に他クラブをお願いしました。今後は各クラブで順に引き受ける事が約束されました。また、8グループ（5RC）は20名前後のクラブが3クラブあり、皆で協力をしてRCを盛り立てていきたいと思っています。  
10月 えりも、様似、浦河RC合同パークゴルフ大会  
11月 様似RCおじゃまします例会  
12月 静内RCクリスマス家族会
  - えりもロータリークラブ  
8月28日(日)えりもロータリークラブ主催少年野球大会。浦河町から広尾町まで7チームが参加。会長・幹事他、社会奉仕、子供委員会中心に会員全員で運営した。  
10月29日(土)秋の町内ゴミ一掃クリーン作戦。小学生、各種団体、自治会、会員中心に約40名参加。  
11月17日(木)えりも高校へボランティア助成金交付。会長・新世代委員長が高校を訪問。  
その他：夜間例会2回開催。合同例会10名参加。地区大会10名参加。議場コンサートへ協賛金交付。
  - 三石ロータリークラブ  
①例会での卓話の特徴  
2006年3月31日に三石、静内の二町が合併するので、それに関する卓話を取り入れた。  
8月29日：三石町花卉センターの見学  
11月21日、28日：町村合併事務の進行状況と今後の見通し  
②青少年活動への支援  
三石リトル野球スポーツ少年団が全国スポーツ少年団交流大会に参加する事に対し、三石RCより3万円を補助した。（8月10日）  
③三石町図書館に支援（昭和49年から）  
三石RCの継続事業で、今回で28回目となる。  
今年度の寄付金額は5万円の予定（2006年1月）寄付金の累計金額は160万円となる。
  - 様似ロータリークラブ  
7月27日：日高森づくりセンター主催の『森と遊ぶ』を後援 参加 10名  
8月9日：様似町郷土館見学

- 参加 11名  
9月11日：様似郷土館特別展見学 参加 9名  
9月18日：浦河RCとの交流会（パークゴルフ）参加 18名  
10月16日：地区大会参加 参加 12名  
11月23日：おじゃましますプログラム（夜間例会）開催 参加 30名  
12月18日：そば打ち体験会 参加 11名
- 静内ロータリークラブ  
理事会開催11回、会長出席委員会10回、歴代会長会議1回  
職業奉仕委員会：  
移動職場例会1回（8月3日）、地区職業奉仕委員長卓話1回（10月5日）  
社会奉仕委員会：  
乗馬を使った交通安全啓発1回（9月28日）  
中部日高青年会議所との交流、ソロプチミスト会員17名、1回（11月30日）  
※交流会は、今後の地域社会への奉仕活動の連携を視野に於いて
  - 国際奉仕委員会：  
ガンボジア難民達の教育施設に基金拠出20万円
  - 新世代奉仕委員会：  
静内RC杯小学生バレーボール日胆地区親睦大会の開催（7月30～31日）28チーム参加  
静内インターアクトクラブ海外研修（8月2～6日）韓国  
新世代奨励賞表彰6団体、1個人（12月21日）
  - 財団委員会：  
会員100ドルの年次寄付を実行（12月10日）
  - 会員増強委員会：  
新会員9名の入会で7名の増強となる。
  - 浦河ロータリークラブ  
クラブ奉仕委員会：  
奉仕の原点に則り、各委員会委員長と共に連携し、活動に関与してきました。隣接するクラブ間に於いても連絡を取り合い、上期においては『おじゃまします会』の第一回を実現、親睦委員会の進行で様似RCとの『パークゴルフ大会』も実現し、活性化に結びつくものと思っています。下期も各委員会と連携を執り、努力いたします。
  - 職業奉仕委員会：  
上半期は『魚井一生氏の講演』・『国際ソロプチミスト後援カンツォネ鑑賞』などの紹介をはじめ、『老人とともに歩む会』の支援等、会員の皆様のご協力を得て、充実した活動ができました。  
特に、プログラム委員会の連携により、移動例会では測候所の見学や、JRAの

施設見学等が実現できました。  
下期も皆様の協力を頂き、頑張りたいと思います。

社会奉仕委員会：  
上期は『西幌別駅清掃』に始まり、『港祭りパトロール』『交通安全街頭啓発』『浦河町交通安全町民大会』等、積極的に町内のボランティア活動に参加しました。これも会員の皆様のご理解とご協力の賜物であります。  
下期も同様にご協力をお願い致します。

国際奉仕委員会

上期は南米パラグアイ『浦河文庫』への図書寄贈を致しました。例年通りですが今後も継続していく大事なことであると思っております。  
また、9月には中壠よりゲスト2名（1名は中壠RC、現姉妹クラブ会員）が来日し、副委員長が歓迎会を開くなど交流を深めました。

新世代委員会：  
青少年を対象とした野外活動を主に活動しました。特に、日本ハムの現役コーチ等を招き開催した野球教室は印象に残ります。今後ともロータリーの主旨を理解して頂ける様な活動を目指していきたいと思っています。

会員増強委員会：  
今期の会員減少に歯止めを掛けようと頑張りました。会員の協力を得て、徐々に増えていますが、まだまだ頑張ろうと思っていますので宜しくお願い致します。

## 第9グループ



ガバナー補佐  
川岸 洋一

### ■会長・幹事会の開催について

- 第1回 2005年6月17日(金) 出席 14人  
①第9グループ年間行事予定について  
②会長・幹事会担当クラブについて
- 第2回 2005年8月2日(火) 出席 14人  
①ガバナー公式訪問について  
②第9グループIMについて
- 第3回 2005年10月24日(月) 出席 14人  
①第9グループIMについて

### ■担当グループ特記事項

- (1)会長・幹事会は、グループ内6クラブ持ち回りで、年6回開催の予定です。  
(2)会員数は、年度当初に比べ、伊達+4、室蘭東+4、室蘭北+1、登別+1で

あり、減ったクラブがないので、第9グループとして+10名が増強されています。

(3)9月17日(土)・18日(日)に洞爺湖畔で第18回北海道ツーデーマーチが開催され、室蘭クラブが参加し、洞爺湖クラブと伊達クラブがフォローしています。

(4)11月23日(水)に伊達クラブ主管による第9グループのIMが開催された。

第1部は、日ハム選手と語ろう『子供たちに夢と感動を、そして勇気を』と題して、スポーツ少年団の野球少年約250名と日ハム選手4名のトークショーと野球教室を行った。

第2部は、日ハム球団の三澤社長補佐による講演と、第9グループ会員による懇親会が和やかに開催された。

### ■担当クラブ訪問報告

◎室蘭RC:訪問数2回

創立以来70年に及ぶ歴史と伝統が、会員相互の信頼と連帯感を引継いでおり、厳粛な例会を行っており、誇りが感じられるクラブである。

地区WCS委員長を輩出していることから、クラブを挙げての支援体制が出来ており、タイの井戸整備事業へ参画する意欲が現れている。

◎伊達RC:所属クラブ

第9グループ最多の会員を抱えるクラブであり、活気が感じられる。

IM主管を会員間の友好のチャンスとし、多くの会員が参画して活動した結果、参加者に喜ばれるIMとなった。

親睦活動が得意なクラブである。

◎室蘭東RC:訪問数2回

職業奉仕活動としての、「あれこれ何でも無料相談」がユニークであり、相談者が多く、非常に喜ばれている。インターアクトのスポンサーとなっており、会員と合同の清掃活動等を行っている。

趣味同好会として、ゴルフ・ワイン会・銘酒会・パソコン・囲碁等を持ち、会員間の親睦に役立っている。

◎登別RC:訪問数2回

昨年度地区ガバナーを輩出し、地区大会を主管した自信が溢れている。本年度はクラブの将来を見出すことを重点に考えている。

会員の釣果であるやまべを、数種類に調理して夜間例会で食べる「やまべを食する会」はユニークであり、うらやましい。

◎室蘭北RC:訪問数2回

ローターアクトのスポンサーになっているが、今までの学生中心から社会人中心への移行を推進している。地域に密着した事業を継続的に行っており、

地味ではあるが堅実な活動をしている。

和気あいあいと調和のとれたクラブである。

◎洞爺湖RC:訪問数2回

少ない会員数ではあるが、奉仕活動に意欲的な印象がある。

例会が友好的なので、あとは会員数を増やすことが課題であり、町村合併を機会に、何とか会員増強を成功させてほしい。

## 第10グループ



ガバナー補佐

田村 貞雄

第1回 6月18日(土) 出席 37人

- ①次年度交換学生分担金について
- ②合同事務所運営担当クラブ引継ぎについて
- ③第10・11グループ青少年交換協議会規約変更について
- ④会長・幹事会の当番クラブについて
- ⑤新クラブ(函館セントラルRC)についての経過説明

第2回 8月5日(金) 出席 25人

- ①合同事務所運営協議会規約変更について
- ②合同事務所運営人頭分担率について
- ③合同事務所2005-06年度運営予算について
- ④IM開催について

第3回 10月7日(金) 出席 24人

- ①IMについて
- ②2004-05年度合同事務所決算報告
- ③合同事務所就業規則変更について

第4回 12月2日(金) 出席 21人

- ①IM開催について

### ■担当グループ特記事項

・函館ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)会員の卓話を出るだけ充実させ、広く会員の協力を呼びかける。  
部外者の卓話、郷土史等の文化論  
医療関係シリーズ、時局問題シリーズ、教育・福祉シリーズ
- (2)職業奉仕月間の卓話については、会員に職業奉仕の意識と行動が高まるよう、地域職業奉仕委員会が推進する人に講演を要請する。

・函館亀田ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)毎年10月に、会員全員出席して「子

供から大人までの何でも相談」を行ってみたい計画。

(2)「くるみ学園」園児との芋堀り体験事業及び家族会計画

・森ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)毎年クリスマス家族会のチャリティオークションを実施。その収益金の一部を森町の社会福祉協議会に贈呈。
- (2)例会、各種会合案内を、携帯メールで案内している。

・七飯ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)「チャリティカレンダー市」を主催し、その益金を社会奉仕事業団体等へ寄付計画。
- (2)会員増強に関するクラブ・プログラムを計画。

・長万部ロータリークラブ

奉仕活動について

- (1)毎週木曜日に、高齢者を入浴される。
- (2)交通安全週間には積極的に参加。

・函館セントラルロータリークラブ(当地

区73番目の新クラブ・第10グループ担当)平成17年7月20日 国際ロータリー加盟認証(認証状伝達式:9月3日)

奉仕活動について

- (1)会員の卓話:自己研鑽の材料であり積極的に登壇するよう要請。
- (2)1市3町1村が合併した事に伴い、各地域の歴史や今日抱える課題等についての講演を依頼する。

以上、新クラブの活動計画は全て新鮮味があり、初心に帰った気持ちで引き締めを感じた。

## 第11グループ



ガバナー補佐

藪下 義晴

### ■会長・幹事会の開催について

①平成17年度6月18日 37人

(新旧引継ぎ会議)次年度交換学生分担金について、合同事務所運営担当クラブ引継ぎについて、10・11グループ青少年交換協議会規約変更について、会長幹事会ローテーション(当番クラブ)についての経過説明について、

②平成17年8月6日 25人

合同事務所運営協議会規約の変更について、合同事務所運営人頭分担金率について、合同事務所2005-2006年度運営予算



について、IM開催について

③平成17年10月7日 24人  
IMの開催について（10・11グループの合同開催とする）、2004-2005年度合同事務所決算について、合同事務所就業規則の変更について

④平成17年12月2日 21人  
IM開催について（幹事会にて詳細の詰めを行う事とする）

### ■2006-07年度 下期活動計画書

会長・幹事会開催…2月、4月、8月開催予定。

函館大学ローターアクトクラブ創立35周年記念式。

10・11グループ合同IM開催。

各クラブ事業に対する協力。

### ■担当グループの特記事項

#### ※函館東RC

会員数の前年比20名近い減少からのスタートでしたが、会員相互の親睦度も増し、出席率の向上につながっているが、新入会員の入会がなかなか進まず、苦慮しているという事ですが、提唱ローターアクトクラブの周年記念や、友好クラブとの交流を推進するなど、また財団への寄付目標を達成するべく積極的に活動している。

#### ※江差RC

会員の減少の中で、函館五稜郭クラブや、札幌モーニングクラブとの交流など、積極的に進め、また、地域に対する奉仕活動、特に地域における特殊な技術・技能者を表彰するなどの事業に力を注いでいる。

#### ※函館北RC

「温故知新」“ロータリーに愛を”をテーマに掲げ、会員の親睦と社会奉仕活動を重点に活動している。クラブ会員を三つのグループに分け、会員増強や社会奉仕などについて討議する為のサポート会議を立ち上げ活発な意見交換を行っている。また、9月のガバナー公式訪問に合わせて、退会した元会員を招待して例会を行うなど、会員増に結びつけようと努力している。

#### ※松前RC

会員9名と少ないながら、松前町のシンボルとも言える桜の木の保存事業に力を入れている。

#### ※函館五稜郭RC

各種行事などに積極的に参加して、地域との交流をはかりながら会員相互の親睦にも力を入れている。さらに五稜郭RC合唱団「DAM」によるチャリティーコンサートでの益金を財団に寄付するなど活発な奉仕活動を続けている。

#### ※上磯RC

継続的に行っている薬物乱用防止キャンペーンや、社会福祉法人での花壇整備奉仕など地域に対する社会奉仕活動が活発なクラブである。また次年度はGSE派遣メンバーを推薦するなど積極的なクラブ運営をしている。

総体として、各クラブ共に会員増強にはクラブを挙げて取り組んでいます、思うように新入会員の入会が進まずに苦慮している。しかし、財団に対しての一人100ドル寄付など目標を達成するべく努力をしている。

また、奉仕活動に対しても諸々の厳しい状況の中で、会長さんはじめ理事の皆さん方は現状を踏まえながらも、クラブの特色を出した活動を模索していることが窺えます。

### ■各クラブ前期活動報告書

#### 函館東RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数1回

7月1日会員数43名 入会 2名  
退会 3名

1月1日42名 純増-1名

7月9日・大森浜の清掃奉仕活動の実施。

10月18日・会員の新規事業の工場見学を実施。

12月25日・家庭に眠るピアノの寄贈事業として、10台目を函館中央病院に寄贈。

#### 江差RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

7月1日会員数17名 入会 0名  
1月1日17名 純増 0名

7月24日・松山森づくり「全国植樹祭～馬場山」への参加、並びにロータリーの森を整備。

8月11日・五稜郭RCメンバーと共に姥神大神宮祭に参加。

10月1日・江差ロータリークラブ杯パークゴルフ大会を開催。

10月25日・とりっこ例会において、職業奉仕表彰（北前船模型制作で功績のあった船大工・岩佐満氏）をした。

#### 函館北RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

7月1日会員数32名 入会 1名  
退会 1名

1月1日32名 純増 0名

9月7日・ガバナー公式訪問に合わせて、元会員を招待しての例会開催

9月14日・七重浜海浜公園（洞爺丸海難事故慰霊碑）清掃奉仕

#### 松前RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

7月1日会員数9名 入会 0名  
退会 0名

1月1日9名 純増 0名  
12月20日・松前消防団松前分団に対し、分団旗を贈呈。

#### 五稜郭RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数1回

7月1日会員数63名 入会 3名  
退会 2名

1月1日64名 純増 1名

7月・8月に開催の函館野外劇へ地域交流委員会が主体となり、9回の公演に30名の会員が参加。

10月29日・ラサール高校インターアクト委員会と合同で足長学生募金活動（インターアクト委員会）実施。

11月11日・清尚学院高等学校で市内PTA母親保護者37名を招待し、会員の協力でのケーキ作りを母親研修として楽しく学んで貰った。（職業奉仕委員会）

11月18日・五稜郭RC35周年事業として寄贈した書架の引き渡しと、会員へのお披露目をした。

11月23日・五稜郭RC合唱団「DAM」チャリティーコンサート開催。（益金はロータリー財団へ寄付）

#### 上磯RC活動報告書

ガバナー補佐 訪問回数2回

7月1日会員数26名 入会 0名  
退会 2名

1月1日24名 純増-2名

11月5日・薬物乱用防止キャンペーン並びに募金活動実施。

12月21日・上磯社会福祉協議会へ10万円の寄付。

### ■各クラブ後期活動計画書

#### 函館東RC

提唱ローターアクトクラブ創立35周年事業の開催

家族例会としてボウリング大会を実施  
友好クラブを函館にお招きし、交流する地区目標の一人100ドル寄付の達成

#### 江差RC

地域との交流を目的にロータリー杯パークゴルフ大会の開催

北前船海港20周年記念行事への協賛

ホームページの編集・開設

ロータリーの森植樹及びバーベキュー懇親会の開催

#### 函館北RC

七飯ロータリークラブ（11グループ）との合同例会開催

職業訪問例会の実施

#### 松前RC

松前の観光の目玉になっている松前公園の桜の保存活動を継続事業として実施。

#### 函館五稜郭RC

旧3町1村への花壇整備用具の贈呈

銭湯での入浴マナー教室の開催  
函館五稜郭祭維新パレードへの参加  
上磯RC  
おしまコロニー花壇整備

◇第12グループ登録 89名

■各クラブ報告

◇苦小牧ロータリークラブ

◎クラブ訪問：4月25日次年度クラブ協議会・7月8日例会訪問・9月2日ガバナー公式訪問・12月16日例会訪問

- 11月末現在の会員増強の推移  
〔期首会員数 55名〕  
〔期中入会 5名 期中退会 0名〕  
〔11月末 会員数 60名〕
- ロータリー財団・米山奨学会  
〔財団目標額 \$6,200〕  
〔11月末達成額 \$711.23〕  
〔米山目標額 未定〕  
〔11月末達成額 112,000円〕

3.上期の主な活動計画とその報告  
12グループIM・ガバナー公式訪問・地区大会参加・次期役員理事の選挙等、平常のクラブ活動に加えて姉妹クラブ相模原RCを公式訪問した（10月27、28日）。

なお、12月2日年次総会において創立50周年記念事業実行委員会の設立を決定した。

- 下期の主な活動計画  
◇1月 新年家族会、冬期国体の応援  
◇2月 第3回クラブ協議会、12グループ合同例会  
◇6月 第4回クラブ協議会を予定しているほか、会員増強、財団及び米山の寄付の目標達成、50周年事業の準備等に取組む事になっている。

5.特記すべき奉仕プロジェクト

- ◇50周年記念事業の準備を実行委員会と協力して行う
- ◇高校生の奨学金制度を実施しているが、これを廃止する方針であり代わるべき奉仕案について検討する

6.クラブの特徴・問題点

次年度に実施する50周年記念事業の準備に大きな努力を注入することになるが、その活動を通じて会員の親睦を深め、クラブの活性化を図りたい。

◇苦小牧東ロータリークラブ

◎クラブ訪問：5月25日次年度クラブ協議会・7月7日例会訪問・9月1日ガバナー公式訪問・12月15日例会訪問

- 11月末現在の会員増強の推移  
〔期首会員数 31名〕  
〔期中入会 1名 期中退会 2名〕  
〔11月末 会員数 30名〕
- ロータリー財団・米山奨学会  
〔財団目標額 \$3,200〕  
〔11月末達成額 \$394.3〕  
〔米山目標額 300,000円〕  
〔11月末達成額 191,676円〕

3.上期の主な活動計画とその報告

- 1.IMのホストクラブとして、会員家族、留学生参加のもと開催した
  - 2.留学生、市内外の外国人との交流（キャンプ、ミニスポーツ大会）
  - 3.会員家族との親睦会（親睦旅行、キャンプ）
  - 4.東ロータリークラブ杯小学生スピードスケート大会
  - 5.職業奉仕フォーラムの開催
  - 6.会員親睦ゴルフ大会の開催（年4回）
  - 7.赤い羽根募金活動の参加
- 4.下期の主な活動計画

- 1.市内在住の外国人による日本語弁論大会（3月12日 \*地区補助金申請事業）
- 2.苦小牧工業高等学校卒業生への交通安全講話の実施（2月）
- 3.各委員会の活動計画の完全実施
- 4.財団寄付、米山記念奨学寄付への会員の積極的参加を募ります
- 5.親睦活動を積極的に行います（退会防止、例会出席率向上を目指して）

5.特記すべき奉仕プロジェクト

◇月1回の「ロータリーの友」の記載記事の中からトピックの朗読発表は会員に「ロータリーの友」をより身近なものにしたようです。

◇会員増強の為の例会を開催し、会員に増強の重要性を伝えた。下期には数人の増強が見込まれる。

◇会員の傘寿、古稀お祝い例会、会員家族親睦旅行、親睦ゴルフ大会と多くの親睦活動に努めた。ニコニコボックスも会員の理解で予定通りに推移。

◇10月の職業奉仕月間に地区委員長砺波氏を講師に招き「職業奉仕フォーラム」開催

◇第13回苦小牧東ロータリークラブ杯小学生スピードスケート大会の開催。

6.クラブの特徴・問題点

例会出席率の低下傾向・会員減少・委員会活動の停滞等当面する問題をいかに解決するかが下期の課題であります。活動計画通り積極的な委員会、計画倒れになりそうな委員会もあります大きな活動はなくても地道な活動を続けて参ります。

◇白老ロータリークラブ

◎クラブ訪問：6月7日次年度クラブ協議会・7月12日例会訪問・9月13日ガバナー公式訪問・11月29日例会訪問

- 11月末現在の会員増強の推移  
〔期首会員数 23名〕  
〔期中入会 0名 期中退会 0名〕  
〔11月末 会員数 23名〕
- ロータリー財団・米山奨学会  
〔財団目標額 \$2,000〕

第12グループ



ガバナー補佐  
蝦名久志

■会長・幹事会の開催について

第1回 平成17年4月18日(月) 出席 8名  
苦小牧東ロータリークラブ事務局

- ①ガバナー公式訪問の日程について
- ②ガバナー補佐例会並びにクラブ協議会への出席について
- ③インターシティ・ミーティングの開催について
- ④4クラブ合同事業について  
\*会員名簿共同作成・親睦ゴルフ大会等

第2回 平成17年7月21日(木) 出席 9名  
苦小牧市 第一洋食店

- ①第3回I・M実施について  
\*9月11日(日)テーマ「友情と親睦」
- ②4クラブ合同の事業について
- ③今後の会長・幹事会開催について  
\*定例 7・10・2・5月

第3回 平成17年10月22日(土) 出席 9名  
白老町 アマノファーム

- ①ガバナー補佐報告
- ②次期ガバナー補佐推薦依頼  
\*次期予定 白老ロータリークラブ
- ③各クラブ会長現況報告
- ④12グループ合同例会開催について  
\*2月23日(日)開催
- ⑤第61回国民体育大会冬季大会（1月28日～2月1日 苦小牧市）  
姉妹クラブ・友好クラブの県代表選手団の応援

■担当グループ特記事項

- 1.グループ内会員の親睦を深めるため、親睦ゴルフ会を開催：7月13日(水)  
◇ホストクラブ：苦小牧東RC  
◇場所：樽前カントリークラブ  
参加人数 32名
- 2.第3回インターシティ・ミーティング開催：9月11日(日)  
◇ホストクラブ：苦小牧東RC  
◇テーマ「いまこそ友情と親睦」  
◇開催場所：苦小牧アルテン  
◇参加人数：会員・会員家族・留学生 100名
- 3.第2510地区年次大会 10月15、16日

[11月末達成額 \$2,000]  
[米山目標額 30,000円]  
[11月末達成額 0円]

3. 上期の主な活動計画とその報告

1. 白老ロータリークラブ杯少年サッカー大会の開催 (2005年10月16日)  
普段は試合に出場出来ない年少者も参加できる大会で子供達が楽しみにしている大会です。

2. 姉妹クラブ交流 (2005年8月5日～8年6日)

姉妹クラブである仙台西ロータリークラブを訪問、東北三大祭り“仙台七夕まつり”を堪能し、親睦ゴルフ、バスでの観光等交流親睦を深めた。

4. 下期の主な活動計画

1. 子供の安全に対する運動 登下校時の通学路での声かけ運動を検討

2. 桜苗木の植樹 町内施設へ100本の桜の苗木植樹

5. 特記すべき奉仕プロジェクト

◇仙台西ロータリークラブとの姉妹クラブ交流

◇白老ロータリークラブ杯少年サッカー大会の開催

◇職業奉仕月間に地区職業奉仕委員を招き、職業奉仕についての卓話をお願いした

6. クラブの特徴・問題点

会員増強が困難であることから、退会防止に努めたい

◇苦小牧北ロータリークラブ

◎クラブ訪問：5月10日次年度クラブ協

議会・7月5日例会訪問・10月25日ガバナー公式訪問・12月13日例会訪問

1. 11月末現在の会員増強の推移

[期首会員数 37名]  
[期中入会 1名 期中退会 0名]  
[11月末 会員数 38名]

2. ロータリー財団・米山奨学会

[財団目標額 \$5,160]  
[11月末達成額 \$1,676]  
[米山目標額 658,000円]  
[11月末達成額 433,496円]

3. 上期の主な活動計画とその報告

◇北ロータリークラブ杯少年サッカー大会の開催

◇RCC苦小牧家庭生活カウンセリング協会に対する活動支援

◇アイスレジャホッケーチーム「北海道ベアーズ」への支援

◇緑の羽根・赤い羽根共同募金に対する支援

◇米山記念奨学生としてホストした笹村久美子さん(留学先ロシア・モスクワ)を招き帰国報告の例会卓話をして頂きました

4. 下期の主な活動計画

◇クラブ内趣味の会を計画

◇姉妹クラブ石巻ロータリークラブとの交流会

◇会員全員の例会時卓話を達成する

◇市民無料健康相談の継続

◇米山功労者の増加

5. 特記すべき奉仕プロジェクト

◇「市民無料健康相談」(ロータリー

財団補助金プログラム)を実施

実施期間：平成17年7月1日～平成18年6月30日(毎月2回)

開催場所：苦小牧市 プラザホテルニュー王子

目的：自分の健康について不安をもつ市民に対して、医師であるロータリアンが相談に応じ、不安感を取り除くよう努力する。生活習慣病に対しては、具体的に助言し健康回復による市民の生活向上に役立てたい。

◇国際友好クラブ、タラデルロータリークラブ(ニュージーランド)との交流会。

苦小牧市・ネーピア市姉妹都市締結25周年記念にネーピア市への表敬訪問交流にあわせて、両クラブとの交流会を開催しました。当クラブから会長はじめ5名の会員とご夫人が参加旧交を深め、今後更なる交流を深めることを確認した。

6. クラブの特徴・問題点

◇会員増強が困難な中上期1名の新会員を迎えた。下期増強へ尚一層努力したい。

◇会員親睦・退会防止・出席率向上に繋がるよう月1回の移動例会を実施し、成果を上げている。

## 2007-08年度GSEプログラムがマレーシアの3300地区に内定

地区GSE副委員長 武藤 順 (札幌西RC)

従来米国、カナダそしてオーストラリアと交換していたGSEプログラムをロータリー財団の強い意向によりアジアの地区と交流する事になり第1回目がフィリピンのメトロマニラの3380地区と2002-04年度に実施し、更に2004-06年度にはタイのバンコックの3350地区と実施する事になった。今年2月25日に橋本信夫チームリーダーと4名のメンバーがバンコックに出発予定である。

2006-07年度は予算の関係で休んで、2007-08年度にもう一度アジアの地区とのGSEプログラムを計画して、最初にシンガポールが比較的政情も落ち着いているので2005年8月に申込をする事になった。ところがシンガポールの3310地区はマレーシアとブルネイと三国に跨っているためにガバナーも交代で各国から出ており、三国で色々相談するとなると地域的、時間的に中々難しく現ガバナーとガバナー・エレクトに夫々メールとパンフレットなどの資料を送付したが返事が全く来なかった。

そこで次善の策としてマレーシアの3300地区のガバナーに2005年10月に申し込みのメールを送った所、直ぐに返事が来てガバナー・エレクトを紹介してくれて更にGSE担当者からも返信メールが

届いた。ところがその前の8月にブラジル・サンパウロの4430地区からGSEの申し込みがガバナー事務所に届いた。日本語が対応出来るというので非常に興味を持ったが、相手側の都合でキャンセルになった。更に2005年10月にニュージーランドの9930地区の2007-08年度ガバナー・エレクトが東京の国際会議に来日した際に札幌まで足を伸ばして丸山淳士ガバナー・エレクトを表敬訪問して是非当地区とのGSEプログラムを、と提案した。

それでマレーシアの3310地区とニュージーランドの9930地区とメール交換を始めたが、両地区とも熱心に当地区とのGSEプログラムを希望して、当地区としてもいづれかに決めなければならなくなった。ガバナー、エレクト、そしてノミニ、更にロータリー財団委員長とも密接に連絡を取りご相談をしてGSE委員会でも白熱の議論が展開したが、結局もう1回アジアとのプログラムをしようということになり、マレーシアの3300地区との交換に内定した。

以上状況を報告いたして皆様へのGSEへのご理解とご協力をお願い致します。





## 2007-08年度RI会長ノミニーに ウィルキンソン氏が正式に決定

2005年12月5日に、RI会長指名委員会によって選出された、カナダ・オンタリオ州トレントンRCのウィルフリッド J. ウィルキンソン氏が、1月5日、正式に2007-08年度RI会長ノミニーとなりました。

同氏は、公認会計士事務所、ウィルキンソン・アンド・カンパニーの共同創設者です。2001年に退職して以来、カナダ・クインテパレエスクール (Quinte Ballet School of Canada) の常任理事ならびに全国法廷会計士協会 (National Association of Forensic Accountants) のカナダ担当コーディネーターを務めてきました。

1962年にロータリアンとなったウィルキンソン氏は、現在、ポリオ・プラス全国提唱顧問、ポリオ・プラス・パートナー・グループの委員として活躍中です。これまでは、財団管理委員、RI理事、RI副会長、地区ガバナーをはじめ、国際協議会グループ討論リーダー、各種委員会の委員長および委員、実行グループ委員、諮問委員会委員などを歴任してきました。極最近では、2005年シカゴ国際大会委員会委員長およびRIのアフガン難民救済プロジェクト副委員長を務めました。

(RIホームページより抜粋)

### RI3700地区(韓国、大邱) 地区大会のご案内

ガバナー 塚原 房樹  
国際友好委員長 矢橋 温郎

当地区と3700地区とは2年前に姉妹地区提携を結びました。それを踏まえて昨年の当地区の地区大会には、韓国より南星姫総裁を始め大勢のロータリアンが参加され大会に花を添えていただきました。3700地区の地区大会は来る4月14・15日に開催されます。まだ大会プログラムの詳細は届いておりませんので、旅程は未定ですが参加ご希望の方はガバナー事務所までお申し込みください。

大会参加と慶州の桜を見て、ソウルの市内観光を含め3泊4日、あるいは4泊5日くらいの日程になろうかと思えます。3700地区より詳細な日程が届き次第、旅行スケジュールをご連絡いたします。

## 新入会員のご紹介 (敬称略)



菊島好孝  
赤平RC  
平成18年1月1日入会



竹島義和  
滝川IRC  
平成18年1月5日入会



村重道男  
札幌東RC  
平成18年1月5日入会



千葉峻三  
小樽南RC(元 札幌東RC)  
平成18年1月5日入会



松岡俊夫  
伊達RC  
平成18年1月10日入会

## パヴェナ基金訪問記・ロータリーの友地区委員より

第4回  
パヴェナ基金訪問記

和田 壬 三 (札幌幌南RC)

2001-2002年度の当地区の地区大会で知り合ったタイ国バンコック市内のドンミャンロータリークラブのM.Rスイットさんからの支援要請に応じて、同RCのMRSパヴェナさんが個人でしている虐待や差別で苦しんでいる子供と婦人を救うためのボランティア活動への支援を続けて、今年で4年目になります。

パヴェナさんは、妹がミスユニバースという可憐な女性であることに加えて著名な国会議員という要職にあるにも拘らず、自ら直接現場に赴いて虐待されて助けをを求める婦人を助け出し、人身売買によって売春を強制されて助けをを求める幼い子供たちを救い出すという活動を日夜、時間を問わずに実践しています。

今回は、チェンマイまで足を伸ばして、その地方で唯一のエイズ患者に対するバーンサバイという名称のシェルターを運営しながら、エイズに罹患して社会的な差別と病気に対する戦いに苦しんでいる患者を助ける献身的なボランティア活動を続けている札幌出身の早川文野さんにもお会いしその姿勢に感動してまいりました。

当地区のローターアクトクラブからも又室蘭のロータリークラブなどからも寄付を戴いたとの報告も受けました。

現在バーンサバイでは、1500万円の基金を全額取り崩して新しい施設を建設中ということで、基金を使い果たすので、設備や備品の購入費及び運営費は、寄付に頼らざるを得ないと言う事なので心あるロータリアンからの寄付を期待しているようです。



又、タイの最北東部の最も貧しい地方であるチェンマイの、どの方にも聞いてもパヴェナさんのことを知らない人はいませんでした。それほどパヴ



エナさんの活動は、タイ国内の方にも知れ渡っているのです。

今回の訪問時には、真駒内RCの佐々木敦氏を団長格に中山裕規氏（真駒内RC次期地区代表幹事）、佐藤裕一（札幌西RC）八木昌興（同）和田壬三（札幌幌南RC）他の6名で、11月23日にドンミャンRCを訪れ、パヴェナさんに対し、募金で集まった全額を寄付名簿と共に直接お渡しして参りました。

パヴェナさんは、お忙しい政治活動の中、私たちのために時間を割いてくださり、直接寄付金を受取ってくださいました。

沢山のロータリアンの方々から沢山のご寄付を頂いたお陰で、パヴェナさんからは、心から感謝するという有難いお言葉も頂戴して私達も満足してまいりました。本当に有り難うございます。

また来年も寄付をしに行くつもりです。

毎年の事で恐縮ですが、再び協賛していただければ幸いです。

その場合には、下記口座にご送金の上FAXにて英文（ひらがなでも結構です。）で、フルネームと住所を下記宛にご連絡下さい。

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目 札幌毎日会館  
和田法律事務所 TEL011-281-0909 fax011-271-4336  
北海道パヴェナ基金支援委員会

記

北洋銀行道庁支店 普通預金 口座番号3473580  
口座名義 パヴェナ基金預かり口 代表 和田壬三

## ロータリーの友地区委員よりお知らせとお願い

ロータリーの友地区委員 黒澤昌彦 (札幌東RC)

地区内クラブの会長・幹事・雑誌委員長はじめ会員の皆様には、平素より「ロータリーの友」誌の購読および投稿を頂き有難うございます。新年1月号には、当地区よりROTARY AT WORKに3クラブの投稿記事が掲載されており、投稿意欲の高さを示しております。引き続き「友」誌への投稿をお願い致します。

この後、3月号には当地区の「地区のたより」が掲載されることになっております。

原稿を寄せられましたクラブの皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

ところで、クラブ雑誌委員長さんには、「友」誌配布についてのアンケートをお願い致したく近々アンケート用紙を送付いたしますので、ご回答宜しくお願い申し上げます。

さて、4月は「雑誌月間」になっております。クラブ雑誌委員長の皆様には、各クラブ会員の「友」誌を読んだ感想・意見等をお聞きして頂ければ幸いですので宜しくお願い申し上げます。

**ご協力に感謝申し上げます**

**ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます**

**マルチプル・ポール・ハリス・フェロー**

- 宝崎 錠 二会員 1回 (美 唄RC) 12月23日
- 倉増 秀 昭 会員 3回 (岩見 沢RC) 12月16日
- 平野井 繁 会員 1回 (静 内RC) 12月23日
- 中島 滋 会員 2回 (静 内RC) 12月23日

**ポール・ハリス・フェロー**

- 東出 覚 会員 (羽 幌RC) 12月16日
- 渡辺 修 会員 (赤 平RC) 12月23日
- 仙田 哲夫 会員 (赤 平RC) 12月23日
- 政角 勝雄 会員 (長 沼RC) 12月9日
- 藤崎 俊英 会員 (函館セントラルRC) 12月23日
- 橋本 洋一 会員 (苫小牧RC) 12月23日

**米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます**

**米山功労者**

- 吉田 正 治 会員 11回 (滝 川IRC) 12月27日
- 中島 健 会員 6回 (滝 川IRC) 12月27日
- 佐藤 佳 朗 会員 2回 (滝 川IRC) 12月27日
- 中島 誠 一 会員 2回 (滝 川IRC) 12月27日
- 伊藤 和 男 会員 1回 (滝 川IRC) 12月27日
- 今野 正 一 会員 1回 (滝 川IRC) 12月27日
- 井形 昇 会員 4回 (栗 沢RC) 12月21日
- 中村 一 二 会員 4回 (栗 沢RC) 12月21日
- 本田 正 一 会員 4回 (栗 沢RC) 12月21日
- 林 義 明 会員 3回 (栗 沢RC) 12月21日
- 伊藤 ア キ 会員 2回 (栗 沢RC) 12月21日
- 吉山 八 郎 会員 6回 (札幌 東RC) 12月27日
- 山崎 俊 彦 会員 4回 (札幌 東RC) 12月27日
- 神村 信一郎 会員 1回 (札幌 東RC) 12月27日
- 不動 信 之 会員 1回 (静 内RC) 12月7日

- 田頭 博 昭 会員 9回 (室 蘭RC) 12月6日
- 国田 雅 弘 会員 1回 (室 蘭RC) 12月9日
- 鈴木 久 雄 会員 6回 (室 蘭 東RC) 12月9日
- 荒井 孝 亘 会員 1回 (室 蘭 東RC) 12月9日
- 松田 幹 人 会員 1回 (室 蘭 東RC) 12月9日
- 鍋谷 操 子 会員 10回 (函館セントラルRC) 12月6日
- 小泉 護太郎 会員 7回 (函館セントラルRC) 12月6日
- 伊藤 道 雄 会員 1回 (函館セントラルRC) 12月6日
- 能戸 彰 会員 2回 (函館五稜郭RC) 12月9日
- 増田 定 雄 会員 1回 (函館北RC) 12月15日
- 市町 峰 行 会員 1回 (苫小牧RC) 12月22日

**米山功労クラブ**

- 滝 川 RC 22回 12月27日
- 岩 見 沢 RC 24回 12月15日
- 室 蘭 RC 6回 12月6日
- 苫 小 牧 RC 4回 12月22日

**100%『財団の友』  
会員クラブの紹介**

2004-05年度において、芦別RC、札幌あけぼのRC、新札幌RC、函館五稜郭RCが100パーセント『財団の友』会員クラブ（2004-05年度に米貨100ドル以上を年次プログラム基金に寄付）として認証されました。  
各クラブには各々写真の認証バナーが贈呈されます。  
ロータリー財団へのご支援に感謝申し上げます。





**例会変更について・文庫通信****例会曜日・例会時間・例会場の変更について**

- 室 蘭 東RC：2月18日（土）あれこれなんでも無料相談室 13：00～17：00  
場所：室蘭市民会館1F  
2月22日（水）振替休会
- 江 別RC：2月16日（木）移動夜間例会 18：30  
場所：花寿し（江別市5条7丁目 TEL011-382-3389）
- 江 別 西RC：2月11日（土）移動例会 11：00～  
場所：スノーフェスティバル会場（江別市役所裏）  
2月14日（火）休会（2月11日の振替）  
2月21日（火）休会（定款第5条により）  
2月28日（火）職場訪問例会 12：30～  
場所：江別市消防本部
- 苫小牧東RC：2月23日（木）夜間例会「12グループ4クラブ合同例会」 18：00～  
場所：グランドホテルニュー王子
- 苫小牧北RC：2月14日（火）夜間例会「クラブ協議会」18：00～  
場所：グランドホテルニュー王子  
2月28日（火）移動例会「傘寿の祝い」18：00～  
場所：グランドホテルニュー王子16F「グランビュー」

**文庫通信 220号**

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

**「興味深いシンポジウムから」**

- ◎「今ロータリーに求められる国際貢献」  
五月女光弘 2005 8p (D.2600地区大会)
- ◎「ロータリーの理念を再認識しよう」  
深川純一 他 2005 19p (D.2780地区大会)
- ◎「ロータリーの本質に目を向けよう」  
廣畑富雄 他 2004 8p (D.2700地区大会)
- ◎「ロータリーの魅力と仲間づくり そして未来へ」  
大川恒久・蝦名三保子 他 2005 14p (D.2590地区大会)
- ◎「どないすんねんロータリー」  
安平和彦 他 2005 18p (D.2680地区大会)
- ◎「つなぎ・育てたい・身近な文化」  
夏原晃子 他 2005 10p (「未来を拓く高校生会議」記録誌)  
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎「安全・安心・まちづくり 講演とパネルディスカッション記録誌」  
小田啓二 他 八戸南R.C. 2005 35p  
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「RYLAからロータリアンが得るもの」  
2005 24p (「全日本RYLA大会及びRYLAワークショップ報告書」)  
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

**ロータリー文庫**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506  
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

**国際ロータリー為替レート 2006年2月 米貨1ドル=114円**

## 地区カレンダー (2月・3月)

2月 世界理解月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	地区クラブ奉仕委員会 (札幌) 第3回RI指針検討会 (大阪)
5 (日)	米山奨学生選考試験 (札幌)
6 (月)	ガバナー・エレクト/米山奨学委員長合同セミナー (東京)
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	建国記念の日 函館大学RAC創立35周年記念式典 (函館)
12 (日)	
13 (月)	2007-08国際親善奨学生募集開始
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	～23 (木) 国際協議会 (米国・サンディエゴ)
17 (金)	
18 (土)	第4・5グループIM (札幌) 全国ローターアクト研修会 (大阪)
19 (日)	全国ローターアクト研修会 (大阪)
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	派遣GSEチーム出発 (タイ第3350地区)
25 (土)	第2グループIM (滝川)
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	

3月	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	2006年3月終了米山奨学生歓送会 (札幌)
5 (日)	地区チーム研修セミナー (札幌)
6 (月)	
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	ロータリーの友委員会 (東京)
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	地区ローターアクトセミナー (札幌) 2006-07国際親善奨学生合宿オリエンテーション
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	春分の日
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	地区R財団セミナー、米山セミナー (札幌) 会長エレクト研修セミナー (札幌) 派遣GSEチーム帰国予定
26 (日)	会長エレクト研修セミナー (札幌)
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	
31 (金)	

## 12月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,064人 (98人)
増加会員数	78人
当月平均出席率	84.92%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.12.31	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	89.81
	羽 幌	4	49	45	-4	1	78.80
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	77.50
	小 平	3	13	13	0	0	79.49
	留 萌	3	49	50	1	0	93.79
	小 計		159	156	-3	3	83.88
	2	赤 平	3	34	34	0	2
芦 別		4	48	48	0	0	85.47
砂 川		3	50	52	2	0	95.24
滝 川		4	106	109	3	1	77.00
小 計			238	243	5	3	86.40
3	美 唄	4	41	41	0	0	90.71
	江 別	3	36	38	2	1	93.69
	江 別 西	4	35	36	1	3	90.96
	岩 見 沢	3	95	94	-1	0	90.18
	岩 見 沢 東	3	35	36	1	4	86.83
	栗 沢	3	24	24	0	1	90.27
	栗 山	3	26	28	2	2	93.36
	当 別	3	38	36	-2	1	81.58
小 計		330	333	3	12	89.70	
4	札 幌	3	123	137	14	0	97.55
	札幌あけぼの	3	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	23	25	2	4	81.94
	札 幌 北	4	43	41	-2	5	96.88
	札幌モーニング	3	53	51	-2	0	69.94
	札 幌 西	3	72	71	-1	4	91.41
	札 幌 西 北	3	48	49	1	2	90.43
	札 幌 手 稲	4	41	40	-1	1	97.59
小 計		419	430	11	17	90.72	
5	札 幌 東	4	121	116	-5	0	97.35
	札 幌 清 田	3	28	30	2	7	100.00
	札 幌 幌 南	3	70	69	-1	0	100.00
	札幌真駒内	3	46	47	1	3	90.67
	札 幌 南	4	89	93	4	0	98.13
	札幌大通公園	3	19	18	-1	4	66.66
	札幌セントラル	4	17	18	1	5	70.40
	新 札 幌	3	32	34	2	2	94.45
小 計		422	425	3	21	89.71	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	05.12.31	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	79.63
	倶 知 安	3	50	50	0	3	54.00
	小 樽	4	64	70	6	1	82.95
	小 樽 南	3	82	79	-3	0	87.61
	小 樽 銭 函	4	25	25	0	3	90.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	86.35
	余 市	3	44	45	1	4	89.60
	小 計		304	310	6	11	81.45
7	千 歳	5	61	65	4	3	84.60
	千歳セントラル	3	27	28	1	0	89.30
	恵 庭	3	49	49	0	0	87.19
	北 広 島	3	17	17	0	2	90.20
	長 沼	3	18	18	0	3	85.19
	由 仁	4	13	13	0	0	98.08
	小 計		185	190	5	8	89.09
8	え り も	5	23	23	0	0	78.26
	三 石	4	16	17	1	1	88.20
	様 似	3	18	18	0	1	69.44
	静 内	3	66	73	7	0	73.27
	浦 河	3	33	35	2	1	100.00
	小 計		156	166	10	3	81.83
9	伊 達	3	55	59	4	0	81.35
	室 蘭	4	50	50	0	0	77.55
	室 蘭 東	3	43	47	4	0	93.00
	室 蘭 北	3	37	38	1	2	100.00
	登 別	3	36	35	-1	2	83.78
	洞 爺 湖	3	9	9	0	0	81.50
	小 計		230	238	8	4	86.20
10	函 館	4	91	89	-2	0	85.11
	函 館 亀 田	4	43	45	2	1	80.00
	森	4	42	41	-1	0	82.40
	七 飯	3	20	22	2	0	62.10
	長 万 部	3	10	10	0	0	66.00
	函館セントラル	4	0	30	30	2	67.50
小 計		206	237	31	3	73.85	
11	江 差	4	17	17	0	0	82.50
	函館五稜郭	4	63	63	0	0	92.86
	函 館 東	3	43	42	-1	4	83.33
	函 館 北	3	32	32	0	0	87.10
	上 磯	4	26	24	-2	2	63.50
小 計		190	187	-3	7	79.88	
12	白 老	3	23	23	0	0	80.00
	苫 小 牧	3	56	58	2	1	63.70
	苫 小 牧 東	4	31	30	-1	3	86.21
	苫 小 牧 北	4	37	38	1	2	90.00
	小 計		147	149	2	6	79.98
合 計		2,986	3,064	78	98	84.92	

**SERVICE** Above Self



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 9*  
*2006.* **3**



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
タイ国ノンカイRC訪問ツアー 2	03
栗山ロータリークラブ 防犯パトロール隊編成	03
ローターアクト海外研修	04
世界ローターアクト週間にちなんで	05
カンボジア国際奉仕活動報告	06
会員訃報・新入会員のご紹介	07
ご協力に感謝申し上げます	08
2007-08年度ロータリー財団国際親善奨学生募集について	08
例会変更について・文庫通信	09
地区カレンダー (3月・4月)	10
出席報告	11

---



■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

## 仮面(ペルソナ)を脱ぐ場所・ ロータリーの例会

北国にも日一日と春の兆しが見えてきました。早いもので季節のうつろいと共に私も会長幹事さんの任期もまもなくローテーションします。あと3ヶ月、年度当初の活動計画をチェックしてください。そして次年度の会長幹事さんへの引継ぎ準備をお願いします。

3月13日を含む1週間は世界ローターアクト週間として、アクターと提唱クラブがともに共通の活動に参加するように求められています。

ロータリーはクラブという組織があつてこそ、その目的が達成されます。

同じようにローターアクトクラブ(インターアクトも同じ)は次代を担う青年男女がロータリークラブと同じくクラブ制度の長所を活かして自己研鑽のため、奉仕活動をする目的で生まれました。ローターアクトについては地区の担当委員長さんにお任せして、今月は「クラブ」について若干考察してみましょう。ではクラブ制度とはそもそもどのようなものでしょうか。人は一人では切磋琢磨できません。仏道を修行するにも叢林、僧林という言葉のとおりおおぜいの仲間が必要です。志を同じくする励まし合える同志が必要です。クラブ例会への出席は、これらのことをかなえてくれます。

クラブという団体は主にアングロサクソンの間で社交機関として発達しました。

古代ギリシャやローマ時代に類似の組織はありました。17世紀には、シェークスピアも会員であったブレッド・ストリート・クラブが生まれ流行のさきがけとなりました。歴史の無い国アメリカでは、クラブへの所属は、家柄や血筋に変わって身分の保証となりました。そのほかクラブは孤独を恐れ気の合った仲間と会いたいという集合欲をはじめとするさまざまな欲求(音楽、劇、スポーツ、コレクション、慈善など)を充足するだけでなく、家庭の代用ともなりました。クラブの要件の一つに会員のレベルの共通性が挙げられます。また本質的には親睦を目的とする活動でありわが国でも頼母子講、市町村の青年会も本質的にはクラブです。国際的な組織として、特にロータリーは会員同士の親睦の上に奉仕の理想を実践するクラブなのです。クラブにも統制力の強いもの、また比較的統制力のルーズなものがありますが、ロータリーは会員相互のアイデアの交換に重点を置くため出席に厳しく、統制力の強い組織です。ロータリーはクラブという制度を巧みに活用して世界170カ国に発展してきました。

先ほどクラブ制度の長所は志を同じくする仲間の切磋琢磨ということを申し上げましたが、もう一つ大事なことはクラブの会合で、本当の自分自身に帰ることです。

我々は普段「ペルソナ=仮面」をかぶって生活しています。ペルソナとはもともと演劇で役者がつける「仮面」を意味するラテン語で『人格・性格』を現す英語の「パーソナリティ」の語源です。人は「仮面」をつけることによって自分の素顔(内面)を人目にさらさず自我が守られます。社会の一員として生きていくため場面に応じて複数のペルソナを「役割」として使い分けます。人は「いくつもの取り外しの聞く顔」を持っています。社長としての顔、父親としての顔、夫としての顔など成長するに従い、人は社会の人々の期待する人物を演じるようになります。逆に言えば、社会生活を営むためには適切に自分を演じる必要があります。これらは全て自分の外側で演じられます。つまり自分の内面と外面の間に存在する仮面といえるでしょう。無論その仮面は社会生活を営む上で重要かつ必要なものであるからこそ身についたもので、今後も大切にしていかなければならないものが含まれています。ただしそのペルソナによって自分の本質が強く押さえ込まれている場合があることを知っておくことが必要です。

あなたのペルソナが強ければ強いほど、自分の本質を押さえ込み、仮の姿で現実を生きていることになるわけですから、あなたにとってそのペルソナが重要であればあるほどペルソナを外すことは難しくなります。ペルソナはいふなれば身につけていれば生きやすくなるものです。しかしペルソナの持つ役割に支配されてしまえば本当の自分を見失ってしまいます。全ての人間は自分で自覚していない素晴らしい能力を持っています。日々の生活の中では、自分を見つめ、自分を知り、評価することは不可欠で、時には仮面を外して自分自身の真実の姿を鏡に映してみることも大切なことです。真実の自分を探すことで、自分を活かし、他者を活かす知恵を知り更に組織や社会で自分の果たすべき本当の役割について学ぶことが出来ます。

ロータリーの例会は仮面を脱ぐ場所なのです。例会場の入り口で、浮世で身につけたもの、すなわち企業の大小、社会的地位や、名誉、金銭の多寡などを脱ぎ捨てて例会に臨みます。ロータリアンは資本主義の厳しい競争社会の職場から例会に出席します。ロータリーの例会場は唯一競争の無い空間なのです。この平等で競争の無い空間に身を置きますとロータリアンの心はリフレッシュして少年の心に戻ります。ポール・ハリスは例会の一時間は子供に返り神様になる時間だといいました。社長業を長く続けると社長の顔しか出来ない人が出てきます。いわゆる社長病です。役割に応じて視点を変えることは必要です。

しかし子供の視線でしか見えないものもたくさんあります。ロータリーの例会は仮面を脱ぎ、純粋な少年時代の自分自身に戻り、見失った自分の内面と対話することなのです。

ポール・ハリスは自伝の中で「大都会シカゴの小さなグループに集まってきた会員には、ロータリーは丁度砂漠のオアシスのようでした。会員は会場の入り口で肩書きをはずし、皆もとの少年に戻るのです。私にとってはクラブの集会に出ることは、故郷の谷間に帰るのと同じことでした」と述懐しています。

人間の本質は洋の東西を越えて変わらぬもので、ポールの述懐と同じく、禅の訓えの中にもペルソナを脱ぎ本来の自分自身を取り戻す方法が伝えられています。中国の宋の時代、古来より伝わる公案を取り上げた無門関という一巻があります。その中で瑞巖老師の「主人公」という挿話があります。老師は毎日毎日、「おい、主人公よ」と自分自身に呼びかけて、「はい」「はっきり目覚めているかね」「はい、はっきりしています」と自問自答したといわれます。

自分自身が「主人公」なのは当たり前なのに、それをわざわざ主人公と呼びかけるのはユーモラスです。しかしよく考えてみると私たちはいつも日ごろ仮面をかぶっていて、いついかなるときでも本当の自分自身、「主人公」であると言えません。このように「主人公」とは、実は私たち一人ひとりの主体性、人間性のことです。その主体性が常にしっかりと確立し、人間性にはっきり目覚めていること、それが「主人公」であるということなのです。そう考えるとなかなか「主人公」であるということは容易なことではないとお分かりいただけると思います。私たちは、ややもすると、周囲に影響されて、あっちへ行ったりこっちへ行ったり、ふらふら、うろうろしてしまいます。また、ともすれば自分の人間性を見失っているのが現状です。ですからまずこの「主人公」をはっきりとさせ、不動のものとしなければなりません。瑞巖老師のエピソードは確かにユーモラスですが、しかしひるがえて反省してみると、果たして今日どれほどの人が、自ら「主人公」と自信を持って問いかけ、「はい」と答えられるでしょうか。

人は時には仮面をはずして自分自身の真実の姿を鏡に映してみることも大切なことです。人間が成長する過程では、自分を見つめ、自分を知ることにもまた不可欠なことで、真実を知ることは同時に自分のペルソナを知ることでもあります。その意味でロータリーの例会は人生の道場であり、ロータリアンが仮面を脱ぐ場所です。もう数ヶ月すると私もガバナーの仮面をはずし、クラブの一会員として少年の心に戻りささやかながら奉仕の道を歩みたいと思います。



## タイ国ノンカイRC訪問ツアー 2 ——救急車の贈呈式を行いました——

世界社会奉仕(WCS)委員会  
委員長 齋藤修弥 (室蘭RC)

昨年11月2日から6日にかけて実施したタイ国ノンカイRC訪問ツアーの続報です。11月3日にノンカイ県の県庁を訪れスフォ・ラワンシリ知事に救急車のキーの贈呈式を行いました。これは昨年3月末に滝川RCからノンカイRCに寄贈された救急車です。毎日使用しているレスキュー隊の隊員によると、これまでの半年間で約2万kmを走行したという事です。つまりノンカイ県は約50kmの範囲にあるため、1度出動すると長距離を走ることが多く、出来ればもう一台救急車があればと話していました。セレモニーではスフォ・ラワンシリ知事から熱のこもった感謝の言葉と記念品の贈呈があり、こちらからも遠藤秀雄PGが記念品を贈りました。ちなみにレスキュー隊の隊長は今年のノンカイRCの会長が務めており、多数のロータリアンがボランティアで参加しているそうです。やはり若いロータリアンが多いクラブは活動内容が違ふと感心しました。2510地区内のRCの皆様、若し寄贈出来る救急車が有りましたら当委員会にご連絡のほど、宜しく御願いたします。私達はこれからも末永く交流を深めることを約束してノンカイを後にしました。



## 栗山ロータリークラブ 防犯パトロール隊編成



栗山ロータリークラブ「新世代奉仕委員会」では、社会奉仕活動の一環として、会員による「防犯パトロール隊」を編成しました。

ご承知のように、最近、小学生女児3人が殺害されると言う痛ましく悲惨な事件が相次いで発生しました。この様なことは、都市、過疎地を問わずどこの地域に於いても起こり得ると言っても過言ではありません。これらの防止策として、関係者はあらゆる手段を駆使して対処しようと模索しているのが現状です。しかしながら、いずれも特効薬・万能薬とは言えない状況にあります。

学校、家庭、地域の連携が必須であります。時宜を得てよりベターな方法として、地域全体で大人が弱い子供達を守って行かなければなりません。

このような考えから、我がクラブは、会員の奉仕により「防犯用ジャンパー・チョッキ・帽子」(緑色に統一)の3点セットを購入し、地域に見える開かれたロータリーとして率先して防犯活動を開始したところです。





## ローターアクト海外研修 2006年1月21日～25日 タイ チェンマイ、バンコック

ローターアクト委員会

委員長 柳

孝 一 (札幌南RC)

今回訪れたタイ、チェンマイにあるバーンサバイは、2002年7月7日日本人女性の手によって開設されたHIV感染者とAIDS患者のためのシェルターです。

2510地区のローターアクトとの関わりは2年前にさかのぼります。2004年の海外研修は本年と同じタイでした。タイ中部のナンブー寺というHIV感染者とAIDS患者約400人の収容施設に伺いました（ナンブー寺は日本のテレビで放送されたり、地区外のRCも支援しているので割と有名です）。出発の1週間前に、現地の日本人コーディネーターの方に、「タイ北部の施設で古着を必要としている施設があるので、持参してきて欲しい」とのリクエストがあり、参加者はトランクいっぱい古着を携えました。その古着がコーディネーターの手でバーンサバイに渡り、また、寄贈した古着に対し、お礼状やニュースレター等を数回送っていただきました。また昨年の地区大会、ローターアクトのブースでバーンサバイへの寄付を募り、ロータリアンの皆さんからの浄財を送りました。

今年度の海外研修は実際に「バーンサバイを見に行こう」と企画をしました。事前にバーンサバイで「何が必要か、何が出来るか」をメールや電話で打ち合わせをし、毛布や古着、それにキッチンハイター等の衛生用品が不足しているとのことで、クラブ単位で収集しました。筆記用具等の学用品や真駒内養護学校から提供いただいた中古車いす2台、総勢14名の航空機手荷物持ち込みぎりぎりまで運びました。



実際にバーンサバイで必要ない物もたくさんあったようですが、地域のボランティアを通じストリートチルドレン等に提供するとのことで大変喜んでいただきました。特にキッチンハイターは重宝しているそうです。

現在タイには100万人ちかいHIV感染者と約20万人のAIDS患者がいます。タイでは感染者と患者とその家族は地域がサポートするという考えが基本にあります。何らな事情で家族がケア出来ない、または市民権がないため十分なサポートを受けられない人が多くいます。そのような方がバーンサバイに入寮しています。現在、

入寮者は女性3名で、ここで心身のケアを行い社会へ戻る準備をするという自立を育成するための施設として活動しています。ここでは家族としての関わりを重視するため、施設があまり大きくないため多数の入寮者を受け入れることは出来ないようです。施設の老朽化に伴い今年の夏、規模が少し大きくなった新しいバーンサバイが誕生することなどを施設で働く早川文野さん（札幌出身）に詳しくお伺いしました。持参した物品と一緒に地区内アクターから集められたお金にロータリアンからの追加も合わせて献金して参りました。

実際に現場でAIDSの状況、施設の説明、患者さんのことなどを生の話として聞く事が出来、有意義で意味深い経験が出来たものと思っています。その後のチェンマイ、バンコクの観光もとても楽しかった事と、また参加したアクターに深い友情が育ったことを付け加え、報告いたします。

参加者RAC11名、RC3名 計14名





## 世界ローターアクト週間にちなんで

地区幹事 矢橋 潤一郎 (札幌東RC)

世界で最初のローターアクトクラブは、米国ノースカロライナ州のノースシャーロットRCによる提唱で、1968年3月13日に結成されました。RI理事会は1993年、ローターアクト創設25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」に指定しました。

社会奉仕プログラムとして設けられたローターアクトですが、38年経った現在、新世代プログラムの中核を担うようになりました。それに伴い「支援すべき若者」から「ロータリアンのパートナー」へと期待感も高まっています。また道外・国外では、ローターアクトOBの中からRCへの入会者が年々増加、ガバナーを務めるローターアクトOBも現れています。そうしたことから「インターアクト卒業生の受け皿」から「将来のロータリアンの育成」へと位置付けも変化しています。

ここでは地区内外のローターアクトの最新活動状況をご紹介します。

### ■函館大学ローターアクトクラブ35周年記念式典・祝賀会

2月11日、ホテルロイヤル柏木で開催（提唱 函館東ロータリークラブ）。酒井ガバナーノミニーほかロータリアン65名、RACは2500地区から4名、当地区28名。学長ほか関係者を含め、総勢123名の参加。

式典が終わったところで、函大RAC和田会長が隔って涙していました。聞けば、式辞でうまく喋れなかったのが悔しい、と。そんな失敗があったとは気付かないほど立派な挨拶でした。かわいい顔をしながら芯の強さが窺えます。受付から祝賀会、最後のお見送りまで、実に見事。大学RACは道内唯一となってしまいましたが、こうして見ると社会人RACに負けていません。

68年にRAプログラムが始まって今年で38年。同RACの35周年というのは相当な歴史です。一貫して学生のみで運営してこられたのは、学生の資質の高さと同時に、提唱RCの諦めない奉仕の精神によるものでしょう。

尚、祝賀会終了後は地区RA行事の温泉交流会に移行。



函館東RC 提供



### ■第18回 全国ローターアクト研修会

2月18・19日、関西国際空港近くの全日空ゲートタワーホテル大阪で開催。ホストは2640地区（大阪南部・和歌山）。ロータリアン757名、アクター594名の登録。当地区からは五十嵐地区RA委員が川下地区RA代表ほか8名のアクターを引き連れて参加しました。地区RA委員長や地区RA代表、ノミニー、地区RA幹事などの分科会が行われ、夜の懇親会とともに全国的な情報交換の場となりました。

ところで五十嵐地区RA委員は92年、札幌で開催されたアジア第1第3ゾーン研修会（全国研修会の前身）にホスト地区RA代表として全国から地区役員を迎えられました。そのとき筆者は、大阪のRAC会長として、札幌へ地区RA代表らを送り出す立場でした。余談ですが。

この原稿は、大阪から帰る道すがら、執筆しています。明日の締め切りに間に合えば幸いです。

今回は来年2月、金沢での開催です。





## カンボジア国際奉仕活動報告



アンコールワット朝景



バタンバンの子供

# 札幌西北RC カンボジア国際奉仕活動報告 「カンボジア、バタンバン地方に学習教材を贈る」

訪問日程／2006.1.8～1.12

奉仕団 大島会長、加藤国際奉仕委員長、井口会員、中嶋会員、小川会員

札幌西北ロータリークラブ会員5名は、1月7日の早朝厳冬下の中、新千歳空港を出発。成田経由バンコクに深夜着、翌日カンボジアのシエムリアップ空港に降り立つ。シエムリアップ空港には、この度の窓口であるNPO松本さんが出迎えてくれました。シエムリアップを経てカンボジア第2の都市であるバタンバンに向け移動。人口は定かではない。この周辺は数年前まで反政府組織（ポルポト派）の活動地域であったが、反政府組織がほぼ壊滅状態になった現在は、一般旅行が可能になった。交通の便は悪く、陸路又は水路のいずれかしかなく、距離にして80km位の道程であるが、往路は悪路と埃が漂うコースに6時間を要し、目的地バタンバンに入りました。松本さんの事務局に立寄り、今回の目的である奉仕活動の品目の目録を手渡し、スケジュールの調整会合を行いました。

この度の奉仕活動では、当クラブ単独で、日本円30万円を

拠出し、学習教材を本箱と一緒に贈呈することになりました。地区で6校をセレクトして配布することになり、早速訪問、現地のスタッフと一緒に目的校に向かいました。

1校目オータキ中学校 2校目ロンチェリ中学校 3校目ワナイロシエセカンドハイスクール 4校目フノントハイスクールの順で、当クラブ旗と教材一式を持参、贈呈セレモニーを行いました。時間帯により生徒さんが多く参加された学校や、残り組の学生さんの出席のもと、当クラブ会長と学校長との交流挨拶が交わされました。

席上大島会長は戦後日本復興と豊かになった日本の現状を語り、国際ロータリーの奉仕活動もPRし、今後若い世代に期待していると結びました。全生徒の出迎えと見送りの中、爽やかな一連の行事に満足感を覚え、近くて遠いカンボジアの地で無事奉仕活動を終えることが出来、感無量なものでありました。

会報委員レポート 小川真治



教材（本棚）一式贈呈



校長先生に教材贈る



ロイチェリのハイスクールで贈呈



フノントハイスクールにて



オータキハイスクールにて



**会員計報・新入会員のご紹介**

**会 員 計 報**



**藤 井 清** 会員 (札幌東RC)  
2005年12月30日ご逝去(享年92歳)

**【ロータリー歴】**

1962年(昭和37年)10月4日入会  
1963～1964年度 会報委員長  
1965～1966年度 幹事  
1969～1970年度 職業分類委員長  
1986～1987年度 米山奨学委員長  
1987～1988年度 音楽委員長  
2002年3月より名誉会員

**【表 彰】**

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)  
米山功労者(3)



**藤 田 信 一** 会員(苫小牧北RC)  
2006年1月14日ご逝去(享年83歳)

**【ロータリー歴】**

1970年(昭和45年)1月20日入会  
苫小牧北ロータリークラブチャーターメンバー  
1971～1972年度 副会長  
1972～1973年度 第4代会長  
1992年 苫小牧東ロータリークラブ設立特別代表  
その他多くの理事・委員長を務めました。

**【表 彰】**

35年間100%出席  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2)  
米山功労者(3)



**田 中 正 臣** 会員 (苫小牧RC)  
2006年1月26日ご逝去(享年77歳)

**【ロータリー歴】**

1971年(昭和46年)6月4日入会  
1989～1990年度 会長  
2000～2001年度 第2510地区 ガバナー補佐

**【表 彰】**

28年間100%出席  
ポール・ハリス・フェロー

**新入会員のご紹介**

(敬称略)



**木野村 英 明**  
岩見沢東RC  
平成17年12月6日入会



**中 村 一 重**  
三石RC  
平成18年1月1日入会



**岩 崎 三 日 子**  
札幌大通公園RC  
平成18年1月13日入会



**赤 山 登**  
岩見沢RC  
平成18年1月20日入会



**半 田 善 行**  
小樽RC  
平成18年1月24日入会



**田 中 裕 之**  
札幌モーニングRC  
平成18年1月25日入会



**柳 沢 則 昭**  
苫小牧RC  
平成18年2月10日入会

**ご協力に感謝申し上げます**

**ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます**

**マルチプル・ポール・ハリス・フェロー**

津田政勝 会員 1回 (江別RC) 12月12日  
小坂昭男 会員 2回 (岩見沢RC) 1月13日

鈴木俊幸 会員 2回 (札幌東RC) 1月31日  
酒井正人 会員 2回 (函館五稜郭RC) 1月13日  
山本正幸 会員 1回 (苫小牧RC) 1月27日

**米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます**

**米山功労者**

奥山裕章 会員 1回 (美唄RC) 1月23日  
平田勝美 会員 2回 (札幌手稲RC) 1月27日  
阿部功 会員 1回 (恵庭RC) 1月26日  
村上利雄 会員 2回 (恵庭RC) 1月26日

菅俊治 会員 3回 (伊達RC) 1月17日  
酒井正人 会員 6回 (函館五稜郭RC) 1月13日

**米山功労クラブ**

札幌手稲 RC 20回 1月27日

**2007-08年度ロータリー財団  
国際親善奨学生募集について**

国際ロータリー  
第2510地区  
(北海道南西部)

**[奨学金の概要]** 奨学金の種類と支給総額上限は次の通りです。募集人数はすべて若干名です。

- |   |              |     |
|---|--------------|-----|
| 1. 3カ月文化研修奨学金 (3カ月の語学・文化研修費用の援助)        | US \$ 12,000 | 若干名 |
| 2. 6カ月文化研修奨学金 (6カ月の語学・文化研修費用の援助)        | US \$ 19,000 | 若干名 |
| 3. 1学年度奨学金 (1学年度の留学費用の援助)               | US \$ 26,000 | 若干名 |
| 4. マルチイヤー奨学金 (学位取得を目的とした留学費用の援助 - 2年間で) | US \$ 26,000 | 若干名 |

**[応募資格]**

1. 本奨学金の趣旨 (申請書類参照) に賛同する人
2. 日本国籍 (特別永住者を含む) を持ち、2007年7月に20歳以上であること
3. 応募時に日本国内に居住しており、第2510地区 (北海道南西部) 内に、本籍か現住所、あるいは勤務先、通学先があること
4. ロータリークラブ会員 (退会後3年以内を含む) とその家族 (2親等以内) ならびにクラブ被雇用者でないこと
5. 文化研修奨学金の場合、2007年7月までに大学2年の課程 (専門学校、短大を含む) を修了しているか、または高卒後2年以上の職業経験があり、研修予定国の言語について、大学初年次程度の勉学を修了していること
6. 1学年度あるいはマルチイヤー奨学金応募者で、英語圏希望者は応募時にTOEFL・CBTで213点 (PBTで550点) 以上を取得していること (留学時にはCBTで250点 (PBTで600点) 以上が望ましい)。他の言語の場合は、応募時にそれぞれの言語の検定試験の上位級に合格していること。ただし、合格後に、当該言語のレベル判定試験を受けることを求められる場合があります。詳細は送付する申請資料をご覧ください。

**[応募期間]** 2006年2月13日 - 4月14日 (地区内ロータリークラブへの申請書類提出期間)

**[申請資料請求先・問合せ先]** 〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3階  
国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所  
電話/011-207-2510 メール/d2510go@wave.plala.or.jp

## 例会変更について・文庫通信

### 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 江別西RC：3月7日（火）移動例会 18：00～ 場所：えぼあホール（江別市大麻中町26-7）  
3月14日（火）休会（定款第5条第1節により）  
3月21日（火）休会（法定休日のため）
- 岩見沢RC：3月17日（金）親睦夜間例会 18：00～ 場所：つば八（岩見沢市6条西4丁目）  
岩見沢東RC：3月21日（火）休会（法定休日のため）
- 室蘭RC：3月30日（木）休会（定款第5条第1節により）  
室蘭東RC：3月29日（水）休会（定款第5条第1節により）  
室蘭北RC：3月21日（火）休会（法定休日のため）  
3月28日（火）夜間例会 18：30～
- 苫小牧RC：3月31日（金）休会（定款第5条第1節により）  
苫小牧東RC：3月9日（木）移動例会「ボウリング大会」 18：00～ 場所：スガイボール（イオン内）  
3月30日（木）休会（定款第5条第1節により）  
苫小牧北RC：3月21日（火）休会（法定休日のため）  
3月28日（火）移動例会 18：00～ 場所：スナック純

## 文庫通信 221号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 「魅力あるクラブづくり」

- ◎「魅力あるクラブづくり」  
2005 34p（RI会長主催祝賀会議分科討論会テーマ別寄稿集）
- ◎「ロータリー・クラブの活性化について」  
菅生浩三 2006 4p（D.2650月信）
- ◎「『超私の奉仕』について」  
曾我隆一 2005 4p（D.2840月信）
- ◎「ロータリーとは？-超私の奉仕-」  
成川守彦 2005 12p（D.2770指導者育成セミナー）
- ◎「ロータリーに学ぶ 指導者育成について」  
田中作次 2005 15p（D.2770指導者育成セミナー）
- ◎「ロータリーの標語に関連し私の経験を語る」  
三國智造 2005 6p（D.2830月信）  
[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎「ロータリーとは何か（ロータリー入門）」  
松崎勝一 2005 11p  
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「地区リーダーシッププラン(DLP)クラブリーダーシッププラン(CLP)について」  
佐野正行 2006 2p（D.2550月信）
- ◎「クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）の重要性」  
大久保 昇 2006 2p（D.2650月信）
- ◎「ロータリー理解度検定試験 楽しみながらロータリーが解る！」  
2006 11p（D.2500月信）  
[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

地区カレンダー (3月・4月)

3月	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	
4 (土)	2006年3月終了米山奨学生歓送会 (札幌)
5 (日)	地区チーム研修セミナー (札幌)
6 (月)	
7 (火)	ガバナー指名・諮問委員会 (札幌)
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	
12 (日)	
13 (月)	ロータリーの友委員会 (東京)
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	地区ローターアクトセミナー (札幌) 2006-07国際親善奨学生合宿オリエンテーション
19 (日)	
20 (月)	
21 (火)	春分の日
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	地区R財団セミナー、米山セミナー (札幌) 会長エレクト研修セミナー (札幌) 派遣GSEチーム帰国
26 (日)	会長エレクト研修セミナー (札幌)
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	
31 (金)	

4月 ロータリー雑誌月間	
1 (土)	
2 (日)	
3 (月)	
4 (火)	
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	
9 (日)	地区協議会 (札幌)
10 (月)	
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	第3700地区 (韓国) 地区大会
15 (土)	第3700地区 (韓国) 地区大会
16 (日)	
17 (月)	
18 (火)	
19 (水)	
20 (木)	
21 (金)	
22 (土)	第10・11グループ合同IM (函館)
23 (日)	
24 (月)	
25 (火)	
26 (水)	
27 (木)	
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	

## 1月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,057人 (99人)
増加会員数	71人
当月平均出席率	83.37%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.1.31	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	91.43
	羽 幌	4	49	45	-4	1	77.02
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	76.60
	小 平	4	13	13	0	0	76.92
	留 萌	3	49	50	1	0	95.05
	小 計		159	156	-3	3	83.40
	2	赤 平	4	34	35	1	2
芦 別		4	48	46	-2	0	80.95
砂 川		3	50	53	3	0	97.33
滝 川		4	106	105	-1	1	75.00
小 計			238	239	1	3	84.93
3	美 唄	4	41	41	0	0	90.71
	江 別	3	36	38	2	1	86.48
	江 別 西	4	35	36	1	3	88.88
	岩 見 沢	3	95	95	0	0	89.94
	岩 見 沢 東	4	35	36	1	4	87.90
	栗 沢	3	24	23	-1	1	94.00
	栗 山	4	26	28	2	2	96.19
	当 別	4	38	36	-2	1	84.03
	小 計		330	333	3	12	89.77
4	札 幌	3	123	137	14	0	98.37
	札幌あけぼの	3	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	81.25
	札 幌 北	3	43	41	-2	5	95.83
	札幌モーニング	3	53	52	-1	0	75.67
	札 幌 西	4	72	71	-1	3	91.57
	札 幌 西 北	3	48	49	1	2	95.24
	札 幌 手 稲	4	41	40	-1	1	97.50
	小 計		419	431	12	16	91.93
5	札 幌 東	4	121	117	-4	0	98.13
	札 幌 清 田	4	28	28	0	7	100.00
	札 幌 幌 南	3	70	69	-1	0	100.00
	札幌真駒内	3	46	47	1	3	91.68
	札 幌 南	3	89	91	2	0	94.91
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	78.94
	札幌セントラル	4	17	16	-1	5	70.00
	新 札 幌	3	32	34	2	2	91.11
	小 計		422	421	-1	21	90.60

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.1.31	増減	内女性	
6	岩 内	3	28	30	2	0	67.95
	倶 知 安	3	50	50	0	3	52.00
	小 樽	4	64	71	7	1	79.39
	小 樽 南	4	82	80	-2	0	81.07
	小 樽 銭 函	3	25	25	0	3	88.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	84.08
	余 市	3	44	45	1	4	73.30
	小 計		304	312	8	11	75.11
7	千 歳	3	61	67	6	4	83.10
	千歳セントラル	4	27	28	1	0	82.20
	恵 庭	3	49	49	0	0	78.99
	北 広 島	3	17	17	0	2	84.32
	長 沼	3	18	18	0	3	88.89
	由 仁	4	13	13	0	0	78.85
	小 計		185	192	7	9	82.73
8	え り も	4	23	23	0	0	88.04
	三 石	3	16	18	2	1	96.20
	様 似	4	18	18	0	1	80.55
	静 内	3	66	73	7	0	78.53
	浦 河	4	33	35	2	1	67.57
	小 計		156	167	11	3	82.18
9	伊 達	4	55	60	5	0	78.33
	室 蘭	3	50	49	-1	0	74.15
	室 蘭 東	3	43	47	4	0	93.80
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	83.55
	登 別	3	36	35	-1	2	83.33
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	83.40
	小 計		230	238	8	4	82.76
10	函 館	4	91	91	0	0	82.61
	函 館 亀 田	3	43	45	2	1	71.11
	森	3	42	41	-1	0	77.30
	七 飯	4	20	20	0	0	63.70
	長 万 部	3	10	8	-2	0	70.00
	函館セントラル	4	0	30	30	2	79.17
	小 計		206	235	29	3	73.98
11	江 差	4	17	17	0	0	77.50
	函館五稜郭	4	63	66	3	0	88.21
	函 館 東	4	43	41	-2	4	81.14
	函 館 北	4	32	33	1	0	80.82
	上 磯	4	26	23	-3	2	63.00
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	189	-1	7	76.78	
12	白 老	4	23	21	-2	0	64.00
	苫 小 牧	3	56	57	1	1	73.49
	苫 小 牧 東	4	31	29	-2	3	86.21
	苫 小 牧 北	4	37	37	0	3	93.06
	小 計		147	144	-3	7	79.19
合 計		2,986	3,057	71	99	83.37	

**SERVICE** Above Self





# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 10*  
*2006.* **4**



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
2006年国際協議会の報告	03
ロータリーの友委員会報告	04
地区チーム研修セミナー開催について	05
第2グループIM開催される	06
第8グループおじゃまします例会	07
外国人による日本語弁論大会in苫小牧	08
会員訃報・新入会員のご紹介	09
ご協力に感謝申し上げます	10
例会変更について・文庫通信	11
地区カレンダー	12
出席報告	13

---

■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

## 悟後の悟り・ロータリーは生涯学習の場

その人の人生においてロータリーと深く関わる人もいれば、ほどほどに付き合う人、ロータリーに席を置くだけの無関心の人もいるでしょう。人生とは何かという広く漠然とした問題に私は答えることは出来ません。しかし馬齢を重ねてきた自分の人生を省みて、なるほどこれが人生かとはっきり感ぜさせられるものがあります。それは私を一人の人間として育ててくれたもの、現に育ててくれつつあるものつまり出会いであります。私は自分一個の力で生きているわけではなく、自力で成長しているわけでもありません。さまざまの先人の残してくれた知恵、あるいは現在の先輩友人の導きによって人間となってきたわけで、特に私はロータリーで結ばれた友情に人生の人生たる証しを学ばせてもらっています。

ロータリーは単なる偶然の出会いや、好き嫌いでなく組織立てられた友情です。ロータリアンは自薦してなれるものではなく、他のロータリアンから推薦されてはじめて会員となれます。ただ推薦されずにロータリーの会員になった人がいます。ロータリーの始祖ポール・ハリスその人です。

では世界初のシカゴロータリークラブの第1回目の会合に出席したポール以下3人の会員はシカゴクラブのチャーターメンバーなのでしょうか。厳密に言えばチャーターメンバーとはRI加入前に選ばれた創立会員のことで、当時はまだRIもチャーター制度も無く、したがってチャーターメンバーとは言わず、4人には敬意を表して『パイオニア・ベテラン』と呼んでいます。

ではわれわれは何故ロータリーに選ばれたのでしょうか。いうまでも無くロータリーの目的を実現するためです。そしてロータリーの目的には、疑いもなく職業倫理の高揚という一つの哲学があります。つまり我々はロータリーの職業奉仕の哲学を遂行するためにロータリーの会員になりました。

ここに基本的な二つの問題があります。その一はロータリーにおける個人の問題であり、その二はロータリーにおける組織の問題です。第一に哲学をやるのですから、その基本的な主体は会員個人であります。またその活動は我々の日常生活から離れがたい、きわめて内面的なものになります。それは我々の考え方と行動の基本としての哲学であって、余暇に片手間にやればいいというものではありません。言い換えれば我々には本来の仕事があり、その外にロータリーがあると考えるのは間違っています。つまりわれわれの生活のある一部分にロータリーがあるのではなくて、我々の仕事や生活の基本がロータリー的でなければなりません。ロータリーの綱領の第三ははっきりそのことを示しています。

第二に我々の哲学は、孤立していないということです。ロータリーにおける主体は、会員個人ではありますが、その主体は《知り合いを広めていく》というロータリーの基本的な行動の一つを通して、他の会員と係わり合い、他の会員を増やしていくことによって、共通の目的と精神に立つ組織を拡大し、同時にそのことによって我々の職業奉仕の哲学を普遍のものとしします。みんなで力をあわせ、その理想を達成しようというのがロータリーという世界的な組織の存在する理由であることを考えれば、それは容易に理解できましょう。

職業奉仕の哲学の実践がロータリアンの務めと申しました。しかし、ロータリーの職業奉仕には他の奉仕部門（クラブ、社会、国際奉仕）と違い具体的な実践マニュアルがありません。ロータリーのマニュアル書である『手続要覧』の職業奉仕の欄を見ても《職業宣言》《四つのテスト》などについてわずか3ページ弱しか記載されておらず、全体の1%にしかすぎません。このことはRIが職業奉仕をないがしろにしているのではなく、ロータリアンは各人の業界から選ばれた人たちで、すでに入会前に職業奉仕の下地は常識として出来ている、

だからロータリー入会後は例会で異業種の会員と切磋琢磨して更により良い職業人になることを期待されているのです。いまさら『手続要覧』で職業奉仕についてのべる必要はないのです。ロータリーの職業奉仕の実践は全てロータリアン個人の叡智に任されています。ロータリーのロータリーたる所以は生涯学習にあります。より良いロータリアンになるということは例会で自分の業界以外の会員と知り合い「己の限界を知り以って転機を生ぜしむる」ことが必要なのです。

今申し上げたように、ロータリアンは入会前に自分の業界の中で職業奉仕の大切さを悟ったおかげでロータリークラブの会員に推薦されました。そしてロータリー入会后、今度は異業種の会員と交わり更に悟りの道を歩むこととなります。禅宗では悟りの後の悟りを「悟後の悟り」、または「聖胎長養」といっています。ロータリーは職業人の「悟後の悟り・聖胎長養」の場なのです。「聖胎長養」とは、修行者が重ねて修業に努め、仏の威儀を長く保つということです。「聖胎」とは、仏となるたねを宿した身体の意です。禅宗では厳しい修行に明け暮れ、師匠の印加を受けた後もまた更に俗世界で修行する義務が課せられます。一度悟った後更に人間社会のさまざまな苦楽を実際に経験してその後布教が許されるのです。ごく卑近な例に例えるのなら、「聖胎長養」とは医学生の「インターン」に当たります。卒業後更に実践経験を積むのです。ここでもう少し聖胎長養について申し上げますとそれは「面壁9年」の達磨大師から数え6代目の慧能は、十数年山中での聖胎長養を師から課せられたことがそもそも始まりです。また日本の大燈国師は師の大応より26歳で印加を受けましたが、京都の五条の橋の下の乞食や非人の群れの中で20年の聖胎長養の後布教をするようにと云われました。その後醍醐天皇は当代第一の禅者は大燈をおいてないということを知り、すぐ会いたいと云われます。それは無理でしょう。彼は五条橋下の乞食の中にいますから。帝は使者を使って探させます。使者は大燈が昔から好物だった「まくわ瓜」を持って河原に行き乞食の群れに向かって「脚無くして来るものにこれを与えよう」といいます。乞食たちは呆然とします。そこへぼろぼろの衣を着た乞食が来て「手無き手でそれを渡せ」といいます。この一言で大燈は見破られてしまいます。この禅問答から大燈は後醍醐天皇に付きまとい、とうとう帝の建立する大徳寺へ迎え入れられることになりました。この話は創作でしょうが私の好きな話です。

要するにロータリーは職業人の『悟後の悟り・聖胎長養』の場なのです。

ロータリー入会前に培ってきた自己の人生学の集大成の場なのです。そこに欠かせないのが異業種の会員同志の精神的親睦なのです。政治、宗教、職業観、人生観など各人の信条は異なります。その違いを認め合うことがポール・ハリスの『寛容論』なのです。互いの違いを認め合い、更に高い次元に切磋琢磨してスパイラルしていくために『寛容の心』は欠かせないのです。

さて4月は雑誌月間です。公式訪問先のいくつかのクラブでは雑誌委員の方が「ロータリーの友」を会員に配布する時、今月の見どころ、読みどころを丁寧に解説されていました。出来れば指導者のために年4回発行される「ロータリーワールド紙」やRIのウェブサイトの情報も積極的にPRしてください。クラブ活性化に情報は欠かせません。

久しぶりに石庭で有名な京都の龍安寺へ行って参りました。案内のリーフレットに次の言葉がありました。

**《禅とは「自己」を拝む宗教です》**

**《禅とは「自己」の自覚を深く掘り下げる宗教です》**

この禅という言葉はロータリーと置き換えてみたらどうでしょうか。

**《ロータリーとは「自己」を拝む運動です》**

**《ロータリーとは「自己」の自覚を深く掘り下げる運動です》**

ロータリーも禅と同じく究極的には「自己」の仏性を磨く運動です。これは生涯通じて課せられたわれわれの義務なのです。最後にもう一つ皆さんもご存知の易経の《積善の家に余慶あり。積不善の家に余殃あり》という言葉申し上げます。北国もいよいよ春めいてまいりました。どうかロータリーの皆さん、温かい奉仕の心を育んでください。





## 2006年国際協議会の報告

国際ロータリー第2510地区

ガバナー・エレクト 丸山 淳 士 (札幌真駒内RC)

出発に際しましては、多大なご支援を頂戴し、大変感謝しています。有り難うございました。

2006年2月16日から23日まで、米国カリフォルニア州サンディエゴにて開催されました国際協議会に出席して参りました。

会場は、昨年までのアナハイムから移動して最初の会議です。

サンディエゴはカリフォルニア州の最南端でメキシコと国境を接しています。

会場のマンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴは港に近接して建っており、港は軍港としても使用され、現役の空母も停泊していました。

到着するとホテルには既に1週間前に到着していた研修リーダーが総出で出迎えてくれました。オリエンテーションの後翌日から本会議とグループ討論のスケジュールがぎっしり詰まっていました。

土曜日は国際親善晩餐舞踏会でそれぞれの国の女性は民族衣装の正装での参加です。

21日の夜は国際祭りの夕べがあり、各国から3分間で自国をアピールする唄有り踊り有りの時間を過ごしました。

私どもは「マツケンサンバ」を出し物にしたのですが、私たちの直前がブラジルの本場の「サンバ」であったのでちょっと氣勢をそがれましたがそれでも好評のようでした。

22日にはお別れ晩餐会と閉会本会議で幕を閉じました。

最後に、ウィリアム・ビル・ボードRI会長エレクトが演説で「この1週間で体重の増えた方は手を挙げてください！」と呼びかけ、一同大笑いでした。

それこそ、ロータリー漬けの1週間で、せっかくのサンディエゴの空気も十分に吸うことが出来ませんでした。学んだことを「率先しよう」で実践に移したいと思います。



ロータリーの友 提供



ロータリーの友 提供

RI会長エレクトは、より良きロータリーとより良きロータリアンを目指すことが大きな目標であり、目標達成にはいろいろな手段がある。ロータリーの機構はこの手段を提供することであり、各クラブを通して個々のロータリアンが「モザイク」のように、個性を出しながら率先して行動しようと呼びかけられました。

良い手段は継続して実践しなければならない。継続は強い力である。とも述べられ、次年度は100年にわたって築かれたロータリー活動をまさに実践に移す時代です。

希望に満ちたロータリーを旨とし、共に率先して行動しましょう。



## ロータリーの友委員会報告

ロータリーの友地区委員  
**黒澤昌彦** (札幌東RC)

### ■雑誌月間によせて

4月は雑誌月間です。会員の皆様にご購読頂いている「ロータリーの友」誌は、地域公式雑誌としてRIより認定されており、「友」誌の購読は会費を取めること、例会に出席することと共にロータリアンには義務付けられております。

昭和27年(1952年)日本ロータリーが第60地区と第61地区に分割された後に、両地区全体の連絡と意思の疎通をはかる機関誌として「友」誌が創刊されました。2003年1月の創刊50周年を機にリニューアルされた「友」誌は、非常に読み易くなった、投稿記事が増えてロータリーが身近に感じるようになった、よその地区の活動が紹介されており参考になった等大変好評を頂いております。

しかし、「友」誌の読書率は余り高くないと云われております。地区内ロータリアンの皆様には「友」誌の更なる購読と、ロータリーのテキストとして有効利用されることをお願い申し上げます。

また、毎月例会で「友」誌の内容を会員に紹介しているクラブは余り多くないと聞いております。クラブ会長・幹事・プログラム委員長には、例会(出来れば第1例会)での「友」誌の紹介時間を是非設けて頂きたく強くお願い申し上げます。

「友」事務所に申し込むと、クラブ雑誌(ロータリーの友)委員長には1週間程早く配布して貰えます。まだ申し込みされていないクラブには手続きされることをお勧め申し上げます。

「友」誌を身近に置き、ロータリーの活動のため役に立てられることを切望いたします。

### ■アンケート中間報告

先日、クラブ雑誌委員長にお願いした「友」誌に関するアンケートは、未だ半数くらいしか回収されておりましたが、ほとんどのクラブが1週目の例会時に配布しております。

又、「友」誌の内容を紹介しているクラブは回答クラブの1/3で、時間は3~5分とのことであります。

### ■委員会報告

平成18年3月13日(月)午後2時よりメルパルクTOKYOにて、ロータリーの友委員会常任委員・地区委員合同会議が開催された。冒頭、渡邊隆ロータリーの友委員長(習志野RC)は「任期も残り110日余りになりましたが任務を全うして頂きたい」との挨拶があり、その後各地区委員より活動報告・質問等があった。

クラブ雑誌委員長会議、地区クラブ奉仕委員会の分科会で雑誌委員長セミナーを開催した地区の報告があり、クラブ雑誌委員長の役割の重要性を痛感した。

5月8日(月)に次期地区委員との合同オリエンテーションが予定されているので、このことを引継ぎ事項として伝えたい。



## 地区チーム研修セミナー開催について

# 国際ロータリー第2510地区 2006-2007年度 地区チーム研修セミナー 開催について

次期地区幹事

齋藤 康嗣 (札幌真駒内RC)

日 時：平成18年3月5日(日) 10時30分～14時30分

場 所：ホテルライフオー札幌（札幌市中央区南10条西1丁目）

出席者：塚原ガバナー、丸山ガバナー・エレクト、酒井ガバナー・ノミニー、  
遠藤正之パスト・ガバナー、遠藤秀雄パスト・ガバナー、次期地区ガバナー補佐、  
次期地区委員会委員長、次期地区幹事、事務局



2006-2007年度の地区チーム研修セミナーが3月5日に開催されました。塚原ガバナーの点鐘によりセミナーが始まり、サンディエゴの国際協議会から帰られた丸山ガバナー・エレクトから、次期ガバナー補佐、次期地区幹事の紹介があり、続いて次年度RIのテーマ、次年度地区運営基本方針の説明がありました。

遠藤正之パスト・ガバナーからは会員増強、DLP、CLP、ロータリー財団の説明、次期地区幹事

からは年間スケジュール、次年度の地区予算の説明がありました。午後からは次期地区オン・ツー・ソルトレークシティ委員長遠藤秀雄パスト・ガバナー、各次期地区委員会委員長から自己紹介と活動計画の説明がありました。

最後に塚原ガバナーの「まとめ」のお話で、セミナーを閉会しました。

次年度のRIのテーマ、次年度地区の目標は次のとおりです。

### 2006-2007年度RIのテーマ「LEAD THE WAY」 率先しよう

- 地区の目標
1. 「クラブ1名の純増を目指そう」
  2. 「毎年あなたも100ドルを」
  3. 「RIテーマ“率先しよう”の実践
  4. 「ロータリアン自身が広報マン」
  5. 「ロータリー家族」

# 第2グループIM(都市連合会)開催される

第2グループ ガバナー補佐 瓜 俊 雄 (砂川IRC)



講話をされる塚原ガバナー

引き続きこの都市連合会のメインとして、塚原房樹ガバナーから『日本ロータリーの黎明』という演題で講話を頂きました。

講話では、1914年頃にアメリカのダラスRCで日本人として第1号のロータリアンになった福島喜三次氏から感銘を受けた米山梅吉氏が初代会長、幹事に福島氏がなり東京RCを創立し、翌1921年に国際ロータリーから承認をされた頃の話から、戦中、戦後の混乱期におけるロータリークラブ運営の苦労等について、またポール・ハリスが来日した際の逸話をお話頂きましたが、塚原ガバナーのロータリークラブに対する愛情と造詣の深さに、出席した会員一同改めて感銘を受けました。

懇親会では、滝川RC西村恒則親睦委員長の司会のもと、ビンゴゲーム等が行われ、たいへん和やかな雰囲気の中で親睦が深められました。

最後は全員で「手に手つないで」を合唱し閉会となりました。

さる2月25日(土)、滝川ロータリークラブをホストクラブに、滝川RC山本毅実行委員長のもと滝川ホテル三浦華園に於て、塚原房樹ガバナーをお迎えして赤平RC、芦別RC、砂川IRC、滝川IRCから多数の会員の出席を得て盛大に開催されました。滝川IRC伊藤和男幹事の総司会会で、千葉清ガバナー補佐の点鐘から始まり、ホストクラブの滝川RC中島健会長から歓迎の挨拶、千葉清ガバナー補佐挨拶の後、次期ガバナー補佐として赤平RCの田中良一氏が紹介されました。

続いて各クラブの次年度会長、副会長、幹事、会長エレクト紹介の後、鈴木忠男前ガバナー補佐へ千葉ガバナー補佐から記念品が贈呈されました。



懇親会にて

(最前列、右から塚原ガバナー、千葉ガバナー補佐・前列手前より2列目、右から鈴木忠男前ガバナー補佐、藤田砂川IRC会長、中島滝川IRC会長)



「手に手つないで」合唱

(左から塚原ガバナー、千葉ガバナー補佐、中島滝川IRC会長、田中芦別RC会長)



## ロータリー創立記念例会 第8グループおじゃまします例会 塚原房樹ガバナーを迎えて

静内RC

2月22日 静内ロータリークラブ夜間例会において、ロータリー創立記念例会・第8グループおじゃまします例会が、塚原房樹ガバナーをお迎えして行われました。第8グループでは、年度に一度各クラブをお互いに訪問しあう「おじゃまします例会」を行っております。これは年度の会長、幹事をはじめ理事、会員がグループ内の各クラブを訪問しあって例会に出席し、情報交換、親睦などを目的に、交流を行っております。

当日はロータリー創立101年を記念して塚原房樹ガバナーをはじめ、第8グループ各クラブ会員、静内インターアクトクラブ関係者など、90名で記念例会を開催しました。

午後5時より、例会に先立ち、塚原房樹ガバナーを囲んで静内ロータリークラブ役員、理事、関係者による懇談会を開き、静内RCの上半期までの経過報告・クラブの運営に関すること、クラブリーダーシッププランの今後の取り組み方など、多方面に渡って懇談をし、ガバナーより貴重なご意見を賜りました。是非とも今後のクラブ運営に活かして行きたいと思っております。

午後6時より記念例会が、不動会長の開会点鐘によって始まり、開会宣言、ロータリーソング『奉仕の理想』の合唱、ご来賓および参加クラブ会員の紹介があり、続いて新入会員（2名）の入会式、ロータリー財団マルチプル・ポール・ハリス・フェローの記念バッジ（2名）、米山奨学会功労者表彰（1名）を塚原ガバナーに贈呈をして頂き、会長の時間では不動会長より歓迎の挨拶、続いて、塚原房樹ガバナーよりロータリー創立記念スピーチを頂きました。シカゴロータリークラブ創立のお話から1911年にカナダにロータリークラブが出来て初めて国際ロータリーとなったこと、続いて日本のロータリーの歴史について、触れて頂きました。

日本で最初のロータリークラブが発足したのは、1920年創立の東京ロータリークラブで、創立の準備に奔走した米山梅吉氏、福島喜三次氏などの先人の功を忘れることは出来ません。また、日本人最初のロータリアンは実は福島喜三次氏であったこと、関東大震災の折には国際ロータリーから大阪ロータリークラブ（福島喜三次氏）を通じて支援を頂き、その後各国のRCから総額89,000ドル（1923年当時）の義捐金が寄せられ、当時のロータリアンが深く感動したことが後の日本でのロータリー発展に繋がっていること、1940年、第二次世界大戦のために国際ロータリーから脱退したが名称を変えて例会等の活動を継続したこと、など貴重なお話を頂きました。

その後、出口ガバナー補佐の祝杯によって懇親会が始まり、静内RCの若手メンバー5人がガバナーに喜んで頂ければと2晩練習をしたシャネルズの有名な歌を2曲、顔を黒く塗り変装をして披露させて頂きました。続いて静内町の郷土芸能である阿波踊りを子供主体のメンバーが披露し参加者全員より喝采を浴びました。

終わりに、全員でロータリーソング「手に手つないで」を歌い、高田会長エレクトの閉めの挨拶と吉田親睦委員長の手締めで楽しい時間を過ごしました。

塚原房樹ガバナーに賜りました貴重な時間とお話は、静内ロータリークラブにとって有意義で感銘深い例会となりました。今後のロータリー活動の推進に役立てて行きます。ありがとうございました。



# 外国人による日本語弁論大会in苫小牧

会報雑誌委員長 川村 義昭 (苫小牧東RC)

3月12日(日) 苫小牧東RC主催により苫小牧在住の外国人による「外国人による日本語弁論大会in苫小牧」が開催された。開催に当たりロータリー財団の協力、また苫小牧市、苫小牧市教育委員会、NHK室蘭放送局、北海道新聞社苫小牧支局、苫小牧民報社、苫小牧駒沢大学、苫小牧高等工業専門学校の後援を戴いた。

会場の苫小牧市文化交流センターには2時の開始に合わせて続々と聴衆や弁士たちが集まり始め開始時には、定員380人の会場はほぼ満席となった。

今回の弁論大会は公募の結果10ヶ国14人の弁士が出場することになり、それぞれのお国の民族衣装での登壇者も半数に及び外国人による弁論大会の雰囲気醸し出した。



苫小牧市には現在約450名の外国人が住んでいるが、一般の人達にとって普段は交流の機会はさほど多くないのが現状であり、今回は外国人が、どのように日本や苫小牧のことを思い、考えを持っているのかを知るよい機会でもあり、この弁論大会を通して国を超え、文化の違いを超えて相互理解を深め、さらに交流を深めることを願い企画したものである。当日は苫小牧市長はじめ塚原房樹ガバナーの御臨席を賜った。午後2時に開始され、最初に御来賓、審査員の紹介、弁士である外国人の紹介と進み、当クラブ松下昌平会長の挨拶に続き、来賓を代表して櫻井忠苫小牧市長の祝辞の後、いよいよ本番の弁論の開始となった。弁士は出番が近づくにつれ緊張が高まっていく様子であったが会場の応援団の声援を受けて登壇した。イランのナイメさんは「私たちは物質的、経済的に恵まれた社会に住んでいて幸せって何かわからない人が多いような気がする。幸せは貧しくとも自分の身近にあり、その事に気づく目を持って幸せを感じてほしい」など内容は「自分の国のこと・日本のこと・住んでいる苫小牧のこと・自分や周りの生活のこと・人と人のかかわりのこと」など多岐にわたり、いずれも堂々と弁論を繰り広げ聴衆の心に響く内容であった。

中でもきれいな民族衣装をまとった出場者は聴衆の目を楽しませ、ロバート君の自作の大きなイラストを使った「失敗から学ぶ“やっちゃった”」の話はユーモアに溢れ、会場を笑いに引き込みいかにもアメリカンの感じであった。

審査は、みな素晴らしい内容であったため審査員の頭を悩ませたようであったが、結果グランプリにはインドネシアのブディマン君(苫小牧高等工業専門学校4年生)が選ばれた。準グランプリには韓国の安永来(アン・ヨンレ)君と中国(内モンゴル出身)のチリムガさんが選ばれた。また特別賞としてアメリカのロバート・オルソン君と韓国の三浦志鮮(ミウラ・ジソン)さんが選ばれた。

会場では審査の合間にアトラクションとして、苫小牧RCと苫小牧東RCが立ち上げた「苫小牧青少年少女合唱団」の歌が披露され、きれいな歌声に暫し耳を傾けた。また今回の弁論大会に合わせて前日から会場2階で「ふるさと国際交流展」が開催され各国大使館・領事館から寄せられたポスター、民芸品などが展示され、これらの一部は弁論大会会場での抽選会により来場者に贈られた。





**会員計報・新入会員のご紹介**

**会 員 計 報**



**嶋崎 腆** 会員  
(静内RC)  
2005年11月1日  
ご逝去(享年65歳)

**【ロータリー歴】**  
1988年(昭和63年)6月入会  
1991~1992年度 親睦委員長  
1993~1994年度 増強委員長  
1994~1995年度 国際奉仕委員長  
1996~1997年度 SAA委員長  
1998~1999年度 職業奉仕委員長

**【表彰】**  
米山功労者  
ポール・ハリス・フェロー



**秋山 宏** 会員  
(札幌南RC)  
2006年1月7日  
ご逝去(享年90歳)

**【ロータリー歴】**  
1956年(昭和31年)6月入会  
1962~1963年度 幹事  
1966~1967年度 副会長  
1968~1969年度 理事・職業奉仕委員長  
1969~1970年度 会長  
1976~1977年度 ロータリー情報委員長  
1989~1990年度 米山奨学会委員長

**【表彰】**  
ポール・ハリス・フェロー



**松崎 孝一** 会員  
(札幌南RC)  
2006年1月13日  
ご逝去(享年72歳)

**【ロータリー歴】**  
1982年(昭和57年)8月入会  
1989~1990年度 幹事  
1993~1994年度 副会長  
1996~1997年度 ロータリー情報委員長  
2001~2002年度 職業分類委員長

**【表彰】**  
ポール・ハリス・フェロー

**新入会員  
のご紹介**  
(敬称略)



**在田 恒昌**  
静内RC  
平成17年7月6日入会



**吉田 亨秀**  
静内RC  
平成17年7月6日入会



**嶋崎 元**  
静内RC  
平成17年7月20日入会



**天野 晴緒**  
静内RC  
平成17年8月17日入会



**不動 新作**  
静内RC  
平成17年8月17日入会



**藤 沢 澄 雄**  
静内RC  
平成17年10月26日入会



**菊 池 一 好**  
静内RC  
平成17年11月2日入会



**草 野 喜 昭**  
静内RC  
平成17年11月30日入会



**大 森 康 正**  
静内RC  
平成17年12月21日入会



**宿 田 聖 二**  
栗山RC  
平成17年9月20日入会



**檜 崎 忠 彦**  
栗山RC  
平成17年10月4日入会



**山 崎 信 治**  
栗山RC  
平成18年2月7日入会



**中 村 彰 真**  
栗山RC  
平成18年2月7日入会



**岸 山 一 郎**  
美唄RC  
平成17年12月1日入会



**伊 藤 恭 子**  
苫小牧北RC  
平成18年1月10日入会



**角 谷 賢 治**  
札幌モーニングRC  
平成18年2月15日入会



**高 橋 宏**  
札幌大通公園RC  
平成18年3月17日入会

**ご協力に感謝申し上げます**

**ロータリー  
財団への  
ご協力に感謝  
申し上げます**

**マルチプル・ポール・ハリス・フェロー**

向田 甚	市会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
仁志 紘	一会員	1回	(岩見沢RC)	2月28日
岡本	等会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
大西 敏雄	会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
嵯峨 義輝	会員	2回	(岩見沢RC)	2月28日
竹内	守会員	3回	(岩見沢RC)	2月28日
高薄 浩志	会員	1回	(札幌RC)	2月28日
山中 善夫	会員	1回	(札幌RC)	2月28日
山光	進会員	3回	(札幌東RC)	2月24日
川井 一男	会員	1回	(札幌南RC)	2月24日
吉村 克之	会員	1回	(小樽RC)	2月10日
光銭 裕二	会員	5回	(函館五稜郭RC)	2月24日

**ポール・ハリス・フェロー**

勝井 裕幸	会員		(岩見沢RC)	2月28日
武蔵 輝彦	会員		(岩見沢RC)	2月28日
高谷 郁男	会員		(岩見沢RC)	2月28日
上出 利光	会員		(札幌西RC)	2月28日
笠原 路子	会員		(札幌真駒内RC)	2月10日
横田	昭会員		(札幌南RC)	2月24日
千秋 亨	会員		(新札幌RC)	2月28日
伊藤 金蔵	会員		(伊達RC)	2月10日
鈴木 啓一	会員		(伊達RC)	2月10日
黒田 博久	会員		(函館RC)	2月24日

**米山記念  
奨学会への  
ご協力に感謝  
申し上げます**

**米山功勞者**

松原 章	会員	1回	(滝川RC)	2月21日
山本 毅	会員	1回	(滝川RC)	2月21日
井門 英明	会員	5回	(美唄RC)	2月24日
毛利 清徳	会員	2回	(美唄RC)	2月24日

**米山功勞法人**

會澤高圧コンクリート(株)		1回	(静内RC)	2月2日
---------------	--	----	--------	------



## 例会変更について・文庫通信

### 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

- 白 老RC：4月18日（火）移動例会 12：30～  
場所：はしもとコーヒー（白老町字竹浦）
- 岩見沢RC：4月21日（金）3クラブ（岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC）合同夜間例会  
場所：ホテルサンブラザ 18：00～
- 岩見沢東RC：4月25日（火）の例会を4月21日（金）に変更  
3クラブ合同夜間例会 18：00～
- 室蘭東RC：4月26日（水）振替休会  
4月27日（木）室蘭3RC合同夜間例会 18：30～  
場所：室蘭プリンスホテル
- 室蘭北RC：4月25日（火）振替休会（4月27日合同例会の振替）
- 当 別RC：4月25日（火）夜間例会 18：00～  
場所：田西会館
- 苫小牧北RC：4月25日（火）移動例会 18：00～  
場所：なごみの湯（苫小牧市柳町2-7-6 電話：0144-57-0753）

### クラブメールアドレスの変更

4月1日より室蘭RCのメールアドレスが下記に変更されます。  
muroran-rc@purple.plala.or.jp

### クラブの住所変更について

3月28日より栗沢RCの住所が町村合併のため下記の通り変更になります。  
新住所：〒068-0127 岩見沢市栗沢町本町11番地 栗沢町商工会館（電話番号は変更ありません。）

## 文庫通信 222号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 興味深い講演から

- |   |  |
|---|--|
| ◎「時代を読む」<br>田原総一朗 2005 12p (D.2680地区大会)                   | ◎「青少年よ、『重力』と遊べ」<br>伴 義孝 2005 12p (全日本RYLA大会報告書)  |
| ◎「歴史の謎について」<br>松平定知 2005 9p (D.2790地区大会)                  | ◎「限りなき挑戦」<br>衣笠祥雄 2005 15p (D.2650RYLA報告書)       |
| ◎「ロータリー100年を迎えて」<br>千 玄室 2005 6p (D.2650地区大会)             | ◎「子どもの痛みが聞こえますか」<br>佐藤辰弥 2005 6p (D.2650RYLA報告書) |
| ◎「CELEBRATE ROTARY 見直そう原点を」<br>高橋堯昭 2005 11p (D.2540地区大会) | [上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]                             |
| ◎「人を育てる」<br>深川純一 2005 22p (全日本RYLA大会報告書)                  |  |
| ◎「未来に望む若い人」<br>千 玄室 2005 5p (全日本RYLA大会報告書)                |  |

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2006年4月 米貨1ドル=118円

## 地区カレンダー（4月・5月）

4月 ローターリー雑誌月間	
1 (土)	
2 (日)	
3 (月)	
4 (火)	
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	GSE委員会 帰国報告会 (札幌)
9 (日)	地区協議会 (札幌)
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	第3700地区 (韓国) 地区大会
15(土)	第3700地区 (韓国) 地区大会
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	第10・11グループ合同IM
23(日)	地区米山記念奨学会カウンセラー研修会 オリエンテーション (札幌)
24(月)	
25(火)	
26(水)	
27(木)	
28(金)	
29(土)	みどりの日
30(日)	

5月	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	憲法記念日
4 (木)	国民の休日
5 (金)	こどもの日
6 (土)	
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10(水)	
11(木)	第3グループIM (美唄)
12(金)	第12回ロータリー青少年交換研修会(長崎)
13(土)	第12回ロータリー青少年交換研修会(長崎)
14(日)	第1グループIM (深川)
15(月)	札幌北RC創立35周年記念式典 (札幌)
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

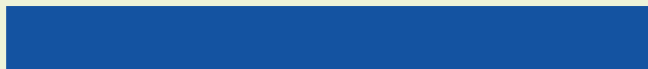
## 2月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,064人(100人)
増加会員数	78人
当月平均出席率	82.73%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.2.28	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	85.71
	羽 幌	4	49	45	-4	1	71.62
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	75.00
	小 平	4	13	13	0	0	78.85
	留 萌	4	49	50	1	0	95.62
	小 計		159	156	-3	3	81.36
	2	赤 平	4	34	35	1	2
芦 別		4	48	46	-2	0	84.52
砂 川		4	50	53	3	0	98.47
滝 川		5	106	105	-1	1	75.00
小 計			238	239	1	3	84.73
3	美 唄	4	41	41	0	0	87.14
	江 別	4	36	38	2	1	86.48
	江 別 西	2	35	35	0	3	86.11
	岩 見 沢	4	95	95	0	0	90.06
	岩 見 沢 東	4	35	36	1	4	87.10
	栗 沢	4	24	23	-1	1	92.34
	栗 山	4	26	30	4	2	98.22
	当 別	4	38	36	-2	1	78.47
小 計		330	334	4	12	88.24	
4	札 幌	4	123	137	14	0	98.18
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	81.25
	札 幌 北	4	43	41	-2	5	92.44
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	79.11
	札 幌 西	4	72	71	-1	3	90.31
	札 幌 西 北	4	48	49	1	2	94.36
	札 幌 手 稲	3	41	40	-1	1	98.31
	小 計		419	432	13	16	91.75
5	札 幌 東	4	121	118	-3	0	98.37
	札 幌 清 田	4	28	28	0	7	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	69	-1	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	47	1	3	88.14
	札 幌 南	3	89	93	4	0	96.67
	札幌大通公園	4	19	18	-1	4	81.93
	札幌セントラル	4	17	17	0	6	69.70
	新 札 幌	4	32	34	2	2	92.50
小 計		422	424	2	22	90.91	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.2.28	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	75.96
	倶 知 安	4	50	50	0	3	49.50
	小 樽	4	64	71	7	1	82.20
	小 樽 南	4	82	81	-1	0	92.60
	小 樽 銭 函	4	25	25	0	3	89.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	79.53
	余 市	4	44	44	0	4	79.10
	小 計		304	312	8	11	78.27
7	千 歳	4	61	67	6	4	80.60
	千歳セントラル	4	27	28	1	0	83.10
	恵 庭	4	49	49	0	0	79.34
	北 広 島	4	17	17	0	2	82.35
	長 沼	4	18	18	0	3	81.19
	由 仁	4	13	13	0	0	82.69
	小 計		185	192	7	9	81.55
8	え り も	4	23	23	0	0	85.87
	三 石	4	16	18	2	1	94.40
	様 似	4	18	18	0	1	76.39
	静 内	4	66	75	9	0	77.55
	浦 河	4	33	35	2	1	79.29
	小 計		156	169	13	3	82.70
9	伊 達	4	55	60	5	0	78.33
	室 蘭	4	50	50	0	0	67.91
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	88.30
	室 蘭 北	4	37	38	1	2	73.02
	登 別	4	36	35	-1	2	82.86
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	80.56
	小 計		230	239	9	4	78.50
10	函 館	4	91	90	-1	0	83.62
	函 館 亀 田	4	43	45	2	1	79.44
	森	4	42	41	-1	0	75.50
	七 飯	4	20	20	0	0	66.20
	長 万 部	4	10	8	-2	0	62.50
	函館セントラル	4	0	30	30	2	75.83
	小 計		206	234	28	3	73.85
11	江 差	4	17	17	0	0	75.00
	函館五稜郭	4	63	65	2	0	89.14
	函 館 東	4	43	41	-2	4	82.69
	函 館 北	4	32	33	1	0	78.06
	上 磯	4	26	23	-3	2	56.50
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	188	-2	7	75.23	
12	白 老	4	23	21	-2	0	72.00
	苫 小 牧	4	56	58	2	1	63.71
	苫 小 牧 東	4	31	29	-2	3	85.33
	苫 小 牧 北	4	37	37	0	3	89.45
	小 計		147	145	-2	7	77.62
合 計		2,986	3,064	78	100	82.73	

**SERVICE** Above Self



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 11* **5**  
*2006.*



**SERVICE Above Self**

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ .....	01
第3700地区大会参加記 .....	04
会長エレクト研修セミナープログラム開催 .....	05
地区協議会の開催 .....	06
ローターアクトセミナー開催報告 .....	07
JGFR北海道大会 .....	08
第2510地区親睦野球大会 .....	09
新入会員のご紹介 .....	09
ご協力に感謝申し上げます .....	10
例会変更について・文庫通信 .....	11
地区カレンダー .....	12
出席報告 .....	13

---



## ■ガバナーメッセージ

## めぐる歯車



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

長い冬を終えて、春を待ちわびていた花々が1度に開く北国の目くるめくような季節がやってまいりました。おかげさまで我々のロータリー年度もゴールまで後2ヶ月となりました。RI会長のステンハマーさんは、ロータリー史上最高の標語「超我の奉仕」というテーマを我々に示されました。「ロータリー奉仕の新世紀」という歴史に残る新たなスタートの年に、ガバナー補佐の皆さん、会長・幹事の皆さんと共にこのテーマに沿って奉仕の一步を踏み出せたことを誇りに思います。公式訪問では、会長・幹事さんとひざを交えてお話し合が出来ました。ロータリーを取り巻く環境は厳しいものがあります。その中で、会長・幹事さんはクラブ運営に知恵を出し合いながら、奉仕の理想を推進されておられることを知り深く感動しました。

ロータリーの最大の特徴は毎年、役目がローテーションすることです。「職業分類制度」と「例会出席の義務」、そしてこの「交代制度」のおかげでロータリーは100年の歴史を重ねることが出来ました。国際ロータリー会長の任期も1年、地区ガバナーの任期も1年、クラブ会長さんの任期も1年です。ただ幹事さんだけは例外で何年続けて幹事の役職を勤められてもかまいません。アメリカのクラブでは幹事歴任50年というロータリアンが表彰されました。またロータリーのビルダーと言われたチェスレイ・ペリーはRIの事務総長(幹事)を32年間務めました。このような例外もありますが、原則としてRI会長もガバナーもクラブ会長・幹事さんも毎年新人です。毎年新たなRIのテーマのもと、みずみずしい初心を持って奉仕の道を歩んでもらいたいのです。ロータリーのような組織にとって一番の大敵は馴れるということです。マンネリはロータリーへの参加意欲を殺ぎます。営利を求める企業の場合なら馴れたベテランに何年でも同じポジションを務めてもらったほうが有利ですが、ロータリーのような非営利の団体は必ずしも奉仕プロジェクトの効率を追求しません。ロータリーは全会員がローテーションしてフレッシュな気持ちで四大奉仕部門はもちろん、クラブ、地区役員の任務を経験してほしいのです。全ての奉仕部門を経験して、奉仕の心を涵養してもらうのが狙いです。ロータリーは1年ごとにローテーションしますので、就任前の研修を入念に行います。クラブ運営について会長・幹事さんは次期の会長・幹事さんよりいろいろ相談を受けられていることと思いますが、どの家にも家風があるようにどのクラブにも歴史と伝統を踏まえた良き美徳があります。新しい酒は、新しい皮袋にと云いますが、その伝統の上に立って新しい活動を盛り込むようにアドバイスしてください。急な改革は革命と等しく情緒的結社であるクラブにはそぐいません。また大事なことは、ロータリーはその役職が終ると元の一会員に戻るのが原則です。たまに、役職が終っても次代へあれこれ口出しする人がいます。ロータリーでは院政を布くことはタブーです。私もガバナーを終えたら元のクラブの一会員になり、微力ながら奉仕のお手伝いをさせていただきつもりです。

ロータリーソング「奉仕の理想」の中に《めぐる歯車いや輝きて》とあるとおり、ロータリーの歯車は100年の間めぐり続けてきました。歯車は軸がぶれては機能しません。世の中の現象には「時代を超えて変わるもの」と、「時代を超えて変わらないもの」があります。歯車の軸とは、言い換えれば

ロータリーの中核思想です。つまりロータリーの綱領のことであり、もっと具体的に云えば「職業奉仕」のことです。重要なことはひとりひとりのロータリアンがロータリーの「職業奉仕」を推進することです。ロータリーのプログラムが時代とともに如何に多岐に亘ろうとも、我々は所詮この出発点に戻らざるを得ません。我々は将来何が待ち受けているか知る由もありません。しかし我々はロータリーの「職業奉仕」を歯車の不動の軸として持つことにより、これからも確信を持って前進することが出来るということだけははっきりと知っています。

私は光栄にも新世紀(101年目)ロータリー幕開けの地区指導者に指名していただきました。幸いなことはロータリー100年の歴史を振り返り、総括することが出来ることです。およそ人類文化史上の諸制度は因縁あって栄え、そして因縁あって滅ぶという歴史上の真理に基づきます。ロータリーもその例外でなく、興隆期と衰退期がありました。過去をさかのぼり歴史の上から歯車の軌跡を追って見ましょう。

まず1930年から1945年にかけてロータリーはアメリカ社会から絶大な尊敬と信頼の目を持って迎えられました。何か確固とした実践の軌跡を残したに違いありません。アメリカは民間主導の福祉社会だから、労力と時間を割いてボランティア活動をするということはアメリカの国民にとって当然のことであり、別に尊敬と信頼の目を持って迎えられるということはありません。またロータリーが為すべきことでもなかったでしょう。ではいったい職業倫理の提唱団体として具体的に何をしたのでしょうか。ロータリーが出来た時アメリカの経済社会に、同業組合は1つもありませんでした。これをロータリーは作っていきました。公共に奉仕する現代の「ギルド」の復活です。このことは商工会議所を倫理を提唱する団体として蘇らせました。この2つはロータリーがアメリカ社会に残した最大の功績なのです。これこそがロータリーの「職業奉仕」の原点なのです。ではどうしてロータリーは同業組合を組織できたのでしょうか。我々は1業1会員制の原則に基づいて、同業者の中から選ばれてロータリーの会員になったと思っています。しかしロータリーはそのようには考えません。ロータリーの会員は同業者の中から選ばれたのではなく、各々の業界にロータリーが派遣した大使(使節)であると考えます。ロータリーの大使の役目とは、ロータリーの奉仕の理想をロータリアン以外の人にシェアすることが目的です。したがってロータリアンは同業組合を組織して、ロータリー倫理訓(1915年)を基にした企業行動のあり方、職業倫理基準を提唱し広めていったのです。関東大震災の時に東京壊滅するという電文を見て直ちに、当時RIのなけなしの25,000ドルという大金を送ってくれたガイ・ガンディカーRI会長はレストラン経営に携わっていました。そこで全米レストラン協会を組織してその会長となり、道徳的なレストラン経営の倫理基準を作成しました(余談ですが、ケンタッキーフライドチキンの店頭に立っている白髪の等身大の人形、カーネルサンダースさんの胸にもロータリーの徽章があります)。

このようにロータリアンの数だけ同業組合が組織され、商業道徳の高揚は著しいものがありました。この結果ロータリーに対するアメリカ社会の信用が高まり、ロータリーは爆発的に発展するようになりました。

このことは大変立派なことですが、そこでロータリーは1つの重要な過ちを犯すようになったのを知るのは残念です。ロータリー思想は世代の交代に失敗したということです。1947年ポール・ハリス没後、RIの職業奉仕委員会

は廃止されました。ポールの死を悼んでPH・フェローができました。世界中のロータリアンから莫大なお金がロータリー財団に集まります。財団が事業を始めました。事業には莫大な資金が必要です。RIは人類の続く限り、ひとりでも施主の多からんことを望み、\$1でもお布施を増やし、限りなく永遠に金をつぎ込んでいかねばならぬ「火の車」からおりられなくなりました。職業奉仕はRIでは死語となりました。そもそもロータリークラブの会員を奉仕という点で訓練しようとする実験としてのみ考慮されていた対外的な奉仕活動がロータリーの拡大とともに、次第に会員個人から切り離され、奉仕活動それ自体の論理だけが推進力となって1人歩きを始めました。職業奉仕がないがしろにされ利他的な人道的国際ボランティア活動が主流となりました。アメリカでは1950年、ヨーロッパでは1960年、日本では1965年を超えると「実践」が「原理」から離れて独り歩きを始め、ロータリー運動はまさに虚飾性を強めるに至りました。ロータリーの組織もこのような制度疲労により会員減少が目立ってきました。職業奉仕の無いロータリーは魂の抜けた空洞です。

ガバナーとして公式訪問の際、ロータリーの真髄、職業奉仕の哲学を説かずただ会員増強と財団寄付のお願いだけなら各クラブを個別訪問する意味がありません。職業奉仕を軽視してボランティア団体に重点をおくRIの方針に悩みました。しかしあきらめていたロータリーに起死回生の救世主が現れました。ビチャイ・ラタクルRI会長です。国際協議会で「ロータリーは何億人の弱者に救いの手を差し伸べてきた。これは偉大なことです。しかしそれはあくまで外面的なことです。奉仕の実践の源となる奉仕の心の涵養という内面的なこと、つまりロータリーの金看板である職業奉仕を我々は忘れてしまっていた。なんと恥ずかしいことか」。そして国際協議会で職業奉仕の再構築の重要性を熱くガバナーエレクトに話されました。職業奉仕という言葉は近年の歴代RI会長にとってはタブーでした。しかしラタクルさんのアドレスはロータリーの1番大切なものは職業奉仕の再構築にあるということの世界中のロータリアンに伝える勇気あるメッセージでした。1000人を超えるガバナーエレクトと配偶者は感動のあまり、熱烈なカーテンコールはやみませんでした。ラタクルさんのおかげで色あせたロータリーの歯車はまた輝きを取り戻しまわり始めました。

3月20日、そのラタクルさんが福岡西RCで講演をされるという知らせが、同期のガバナーからあり勇んで駆けつけました。講演終了後、数人のロータリアンとラタクルさんを囲んで夕食をともにしました。席上、ロータリーの現況と将来ビジョンを歯に衣させぬ口調で明快に示されました。特にCLPについてはロータリーの綱領、すなわち四大奉仕が希薄になるので各クラブはCLPの採用をくれぐれも慎重に検討して欲しいと云われたことが深く印象に残りました。深い思索、全人格を傾倒してロータリーを語られるラタクルさん、最も敬愛するラタクルさんが遠い札幌から良く来てくれたと握手をして頂いたことは、私にとって生涯忘れられぬ思い出となるでしょう。2700地区の廣畑ガバナーありがとうございました。

会長・幹事さん、我々の年度はまもなく終わりますが、ロータリーの歯車は回り続けます。どうか有終の美を飾って良き伝統を次年度に引き継いでください。



## 国際ロータリー第3700地区（韓国） 地区大会参加記

国際ロータリー第2510地区

ガバナー・エレクト **丸山 淳 士** (札幌真駒内RC)

当地区との友好地区である第3700地区2005-2006年度の地区大会が4月14日～15日韓国、大邱（テグ）市において開催されました。

参加者は第2780地区ガバナー夫人の仲田万里子さんと当地区からは、塚原房樹ガバナーご夫妻、遠藤秀雄パスト・ガバナー、酒井正人ガバナー・ノミニエご夫妻、矢橋温郎国際友好委員長、長太義雄国際友好委員、米山道男札幌北RC会員、森谷明弘次期地区幹事、小生夫婦の11名に加え、元米山奨学生現北海学園大学非常勤講師の李英愛（イ・ヨンエ）さんの総勢13名が参加いたしました。昨年の当地区大会には、3700地区から、南星姫（ナム・スンヒ）ガバナー（総裁）ご一行が参加されました。

13日（木）、千歳空港からソウル、仁川（インチョン）空港経由で、大邱に到着。午後2時に出発し、大邱到着は乗り継ぎもあり午後8時を過ぎていました。大邱グランドホテルが、明日の大会会場ということもあり、このホテルに宿泊しました。

午後10時には閉店するというホテル内のレストランで、早速韓国料理の夕食をみんなでいただき、レストランを出たところで、南総裁ご夫妻がご多忙の中を訪問いただき、高級ウィスキーの差し入れもあり、韓国初日の夜から楽しい親睦が始まりました。明日の晩餐会では南総裁は着物を、塚原ガバナー夫人はチマ・チョゴリをご披露することになっており、その用意もなかなか大変のようでした。

14日（金）は午後1時30分から地区大会開催なので、午前中は桜並木のすばらしい街道を走り抜け慶州の護国寺（世界遺産）を見学しました。

地区大会初日は式典の後、記念講演、地区リーダーシップセミナーがあり、続いてR I 会長代理晩餐会でした。晩餐会では、我が地区を代表し、塚原ガバナーが挨拶をされました。通訳は李さんです。李さんは、大活躍で一行に付きっきりで面倒を見て貰いました。李さんのおかげで本当によい交流がスムーズにできました。こんな時は、ロータリー事情に詳しい奨学生でなければ意思の疎通は難しいものと思います。普通の通訳では、意味の通じないことが多いのもロータリーの特徴かと思います。李さんにもいつまでも面倒をかけられない状況ですから、来年の私の時には韓国語を勉強して自分で行動しなければならぬと考えると不安です。・・・殆ど絶望的です。

さて、晩餐会が終了しましたら、役員の方々から会場前のバスに乗るように指示され、夜の9時を回ってから、バスに乗って会場を「カラオケハウス」に移動です。ここでは、各部屋に14、5名ずつ分散しカラオケ大会です。韓国のカラオケハウスも日本と全く変わりません。南総裁ご夫妻も各部屋を回り、歌のサービス、ウィスキーの差し入れ、と大活躍です。

翌日15日（土）は、会場をコンベンションセンターに移し、大会場に3000名以上の地区会員が集い、紹介される役員や私たちは、舞台裏から中央に設けられた花道を通り、着席するという華やかなファッションショーのような演出で始まりました。R I 会長代理はラジェンドラ・K・サプー氏（インド）でした。塚原ガバナーの挨拶は、すべて、韓国語でした。司会者は、最初の挨拶ぐらいが韓国語で後は日本語であろうと思っていたようで、全部韓国語で挨拶された塚原ガバナーに驚嘆の言葉を述べ、会場から賞賛の拍手が鳴り響きました。塚原ガバナーの挨拶は素晴らしいもので、指導した李さんは舞台の下で涙・涙でした。ガバナー夫人は心臓が止まるころだったと述懐されていました。来年はどうなるだろうと私だけがプレッシャーで押しつぶされそうです。

私どもは午前中の行事に参加し、会場を後に帰路につきました。わずか2泊の旅とは思えないほど、盛りだくさんの息をつく暇もないほどのスケジュールに圧倒されてしまいました。友好地区としてこれからも友情を深めて行きたいものです。

日韓両国の理解には政治を超えたロータリー活動が重要なことが、帰国してからの竹島問題を目の前にして、強まりました。地道な友情がお互いの理解を深めます。この交流が長く続くことを願わざるを得ません。

今年10月、当地区大会に参加される第3700地区の皆様と是非とも良い交流ができますよう、ご協力を切にお願いする次第でございます。





2006-2007年度

# 会長エレクト研修セミナープログラム開催

**日 時**：3月25日、26日  
**場 所**：ホテルライフォート札幌（札幌市中央区南10条西1丁目）  
**ホストクラブ**：札幌真駒内RC

次期地区幹事  
齋藤 康嗣（札幌真駒内RC）

2006-2007年度会長エレクト研修セミナープログラムが3月25日、26日の両日開催され、場所はホテルライフォート札幌で行いました。

## 第1日目（10：30-18：00）



12グループ73クラブの会長エレクト、地区からは塚原ガバナー、丸山ガバナー・エレクト、酒井ガバナー・ノミニー、地区研修リーダーとして伊藤長英パスト・ガバナー、遠藤正之パスト・ガバナー、及び次期各グループガバナー補佐、次期地区委員長、次期地区幹事、ホストクラブ実行委員長が出席し、塚原ガバナーの歓迎の挨拶から研修セミナーが始まりました。

丸山ガバナー・エレクトの基調講演はRIの方針とテーマ「率先しよう」、地区の目標5点の内容発表がありました。



午後からは、ロータリー財団セミナーと米山セミナーが開催され、各クラブ次期財団委員長、次期米山委員長が出席いたしました。

ロータリー財団セミナーは、遠藤正之次期地区ロータリー財団委員長からロータリー財団の現況、各次期地区委員長から国際親善奨学金、GSEプログラム、補助金、財団学友会について説明がありました。



米山セミナーは、伊藤長英（財）ロータリー米山記念奨学会常務理事から米山記念奨学会の現況、地区米山記念奨学委員長から米山記念奨学会寄付、次期地区委員長から次年度の米山、米山学友会、について説明がありました。

米山セミナーの最後に米山奨学生ドイツキムダキュル君から奨学金に対するお礼と、涙での感謝の話があり会場内の会員に感動を与えておりました。

その後、米山奨学生を含め懇親会があり、歓談いたしました。

## 第2日目（9：30-12：40）

2日目は会長エレクトに対して、地区研修リーダーの講演がありました。

伊藤長英地区研修リーダー、遠藤正之次期地区研修リーダーから地区リーダーシップ・プラン等について説明がありました。

講演後、グループ別討論会にはいり、5テーマで5グループが討論を行いました。

「クラブ管理運営について」「奉仕プロジェクトについて」「会員増強について」「ロータリー財団について」「クラブ広報について」グループ別討論会の報告後、丸山ガバナー・エレクトから研修セミナーの所感、最後に塚原ガバナーの講評で研修セミナーを閉会いたしました。

2006-2007年度

# 地区協議会の開催

**日 時**：4月9日  
**場 所**：ロイトン札幌（札幌市中央区北1条西11丁目）  
**ホストクラブ**：札幌幌南RC

次期地区幹事  
齋藤 康嗣（札幌真駒内RC）

2006-2007年度地区協議会が下記の内容で開催されました。

- 出席者**：塚原ガバナー、丸山ガバナー・エレクト、酒井ガバナー・ノミニ、伊藤長英地区研修リーダー（PG）、遠藤正之次期地区研修リーダー（PG）、竹山涼一元RI理事、富原薫PG、石垣博美PG、森本正夫PG、岩城秀晴PG、小林博PG、佐藤秀雄PG、遠藤秀雄PG、次期ガバナー補佐、次期地区役員
- 73クラブの会長エレクト、次期幹事、次期クラブ奉仕委員長、次期職業奉仕委員長、次期社会奉仕委員長、次期国際奉仕委員長、次期新世代委員長、ホストクラブ役員

塚原ガバナーの点鐘と海野ホストクラブ会長の歓迎の言葉で、地区協議会が開会しました。

塚原ガバナーの挨拶、竹山元RI理事の挨拶の後、丸山ガバナー・エレクトの講演があり、RIの方針とテーマ「率先しよう」、地区の目標5点の内容説明がありました。

地区研修リーダーの講演は伊藤長英地区研修リーダー、遠藤正之次期地区研修リーダーからロータリークラブにおける指導力、会員増強等の説明がありました。

午後からは、7分科会（会長部門、幹事部門、クラブ奉仕部門、職業奉仕部門、社会奉仕部門、国際奉仕部門、新世代部門）に分れて説明、討議が行われました。

分科会の報告後、塚原ガバナーの所感、丸山ガバナー・エレクトの謝辞、田中ホストクラブ実行委員長の言葉で閉会しました。

引き続き、懇親会が同じ会場で行われ、歓談があり地区協議会の締めとなりました。







## ローターアクトセミナー開催報告

ローターアクト委員会

委員長 柳 孝 一 (札幌南RC)

国際ロータリーは3月13日を含む一週間を「世界ローターアクト週間」として定め、ローターアクターとロータリアンとが合同で活動する事を奨励しています。

我々ローターアクト委員会では、「ローターアクト週間」にちなみ、アクトとロータリアンが同じテーブルで、同一のテーマでテーブルディスカッションをメインプログラムに「ローターアクトセミナー」を企画し、3月18日(土)「かでの2・7」で開催しました。

ローターアクトの地区行事には、地区協議会(2005年11月26日)、地区大会(2006年6月17日)、海外研修(2006年1月21～25日)の公式行事の他2500地区とのローターアクト北海道交流会(2005年11月12、13日)、ローターアクト全国研修会(2006年2月18、19日)ほか、函館大学RAC35周年と温泉交流会(2006年2月11日)等々、クラブを超え集まる会合が多々ありますので、セミナーがちゃんと開かれるくらいの参加者が集まるかどうか不安でしたが、ローターアクターは2500地区の3名を含め32名。RCは31名。計63名の参加をしていただきました。

前記のように、会合が多いこともあり、セミナーの登録料は無料で開催しました。開催場所を会場費の安い「かでの2・7」に設定し、特別な看板等も用意せず、ネームプレートやプログラムはパソコンから出力して対応しました。

手作りでのセミナー、中身だけはと基調講演を地区新世代委員会カウンセラーの伊藤長英パストガバナーをお願いいたしました。ご自身のアクトとの関わりをガバナー前から遡って、お話いただき、また幼少時代から、学生時代、そして親になってから、ガバナーを経て現在まで、エピソードを織り交ぜながら、講演いただきました。

その後、ロータリアン、ローターアクトが混在したテーブルディスカッションを7グループに分かれ、「5万円のできる奉仕活動」「画期的な会員増強」「ロータリークラブとローターアクトクラブをつなぐ標語」の3つのテーマで約1時間30分の時間を使い活発に行われました。

ローターアクトを提唱していないクラブのロータリアンにとっては、ローターアクトの存在は新鮮だったようです(アクトも同様でした)。

各グループ制限時間まで、ディスカッションが繰り広げられたことは、決してテーマがまとまらなかったわけではなく、白熱した結果だと良い方に理解しています。

休憩後、各グループの代表者による報告が行われました。代表者はグループ内の意見をまとめるのは、大変なようでしたが、思考をこらし、行われました。

最後に地区新世代委員会の細川好弘委員長に講評をしていただき、初めての試みである「ローターアクトセミナー」を無事終了しました。その後の懇親会もかなり混雑しましたが、心からリラックスし、いろいろな意味でうち解けた懇親会でした。

ホストを持たず、委員会だけで運営したセミナーは、準備時間もないうえ、過去の実績もない、初めてのイベントで、手探りで開催されましたが、無事終了できた事が幸せと感じこの原稿を書いています。

他の予定を断り、基調講演をしていただいた伊藤パストガバナーをはじめ参加いただいたロータリアン、ローターアクターの皆さんに感謝いたします。



## 第16回

# JGFR北海道大会

### [実施要項]

- 開催日時**：平成18年6月19日（月） 雨天決行  
**大会会場**：苫小牧カントリー倶楽部 ブルックスコース（設計：川田太三・事業主体：JAL）  
（バッグ送付先）〒059-1365 苫小牧市植苗437番地 TEL 0144-58-3355
- 参加資格**：全国のロータリアン並びに配偶者  
特別ゲストとして家族、友人のご参加を歓迎いたします。
- 競技方法**：18ホールストロークプレイ（新ペリア方式）  
\*スタート時間及び組合せ等は当競技実行委員会により決定いたしますが、ご希望の組合せ等がございましたらお知らせ下さい。後日、組合せ及びその他競技細目などは参加者各位様にご送付いたします。
- 参加登録費**：登録費は30,000円（本大会ゴルフプレイ代金を含む、お一人様料金）  
ご夫婦でご参加される方はお二人で55,000円となります。  
ゴルフをされない方の懇親会参加費は7,000円となります。  
\*参加登録費の内訳は、ゴルフプレイ代金（本大会）・表彰式・懇親会費・賞品記念品・通信費及び名簿・案内書の作成費用・印刷代となります。  
よって、宿泊・交通費等は含まれておりません。参加登録費は参加お申込みと同時に下記口座までお振込みください。5月10日までのご入金を確認されない場合は、正式な受付と致しませんのでご了承ください。

振込口座／北洋銀行 光星支店（店番036）  
普通預金 0590480  
JGFR北海道大会事務局

\*振込者名は必ず参加申込者名と同一の個人名にてお願いします。

\*振込手数料は参加者負担となります。

**参加登録費に含まれないもの**：宿泊・交通費、飲食費並びに個人的諸費用は参加者各自のご負担となります。

**募集人員**：120名（先着順にて締め切ります。）

\*定員後の参加お申込者には事務局よりご連絡いたしますが、その他におかれましては基本的にはご連絡致しませんのでご了承下さい。

### お申込み先・お問い合わせ

## 株式会社 JALセールス北海道 第1営業部第1GRP

※4月1日より社名がJALトラベル北海道からJALセールス北海道に変わりました。

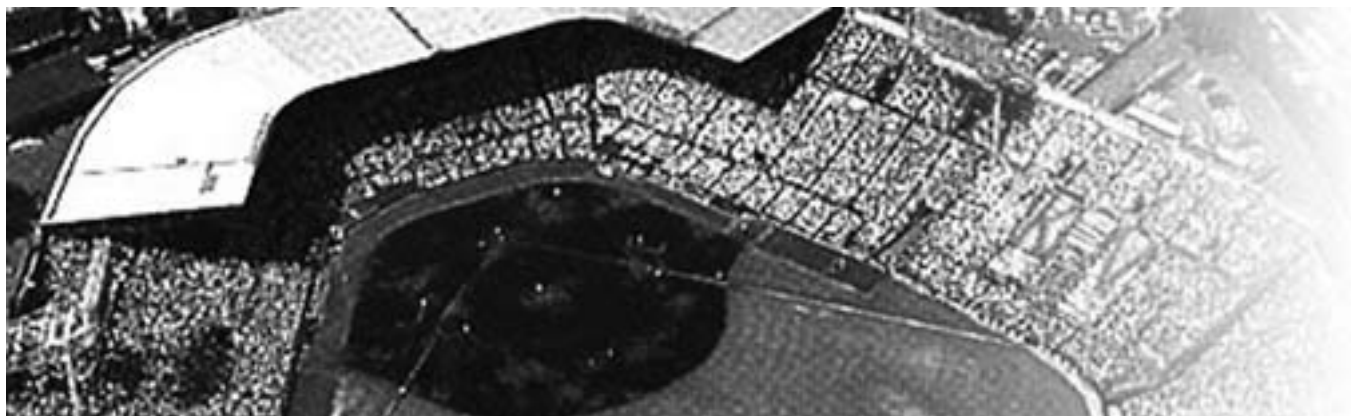
### 「JGFR北海道大会」

担当：前田 和彦／森 ちえみ／佐藤 起子／瀬戸 軍平

TEL：011-200-2510／FAX：011-200-2529

営業時間09：00～17：30（月～金）土・日・祝日は休業

申込締切日 平成18年5月10日（水）必着分まで



2006-2007

# 国際ロータリー第2510地区 親睦野球大会に参加しよう!!

野球を通じて親睦の輪を広げよう。

## 第25回全国ロータリークラブ甲子園親睦野球大会 出場決定戦

開催日程 平成18年9月1日(金) 前夜祭  
平成18年9月2日(土) 試合日  
開催場所 新ひだか町静内古川町1丁目1番1号  
古川公園 野球場  
ホストクラブ 静内ロータリークラブ

詳細については、静内ロータリークラブまでご連絡をお願いいたします。

新ひだか町静内吉野町3丁目1番1号 静内ウェリントンホテル内  
TEL 0146-43-2481 FAX 0146-43-2495

## 新入会員の ご紹介

(敬称略)



伊藤 保 夫

小樽RC  
平成18年3月7日入会



山木 繁 男

芦別RC  
平成18年3月9日入会



高田 悟

岩見沢RC  
平成18年3月17日入会

**ご協力に感謝申し上げます**

**ロータリー  
財団への  
ご協力に感謝  
申し上げます**

**マルチプル・ポール・ハリス・フェロー**

中堀	村内	達晴	也人	会	1回	(札幌)	幌南	RC	3月17日
堀荒	内田	一正	正幸	会	1回	(小樽)	樽南	RC	2月20日
加相	藤馬	正哲	也幸	会	1回	(小樽)	樽南	RC	2月20日
岡新	崎倉	芳吉	明晴	会	1回	(小樽)	樽南	RC	2月20日
谷喜	川多	清皓	郎皓	会	3回	(余市)	市南	RC	3月24日
				会	1回	(千歳)	歳南	RC	3月31日

**ポール・ハリス・フェロー**

田本	中間	利男	会			(札幌大通公園)	園南	RC	3月31日
板垣	嶋上	恒俊	会			(小樽)	樽南	RC	2月20日
中水	原	一介	会			(小樽)	樽南	RC	2月20日
小笠	倉	俊一	会			(小樽)	樽南	RC	2月20日
大倉	坂	直人	会			(由仁)	仁南	RC	3月24日
大伊	野	藤崎	会			(函館セントラル)	ラル南	RC	2月 6日
野坂	下	賢二	会			(函館セントラル)	ラル南	RC	2月 6日
坂上	林	嘉和	会			(函館セントラル)	ラル南	RC	2月 6日

**米山記念  
奨学会への  
ご協力に感謝  
申し上げます**

**米山功労者**

田松	中本	良脩	一三	会	3回	(赤平)	平南	RC	3月31日
中村	薄浩	志善	夫美	会	5回	(札幌)	幌南	RC	3月17日
高山	中山	正善	久孝	会	1回	(札幌)	幌南	RC	3月17日
山中	原下	義章	孝章	会	1回	(札幌)	幌南	RC	3月17日
中山	林昌	志源	五郎	会	1回	(札幌)	幌南	RC	3月17日
中山	名原	善久	孝章	会	6回	(札幌はまなす)	す南	RC	3月31日
中木	下林	義章	孝章	会	4回	(札幌幌南)	南南	RC	3月 7日
小佐	藤中	征之	子昭	会	1回	(札幌真駒内)	駒内	RC	3月16日
徳清	水本	敏裕	治士	会	1回	(札幌南)	南南	RC	3月 8日
藤増	本本	裕治	士	会	6回	(札幌南)	南南	RC	3月 8日
清	藤	堯	士	会	2回	(札幌南)	南南	RC	3月 8日
				会	1回	(札幌南)	南南	RC	3月 8日
				会	2回	(新札幌)	幌南	RC	3月31日
				会	1回	(千歳)	歳南	RC	3月31日
				会	1回	(静内)	内南	RC	3月31日
				会	2回	(函館五稜郭)	郭南	RC	3月24日

**米山功労クラブ**

札幌	会	22回		3月17日
函館五稜郭	会	12回		3月24日



## 例会変更について・文庫通信

### 例会の変更について

- 美 唄RC：5月4日(木) 休会(法定休日のため)  
5月11日(木) 第3グループIM  
5月18日(木) 家族同伴観桜例会 18:30～  
場所：美唄ホテルスエヒロ  
5月25日(木) 休会(創立記念のため)
- 江 別RC：5月4日(木) 休会(法定休日のため)  
5月11日(木) 休会(IMの振替)
- 岩 見 沢 RC：5月12日(金) は5月11日(木) IMに変更 点鐘15:00  
場所：美唄ホテルスエヒロ
- 岩 見 沢 東RC：5月16日(火) 休会(定款第5条第1節により)
- 千歳セントラルRC：5月9日(火) 移動例会「清掃奉仕」  
5月16日(火) 移動夜間例会 18:30～  
場所：千歳の湯「せんさいのゆ」  
5月30日(火) 移動例会「清掃奉仕」
- 苫 小 牧 北RC：5月2日(火) 休会(定款第5条第1節により)
- 小 樽 南RC：5月5日(金) 休会(法定休日のため)
- 白 老RC：5月2日(火) 休会(定款第5条第1節により)  
5月9日(火) 観桜会 18:00～  
場所：白老八幡神社(白老町本町1-1-11)

## 文庫通信 223号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ロータリー活動から

- ◎「震度7 それでもわが大地を愛す」  
D.2560 2005 48p  
(新潟県中越大地震災復興支援活動の記録)  
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「家庭奉仕実践の手引き 第1版」  
D.2510 2005 16p  
[申込先：和田壬三 FAX(011)271-4336]
- ◎「育ちゆく新世代と共に米作り」  
東京武蔵府中R.C. 2005 52p  
(米作り体験学習実施報告書)  
[申込先：ロータリー文庫]
- ◎「何故カンボジアに小学校を建設したか」  
D.2610富山第2分区 2005 113p  
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

- ◎「たった2滴のワクチンが命を救う」  
前田正一郎 2005 7p  
(全日本RYLA大会報告書)  
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「ポリオ撲滅募金活動報告書」  
D.2650 2005 35p  
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「RI第3ゾーン水資源・健康・飢餓救済セミナー報告」  
近藤真道 2005 2p D.2660月信  
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「識字率向上委員会報告書<<活動記録>>」  
D.2830 2005 26p  
[申込先：ロータリー文庫(コピー)]

**ロータリー  
文庫**

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2006年5月 米貨1ドル=118円



**地区カレンダー(5月・6月)**

5月	
1(月)	
2(火)	
3(水)	憲法記念日
4(木)	国民の休日
5(金)	こどもの日
6(土)	
7(日)	
8(月)	ロータリーの友委員会新旧引き継ぎ(東京)
9(火)	
10(水)	
11(木)	第3グループIM(美唄)
12(金)	第12回ロータリー青少年交換研修会(長崎)
13(土)	第12回ロータリー青少年交換研修会(長崎)
14(日)	第1グループIM(深川)
15(月)	札幌北RC創立35周年記念式典(札幌)
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	余市RC創立45周年記念式典(余市)
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

6月 ロータリー親睦活動月間	
1(木)	
2(金)	
3(土)	国際親善奨学生選考試験(札幌)
4(日)	
5(月)	札幌南RC創立50周年記念式典(札幌)
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	国際大会(マルメ・コペンハーゲン)
12(月)	国際大会(マルメ・コペンハーゲン)
13(火)	国際大会(マルメ・コペンハーゲン)
14(水)	国際大会(マルメ・コペンハーゲン)
15(木)	
16(金)	
17(土)	ローターアクト地区年次大会(札幌) インターアクト地区年次大会(札幌)
18(日)	
19(月)	第16回JGFR北海道大会(苫小牧)
20(火)	
21(水)	
22(木)	
23(金)	
24(土)	新旧地区委員長・ガバナー補佐会議(札幌)
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	
30(金)	

# 出席報告

## 3月出席率・会員増減数

クラブ数	73 クラブ
期首会員数	2,986 人
当月未会員数(女性)	3,039 人(100人)
当月平均出席率	82.63%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.3.31	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	84.89
	羽 幌	4	49	45	-4	1	80.06
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	80.00
	小 平	4	13	13	0	0	76.92
	留 萌	4	49	48	-1	0	93.90
	小 計		159	154	-5	3	83.15
	2	赤 平	3	34	35	1	2
芦 別		4	48	47	-1	0	88.37
砂 川		5	50	53	3	0	93.68
滝 川		4	106	104	-2	1	73.00
小 計			238	239	1	3	84.71
3	美 唄	4	41	41	0	0	89.28
	江 別	5	36	38	2	1	79.45
	江 別 西	2	35	35	0	3	94.28
	岩 見 沢	4	95	93	-2	0	87.42
	岩 見 沢 東	3	35	36	1	4	88.90
	栗 沢	5	24	23	-1	1	92.39
	栗 山	3	26	32	6	2	88.43
	当 別	3	38	35	-3	1	70.37
	小 計		330	333	3	12	86.32
4	札 幌	4	123	132	9	0	98.78
	札幌あけぼの	5	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	23	25	2	4	76.39
	札 幌 北	3	43	41	-2	5	89.74
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	70.59
	札 幌 西	3	72	73	1	3	91.14
	札 幌 西 北	3	48	49	1	2	94.31
	札 幌 手 稲	4	41	40	-1	1	100.00
	小 計		419	429	10	16	90.12
5	札 幌 東	4	121	118	-3	0	97.93
	札 幌 清 田	2	28	28	0	7	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	68	-2	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	44	-2	3	92.97
	札 幌 南	3	89	90	1	0	92.92
	札幌大通公園	5	19	19	0	4	76.31
	札幌セントラル	3	17	17	0	6	72.00
	新 札 幌	5	32	34	2	2	95.31
小 計		422	418	-4	22	90.93	

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.3.31	増減	内女性	
6	岩 内	5	28	30	2	0	67.69
	倶 知 安	4	50	50	0	3	50.50
	小 樽	3	64	72	8	1	83.58
	小 樽 南	4	82	81	-1	0	85.07
	小 樽 銭 函	5	25	25	0	3	88.00
	蘭 越	3	11	11	0	0	72.72
	余 市	5	44	44	0	4	63.10
	小 計		304	313	9	11	72.95
7	千 歳	4	61	64	3	4	85.10
	千歳セントラル	3	27	28	1	0	86.90
	恵 庭	4	49	49	0	0	80.43
	北 広 島	3	17	18	1	2	85.19
	長 沼	4	18	18	0	3	76.39
	由 仁	4	13	13	0	0	92.31
	小 計		185	190	5	9	84.39
8	え り も	5	23	23	0	0	82.61
	三 石	4	16	18	2	1	97.20
	様 似	3	18	18	0	1	67.59
	静 内	5	66	76	10	0	70.47
	浦 河	3	33	35	2	1	87.62
	小 計		156	170	14	3	81.10
9	伊 達	3	55	60	5	0	80.00
	室 蘭	4	50	49	-1	0	69.90
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	84.80
	室 蘭 北	3	37	38	1	2	90.35
	登 別	5	36	35	-1	2	82.86
	洞 爺 湖	5	9	9	0	0	91.10
	小 計		230	238	8	4	83.17
10	函 館	4	91	89	-2	0	80.23
	函 館 亀 田	3	43	45	2	1	78.52
	森	4	42	41	-1	0	78.50
	七 飯	3	20	20	0	0	65.00
	長 万 部	4	10	8	-2	0	65.60
	函館セントラル	3	0	29	29	2	79.31
	小 計		206	232	26	3	74.53
11	江 差	4	17	17	0	0	82.50
	函館五稜郭	4	63	65	2	0	90.35
	函 館 東	3	43	37	-6	4	80.34
	函 館 北	4	32	32	0	0	77.35
	上 磯	4	26	22	-4	2	55.40
	松 前	5	9	9	0	1	70.00
小 計		190	182	-8	7	75.99	
12	白 老	3	23	20	-3	0	77.00
	苫 小 牧	4	56	55	-1	1	68.84
	苫 小 牧 東	4	31	29	-2	3	84.82
	苫 小 牧 北	3	37	37	0	3	82.86
	小 計		147	141	-6	7	78.38
合 計		2,986	3,039	53	100	82.63	

**SERVICE Above Self**



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2005-2006

ROTARY INTERNATIONAL

DISTRICT 2510

*No. 12* **6**  
*2006.*



**SERVICE** Above Self

## 2005-2006 ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区

2005-2006年度 ガバナー

**塚原 房樹** FUSAKI TSUKAHARA

〒060-0042

北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル3F

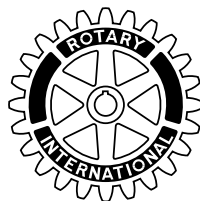
TEL・FAX(011)207-2510

e-mail : d2510go@wave.plala.or.jp

# ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

---

2005 - 06年度 国際ロータリーのテーマ



---

## 超我の奉仕

---

### C O N T E N T S

---

ガバナーメッセージ	01
ガバナーノミニー決定宣言	04
ロータリーの友委員会報告	05
IM開催報告 第1グループ・第3グループ	06
IM開催報告 第10・11グループ	07
GSE報告	08
WCS報告	09
会員訃報・新入会員のご紹介	10
例会変更について・文庫通信	11
ご協力に感謝申し上げます・地区カレンダー	12
出席報告	13

---



■ガバナーメッセージ



2005 - 2006年度  
国際ロータリー第2510地区  
ガバナー 塚原 房 樹

和魂洋才

昨年7月に会長幹事さんの皆さんと共にガバナーに就任して以来、早いもので一年の任期がもうすぐ終ろうとしています。おかげさまで無事に任期を終えることができそうです。まことにありがとうございます。いよいよ私の年度、最後のガバナーメッセージをお届けする時がまいりました。振り返ってみると私は月信でロータリープログラムや定款細則についてあまり触れませんでした。なぜなら地区にはそれぞれのプログラムのスペシャリストが地区委員長さんを務めておられます。したがって毎月の「強調月間」についてはそれぞれの委員長さんにお任せして、私はロータリー運動の本質について東洋哲学を背景にして「ロータリーとは何か」をお伝えしてきました。

ロータリーはもともと20世紀初頭の資本主義の欠陥が溢れるシカゴを舞台とした中世キリスト教神学（ピューリタニズム）の復興運動でありました。ロータリーには脈々としてピューリタニズムの精神が流れています。それを私は東洋哲学の立場でロータリーの社会的意義を説いてきました。ピューリタニズムと東洋哲学では、奉仕観の根底に違いがあります。月信の最終号にあたりその違いについて考えてみました。

欧米では生活そのものがキリスト教の訓えの中にあります。食事の作法も東洋とは違います。以前、目にした『パンはちぎって食べる』という小文を紹介します。

「(ヨーロッパのあるレストランで) 我々の反対側のテーブルに観光客風の日本人のカップルが座っていた。パンが来ると、男の方が丸かじりした。パンはちぎって食べよと日本でも言うけれども、小さなパンだと、つい、かぶりついてしまう人は今でも時折見かける。結局、マナーを暗記させるだけだからいざという時に駄目なのである。何故かという点を子供達に教えないのは大人の罪である。論理的に教えれば身につくのではないだろうか。何故ちぎるのか。これはキリスト教の《与える喜び》《分かち合う喜び》である。がぶりついてしまうと、もしここに突然、餓えて死にかかった可哀相な人が現れたら、口をつけていない方をあげることができない。だからパンは二つ割りもしくは、小さくちぎって食べなさいということになる。即ち、かぶりつくと「品の悪い人」「育ちの悪い人」どころではなく、もっと卑しいレベルの最低の人間と思われかねないのである。ここまで、説明すれば人目の気になる日本人ならばすぐにこのマナーはマスターするであろう」

この小文を読んで、キリスト教ではパンはイエスの身体であり、最後の晩餐の席上で12人の弟子たちにパンを取って賛美の祈りを捧げ、それを裂いてお渡しになったという歴史的背景があることを知ります。

しかし、これはキリスト教の歴史に裏打ちされたマナーです。東洋には無い一神教世界の文化です。東は東、西は西という言葉を実感します。

キリスト教の根底にあるのは「禁断の木の実」を食べたアダムとイブの原罪説です。ピューリタニズムでは墮落した人間はどんなに修養を重ねても許されません。彼らにとってこの世は涙の谷であり、やがて終るべき旅路に過ぎません。

しかも彼らは神の栄光を増すためにこの世を少しでも神の国に近づけようと努力するし、それが神に許される証となるのです。こうしてこの短い人生の旅路はやがて終るのだから我々は昼のうち仕事をしておかねばならないという緊迫した気持ちを生みます。この世の楽しみを捨てて、全て

を隣人愛の実践に捧げねばならないという巨大なエネルギーがほとばしり出ることになりました。そして経済活動を、神の栄光を讃え隣人愛を実践する手段と考えました。これが「ボケーショナルサービス」、職業奉仕の原点なのです。ロータリーの奉仕観にも、背景には「罪を詳らかにし、また許す神」との緊張感があります。

一方日本の社会は東洋哲学（儒教・仏教・神道）が人々の生活を律してきました。

特に儒教ではこの世と人間との関係は徹底した楽観主義に立っています。つまり儒教の考え方によると、この世はさまざまな世界のあり方の中で最上のもの、そしてピューリタニズムとまったく逆に、人間の本性も善であり、修養すれば仏にもなれます。儒教の目指す人間の理想像は君子という表現で示されます。君子は徳が高いといわれていますが、それは道に従うことであり、この道とは一定の理法に従う世界秩序のことです。つまり人倫の道に従うことがこの世で目指す理想となります。儒教ではそうした外面的な作法、世間体を出来るだけ守り、そのために自分を抑制します。ロータリーの災害救援寄付も会長さんが1,000円出すなら皆も右へ習えで、皆1,000円を寄付します。もちろん各種の奉仕プログラムにも皆協力します。その意味において日本は世界第2のロータリー国であり、大きく国際ロータリーに貢献しています。しかし奉仕の動機に贖罪といった意識はありません。信ずる宗教の違いにより奉仕観に温度差があるのも事実でしょう。儒教での罪は秩序と調和を破ることであり、それは償いうる過ちであって、キリスト教の原罪といったものとはあまりにも遠くかけ隔っています。

このようにロータリーに対する接し方も、神の有無によりおのずと違いがあります。まず用語ですがロータリーで一番頻繁に出てくるものは「奉仕」という言葉でしょう。英語のサービスとは神に仕えることです。今申し上げたようにキリスト教の国では神に仕える奉仕という言葉に抵抗感がありません。なぜなら神が生活に密着しています。しかし日本では神社仏閣などでは清掃奉仕という言葉を使いますが、人との助け合いは奉仕とは云いません。日本語で奉仕と言うと、「値引き」「サービス品」といったイメージが先行して奉仕という言葉はどうしても馴染めません。神への贖罪という概念が無いからです。奉仕の実践そのものよりむしろ「天地の理法」を学び自己を練磨することがロータリーの目的と考えます。そもそも日本のロータリーは1920年、背後にあるピューリタニズムをそっくり抜いてアメリカから取り入れられました。しかしあらゆる文化的価値を追求する団体には背後に宗教・哲学といった純度の高いものの考え方が無ければ成り立ちません。日本ロータリーの黎明期、東京クラブのメンバーは米山さんを始めみな明治の士（さむらい）でした。みな東洋哲学は身に付けております。ロータリーを推進していく上で欠かせないものはそれぞれの国の宗教に裏打ちされた戒律、道徳、倫理観です。彼らはロータリー運動を推進するに当たり馴染みの薄いピューリタニズムに換えて東洋哲学を当ててロータリーを理解したのです。幸いロータリーの「隣人愛」はあらゆる国の宗教に内包された概念です。ただしキリスト教と仏教では根源的に「隣人への愛」はとらえ方が違います。キリスト教は根源的なものとして神を立て、神は愛を持って人間を作られたのだから、自分と同じく神の愛によって作られた隣人たちを愛して行かねばならないのです。

仏教はこれに対して根源に無我をおきます。我が無いということは自分と他人は2つでない、「自他不二」すなわち同じということです。自分も生きとし生けるもの一切の衆生も同じであるという認識から「一切の衆生を慈しめ」と慈悲の心を説きます。

明治維新政府は、近代国家を目指して西欧の科学の原理や文化、政治、経済の仕組みを積極的に取り入れました。それらは神との緊張関係の上に成り立っていましたが、ロータリーと同じように明治政府はそれらの背後にある宗教・哲学をすっかり抜いて導入しました。代わりにそれらの背後

に東洋哲学を置きました。そして西欧の文化を日本化して咀嚼することに成功しました。これを「和魂洋才」といいました。しかし第2次大戦後GHQにより日本の過去はすべて悪かったのだという空気が醸成されてしまいました。日本人は自分たちの過去、歴史にすっかり自信を失ってしまい、自分たちの文化、伝統、歴史を肯定的に捉えられない雰囲気が蔓延していったのです。日本人の心から東洋哲学が希薄となりました。哲学を失うと人は眼の無い魚のようになり自分がどこへ行くのかまったくわからなくなります。ただ現象を追って波間を漂うことになります。倫理、道徳、修身を忘れかつての「和魂洋才」が消えて、今は日本中「無魂洋才」の時代となりました。今、一番大切なことは単に生きることそのことではなくて、善く生きることです。善く生きるためには自分の成すべき事と為すべからざることを知らねばなりません。それを教えてくれるのが、宗教、哲学、道徳なのです。日本人の心の荒廃を憂います。

国際ロータリーもロータリーを興隆に導いてきた職業奉仕の哲学を捨てて、自ら人道的国際ボランティア団体、また世界最大のNPOであると宣言して久しくなりました。ロータリーの看板である職業奉仕の無いロータリーは魅力を失い会員は減少しました。文化的価値を追求する団体は良質な哲学を失うと瓦解してしまいます。しかし幸いにも制度疲労を起こしていた国際ロータリーに偉大な救世主が現れました。タイ国のピチャイ・ラタクル元RI会長は「奉仕の新世紀」にあたり、国際ロータリーが久しく無視してきた「職業奉仕」の再構築を強く訴えられました。タイは敬虔な仏教国です。ロータリーを自己改善の精神運動ととらえる日本人にとって仏教徒ラタクルさんの勇気ある発言は永い間待ち望んでいたものでした。

日ごろご指導いただいている2500地区の道下PGの昨年の賀状に、「何とかロータリーの栄光をもう一度取り戻したいものですね」と書かれていました。私も同じ思いでした。しかしラタクルさんのおかげで再びロータリーは過去の栄光を取り戻すことが出来ました。ロータリーの栄光とはロータリアンがロータリアンであることに誇りを持つが故に、ロータリーの職業奉仕に心から心酔し、謙虚にロータリーを学び、ロータリーの綱領を日常生活で実践していた良き時代のことです。そのために今、我々に課せられた務めは、現代社会から失われつつある東洋哲学を家庭生活に、職場に、地域社会に再構築することにほかなりません。

最後になりましたが、会長幹事の皆さんが益々ご健康で、今後のクラブ発展のために更なるご活躍されることをご祈念申し上げペンをおきます。  
お世話になりありがとうございました。

## ガバナーノミニー決定宣言

2008-2009年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より、矢橋温郎君（札幌西RC）が選出された旨、報告を受けました。

国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、矢橋温郎君を2008-2009年度第2510地区ガバナー・ノミニーとすることを決定し、ここに宣言します。

2006年5月17日

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 塚原房樹

### 2008-2009年度 ガバナー・ノミニー



会員名 や はし はる お  
矢 橋 温 郎（札幌西RC）  
生年月日 1934年（昭和9年）3月21日  
出生地 兵庫県  
自宅住所 札幌市中央区宮の森1条18丁目1-10  
職業分類 測量  
勤務先 北海航測株式会社 代表取締役会長

#### 【学 歴】

1955年3月 岐阜大学農学部卒業

#### 【職 歴】

1955年4月 中央測地株式会社（東京）  
1964年 北海航測株式会社設立 代表取締役  
現 在 北海航測株式会社 代表取締役会長

#### 【ロータリー歴】

1979年 札幌西ロータリークラブ入会  
1983～86年度 地区ローターアクト委員長  
1984～85年度 地区ライラ委員  
1987～88年度 クラブ幹事  
1988～89年度 地区オン・ツー・ソウル委員  
1989～91年度 地区GSE委員  
1992～93年度 地区地域開発委員長  
1993～95年度 地区GSE委員  
1996～97年度 地区副幹事（札幌駐在・幹事）  
1997～98年度 地区幹事（代表幹事）  
1998年 退 会  
2002年 札幌西ロータリークラブ再入会  
2003～05年度 地区クラブ奉仕委員  
2004～05年度 クラブ会長  
2005～06年度 地区国際友好委員長

米山功労者、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー





## 第1グループ

第1グループガバナー補佐室長  
中 公一郎 (深川 RC)



塚原ガバナー

5月14日(日)第1グループIMが、深川RCをホストとして深川市のプラザホテル板倉にて「ロータリーの現況と展望」をテーマに午後1時より開催されました。会場には、第1グループ5クラブより102人の会員が参集。北村深川RC会長の歓迎の言葉、小田実行委員長の挨拶、河野深川市長の祝辞に次いで、IMリーダーの吉本ガバナー補佐が、第1グループのテーマとしてきた「超我の奉仕の理解とロータリーの簡素化」をこのIMを通じて、研鑽し、又グループ内の親睦も大いに深めていただきたい、と挨拶しました。記念講演に移り、塚原房樹ガバナーは、「超我の奉仕」を理解するうえで、ロータリーでの奉仕は、「育成と適用の二面があり」、「人を作ることであり、自己研鑽の場である」、「超我の奉仕」は、「自己と他者の利益を調和させることである」、「ロータリーが101年目を迎えた現在、過去の100年をきちっと総括し、職業奉仕の再構築が今こそ求められている」と問題提起、「ロータリーとは、人生の哲学そのものであります」と

締めくくりました。次に記念講演された遠藤正之のラストで、いろいろな切り口から、わかりやすく講演されました。

続いて、「ロータリーの感動体験と今後の課題」と題し、5クラブの代表により、具体的な活動に基づく事例発表がされ、会場は、感動と笑いの中で時が過ぎるのも忘れるほどの盛り上がりを見せました。塚原ガバナーの所感をいただき、次年度ガバナー補佐の、澤田茂会員(留萌RC)の紹介があり懇親会に入りました。懇親会では、各会長から幹事への「感謝の品」の贈呈やゲームも行われ、和やかな交流の場となりました。補佐室の渋谷会員のスムーズな司会もあり5時には「手に手つないで」、来年留萌での再会を約し、閉会いたしました。



吉本ガバナー補佐



会場風景

## 第3グループ

第3グループガバナー補佐幹事  
本田 俊朗 (美唄 RC)

5月11日(木)、美唄ホテルスエヒロに於いて、塚原房樹ガバナーをお迎えして岩見沢RC、栗山RC、栗沢RC、江別RC、江別西RC、岩見沢東RC、当別RC、美唄RCから多数の参加を得て盛大に開催されました。

美唄RC下村雅朝IM幹事の総合司会で、円子保第3グループガバナー補佐の点鐘から始まり、吉村誠治副運営委員長の開会の言葉、坂東浩運営委員長から歓迎の言葉、円子保ガバナー補佐から来賓・役員・参加クラブ紹介と挨拶、美唄市佐藤昭雄助役の来賓祝辞に引き続き塚原房樹ガバナーから丁寧なご挨拶を頂き、その中で、ロータリークラブの在り方にもふれられ、出席者一同改めて深く感銘を受けました。

その後、奥山裕章美唄RC会長からの紹介で、北海道文化財団理事・NPO法人アルテピアッツァびばい理事長であります元副知事の磯田憲一様の「まちぢからの発見」と題しての示唆に富んだ講演がありました。

ガバナー講評の後、桃澤忠彦栗山RC会長から次期開催地会長挨拶を頂き、宝崎錠二副運営委員長の閉会の言葉、円子ガバナー補佐の点鐘でIMプログラムを閉じました。

引き続き、美唄RC会員のガイドで市内見学が行なわれ、道内有数の桜の名所“東明公園”磯田理事長の講演テーマでもある“アルテピアッツァびばい”を一巡しました。

懇親会は、美唄RC高橋幹事の司会により進められ、奥山裕章ホストクラブ会長の開宴の言葉、丸山淳士ガバナーエレクトの次年度へ向けての挨拶を添えての乾杯の音頭で始まり、参加クラブ会長からテーブルスピーチを頂きながら、和やかな雰囲気の中で親睦が深められました。最後は全員で“手に手つないで”を合唱し友情を確かめあい、北野保孝会長エレクトの音頭で万歳三唱をし閉会となりました。

円子ガバナー補佐並びに坂東運営委員長及び美唄RCの熱意と第3グループの総意で復活し盛会裏に終える事ができたIMでした。



塚原房樹ガバナーの講話を真剣に聞く参加者



好天の中アルテピアッツァびばいを鑑賞する

# 第10・11グループ

第11グループガバナー補佐室長 藪下 義晴 (函館北RC)

去る4月22日(土)、第10・11グループ合同によるインターシティミーティングが、ホテルオークランドを開場に開催されました。

今回は、ホストクラブを置かずに12クラブの会長・幹事で実行委員会を立ち上げての合同開催となりました。

当日は、ロータリー会員210余名の参加があり、また公私ともにご多忙の中、塚原房樹ガバナー、丸山淳士ガバナー・エレクト、さらに酒井正人ガバナー・ノミニーにご出席賜り、3年ぶりに開かれたIMを意義深いものにして頂きました。

ガバナー補佐の開会点鐘、ソングリーダー本間哲会員(函館五稜郭RC)のもと国歌「君が代」並びにロータリーソング斉唱の後、益田定雄実行委員長(函館北RC)から開会の挨拶があり、続いてガバナー補佐から来賓の紹介と参加クラブの紹介が行われました。

引き続き、本日のメインプログラムであります。塚原房樹ガバナーにより「ロータリーにおける奉仕」と題して講演をして頂きました。

講演では、草創期から現在までロータリーの歴史的背景や、奉仕の原点に触れ、千利休の言葉「茶の湯が盛んな事は、茶道が衰えるとき」に例え、ロータリーも「奉仕の心をつくる」「奉仕の心を適応する」例会を大切にしなければならない等、大変示唆に富んだお話を頂きました。

いつもながら塚原ガバナーの淡々とした口調の中にも、ロータリーに限らず、多方面に亘る造詣の深いお話に、参加者一同深く感銘しました。

講演の後、今回の合同IMの記念広報事業として、函館空港到着ロビーに掲げる、ロータリーの「ウェルカムボード」の披露を増田実行委員長が行い、最後に松浦勝副実行委員長(森RC)の閉会の挨拶で会を閉じました。

引き続き行われた交流会では、菅谷剛函館五稜郭RC会長の挨拶に続き、丸山淳士ガバナーエレクトの挨拶と音頭で祝杯をあげ交流会の幕開けとなりました。

さっそく会場内には賑やかな会話が弾み、おおいに懇親を深めあっておりました。

楽しい時間は過ぎ去るのも早く、お開きの時間となり、酒井正人ガバナーノミニーの乾杯の音頭で参加者一同グラスを干し、交流会を終了しました。

最後に全員が大きな輪を作り「手に手つないで」を高らかに歌い、まだ余韻の残る会場を後にしました。



ガバナー講演



来賓紹介



会場風景



交流会風景



交流会風景





## 2005～2006年度 タイ国RI3350地区へ派遣された GSEチームの帰国報告

GSE チームリーダー 橋本 信夫 (札幌西 RC)

去る2月25日に当地区からタイ・RI3350地区に派遣されたGSEチームは1ヶ月間のプログラムを全て終え、3月25日に無事帰国しました。一昨年11月のチーム結成以来、1年余の研修準備とタイ・プログラム実施中に寄せられた地区とGSE委員会のご配慮とご指導に心から御礼申し上げます。

今回のタイ・プログラムでは首都のバンコク市からタイ国中部のナコン・サワン市までの7地域で沢山のRCやホストファミリーのご好意により、職業研修も含めて様々な異文化体験を重ねることができました。この間に地区大会やクラブ例会に出席して挨拶やプレゼンテーションを行うとともに、各地で文化、教育、福祉、産業などの施設訪問、お祭り、イベントや名所巡りなどで多くの方々と出会い、親善交流を果たせたことを嬉しく思っています。

こうして人口700万余の巨大近代都市バンコクの活力溢れるビジネス社会やアユタヤ、チャイナート、ウタイタニー、ナコンサワンなどの自然と歴史遺産に恵まれた地方都市のゆったりとした伝統社会で、ホームステイしながらの生活体験はメンバーにとって生涯の楽しい思い出となりました。またメンバーの3名が医療関係者だったために全員で病院や福祉施設を巡ることも多く、終始まとまりのあるチームとして破綻なく研修と親善の目的を果たすことができました。

さらにタイでは、日本とカナダの2組のチームが3350地区で同時に展開したために、クラブ例会や地区行事で両チームが時折合流して親睦を重ねたことも大きな特徴として挙げられます。このためにプログラム内容もやや大規模で複雑となり、特に地区主催の記念行事では、イベントの企画とチームの受け入れが重なり、地区GSE委員会やホストクラブもこの運営に大変苦労されたと思われれます。

当然のことながら、タイ国ではタイ語に十分に通じていなければなりません。残念ながら日本での事前研修では英語に重点を置いていたため、英語が通じ難い地方ではコミュニケーション・ギャップが起きました。しかしメンバーはタイ語を猛勉強し、後半には片言のタイ語と指差し本を駆使してホストファミリーともかなりのコミュニケーションを図れるようになり、例会でのタイ語の挨拶はすこぶる好評でした。

こうして各地方のRCグループへの移動、ホストの交代による様々なホームステイ体験、地方の名所旧跡・寺社仏閣・各種施設の視察や実地研修などを通して短期間ながらタイ社会、文化、歴史、宗教などについての理解が一挙に深まり、タイ国に強い親近感を覚えるようになりました。

帰国して2ヶ月目の現在、タイ国で過ごした激動の1ヶ月間に体験した数々の出来事を反芻しながら私たちが暖かく迎え入れ、沢山の楽しい思い出や貴重な体験を与えて下さったタイの方々と3350地区のロータリアンに心から御礼を申し上げます。

これを機会に、日・タイ両国のロータリアンによるボーダーレスな国際親善交流が今後ますます発展するよう祈りながら帰国報告といたします。





## 室蘭東、室蘭北RCとチェンマイRCの ダムプロジェクトが完成

地区世界社会奉仕委員会

委員長 **齋藤修弥** (室蘭RC)

本年2月に締結された室蘭東、室蘭北RCとタイ国チェンマイRCのダム建設プロジェクトがようやく完成し、先日報告のメールと写真が送られてきました。チェンマイ地方は山岳地の為、雨季にはしばしば洪水に見舞われ、大きな被害が生じているそうです。

写真にはダム工事に取り組む子供から兵士にいたる沢山の人の姿が写されており、現地からはまだまだ多くのダム建設の要望が強いと報道されています。

一方、浄水施設の建設にも多くの希望が寄せられています。私たちはこれらの要請に応えるため将来を見通した、末永い支援事業を展開していきたいと願っています。どうか次年度も沢山のRCがこれらのクリーンウォータープロジェクトに応募されますようお待ちしております。



会員訃報



**青山 栄一** 会員  
(函館北RC)  
2006年3月7日  
ご逝去 (享年56歳)

【ロータリー歴】

2003年(平成15年)4月2日入会  
2004～2005年度 親睦活動副委員長、  
出席副委員長  
2005～2006年度 社会奉仕副委員長

【表彰】



**鴨井 清一** 会員  
(室蘭RC)  
2006年3月24日  
ご逝去 (享年91歳)

【ロータリー歴】

1965年(昭和40年)7月1日入会  
1972～1973年度 職業分類委員長  
1977～1978年度 ロータリー財団委員長  
1980～1981年度 国際奉仕委員長  
1992～1993年度 会長  
1995～1996年度 ロータリー情報委員長  
2001～2002年度 ロータリー情報委員長

【表彰】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
20年100%出席



**長谷川 守** 会員  
(函館北RC)  
2006年4月5日  
ご逝去 (享年64歳)

【ロータリー歴】

2005年(平成17年)7月6日入会

【表彰】



**岩倉 賢周** 会員  
(苫小牧RC)  
2006年4月23日  
ご逝去 (享年81歳)

【ロータリー歴】

1957年(昭和32年)1月25日入会  
(チャーターメンバー)  
1969年(昭和44年)5月2日再入会  
1973～1974年度 国際奉仕委員長  
1974～1975年度 姉妹クラブ委員長  
1975～1976年度 副会長  
1982～1983年度 S A A  
1984～1985年度 会長  
1985～1986年度 ロータリー情報委員長  
1991～1992年度 職業分類委員長

【表彰】

ポール・ハリス・フェロー



**前田 康博** 会員  
(室蘭東RC)  
2006年4月23日  
ご逝去 (享年63歳)

【ロータリー歴】

1987年(昭和62年)7月1日入会  
1989～1990年度 親睦活動委員長  
1991～1992年度 副幹事  
1992～1993年度 幹事  
1994～1995年度 国際奉仕委員長  
1995～1996年度 プログラム委員長  
1997～1998年度 職業奉仕委員長  
1999～2000年度 インターアクト委員長  
2000～2001年度 会員増強委員長  
2001～2002年度 副会長・クラブ奉仕委員長  
2002～2003年度 会長  
2003～2004年度 ロータリー情報委員長

【表彰】

ポール・ハリス・フェロー  
15年100%出席表彰  
米山功労者

新入会員のご紹介

(敬称略)



**辰田 英昭**  
美唄RC  
平成18年  
4月1日入会



**今村 武**  
小平RC  
平成18年  
4月1日入会



**渋谷 繁男**  
小樽RC  
平成18年  
4月4日入会



**早坂 哲**  
岩見沢東RC  
平成18年  
4月4日入会



**増田 修一**  
苫小牧RC  
平成18年  
4月28日入会



**片山 孝寛**  
岩見沢RC  
平成18年  
5月19日入会



**野村 哲資**  
岩見沢RC  
平成18年  
5月19日入会



## 例会変更について・文庫通信

### 例会曜日・例会時間・例会場の変更について

登別RC	6月7日(水)	振替休会			
	6月28日(水)	夜間例会	18:30~	場所:	ホテル平安
苫小牧北RC	6月27日(火)	移動夜間例会	18:00~	場所:	スナック純
室蘭北RC	6月27日(火)	夜間例会	18:00~	場所:	ホテルサンルート室蘭
小樽南RC	6月16日(金)	早朝例会	06:20点鐘	場所:	小樽花園公園 見晴亭前
	6月30日(金)	期末懇親例会	18:00点鐘	場所:	朝里宏楽園
苫小牧RC	6月30日(金)	2005-06年度最終夜間例会	18:00~	場所:	グランドホテルニュー王子

## 文庫通信 224号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### ガバナー月信より

- |   |   |
|---|---|
| ◎「ロータリーの旅(合同IM基調講演)」<br>カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 2006.1 7p (D.2840月信)    | ◎「ロータリーと否定の論理」<br>塚原 房樹 2006.1 3p (D.2510月信)                              |
| ◎「有事のロータリー 阪神大震災<br>ロータリーは何ができたのか？」<br>今井 鎮雄 2006.3 5p (D.2500月信) | ◎「ロータリーの友・雑誌月刊(4月)について<br>アンケート結果報告」<br>石松憲一郎 2006.3 13p (D.2740月信)       |
| ◎「識字と教育」<br>小林 博 2006.1 2p (D.2510月信)                             | ◎「第2750地区全クラブの職業分類表について<br>—主に女性会員在籍クラブを中心として—」<br>2005.2 2p (D.2750月信)   |
| ◎「クラブの活性化とCLP論争」<br>中村 幸吉 2006.2 3p (D.2640月信)                    | ◎「座談会 ロータリーの本質を考える<br>～ロータリーの過去、現在そして未来～前編・後編」<br>2006.2、3 11p (D.2700月信) |

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー為替レート 2006年6月 米貨1ドル=110円

ロータリー財団への  
ご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

平田 勝美 会員 2回 (札幌手稲 RC) 4月7日  
本間 哲 会員 1回 (函館五稜郭 RC) 4月14日

ポール・ハリス・フェロー

柴田 徳彦 会員 (小樽 RC) 4月7日  
杉江 俊太郎 会員 (小樽 RC) 4月21日

6月 ロータリー親睦活動月間

1(木)		17(土)	札幌大通公園RC創立5周年記念式典(札幌) 地区ローターアクト年次大会(札幌)
2(金)			地区インターアクト年次大会(札幌)
3(土)	国際親善奨学生選考試験(札幌)	18(日)	地区インターアクト年次大会(札幌)
4(日)		19(月)	(財)ロータリー米山記念奨学会評議員会(東京) 第16回JGFR北海道大会(苫小牧)
5(月)	札幌南RC創立50周年記念式典(札幌)	20(火)	
6(火)	第4回ガバナー会(東京)	21(水)	
7(水)		22(木)	
8(木)		23(金)	
9(金)		24(土)	新旧地区委員長・ガバナー補佐会議(札幌)
10(土)		25(日)	
11(日)	国際大会(マルメ・コペンハーゲン)	26(月)	
12(月)	〃	27(火)	
13(火)	〃	28(水)	
14(水)	〃	29(木)	
15(木)		30(金)	地区会員増強委員長セミナー(東京)
16(金)			

# 出席報告

## 4月出席率・会員増減数

クラブ数	73クラブ
期首会員数	2,986人
当月末会員数 (女性)	3,069人 (101人)
増加会員数	83人
当月平均出席率	84.71%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.4.30	増減	内女性	
1	深 川	3	38	38	0	2	82.86
	羽 幌	4	49	45	-4	1	82.88
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	82.50
	小 平	4	13	14	1	0	78.57
	留 萌	4	49	48	-1	0	96.73
	小 計		159	155	-4	3	84.71
	2	赤 平	4	34	35	1	2
芦 別		4	48	47	-1	0	81.97
砂 川		4	50	53	3	0	95.50
滝 川		4	106	104	-2	1	80.21
小 計			238	239	1	3	87.10
3	美 唄	4	41	41	0	0	90.00
	江 別	3	36	38	2	1	87.38
	江 別 西	4	35	35	0	3	91.42
	岩 見 沢	3	95	93	-2	0	90.30
	岩 見 沢 東	4	35	37	2	4	87.10
	栗 沢	4	24	23	-1	1	95.65
	栗 山	4	26	32	6	2	91.75
	当 別	4	38	35	-3	1	79.62
	小 計		330	334	4	12	89.15
4	札 幌	4	123	132	9	0	98.32
	札幌あけぼの	4	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	23	25	2	4	75.00
	札 幌 北	4	43	41	-2	5	92.31
	札幌モーニング	4	53	53	0	0	71.57
	札 幌 西	4	72	74	2	3	91.34
	札 幌 西 北	4	48	49	1	2	92.63
	札 幌 手 稲	4	41	40	-1	1	100.00
	小 計		419	430	11	16	90.15
5	札 幌 東	4	121	121	0	0	97.96
	札 幌 清 田	4	28	28	0	7	100.00
	札 幌 幌 南	4	70	69	-1	0	99.62
	札幌真駒内	4	46	44	-2	3	96.34
	札 幌 南	4	89	92	3	0	95.88
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	78.94
	札幌セントラル	4	17	17	0	6	69.10
	新 札 幌	4	32	34	2	2	93.97
	小 計		422	424	2	22	91.48

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			05.7.1	06.4.30	増減	内女性	
6	岩 内	4	28	30	2	0	73.08
	倶 知 安	4	50	50	0	3	74.00
	小 樽	4	64	73	9	1	87.87
	小 樽 南	3	82	81	-1	0	91.27
	小 樽 銭 函	4	25	25	0	3	89.00
	蘭 越	4	11	11	0	0	72.72
	余 市	4	44	44	0	4	88.00
	小 計		304	314	10	11	82.28
7	千 歳	4	61	66	5	4	80.60
	千歳セントラル	4	27	28	1	0	83.90
	恵 庭	4	49	49	0	0	80.43
	北 広 島	4	17	19	2	2	89.47
	長 沼	4	18	18	0	3	90.28
	由 仁	4	13	13	0	0	90.38
	小 計		185	193	8	9	85.84
8	え り も	4	23	23	0	0	86.95
	三 石	4	16	18	2	1	97.20
	様 似	4	18	18	0	1	66.55
	静 内	4	66	76	10	0	75.98
	浦 河	4	33	35	2	1	84.29
	小 計		156	170	14	3	82.19
9	伊 達	4	55	59	4	0	72.88
	室 蘭	4	50	49	-1	0	91.67
	室 蘭 東	4	43	47	4	0	89.50
	室 蘭 北	4	37	37	0	2	100.00
	登 別	4	36	35	-1	2	85.71
	洞 爺 湖	4	9	9	0	0	88.90
	小 計		230	236	6	4	88.11
10	函 館	4	91	91	0	0	77.08
	函 館 亀 田	4	43	45	2	1	82.56
	森	4	42	41	-1	0	74.50
	七 飯	4	20	22	2	0	51.80
	長 万 部	5	10	8	-2	0	60.00
	函館セントラル	4	0	41	41	3	77.41
	小 計		206	248	42	4	70.56
11	江 差	5	17	17	0	0	85.00
	函館五稜郭	4	63	65	2	0	92.64
	函 館 東	4	43	41	-2	4	84.31
	函 館 北	4	32	31	-1	0	76.01
	上 磯	4	26	22	-4	2	59.10
	松 前	4	9	9	0	1	70.00
小 計		190	185	-5	7	77.84	
12	白 老	4	23	20	-3	0	80.00
	苫 小 牧	4	56	55	-1	1	71.68
	苫 小 牧 東	4	31	29	-2	3	85.71
	苫 小 牧 北	4	37	37	0	3	87.50
	小 計		147	141	-6	7	81.22
合 計		2,986	3,069	83	101	84.71	

**SERVICE** Above Self

